基本計画書

				<u> </u>		7	<u> </u>		計	-		画			
事			項			記			入		欄			備	考
計	画	の区	分	学	部の学科の	の設置									
フ 設]	ブ 置	ナ 者		コウホウシ`ン 交法人										
フ]		ナ	モリ /	ミヤイリョウタ゛イ	'h` 1									
大	学	の名	称	森	/ 宮医療	大学(Morinom	iya Univ	ersity	of Medica	ıl Sciend	es)			
大	学 2	本部 の 信	立 置					1丁目26番							
大	学	の目	的	度が の 学	な専門技術 予防と治療 の双方を く社会に す	析・コミ 療や健康 尊重した	ュニケー の維持と 特色ある	ション能 増進に有 教育研究	力を有す 用な科学 活動に 』	り実践に求 ける専門職 学的根拠を よって養成と 美人養成と	医療人を 示し、現 と医療の	育成する 代医学と 発展に書	ら。疾病 : 伝統医 : 存し、		
新	設 学	部等の	目的	医常	と修得し、 質関係を	工学の幅 医療従 構築でき	事者とし る能力を	ての自覚	及び倫理た、より	た端の放射 埋観をもち) 質の高い	、患者様	との間に	こ良好な		
新	新設	学部等	の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位 は称		開設時期』 び開設年		所 在	地		
設学		医療学部 ulty of Hea	1th	年	人	年次人	人			年 月 第 年次					
部	Scien	_		4	00		200	24 1. /₹Δ\	;; +/₀	△ ∓□0左41		7 - 7 - + 1	A-475		
の	[Dep	放射線学科 artment of logical Sci	anaaal	4	80	_	320 学士(診療放 令和2年4月 大阪府大阪市住之江区 								
要	Rauto	iogical Sci 計	ences		80	_	(B.S. in Radiological 320 Sciences)								
		置者内にお		1.32					i	(a)	(Ti-bos 6	~			
変 (変	定員の	更 状 り移行,名 更 等	況 称の)	大字	一院保健的	家子研究	代科有護	学専攻修士	亡課程	(6)	(平成31年	-4月油出	i)		
教育	新	設学部等の	名称	*	構義	開設す		·目の総数 実験・実習		計	卒第	美要件単(立数		
課程	保	健医療学部 診療放射			71 科目	27	科目	11 科	·目	109 科目			126 単位		
			部 等	の タ						教員等		1	兼任		
教							教授 人	准教授 人	講師人		計 人	助手人	教員等人		
	新設	保健医療等	全部 診 	寮放射;	線学科		6 (6)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	36 (36)		
員	分			計			6 (6)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	(-)		
組	既	保健医療学	学部 鍼	灸学科			12 (12)	2 (2)	5 (5)	4 (4)	23 (23)	1 (1)	64 (64)		
,,		保健医療学	部 理	学療法	学科		8 (8)	5 (5)	2 (2)	4 (4)	19 (19)	1 (1)	45 (45)		
織					14 (14)	(2)	13 (13)	7	36 (36)	0 (0)	40				
O)	設	保健医療学	全部 臨	末検査:	 学科		8	0	1	(7)	11	0	(40)		
0)		保健医療学	学部 作	業療法	 学科		(8) 5	(0)	(1)	(2)	(11)	(0)	(41)		
概	保健医療学部 臨床工学科				(5)	(0)	(3)	(1)	(9)	(0)	(37)				
	分計					(4) 51	(4) 13	(2) 26	(0)	(10) 108	(0)	(31)			
要	計					(51) 57	(13) 14	(26) 27	(18) 20	(108) 118	(2)	(-)			
		合 計					(57)	(14)	(27)	(20)	(118)	(2)	(-)		

		稍	k :	種		専 任	:	兼	東 任		計	
教		事 務		職	員	48	人		9	人	人 57	
員以		→ 1/7		194	A	(48)			(9)		(57)	
外の		技 術		職	員	0 (0)			0 (0)		0 (0)	
職		図書館	専	門職	員	1			10		11	
員の		囚 音 蹈	寸	1 1 40	具	(1)			(10)	_	(11) 0	
概		そ の 1	也の	職	員	(0)			(0)		(0)	
要			計			49 (49)			19 (19)		68 (68)	
		区 分		専	用	共 用			目する他の	-	計	
校			Lile	,	,			学校	交等の専用	2 26		特例措置の認定
l l		校舎敷運動場用	地	32, 1	71. 51 m ² 0 m ²		$0 m^2$ $0 m^2$		0	m 32 m²	2, 171. 51 m ²	により運動場機 能の代替措置を
地			世 <u>——</u> 計	32. 1	71. 51 m ²		0 m^2				2, 171. 51 m ²	講じる。
hr/sr			<u>"</u> "他	· ·	65. 14 m²		$0 m^2$			m²	765. 14 m ²	可应NO.020 (人
等 .			計	32, 9	36. 65 m²		0 m²		0	m² 32	2, 936. 65 m²	1
				専	用	共 用			用する他の 交等の専用		計	
		校 舎		27. 10	08. 06 m²		0 m²	子の	(寺の号用)	m ² 27	7, 108. 06 m ²	1
				· ·	98. 06 m²) (m²)	(0 n		, 108. 06 m²)	
		講義室		演習	室	実験実習	室	情報处	0.理学習施	改 語学	学習施設	
教室	等		50 室		18 室	4	6 室		1	室	0 室	大学全体
							о <u>т</u>	(補助	力職員 人)	(1114) 1	職員人)	les to the state of the
専	任	教 員 研 究	室		新設学部等				室	数		個人研究室6室, 共同研究室1室4
			1			家放射線学科 -1:	•		7	7	室	人
	新割	と 学部等の名称	ſŏ	図書 ち外国書〕	学術雑 〔うち外国		ジャー	·ナル ^も	見聴覚資料	機械・器具	標本	
図書				#			ち外国		点	点	点	
•		R健医療学部		0 [1,740]		[62]		[10]	906	1, 695	275	学部単位で特定
設備	10%	療放射線学科			(435 [6		19 [10	-+	(877)	(1, 695)	(275)	不能なため大学 全体の数
		計		0 [1,740] 00 [1,700])		(62)	19 19 (10	(10)	906 (877)	1, 695 (1, 695)	275 (275)	211 3 30
			(29, 20	面積	(455 (覧座席			納可能		
	2	図書館			1027. 17 m²		<i></i>		4 席	7,14	80,000 冊	大学全体
	ſ	本育館		面積			体育的	馆以外の	 カスポーツ	施設の概要]
	r				1284.1 m²	1			1	該当な		
			分	開設前年度		第2年次			第4年次	第5年次	第6年次	大字全体 図書費には電子
	経				280千円			0千円	280千円	- 千円	一 千円	ジャーナル・
	積	り 見 共 同 研 ダ 図 書 購		14 000手皿		9,000千円 14,000千円				- 千円- 千円		データベースの 整備費(運用コ
		設備購				36,000千円				— 千円		ストを含む)を 含む。
経 費	の	ev nu vit		1 年次	第2年次	第3年次		第4年		5年次	第6年次	н 0 о
見積	り				1,650 千円		_	1,650		一 千円		鍼灸学科
及び持方			1,	800千円	1,710 千円	1,710 千	·円	1,710	千円	一 千円	- 千円	理学療法学科
の概	要	学生1人当り	1,	800千円	1,720 千円	1,720 千	·円	1,720	千円	- 千円	- 千円	看護学科
		納付金					_	1,640		一 千円		臨床検査学科
					1,710 千円			1,710		一 千円		作業療法学科
					1,640 千円		_	1,640		一 千円		臨床工学科
	\vdash	学生納付金以外			1,640 千円	<u> </u>		1,640		- 千円 ス 雑収 ス・		診療放射線学科
<u> </u>		子生剂竹金以为	トツ維持	カムの概要	松立	大学等経常紅	E負佣店	卯 金、 🎚	貝座理用収	八、雜収入	守	大学全体

	大学のク	名 称	森ノ	/ 宮医療	大学								
	学 部 等 の	名 称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員超過率	開設 年度	所	在	地	
			年	人	年次 人	人		倍					
	保健医療学部				人			1. 13					
	鍼灸学科		4	60	_	240	学士(鍼灸学)	1. 12	平成19年度				
既 設	理学療法学科		4	70	_	260	学士(理学療法 学)	1. 08	平成19年度				平成30年度入学定 員増(10人)
大学等	看護学科		4	90	_	340	学士(看護学)	1. 06	平成23年度				平成30年度入学定 員増(10人)
ずの状	臨床検査学科		4	60	_	240	学士(臨床検査 学)	1. 20	平成28年度				
況	作業療法学科		4	40	_	160	学士(作業療法 学)	1. 26	平成28年度	大阪府大 区南港北 号			
	臨床工学科		4	60	_	120	学士(臨床工 学)	1. 17	平成30年度	,5			
	保健医療学研究科	4											
	保健医療学専巧	ζ	2	6	_	12	修士(保健医療 学)	1. 33	平成23年度				
	医療科学専攻		3	2	_	4	博士(医療科 学)	1. 25	平成30年度				
	附属施設の概要		e 在 : 置年月	的:鍼灸	府大阪市 19年4月	内臨床実	፯術所 経習のため ፯南港北1丁目2€	6番16号(森ノ宮医	療大学内	J)		

別記様式第2号(その2の1)

		教育	課	程		等		の	1	既	<u> </u>	更				
(1	保健医療学部	形 診療放射線学科) 【			単位数	r	*	受業形]	能	I	恵任老	か昌 筌 は	の配置			
					1112	Ì	1,		実		4 1774					
	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験	教	准教	講	助	助	ſi	
				修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
		基礎ゼミナール	1前	2				0	П	1	1				兼1	オムニバス
	科	物理学	1前	2			0								兼1	
	学的	生物学	1前		2		0								兼1	
	思	化学	1前		2		0								兼1	
	考	情報処理	1前		2			0							兼1	
		統計学	1前		2			0							兼1	
	人	心理学	1前		2		0								兼1	
بيد ا	間	生命倫理学	1前	2			0								兼1	
教養	理	哲学	2前		2		0								兼1	
教養科	解と	社会福祉学	1後	2	_		0								兼1	
目	社	日本国憲法	1後		2		0								兼1	
群	会	東洋史概説 西洋史概説	2後		2		0								兼1	
		英語 I (初級)	3前 1前	2			0	0							兼1 兼2	
		英語Ⅱ(中級)	1後	2				0							兼2	
	語	英会話	2前		2			0							兼1	
	学	医学英語	2後		2			0							兼1	
		基礎英語演習	2前		2			0							兼1	
		応用英語演習	2後		2			Ō							兼1	
		小計 (19科目)	_	12	26	0		_		1	1	0	0	0	兼11	_
		MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			0			1						
		チーム医療見学実習	1前	1				0		1		1				
		医療コミュニケーション	2前	1			0			1			1			
		チーム医療論	2後	1				0		1						
学		IPW論	3前	1				0		1			1			
部共	保 健	基礎体育	1後		1			0							兼1	
通	医	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2		0								兼1	
科	療	健康管理学I	2前		2		0								兼1	
目群		健康管理学Ⅱ	2後		2		0								兼1	
"		栄養学	2後		2		0								兼1	
		身体運動科学	2前		2		0								兼1	
		東洋医療概論	3前		2		0								兼1	
		統合医療概論	3前		2		O								兼3	オムニバス
		小計 (13科目)	_	5	15	0		_		5	0	1	2	0	兼8	1 —

				課	程		等		の	t t	既	罗	要				
(1:	呆健	医療学部	形 診療放射線学科) 			単位数		授	受業形態	焦		専任参	数員等の	の配置			
		·目 [分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備	請考
		基礎科目演習	数学 数学演習 物理学演習 生物学演習 化学演習 小計 (5科目)	1後 1後 1前 1前 1前	0	2 1 1 1 1 6	0	0	0 0 0		0	0	0	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1	
学科専門科目群	専門基礎科目	疾病の成り立ち	小計 (5件日) 医学概論 公衆衛生学 人体の構造Ⅱ 人体の機能Ⅱ 人体の機能Ⅱ 生化学 病理学 内科学Ⅱ 薬理学 看護学概論 基礎医学演習 外科学 教急災害医学	一 1前 16 16 16 16 16 16 16 26 26 31 26 41 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 46 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	0	0000000000000000	0		1 1 1	0	0	0	0	兼3 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		並びに放射線の科学及び技術保健医療福祉における理工学的基礎	小計(15科目) 電気・電子工学 医用工学 工学演習 情報処理工学 医療統計学 放射線生物学 放射線化学・生物学演習 放射線物理学 放射線計測学 放射線制測学 放射線科學 専門基礎科目実験 小計(13科目)	一 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 16 16 16 17 17	12 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2	1 1 1 1	0	0 0 0 0 0 0 0	0	0	1 1 1 1 2	1 1 1	1 1 1	2 2 2	0	兼8 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	

			 教 育	課	程		等		カ		既		Ę.				
(1 .	呆健!	医療学部	『 診療放射線学科)	1714	,		•			,	.,,,						
(P	T INC.	Z/// 1 P	P RZ DRAZATIJAK 1 ATT			単位数	:	授	受業形!	態		専任参	女員等(の配置			
	±Ν									実							
	科区	分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験・	教	准教	講	助	助	備	i 考
					修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
_			放射線医学概論	1後	1			0		百						兼1	
			X線撮影技術学 I	2前	2			0			1					VK.T	
			X線撮影技術学Ⅱ	2後	2			0			1						
		診	X線機器工学	2前	2			0			1						
		療	放射線撮影技術学	2前	2			0			1						
		画 像	CT・MRI撮影技術学	3前	2			0			1						
		技	CT・MRI機器工学	2後	2			0			1						
		術学	撮影技術学・機器工学実験 I	2後	1					0	1			1			
		子	撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	3前	1			_		0	1	1		1			
			画像解剖学	2前	1			0								兼1	
			画像解剖学演習	4前		1			0			1					
			機器工学演習	4前	1.0	1	0		0		1			0		}/ *0	
			小計(12科目)	-	16	2	0		_		3	1	0	2	0	兼2	_
		核 技医	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			0			1						
		術学	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			0		_	1						
		学検	核医学検査技術学実験	3前	1					0	1		1	1			
		査	放射性薬品学	3後	1			0					1				
			小計 (4科目)	_	6	0	0		_		1	0	1	1	0	0	_
		放 技射	放射線治療技術学I	2前	2			0			1						
		術線	放射線治療技術学Ⅱ	2後	2			0			1						
		学治	放射線治療技術学実験	3後	1					0	1			1			
学科		療	放射線治療学	3前	1			0								兼1	
専	専門		小計 (4科目)	_	6	0	0		_		1	0	0	1	0	兼1	_
門科	科	医田田	画像工学	2前	2			0			1					37	
目	目	報用 報画 学像	医療情報学 医用画像情報学	2後	1			0								兼1	
群			医用画像情報学実験	3前	2			0			1	1		1			
		情	小計(4科目)	3後 —	6	0	0			0	2	1	0	1	0	兼1	_
		放	放射線安全管理学			U	U					1	U	1	U	W.I	
		管射		2前	2			0			1						
		理線 学安	放射線関係法規	3後	1			0								兼1	
		全	安全管理学実験	2後	1					0			1	1			
			小計(3科目)	_	4	0	0		_		1	0	1	1	0	兼1	_
		医															
		理学 全	医療安全管理学	946	2						1						
		学全	区原女王自在于	3前				0			1						
		管															
			小計(1科目)	_	2	0	0		_		1	0	0	0	0	0	_
		画 傻	臨床画像解剖学	3前	2			0								兼1	
		技術						1									
		**************************************	臨床画像解析学	3後	2			0								兼1	
		•		_	4	0	0		_		0	0	0	0	0	兼2	_
		II/ L	臨床実習 I	3後	6	_				0	5	1	1	2	_	/184	
		臨床	臨床実習Ⅱ	3後	2					0	5	1	1	2			
		実	臨床実習Ⅲ	4前	2					0	5	1	1	2			
		習	臨床実習ゼミナール	3通	2					0	5	1	1	2			
			小計(4科目)	_	12	0	0		_		5	1	1	2	0	0	_
											•						

				数	育		課	程		等		の	†	既	Ē	更				
(化	呆健	医療学部	祁 診療放射線学	科)																
									単位数	(抒	受業形	態		専任教	数員等(の配置			
		·目 I分	授業	科目の)名称		配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	偱	持
		診	补库证 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 +	A-t-, ⊕#k			160				_		首				,			
		療	診療画像技術学	符講			4後	1			0			2			1			
	専門	特射 講線	核医学•放射線	治療学	4特講		4後	1			0			2						
	特		放射線技術学特	講			4後	1			0			1		1	1			
学科	講	技 術	基礎医学特講				4後	1			0				1					
科専			小計 (4和	科目)			_	4	0	0		_		5	1	1	2	0	0	_
門		先	先進核医学				4前		1		0			1						
科目		進 術科	先進放射線治療				4前		1		0			1						
日 群	研	学 学	先進画像解析学				4前		1		0			1						
	究	技	先進医学	O			4前		1		0			1						
	分野		小計 (4和	抖目)			_	0	4	0		_		4	0	0	0	0	0	
	判	研卒	卒業研究 I				3通	2				0		6	1	1	2			
		究業	卒業研究Ⅱ				4通	2				0		6	1	1	2			
			小計 (2和	科目)			_	4	0	0		_		6	1	1	2	0	0	_
			合計(109科目	1)			_	110	60	0		_		6	1	1	2	0	兼36	_
		学位又	に称号	学士	二(診療	放射線	学)	学	位又	は学科	の分	野	保健衛生	生学関係	(看護学	関係及び	ブリハビ	リテーシ	ョン関係	を除く。)
		卒	業要	件	及	びり	覆 修	方	法						ž	受業期	間等			
4年以上在籍し、教養科目群「科学的思考」、「人間理解と社会」から必修 選択4単位以上、「語学」から必修4単位+選択2単位以上、学部共通科目群 修5単位+選択2単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目「基礎科目演習」								通科目群から			5必			}			2	学期		
択3 単位 かり	単位 立以. 5 必	Z以上、 上、「伊 修17単位	「人体の構造と R健医療福祉に エ+選択1単位以	機能 おける (上、	及び疾症 5理工学 学科専門	南の成り 的基礎 門科目群	立ち」か 並びに放射 の「専門	ら必修 対線の 科目」	12単位 科学及 から	位+選 なび技 必修50	軽択1 術」 6単位		1 学期	明の授	業期間	T				15週
2単	選択1単位以上、「専門特講」から必修4単位、 単位以上の計126単位以上修得すること。なお、 以内とする。												1 時限	見の授	業時間	1				90分

/ I 🗆 / / / /	e e w	授業	科 目 の 概 要	
和	医療子言 - - - - 	部診療放射線学科) 授業科目の名称	講義等の内容	備考
		基礎ゼミナール	本演習は、新入生が大学生としての役割を身につけることができるように、学生を支援することを目的としている。具体的には、学生を少人数のグループに分けて担当教員を配属し、(1) 大学での学修に必要で、かつ高等学校までの教育において修得すべき内容の教育、(2) 講義ノートの取り方・教科書の読み方、レポート・論文の書き方や文献の探し方、(3) 大学生に求められる一般常識や態度、(4) 専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育などについて、ディスカッションを交えて演習を行う。本科目の単位認定者は小縣裕二である。 (オムニバス方式/全15回) (1 小縣 裕二 ・7 今井 信也/8回) 専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育などについて、ディスカッションを交えて演習を行う。 (11 阿部 秀高/7回) (1) 大学での学修に必要で、かつ高等学校までの教育において修得すべき内容の教育、(2) 講義ノートの取り方・教科書の読み方、レポート・論文の書き方や文献の探し方、(3) 大学生に求められる一般常識や態度について教授する。	オムニバス方式
		物理学	物理学は自然現象を素粒子のような小さなものから宇宙のような大きなものまで、統一した概念で説明できるように発展してきた。そのような物理の基礎的概念は自然現象を説明するだけでなく、テレビや携帯電話、コンピュータ、脳の働きの理解にまで応用されている。ここでは、自然現象を定量的に理解するために必要な数学的事項、物体の運動を理解する力学、波の性質、熱力学とエントロピー、電場、電流と磁界、電磁誘導と電磁波、光の性質、相対性理論、原子と原子核などについて、幅広い知識を教授する。	
教養科目群	科学的思考	生物学	今日生物学の知識は爆発的に増え続け、生命科学の分野だけでなく自然科学全体にも深く関与し、人文科学や社会科学にも影響を与えている。多様化した生物学の分野で、細胞の概念をとらえることは重要である。そのために、細胞とはどういうものであるか、その細胞構造の中に含まれている細胞内小器官はどのような働きをするのか、細胞はその内部や外部に対してどのような情報伝達の仕組みをもっているのか、生殖・発生・分化の仕組みはどのようになっているのか、などについて教授する。	
		化学	化学は自然界のさまざまな物質の成り立ちや振る舞いを理解する学問である。そのために、原子の構造とその結合、固体、液体、気体などの物質の状態、溶液の性質、化学反応と熱の授受、化学反応の速さと平衡、金属や非金属とその化合物、有機化合物、量子化学の基礎など、幅広い範囲について教授する。	
		情報処理	本演習では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等に役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算を中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の修得を目標とする。また、技術の修得のみならず、情報化社会に必要な倫理観を養うため個人情報保護法等についても教授する。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)はWindowsを、ソフトウェアはマイクロソフトのWord、Excel等を使用する。	
		統計学	本演習では代表値や相関と回帰を学ぶことで医学データのまとめ方や確率の基礎・分散分析などを理解する。データと標本調査について解説し、統計学的推定と検定、割合・率・比・リスクについて学んだあと、リスク比、オッズ比、オッズ差の信頼区間へと学修を進める。相関関係と因果関係について学んだあと検定・推定と標本数の関係を理解することで、研究の妥当性、コントロールの必要性、治療の効果、疫学研究から因果関係を調べるための考え方を教授する。	

/ / I			業 科 目 の 概 要	
科	医療子音 	形診療放射線学科) 授業科目の名称	講義等の内容	備考
		心理学	心理学を学ぶことで心の仕組みと働き、さらには人間理解を深め、多方面で激動する現代社会の中で、先見性と方向性をもった活動をするための礎の確立を目指す。心理学の基礎的な理論や概念を教授し、さらにそれを実証するための研究法も教授する。また認知心理学分野、対ウンセリング、ストレス、犯罪心理、家族心理、社会心理などについて学修し、患者心理に向き合い医療従事者として必要な、こころのケアについても具体的に教授する。	
		生命倫理学	脳死や安楽死など、現代医療の進歩は、これまで人類が直面したことのない問題を新たに生み出すようになっている。医療現場でも救急医療では、死に直面する機会にも遭遇する。本講義では、そうした生命倫理の様々な問題を考察しながら、同時に「私達にとって生きるということはどういうことか」を考えさせる。生命倫理の問題は、当事者になって初めて意識するというものではなく、現代人のすべてにそうした生への問いを投げ掛けているということを概説する。	
		哲学	哲学の基礎として、「世界、人間、神」について哲学的に考えることを解説する。著名な哲学者らが、それらについてどのように考えてきたかを考察し、それらへの理解を哲学的に深めるとともに、彼らにある根本や全体から考えるといった哲学的思考方法の基礎を学び、次に東洋哲学と西洋哲学の特色を教授する。	
教養科目群	人間理解と社会	社会福祉学	社会福祉の発達を社会環境の歴史的変化との関連で捉え、社会福祉諸法の概要をその成立根拠をふまえながら解説する。また、わが国の社会福祉の特徴や問題点、福祉サービスの現状を解説すると同時にその活用法について実生活との関わりの中で理解する。さらに、少子高齢化の進展をはじめ社会福祉を取り巻く環境が近年大きく変化するなかで、今後の社会変動と社会福祉制度・活動の動向について教授する。福祉の動向・課題について関心を持ち、自らの考えを持ち行動する態度を養うため、新聞記事等から事例を示し考察させる。	
		日本国憲法	法を学ぶということは、単に法技術を修得することではなく、法を解釈することを通して客観的・論理的に思考する能力を養うことである。本講義においては、過去の歴史的背景や出来事を含めて、われわれの周りに起こる出来事を取り上げ、憲法がわれわれにとって非常に身近であることを認識させる。さらに、障害者や母子家庭、父子家庭のこどもたちなどの社会的弱者の問題を含めた、さまざまな社会問題を、人権保障の観点から包括的に考察させる。	
		東洋史概説	文献や近年の考古学の成果などを踏まえ、時間的視点・空間的視点でその地域をとらえながら、東アジア世界が果たした役割を歴史的観点から考察する。また、本講義においては、「医学の歴史」の観点からアプローチを行い、東洋医学の背景にある文化や思想について理解する。そして、東洋医学に対して中国医学がどのように影響を与えたかについて考察させる。	
		西洋史概説	本講義では、西洋史における民族社会の形成や文化の歴史的発展を考察し、その基本的問題や特性を理解する。また、西洋の歴史を古代文明から継承されたいくつかの要素を基に掘り起こし、民族社会の形成と発展、キリスト教文化圏や国家の形成等に焦点を当て解説する。なお、本講義においては、西洋における「医」の考え方や歴史的展開等について時間軸に沿った変化を考察させる。	

(保健	医療学音	授 業	科 目 の 概 要	
和	<u> </u>	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		英語 I (初級)	英語Iでは、単語・熟語・慣用句の知識を含む語彙力や、文意を正確つかむ文法力を養い、日常生活で目にするようなレベルの会話文を含む英文を読んで理解する力の修得を目的とする。また、未知語の推測や背知識、文化的背景の違いに関する知識などを活用して、文章の概要や要を速く正確に読み取る技術や読解力を養う。医療用語を含めた文章中のキーワードを頼りにして速読を行い、書き手の意図を速く正確に捉える解力を養う。	り、 背景 更点)
		英語Ⅱ(中級)	英語IIでは、英語Iで獲得した英文読解の知識や技術をさらに発展さることを目的とする。さまざまな分野の英文を多量に読むことにより、級から上級のレベルの英文を速く読んで正確に理解できる力を養う。/グラフの構成や展開に注意して要点を把握するなど、英文読解に必要な術にも触れながら、速読・多読の演習を行い、重要な情報を正確につた読解力を養う。速読によって得た情報をもとに議論をし、文章作成能力基礎を養う。	中 パラ は技 いむ
教養科	語	英会話	英会話では、日常生活で用いられる定型的・慣用的な表現について角し、その表現を自由に使えるように基礎的なコミュニケーション能力の成を目的とする。日常生活で自然な速度で話される英語を聞き取りその容を理解する力を養うだけでなく、日常の話題について基本的な英語表を用いて自由に表現できる能力の獲得を目指す。対話における受け答案がでなく、自らも問いかけができるような、会話を発展させる能力をもい、十分な自己表現ができることを目指す。) 養 う内 長現 とだ
目群	学	医学英語	医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため(1) コミュニケーションの構成要素について学修し、(2) 臨床現場で者の主訴等の発話を正確に理解したり、英語でしかコミュニケーションとれない患者に対して検査や採血などの行為を行うケースを想定し、見的に教授する。また患者説明時に、患者の誤解を招かぬように指示を行るために必要となる、的確な表現や語彙の選択能力を日本語・英語の本点を踏まえて解説する。	で患 /の 具体 云え
		基礎英語演習	基礎英語演習では、基礎的な日常会話コミュニケーション能力の向」 焦点を当てながら、総合的な英語運用能力を培うことを目的とする。 ような運用能力を修得するために、(1)日常的な場面で使われる英語 語彙・熟語・構文・文法を確認し理解を深め、(2)実際の会話文のモ ルパターンを数多く理解し、またそれらの暗記を実践し、(3)様々な 材を読んだり、聴いたりすることにより正確に要点を捉える能力を育 る。英語のコミュニケーション能力の評価基準となるTOEICで450点(上)に相当する英語運用能力修得を目標とする。	たの の デ 題
		応用英語演習	応用英語演習では、基礎英語演習で獲得した総合的な英語運用能力を らに発展させることを目的とする。基礎英語演習で修得した語彙力・プカ・リスニング力・読解力を総合的に定着させ、日常の様々な場面にまて、その状況や文脈を理解し、自ら情報を発信することができる、レイアップした英語運用能力の獲得を目指す。英語のコミュニケーション信の評価基準となるTOEIC で500点(以上)に相当する英語運用能力修得目標とする。	て法 らい ドル 能力
学部共通	保健医	MBS (Morinomiya Basic Seminar)	本授業は、大学生としての学修や生活をスムーズにスタートできるよう、教育課程(カリキュラム)及びその履修方法、学生生活のルール等ついて概説する。また、本学園の歴史、建学の精神の意味、ディプロ・リシー等についても教授し、医療の歴史及び医療の現在と未来、ひいて医療全般への理解と興味を深めさせることで、医療を学ぶ大学生としてさわしい「学び方」や「スキル」を養うと共に医療従事者としての意識成を図ることを目標とする。	等に マポ こは こふ
科目群	療	チーム医療見学実習	医療の実践現場である病院等の施設において "医療従事者の1日" に着体験することによって医療職への理解を深めさせるとともに、個々の生が目指す専門職の役割やチーム医療を構成する様々な専門職との関係ついて学ばせる。また、インター・プロフェッショナル・エデュケーシンの視点から、医療における多職種連携の重要性及びチーム医療の実際ついても教授する。	D学 系に /ョ

(促健	医療学並	授業務務分類	科目	の概	要	
彩	 	授業科目の名称	詳書	義等の内容		備考
		医療コミュニケーション	医療現場において、医療の専門 めには患者とのコミュニケーショ 医療従事者と連携をして患者の治ニケーションは連携のための重要 や医療従事者とコミュニケーショ する。	ンは欠かすことができた 療にあたることが求め な手段の1つである。本	ない。また、他の られるが、コミュ 講義では、患者	
		チーム医療論	自学科以外の職種について理解中心の医療安全を実践できる医療 中心の医療安全を実践できる医療 職種の特性や内容について学び、 患者との間に生じる考え方のギー かすことができるパーソナリティ 期に開講するIPW論への礎とする。	人としての心構えを教 体験することで、医療 ップを理解し、コミュー を身につけることを目	受する。併せて他 送事者間ならびに ニケーションに生	
		IPW請	本学が有する鍼灸学科、理学療療法学科、臨床工学科と診療放射 る症状、障害、危機管理、診療計 際について教授する。実際の症例 職間連携"の理念を実現するため 者の意見を聞き自らの意見を明確 事者主体の原理に立ったアプロー	線学科の7学科におい 画などをテーマにチー を想定し、各学科の専 の方法について討議さ に伝える能力を修得さ	て各分野に共通す ムアプローチの実 門性を基に"専門 せる。その際、他	
学部共通科目	保健医療	基礎体育	スポーツ(運動)を実施する目 イエット等、実施する個人によっ 様なスポーツ・運動種目を用意し の理論と実際を、スポーツ(運動 を提供する。その中で、体力のレ た、スポーツの実践を通じて、学 歴にわたり楽しく、計画的にスポ ことも本演習の大きな狙いである	て多種多様である。本、 、目的に応じた効果的)の実践を通じて学べ ベルアップや身体動作の 生同士の心の交流や人 ーツ(運動)を実践す	寅習では、多種多トレーニング方法 る授業プログラム の向上を図る。ま 間関係を育み、生	
群		健康科学(スポーツ社会学を 含む)	健康に対する意識が高まり、健 いる近年、マスメディアを通じて 情報には、科学的根拠が乏しいも の生活習慣や食生活の変化、およ さらに生活習慣病、地域社会にお 考え方、健康管理に関する科学的 指す。	流されているダイエッ のも少なくはない。本 び健康維持に不可欠なが ける健康維持、増進に	トや運動に関する 構義では、日本人 知識を教授する。 関わる取り組みや	
		健康管理学 I	本講義では、運動不足の健康へ レーニング法の原理・原則を教授 とを解説し、運動独度の指標を理解 う。また、運動強度の指標を理 対法や、ウォーミング 方プログラムの構成についても解 持に肥満や生活習慣病との関係お 重要性を理解するともに、肥満 量の方法を解説する。また、講義 代謝測定を通じて、栄養素の種類 の栄養所要量、日常生活のエネル 養所要量を算出するための方法論	する。特に、有酸素運 強度・時間・頻度)に し、健康づくりのための よび、クール・ダウセン 説する。さら活を確立を はびは康を正しい解する。 はびは康を正しい解すると に関すでなく実際 にだけでなく実際 がとその機能、 、、グ消費量、 、が、クール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	動の健康上の 原上の 原上の 原知所たを 最重動所た病の を含とためけて での をでいる での をでいる での をでいる での での での での での での での での での での	
		健康管理学Ⅱ	近年、生活習慣病の危険因子がを多く有する人は疾病に罹患するは、日常生活においていかに健康すいる。本講義では、疾病構造の変し、メディカルチェック)に関する尺度となる体力について、理解をに立って運動が健康づくり、特に受する。また、個人および集団のから予防し、維持・増進するためる。	確率も高くなることから 管理を行うかについての 化と体力・運動不足のに 基本的な考と同時に役よ 生活習慣病予防に役立、 健康の現状を把握し、	ら、現代社会で の関心が高まって 関連性、健康診断 び健康でのので、 が健康でいる。 がは、 関連性、 でのので、 でのので、 でのので、 でのので、 でので、 でのので、 でのので、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい	

非医療 学音	授業	科 目 の 概 要	
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	栄養学	み、生命を維持していく現象を指す。ここでは医療人として必要な ある、栄養と生命活動に焦点を絞った内容を教授する。それらは食 疾病の関連、摂取した栄養素の体内での働き、植物の消化と栄養素 収、エネルギー代謝、脂質・タンパク質・ビタミン・ミネラルの代	知識で 生活と の吸 謝、遺
	身体運動科学	などの身体活動に対する生体の一時的変化や適応現象のメカニズム て教授する。また身体活動の生理学的基礎と、健康、競技スポーツ 生活習慣病予防のためのトレーニング方法について解説する。さら 学的な見地から、運動時の筋力増強や、心肺機能を増強させるため	につい および に栄養 に効果
保健医	東洋医療概論	ンスの検証が進むにつれて批判的吟味と見直しが行われ、有効性と が示されたものについては現代医療の中で応用する試みがなされる なってきた。東洋医学は心と身体の調和を重視しており、その考え 体的な手法を学ぶことは、健康増進だけでなく健康回復の過程にお 充実した生活と人生観を取り戻す一助になると考えられる。この授 は、東洋で発祥し伝承されてきた各種治療体系の概要・生命観・具	安全性 ようや う た う で で で が も 、 業 体 り 手 い き で り で り で り で り で で で で で で で が も が も が も が も が も が も り も り も り も り も
療		視しながら患者を包括的にケアすることを目指す統合医療の概念をる。まず、今日の医療に必要なEBMの概念と治療法の批判的吟味の允ついて理解させ、次に統合医療の定義、従来の医療や補完代替医療い、統合医療の普及状況、現代における統合医療の必要性についてる。また、各論として統合医療を構成する個々の主要な補完代替療いても概観し、それを実際に臨床応用している医療機関の実践手法	教授す :方に との違 解説す 経につ を解説
	統合医療概論	における倫理、代替医療概論、代替医療の主な診断治療体系の特徴 医療の概念と現状、および統合医療の理解と応用について解説する。 (16 森 美侑紀/2回) 代替医療における代表的な手法の一例としてアロマセラピーの概 際について解説および実演をする。 (25 増山 祥子/3回)	要と実
		研究デザイン、有効性検証のための臨床試験、手技療法の概要とついて解説および実演をする。	実際に
	数学	学の学修には数学の基礎知識とシンボルを用いた表現力は不可欠で 本講義では放射線科学・技術の理解を深めるために必要となる指数	ある。 関数、
基礎科目演習	数学演習	的事項について、「数学」で学修した指数関数、対数関数、三角関 を演習形式で計算問題を中心に具体的に例題等を提示しながら概説 さらに各種数式等について実際にグラフを書く演習と徹底した解説	数など する。 を通し
	物理学演習	礎的事項について、「物理学」で修得した自然現象を定量的に理解 めに必要な数学的事項、物体の運動を理解する力学、波の性質、熱 エントロピー、電場、電流と磁界、電磁誘導と電磁波、光の性質、 理論、原子と原子核などについて演習形式で概説し、物理学的なも	するた 力学と 相対性 のの見
	科区 保健医療	E 医療学部	接着日の名称 (大変科目の名称 (大変科目の名称 (大変科目の名称 (大変科目の名称 (大変教と生命が増殖、成長、活動するために外界から必要な物質をみ、生命と維持していく現象を目前。ここでは変数人として必要を対しているの。 (大変教と生命に進んを使った地震を対したと栄養学 (大学教生と素質の関係、人間の成長発達と栄養が要量ならびに栄養 (大学教生と業質の関係、人間の成長発達と栄養が要量ならびに栄養 (大学教生と業質の関係、人間の成長発達と栄養が要量ならびに栄養 (大学教生と業質の関係、人間の成長発達と栄養が要量ならびに栄養 (大学教生と業質の関係、人間の成長発達と栄養が要量ならびに栄養 (大学教生と業質を関係があたがする生体の一時的を選修、日常生活が大きなどの保護を対した。また女権活動のサーニング方法について発度さる。また女権活動のサーニング方法について発度さる。また女権活動のセーニング方法について発生を対して、大きた女権活動のセーニング方法について発生を対した。また女権活動のセーニング方法について発生を対して、大きたのからな栄養やその機能が進むについては現代技術の中で応用を対して、有効性とが示されたものについては現代技術の中で応用を対し、人物性とが示されたものについては現代技術の中で応用を対し、人物性とが示されたものについては現代技術の中で応用を対し、大部性とが示されたものについては現代技術の中で応用を対し、大部性とが示されたものについては現代技術の中で応用を対し、大部性を持ちないました。東洋医学大型を表しました。と考えもの、この受責は、実体で発性と続きのでは特に対象があると考えない。この受責は、実体で発性と表しましていると考えら、この人情を対していると考えら、この人情を対していいた。と考えら、この人情を対していいた。と考えら、この人情を対していいて、対していいて、対し、大きな、などとしていいで表しましていいと変数性を表していいても関係としていいと変数性をは、よる、発音としていいると変数性を表しましていいて、関係を表していいて、関連を対していいて、関連を対していいて、対し、とは、大きな、となど、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、とは、大きな、との人を対し、との人を対していいでを表しましていいで、対し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を入し、との人を

(10.1	-t	授業	 科	目	0	概	要	
	運医療字音 科目 区分	部診療放射線学科) 授業科目の名称		i	講義等の内容	<u> </u>		備考
	基礎科	生物学演習	礎的事項について や外部に対しての	て、「生物学」 では では では では では では では では では では では では では	で修得した糸 、生殖・発生 ものの見方	細胞の仕組み 生・分化の仕	さとなる生物学の基 、 細胞による内部 組みなどについて で表現方法につい	
	目演習	化学演習	的事項について、 体、気体などの物 の速さと平衡、金	「化学」で学 物質の状態、溶 全属や非金属と 習形式で概説し	修した原子の 液の性質、化 その化合物、 、化学的な	の構造とその 化学反応と熱 有機化合物 ものの見方・	さとなる化学の基礎 結合、固体、液 の授受、化学反応 の、量子化学の基礎 考え方および表現	
		医学概論	会構造の変化など 講義では、医療の (evidence base を概説し、医療 に、チーム医療の	ごに伴い、医療 D本質、現代医 d medicine)、 の基盤となる D重要性を鑑み	を取り巻くま 療の問題点、 インフォー いべき精神・ま 、他医療専門	環境は大きく 生命倫理、 ムドコンセン 考え方・知識 門職分野の知	価観の多様化、社 変化している。本 患者の権利、EBM ント、医療経済等 減を教授する。さら 識・現状も概説 診療の在り方を教	
学科専	· F	公衆衛生学	を取り扱うことが 多岐にわたり、優 通して身体的・料 に役立つ公衆衛生	いら社会医学と 建康に影響をお 情神的機能の増 E」を基本とし	も呼ばれる。 よぼす様々が 進をはかる て、公衆衛	公衆衛生学 なリスクを同 学問である。 生学の理論、	とは社会水準で健康 たが網羅する領域は 1定し、予防活動を 本講義では「社会 衛生統計、衛生行 精神保健などにつ	
号門科目群 基礎系 E	と	人体の構造 I	環・内臓系は人体有する臓器を包含 置関係や、臓器- 「システム」とし	本の恒常性維持 なしている。 循 一つ一つの構造 しての連携した る称の暗記に留	、すなわち 環系と内臓 を学修する。 形態と機能の まらず、機能 ないである。	主命維持にお 系の構成要素 ことにより、 の理解に繋が		
	の成り立ちの成り立ち	人体の構造Ⅱ	神経系と中枢神経外界の情報を中枢を効果器に伝えるを整理するととも的な命令を効果器	E系から構成さ 区神経系に送り る神経系である っに、中枢神経 器に出力する。	れる。末梢ネ 、また中枢ネ 。中枢神経ラ 系内に蓄積る これら神経ラ	申経系は感覚 申経系で処理 系は末梢神経 されている情 系の構成要素	こる。神経系は末梢 は器によりされた。 器によりされた命令 とれた合さの感覚情報 を統合して最終 の基本的構造を教 にいる重要性の理解	
		人体の機能 I	胞の一般に続き、 した脊髄や脳幹の ついて解説する。 び中枢での情報 解説する。また、	神経と筋の機 機能、小脳、 また、体性感 型理について解 感覚や運動の づけを含めた系	能、神経系の 大脳基底核、 対し、特殊感覚 がし、感覚が でいる。 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	の解剖を概談 大脳皮質に きの受器レ が運動の調節 習により記憶	生理学の意義、細 記し、反射を中心と よる運動の調節に べんでの特性およ 記にも関わることを 記に変換される過程 る。最後に、自律	
		人体の機能Ⅱ	説する。呼吸、循 で概説する。自律を の多くが生体にタ バック機構を備え	盾環、消化につ た、排泄、循環 神経との関連も ト乱が加わって と、外乱に対し に命維持機能の	いて解説した は、体温などの たまめながら も生体の内容 で予測的に で予測的に ででである。	こ後、運動機 の機能につい 解説する。さ 部状態を一定 内部状態を制	の機能について解 能との関連につい で解説し、内分泌 らに、植物性機能 に保つフィード 関御することを解説 維持機構の解明に	

(1	□ <i>b</i> ≠ı	그 #= ^^ *	授業	科 目 の 概 要	
(1:	科	医原子司 目 分	『診療放射線学科》 授業科目の名称	講義等の内容	備考
			生化学	生化学は生命現象を分子レベルで学ぶ学問である。本講義では人体を構成している化学物質の生体内での生物化学反応と生命維持との関わりについて教授する。糖質、アミノ酸、タンパク質、脂質、核酸などの主要な生体構成物質の構造と機能およびその合成と分解の代謝経路の詳細について解説し、生命活動が多様なシステムにより構築されていることを教授する。分子生物学、ゲノム解析学、構造解析学、実験技術などの最新の進歩に関しても教授する。	
			病理学	病理学とは、病気の原因や病変の成り立ちを、形態的変化や機能異常の面から明らかにする学問であり、病理診断を通じて臨床医学と密接に関係している。本講義では、病理学総論(細胞傷害・適応、炎症と修復、循環障害、代謝異常など)により、種々の病変における臓器、組織、細胞レベルの形態的変化とそのメカニズムを理解するとともに、病理学各論(各臓器・器官系)により、各疾患にみられる病的形態変化と病態との関係について解説する。	
		<u>,</u>	内科学 I	よき医療人になる上で必要不可欠な内科学について講義する。診断学・ 症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。診断学・症候学で は人体の解剖学的構造・生理機能などを考慮し、系統的に理解させる。ま た循環・呼吸・消化・肝胆膵の各種疾患について臓器別に講義を行い、そ の病態メカニズムを把握させ、症状を論理的に説明できるようにし、同時 に治療の合理性を理解させる。さらに臓器のつながりを考慮し、各種疾患 の関連を系統的に講義する。	
学科専門科目群	専門基礎科目	疾病の成り立ち体の構造と機能及び	内科学Ⅱ	内科学Iで学修した総論の内容を踏まえ、消化器、循環器、呼吸器、泌尿器、免疫系、神経・筋疾患、感染症などの代表的な疾患を取り上げる。これらの疾患の成因と病態生理について理解し、定義、症状、検査法(検査の解釈を含む)、診断・鑑別診断、経過と予後、治療方法について解説する。さらに、内科学Iで学修した分野の疾患も含め、各種内科疾患についての知識を整理すると共に症候から鑑別診断・確定診断へと至る思考のプロセスについて教授する。	
			薬理学	薬物が生体に与える効果について、理論的に考察できるようになることを目標とし、生体内で薬物と生体構成分子がどのように関わりあって作用を示すのか解説する。薬の作用は薬物分子とその受容体との相互関係により引き起こされる。主な薬物の用量と作用の関係、アゴニストとアンタゴニスト、主作用、副作用、有害作用、毒性との関係について教授する。さらに、各種疾患の治療や予防において薬物を適切かつ効果的に使用するために必要な基本的知識を教授する。	
			看護学概論	本講義では、「健康の概念」「看護の定義」を理解させ、看護・看護学の歴史的発展過程と現状、今日の看護学を形作っている基礎知識を教授する。チーム医療を実践する上で診療放射線技師が看護師と連携・協働するために必要な看護・看護学への理解を深めることを目指す。	
			基礎医学演習	基礎医学演習では、「人体の構造Ⅰ」「人体の構造Ⅱ」「人体の機能Ⅰ」「人体の機能Ⅱ」「生化学」「病理学」及び「免疫学」で学んだ知識を基盤として、診療放射線技師として必要な"人体の構造と機能及び疾病の成り立ち"について理解を深めることを目標とする。人体の構造・機能、疾病に関する演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図り医学的なものの見方・考え方を教授し、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	

4.			授	業	科	目	0)	概	要	
(1	科		『診療放射線学科) 授業科目の名称				講義等の内容	£		備考
		疾病の成り立ち人体の構造と機能及	外科学		るため、疾患の 呼吸器・泌尿器 装置が用いられ	病態を理解する ・消化器・脳神 ている。本講覧 しく言及し、「	ることが必要で 申経領域では 養は各領域の 野時に手術手	である。特に 食査・治療に 失患の病態生 去についても	療装置が使用され 、整形・循環器・ おいて様々な診断 理について外科的 概説し、外科分野 る。	
		仮り立ち と機能及び	救急災害医学		急性・救急疾患 について教授する 合型災害を含め、 内容は、急性期	に対し、その相 る。また災害 た集団災害に対 (72時間まで) 性期、慢性期の	既要、病態生態 医学分野におり 対する系統的な のトリアージ の疲弊による	里、症状、診 いては自然災 な医療につい ジ・応急処置 連康問題への	患の急性増悪など 断、治療、予後等 害・人的災害・混 て解説する。療機関 対応等について教	
			電気・電子工学		ために必要な電視させることを目標安全の確保に、 回路、さらに各種	磁気学・電気 際とする。具体 必要な電気・管 を機器において でと半導体ディ	工学および電 本的には、画修 電子工学の基礎 て重要な役割を ベイスの動作を	子工学分野に 象機器のメカ 巻である電電 を演じる電子 と学ぶことで	の原理を理解する 関する知識を修得 ニズムの理解や医 気がの現象、直流 の仮りの が放射線診療機器 を目指す。	
学科専門	専門基	並びに放射線の保健医療福祉にお	医用工学		工学分野の知識 学修に必要な電 子工学的技術に 圧器・高電圧回	を修得させる 気・電子回路の ついて概説する 路およびコンラ 機器の原理を理	ことを目標とすの基礎知識およる。X線を発生デンサ回路、	ける。具体的 よび医療安全 生するのに必 整流回路など	に必要となる医用 には、機器工学の の確保に必要な電 要な交流回路、変 の基礎を学ぶこと る力を身に付けさ	
門科目群]礎科目		工学演習		して、診療放射 に関する知識並に 特に電磁気学、1 ついて演習を通 を図り診療放射	線技師としてが びに放射線の利 電気工学、電子 して理論的な 線技師としての	公要な"保健图 科学及び技術" 子工学及び医月 本系づけを行う の物の見方・ま	医療福祉にお について理 用工学に関す う。さらに知 考え方および	んだ知識を基盤と ける理工学的基礎 解を深めさせる。 る基礎的な内容に 識の整理と統合化 表現方法を身に付 を高めることを目	
		の科学及び技術 はお理工学的基礎	情報処理工学		とコンピュータ(とプログラミンム、データベー 測・制御の考え	の動作原理、 グ言語、ユー ス、データ通(方と方法、コン 関システム、[オペレーティン ザインターフョ 言とネットワー ノピュータが構 医療情報シスラ	/グシステム エース、デーク、コンピーク、要素とな テム事例、医	ュータの基本構成 、プログラム開発 タ処理アルゴリズ ュータによる計 っている医療・治 療現場でのセキュ	
		,,,	医療統計学		実を統計的に観 計的方法につい における医療・1 て解説する。デ	察し、処理す て必要なデータ 保健活動や健康 ータの収集・ 説明する能力、	る方法を研究。 タの収集・分析 東管理にどの。 分析及び統計的 国や地方自治	ける学問であ 所方法を教授 ように応用され が解析、統計 台体が作成す	として、多くの事る。本講義では統し、それらが地域れているかについ 学の知識やスキルる統計資料に関する。	
			放射化学		いて基礎的な知 種、放射性壊変の 人工放射性核種の RI標識化合物の 線技術の修得と	職を身に付けるの種類と壊変の の種類と壊変の製造法、放射 合成法につい 実践に必要なな 検査技術学 I 」	させることを の法則、放射素 付性同位元、必要 が教化とに関す で教化とと学校 がな医学検査	目標とする。 F衡、天然放 (RI) の化学 要な計算を する知識を身 を技術学Ⅱ」	の化学的性質につ放射性質につ放射性核種の種類と射性核種の種類と的諸性質と分離、高める。専門科目に付け、場安全管理せる。	

(1)	⊐ <i>fr</i> =+1	5 库 24 4	授業	科 目 の 概 要	
(1)	科		B診療放射線学科) 授業科目の名称	講義等の内容	備考
			放射線生物学	放射線生物学は、放射線科学・技術の修得に必要な放射線の生物学的作用について基礎的な知識を教授する。放射線の細胞に対する作用、放射線の人体への影響、放射線の生物学的効果と放射線治療について概説する。医療現場で放射線を安全に人体に照射し、放射線被曝を最小限に留めるために必要な診療放射線技術の修得と実践に必要な知識を身に付けさせ、専門科目「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅰ」	
			放射線化学・生物学演習	放射化学・生物学演習は、「放射化学」「放射線生物学」で学んだ知識を基盤として、診療放射線技師として必要な"保健医療福祉における理工学的基礎に関する知識並びに放射線の科学及び技術"について理解を深めさせる。特に(1)放射性核種の製造、(2)放射性核種の化学的作用、(3)放射線の人体への影響、(4)放射線の生物学的効果に関する知識について演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図り診療放射線技師としての物の見方・考え方および表現方法を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。	
		が保健医療	放射線物理学	放射線物理学は、放射線科学・技術の修得に必要な放射線の物理的性質に関する基礎的な知識について教授する。原子と原子核、放射線の発生、物質との相互作用、超音波、核磁気共鳴について概説する。医用画像を作成するために必要な基礎概念と電離放射線の測定原理や管理方法などの診療放射線技術の修得と実践に必要な知識を教授し、専門科目である「X線撮影技術学I」「X線撮影技術学I」「放射線撮影技術学I」「CT・MRI撮影技術学」「「放射線治療技術学II」「放射線の発生、	
学科専門科目群	専門基礎科目	並びに放射線の科学及び技術は健医療福祉における理工学的基	放射線計測学	放射線計測学は、放射線科学・技術の修得に必要な放射線測定の原理や 測定機器に関する基礎的な知識について教授する。本講義では放射線計測 の理論、放射線の計測機器、放射線測定技術について概説する。医療分野 で必要とされる放射線量の測定、エネルギー測定、放射能測定などの診療 放射線技術の修得と実践に必要な知識を身に付けさせ、専門科目である 「核医学検査技術学I」「核医学検査技術学II」「放射線治療技術学I」 「放射線治療技術学II」「放射線安全管理学」を理解するために必要とな る基礎学力を修得させる。	
		^投 術 的基礎	放射線物理学・計測学演習	放射線物理学・計測学演習は、「放射線物理学」「放射線計測学」で学んだ知識を基盤として、診療放射線技師として必要な"保健医療福祉における理工学的基礎に関する知識並びに放射線の科学及び技術"について理解を深めさせる。特に(1)放射線の発生、(2)物質との相互作用、(3)放射線計測の理論、(4)放射線測定技術に関する知識について演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図り診療放射線技師としての物の見方・考え方および表現方法を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。	
			放射線科学	放射線科学は、これから大学で診療放射線技術学に関する専門知識を学修するにあたり、診療放射線技師の役割と義務について教授する。診療放射線技術の修得に必要な放射線の科学・取扱技術及び放射線機器の原理・構造を学ぶために必要となる理工学の基礎的知識を概説する。さらに、医療現場でチーム医療を実践するために必要な診療放射線技師が果たす役割と責任について理解を深めさせることで、診療放射線技術に関する学修能力を高めることを目標とする。	
			専門基礎科目実験	専門基礎科目実験は、自然科学に関する学内の実験を通して放射線の現象の理解を深めさせることを目標とする。「放射線物理学」「電気・電子工学」「医用工学」「放射化学」「放射線生物学」「放射線計測学」など専門基礎科目の実験を通して、装置や機器の取扱についての技術の修得と科学的思考科目と専門基礎科目ごとのつながりを理解させる。また、実験内容および結果を指定された形式のレポートにまとめて報告することで、専門科目の講義内容を深く理解させる。	

(1	早健日	医療学的	授 業 形療放射線学科)	科	目	<i>O</i>	概	要	
()	科	区原了。 目 分	授業科目の名称		講	講義等の内容			備考
			放射線医学概論	放射線医学概論について概説する。調・協働する中で、められる役割についず、放射線を身に付けるな知識を身に付ける高めることを目標。	チーム医療の 放射線安全 いて教授する。 般を通して幅度 させ、診療放射	の一員として ・医療安全の 医療人とし 広い視野のも	、医師や他の 確保など診療 て、専門技術 とに診療に寄	医療従事者と協 を放射線技師に求 所の修得のみなら で与するのに必要	
			X線撮影技術学 I	X線撮影技術学 放射線技師としてい ついて教授する。」 および胸・腹かで な画像解剖と防護の なの低減と防標とで めることを目標とで	適切なX線画値 具体的には頭話 中心とするX終 ショニングの 方法などX線	象を医師に提 部、胸郭、脊 線単純撮影法 関係、X線写	供するための 柱、上肢、下 を概説する。 真の見方およ	肢などの骨撮影 X線撮影に必要 び評価基準、被	
			X線撮影技術学Ⅱ	X線撮影技術学 置の操作法を学び、 るためのX線撮影打 モシンセシスなど特 検査目的、画像形 と防護など画像検査 術を実践するための	診療放射線 支術を教授する 時殊撮影法に 成理論、撮影っ を技術に関する	技師として適 る。X線TV、 ついて概説す 方法、画像解 る専門知識を	切なX線画像 血管造影、X る。それぞれ 剖、写真の見 身に付けさせ	を医師に提供す 線断層撮影、ト の検査の特徴、 力、被曝の低減 、診療放射線技	
学科専	専門科	診療画像技術学	X線機器工学	X線機器工学は、 X線高電圧装置、 連規格と品質管理、 療放射線技師とし 提供するために必見 射線技術を実践する	X線映像装置、 X線撮影シン て安全に人体に 要なX線発生	X線画像処 ステムの原理 こX線を照射 装置に関する	理装置、X線 と構造につい しX線画像を 知識を身に付	登を 登を で関する関いて概説する。診 ・撮影し、医師に ・けさせ、診療放	
門科目群	科目		放射線撮影技術学	放射線振影技術学いて教授による。画像技師としての適切がる。それでいるのでは、100分ができる。一般ないでは、100分ができた。1	離放射線である 強査法およびは な画像を医師い をの特徴、検え 写真の見方なる	る X線ではな	く、非電離が 造と操作法を めの放射線攝 形成理論、機 術に関する必	射線の超音波や 学び、診療放射 影技術を概説す 器の構造、撮影 等な知識を身に	
			CT·MRI撮影技術学	CT・MRI撮影技術射線技師としてという。 射線技師としてとを見りのない検査目のない検査目的のなが、 特徴、見方、させ、 を身に目指す。	刃な診療画像を 目標とする。 2 得られる両検を 画像形成理論、 管理などX線の	を医師に提供 X線CT検査と 査法について 撮影方法、 T検査および	するための診 MRI検査を比 概説する。そ アーチファク MRI検査に関	療画像検査法を 較しながら重な れぞれの検査の ト、画像解剖、 する必要な知識	
			CT·MRI機器工学	CT・MRI機器工学せることを目標となることを目標対し、 財線を照像を照像を所したり 知識を所はされた。 かることを目指す。	する。 X線CT** いても教授する な装置を用いる 最も用いられる せ、診療放射網	装置および核 る。診療放射 て放射線画像 ているX線CT	磁気共鳴装置 線技師として を撮影し、医 およびMRIシ	に関する関連規 安全に人体に放 師に提供するた ステムに関する	
			撮影技術学・機器工学実験 I	撮影技術学・機器学Ⅱ」「XX線器」とを目標最いる。 などの骨撮影はなった。 などの原理と構造となった。 おの原理と構造されるで理解を深めさせなった。 ないまた。 ないまた.	工学」で学んが 実際のX線装置 び胸・腹部像表現 目的、通像作法、 を置また、実験 の識と技術を何かな	だ知識を実践 置を実てに か用いいに を を と と と と と と と 、 と で 、 と で 、 と で 、 と 、 、 と 、 と	する能力を身部、 部、胸郭、有 ジショニンク 安全性、写真 る関連規格と 書にまとめる	に付けさせることは、上肢、上肢、下で は、上肢、水の見方および機 にの見方および機 になる質管理につい にとでにX線検	

			授業	科 目 の 概 要	
(1)	科		『診療放射線学科》 授業科目の名称	講義等の内容	備考
			撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	撮影技術学・機器工学実験Ⅱは、「放射線撮影技術学」「CT・MRI撮影技術学」「CT・MRI機器工学」で学んだそれぞれの検査法を実践する能力を身に付けさせることを目標とする。X線CT装置、磁気共鳴画像診断装置、超音波装置および眼底カメラ等を使用してファントムを撮影することで、臨床の現場で行われているそれぞれの検査法について検査目的、画像表示法、検査の安全性、写真の見方などの理解を深めさせる。また、実験内容を報告書にまとめることでに臨床で行われている画像検査に関する必要な知識と専門技術を修得させ、診療放射線技術を実践する能力を高めることを目指す。	
		診療画像	画像解剖学	画像解剖学は、X線画像を中心にトレースやスケッチをすることで画像解剖学における必要な知識を修得する。頭部、胸郭、脊柱、上肢、下肢などの骨撮影および胸・腹部撮影を中心とする正常の単純X線像、消化管・血管の造影X線像およびX線CTの断層像について画像解剖の理解を深めさせる。さらに、疾患画像の異常陰影についても教授する。X線画像の異常所見の判別および疾患の本態を把握するのに必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。	
		技術学	画像解剖学演習	画像解剖学演習は、「画像解剖学」「臨床画像解剖学」「臨床画像解析学」で学んだ知識を基盤として、診療放射線技師として必要な画像診断に用いられる画像解剖の理解を深めさせることを目標とする。特に頭部、胸郭、脊柱、上肢、下肢などの骨撮影および胸・腹部撮影を中心とする単純 X線像、X線CT、MRIの断層像の画像解剖に関する知識について演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図り画像解剖学的なものの見方・考え方を教授し、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
学科専門な	専門科		機器工学演習	機器工学演習は、「X線機器工学」「放射線撮影技術学」「CT・MRI機器工学」「核医学検査技術学 I」「放射線治療技術学 I」で学んだ知識を基盤として、診療放射線技師として必要な放射線機器について理解を深めさせる。特にX線発生装置、X線CT装置、核磁気共鳴画像装置、超音波診断装置、核医学検査装置、放射線治療装置に関する知識について演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図り機器工学的なものの見方・考え方および表現方法を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。	
科目群	目		核医学検査技術学 I	核医学検査技術学 I は、放射性同位元素を使用する核医学の検査法及び治療法、測定装置などの核医学診療技術の基礎知識を教授する。核医学診断に関する基礎知識を得るために、シンチレーションカメラ装置、SPECT装置及びPET装置など核医学検査で用いられる装置の構造、原理、各種補正、画像再構成法、及び付属機器などについて概説する。また性能評価、保守管理及び点検項目など安全管理に必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
		核医学検	核医学検査技術学Ⅱ	核医学検査技術学Ⅱは、核医学診断で必要とされる系統別の核医学検査法と定量的データ解析に関する知識の修得を目標とする。脳神経系、呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、骨系、血液及び造血臓器系、腫瘍及び炎症系、PET検査、インビトロ検査、及び非密封核種内用療法などを教授する。放射性同位元素を投与して行う各検査の概要や集積機序及びそれに伴う撮像方法、また動態解析法など核医学検査に必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。	
		査技術学	核医学検査技術学実験	核医学検査技術学実験は、「核医学検査技術学Ⅰ」「核医学検査技術学Ⅱ」で学んだ核医学検査技術学を実践する能力を身に付けさせることを目標とする。放射線の測定・管理、機器の操作、被検体の撮像、画像の評価に関する実験や実習を行うことで、臨床の現場で行われているそれぞれの検査法について検査目的、画像表示法、検査の安全性、画質の評価などの理解を深めさせる。また、実験内容を報告書にまとめることで核医学検査技術学に関する必要な知識と技術を修得させ、診療放射線技術の実践能力を高めることを目指す。	
			放射性薬品学	放射線薬品学は、核医学検査で用いられる放射性医薬品と安全管理に関する知識の修得を目標とする。放射性核種の製造、放射性医薬品の特徴、インビボ用放射性医薬品、インビトロ用放射性医薬品、放射性医薬品の取り扱いと管理、放射性医薬品の副作用など部位別の検査方法及び画像の評価方法について教授する。臨床的な放射性医薬品の取り扱いと安全管理に必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	

//8	fa-ta r	v	授業	科 目 の 概 要	
	健医 科 目 区 タ	=	『診療放射線学科》 授業科目の名称	講義等の内容	備考
			放射線治療技術学 I	放射線治療技術学Iは、高エネルギーX線による放射線治療に関する知識を修得させることを目標とする。放射線治療計画、照射術式、線量計算、患者のセッテング、患者固定、位置確認写真、治療装具の取扱い、治療計画装置、高エネルギーX線発生装置など放射線治療技術の基礎を教授する。人体内の腫瘍等に高エネルギーX線を照射する放射線治療に必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
		放射線治	放射線治療技術学Ⅱ	放射線治療技術学Ⅱは、臨床で行われる各種の悪性腫瘍に対する放射線治療方法に関する知識を修得させることを目標とする。臨床例を提示しながら具体的な放射線治療目的、治療計画、照射術式、高エネルギーX線・電子線による照射方法、最新の陽子線・重粒子線治療について教授する。放射線治療計画において照射領域の決定、照射方法の選択、放射線の選択による線量分布の相違、適応疾患について概説し必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
		療技術学	放射線治療技術学実験	放射線治療技術学実験は、「放射線治療技術学 I」「放射線治療技術学 II」「放射線治療学」で学んだ放射線治療技術学を実践する能力を身に付けさせることを目標とする。放射線の測定・管理、機器の操作、治療計画、線量分布の評価に関する実験を行うことで、臨床の現場で行われているそれぞれの治療法について治療目的、治療計画、照射術式、照射方法などの理解を深めさせる。また、実験内容を報告書にまとめることでに放射線治療技術学に関する必要な知識と技術を修得させ、診療放射線技術を実践する能力を高めることを目指す。	
中 一 。	事 明		放射線治療学	放射線治療学は、「放射線生物学」で学んだ癌の性質と動態をもとに癌 医療の概念を修得することを目標とする。特に腫瘍の病理と病期、正常組 織と腫瘍の放射線感受性、放射線治療指針、放射線と他の治療法との併用 について教授する。癌の発生・増殖・進展、転移、再発などを理解し、各 種癌に対して放射線治療を行うために必要な知識を身に付けさせ、診療放 射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
利	· 참 를		画像工学	画像工学は、増感紙/フィルム系のアナログ画像の画像解析および画質評価技術に関する知識を修得させることを目的とする。特に、医用画像の形成、入出力特性、解像特性、雑音特性など画像の特性および定量評価法、画像解析、画像処理について教授する。画像工学を学ぶ上で必要な数学的知識と基礎的な信号検出理論を理解し、現在の臨床における放射線画像診断の主流であるディジタル画像に応用できるよう、アナログ画像の画質評価法を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
		医用画像	医療情報学	医療情報学は、病院情報システム(HIS)、放射線情報システム(RIS)、画像情報管理システム(PACS)、電子カルテシステム、医事会計システムなど医療に必要な情報システムについて教授する。診療放射線技師として診断や治療に用いられる放射線画像を医師に提供するにあたり必要な画像情報の伝送、運用管理、医療情報としての標準化・標準規格(HL7、IHE、DICOMなど)とそれらによる情報連携などを概説する。医療情報を活用する手法を身に付けさせることで、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。	
		情報学	医用画像情報学	医用画像情報学は、医療画像の主流であるディジタル画像に関する知識を修得させることを目的とする。特にディジタル画像の特徴、画像形成過程、画像処理および画質評価法について教授する。CR、FPDなどを用いて患者を撮影したディジタル画像を医師に提供するにあたり、装置の特徴、画像の形成過程、画像処理、画質評価、画像解析、画像転送、画像保管などディジタル医療画像を取り扱うのに必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
			医用画像情報学実験	医用画像情報学実験は、「画像工学」および「医用画像情報学」で学んだ画像処理を実践する能力を身に付けさせることを目標とする。アナログ画像およびディジタル画像の画像形成、画質評価、画像解析、画像伝送に関する実験を行うことで、臨床の現場で行われている画質評価法や画像情報の管理上で施される種々の画像処理の理論と手法などの理解を深めさせる。また、実験内容を報告書にまとめることで「画像工学」および「医用画像情報学」に関する必要な知識と専門技術を修得させ、診療放射線技術を実践する能力を高めることを目指す。	

(4!	早健1	军舂学的	授	業 科 目 の 概 要	
()	科	·目 ·分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			放射線安全管理学	放射線安全管理学は、放射線の管理と防護の基本概念に関する知識を修得し、医療現場で放射線被ばくの影響について説明できることを目標とする。特に放射線の人体への影響、放射線の測定と定量評価方法、個人被ばくの管理、環境への放射線の影響、放射線疫学、事故時の対応などを教授する。診療放射線技師として、放射線を安全に人体に照射し、放射線被ばくの影響を最小限に留めるために必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
		放射線 安全	放射線関係法規	放射線関係法規は、医療における放射線・放射性物質の管理および防護 に関する法律・法令に関する知識を修得させることを目標とする。日本の 法的体系、医療法、診療放射線技師法、電離放射線障害防止法および関係 法規、薬事法その他の関係法規などについて教授する。業務として人体に 放射線を照射することができる診療放射線技師として知っておかなければ ならない法令・規則等について必要な知識を修学させ、診療放射線技術を 実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
学科専門科	専門科口		安全管理学実験	安全管理学実験は、「放射線安全管理学」「放射線関係法規」「医療安全管理学」で学ぶ医療における安全を確保する能力を身に付けさせることを目標とする。特に放射線管理、リスクマネージメント、インシデント防止、患者接遇について理解を深めさせる。また、実験内容を報告書にまとめることで放射線安全管理および医療安全管理に関する必要な知識と専門技術を修得させ、診療放射線技術を実践する能力を高めること、さらに医療現場でのヒューマンエラーの防止と放射線被曝の影響について説明できるようになることを目指す。	
目群	目	管理学	医療安全管理学	医療安全管理学は、放射線部門における医療安全のための知識を修得させることを目標とする。医療における安全の確保のためのリスクマネージメント、インシデント防止、感染、患者接遇について教授する。診療放射線技師として放射線の安全管理、放射線情報の運用・管理に取り組むだけでなく、医用安全の確保と質の向上を図るためインシデントによる健康被害防止に必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
		・技術	臨床画像解剖学	臨床画像解剖学は、MRI画像、超音波画像、眼底画像に関する画像解剖学に必要な知識を修得させることを目標とする。MRI検査、超音波検査、眼底検査における頭部、脊柱、体幹部、心臓・大血管、四肢、乳房、軟部組織、歯・顎顔面、血管などX線画像と対比することで正常の画像解剖の理解を深めさせる。さらに疾患画像の異常陰影についても教授する。臨床画像の異常所見の判別および疾患の本態を把握するのに必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	
			臨床画像解析学	臨床画像解析学は、医師の要求に対し、適切かつ良質な画像を提供する知識を修得させることを目標とする。画像処理・画像解析、画像診断に必要な病態生理学、臨床解剖学を理解させ、診療放射線業務を行う上で必要な画像診断における読影補助について学修させる。適切な診療画像を医師に提供するための診療放射線技師に要求される画像診断に必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。	

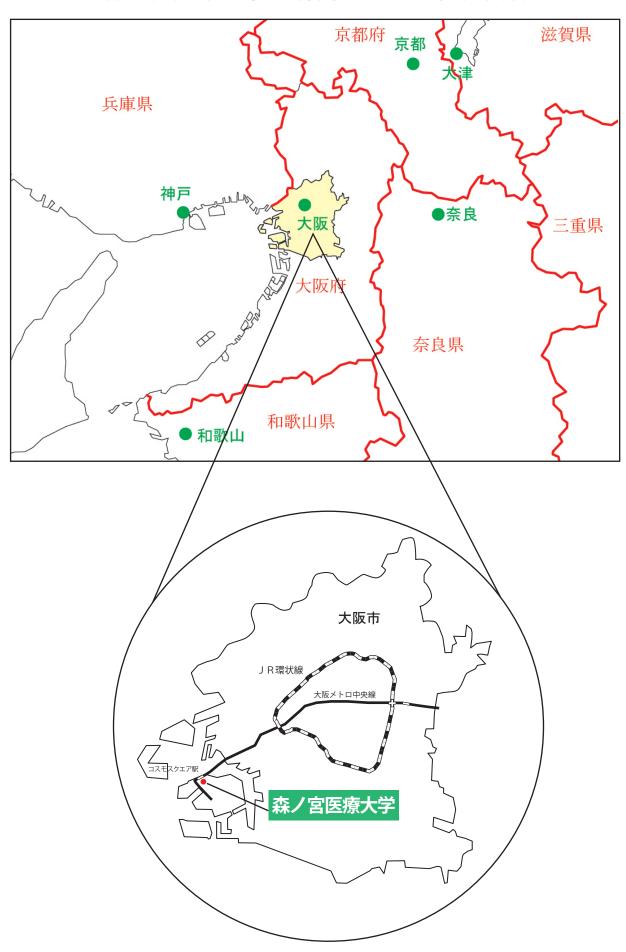
			授業	科 目 の 概 要	
(1	科		形診療放射線学科) 授業科目の名称	講義等の内容	備考
			臨床実習I	臨床実習Iでは、主に画像診断分野に関する診療放射線技師の業務の流れについて臨床の現場で確認し修得することを目標とする。医療現場におけるコミュニケーション、患者との対人関係、チーム医療、診療放射線技師の役割と義務について学修する。臨床実習施設の臨床実習指導者と連携し、X線単純撮影、造影検査、X線CT検査、MRI検査、核医学検査、超音波検査など画像診断検査に必要な診療放射線技術を実践するための基礎能力を向上させる。	
	専門	臨床	臨床実習Ⅱ	臨床実習Ⅱでは、主に放射線治療技術および放射線安全管理学分野に関する診療放射線技師の業務の流れについて臨床の現場で確認し修得することを目標とする。放射線治療現場における患者とのコミュニケーションや対人関係、チーム医療、診療放射線技師の役割と義務について学修する。臨床実習施設の臨床実習指導者と連携し、放射線治療および放射線安全管理などに必要な診療放射線技術を実践するための基礎能力を向上させることを目指す。	
	科目	実 習	臨床実習Ⅲ	臨床実習Ⅲでは、臨床実習Ⅰ・Ⅱを踏まえて総合的または専門的に診療放射線技師の業務の流れについて臨床の現場で確認し修得することを目標とする。放射線診療の各モダリティーにおける患者とのコミュニケーションや対人関係、チーム医療、診療放射線技師の役割と義務について学修する。臨床実習施設の臨床実習指導者と連携し、診断部門・放射線治療部門それぞれで必要な診療放射線技術を実践するための基礎能力のさらなる向上を目指す。	
学科支			臨床実習ゼミナール	臨床実習ゼミナールは、臨床実習に必要な診療放射線技術学に関する知識を教授し、医療現場で実践できることを目標とする。実際の臨床現場で必要となる診療放射線技術学、コミュニケーション能力、患者との対人関係能力、チーム医療の実践について概説し、OSCEなど臨床技能教育を通して基本的な臨床技能について学修する。臨床の現場で診療放射線技師の業務の流れやチーム医療の実践に必要な診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高め、臨床実習に繋げていく。	
専門科目群			診療画像技術学特講	診療画像技術学特講は、「X線撮影技術学I」「X線撮影技術学II」「X線機器工学」「放射線撮影技術学」「CT・MRI撮影技術学」「CT・MRI機器工学」で学修した知識を基盤として、診療放射線技師として必要な診療画像技術学について理解を深める。X線単純撮影、X線造影検査、X線CT検査、MRI検査、超音波検査、眼底カメラ検査などの検査法、装置及び被曝に関する知識と技術について体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図ることで診療放射線技術の問題解決能力を養うことを目標とする。	
	専門	診療放射線	核医学・放射線治療学特講	核医学・放射線治療学特講は、「核医学検査技術学 I」「核医学検査技術学 I」「放射性薬品学」「放射線治療技術学 I」「放射線治療技術学 II」「放射線治療学」で学修した知識を基盤として、診療放射線技師として必要な「核医学検査技術学」と「放射線治療技術学」について理解を深める。核医学検査技術、放射性医薬品、核医学検査、核医学データ解析、癌医療の概念、腫瘍の病理、放射線治療などの放射線診断と治療に関する知識と技術について体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図ることで診療放射線技術の問題解決能力を養うことを目標とする。	
	特講	技術特講	放射線技術学特講	放射線技術学特講は、「放射線物理学」「放射線生物学」「放射化学」 「放射線計測学」「医用工学」「画像工学」「医療情報学」「医用画像情報学」「放射線安全管理学」「医療安全管理学」「放射線関係法規」で学修した知識を基盤として、診療放射線技師として必要な放射線技術学について理解を深める。画像形成、画質評価、画像解析、画像転送、医療情報、放射線管理、医療安全、インシデント防止などの放射線診療を実践するために必要な知識と技術について体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図ることで診療放射線技術の問題解決能力を養うことを目標とする。	
			基礎医学特講	基礎医学特講は、"人体の構造と機能及び疾病の成り立ち"で学んだ基礎医学系科目の知識を基盤として、診療放射線技師として必要な基礎医学について理解を深める。人体の構造、人体の機能、生化学、病理学、内科学、外科学、薬理学など放射線診療に必要な知識について体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図ることで診療放射線技術の問題解決能力を養うことを目標とする。	

	□ <i>h</i> ±ь.i		授	業	科	目	Ø	概	要	
(1:	科	<u>医療字音</u> 目 分	形診療放射線学科) 授業科目の名称				講義等の内容	<u> </u>		備考
			先進核医学		の知識を応用す んだ核医学に関 と技術、さらに 最新の医療技術 を担保する。ま	. るす問題は 一き 一き 一き 一き 一き 一き 一き 一き 一き 一き 一き 一き 一き	に付けさせる をと を系統医学検 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ことを制的に を を は 技 を 行 る を 標 で き 表 に き 表 に き 表 に き き を た る を た に を き た に を た に を た り た り た り た り た り た り た り た り た り た	見識を広め、それら とする。これまで学 がする基礎的な知能 質放射線技師と、安 達的に提供し、安 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	
	研	先進	先進放射線治療学		め、それらの知 これまで学んだ。 るために必要な する。診療放射; 技術を標準的に に寄与する専門	識を応用するに 強射 を応線 は は は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	思考力を身に 関する知識を 設する 、 を 表 が を 表 が に を 表 が に を 表 が に を 表 が に な な な に な な な な な な な な な な な な な な	付けさせること 基盤 思問 関解 にに 対 国 民 と が と を 段 終 と り に と り に り に り に り 、 と り に り を り と り た り と り を り を り を り を り を り を り を り を り を	斗学技術の見識を広 ことを目的とする。 先端技術に対応対 方法を系統的に教授 た最善の放射線治療 心福祉と社会の発展 患者から信頼され 制度についても解説	
学科専門科	究分野	科学技術	先進画像解析学		進科学技術の見ることを情報では、 画像に必要な射線では、 を標準的に提線である。 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 を標準のは、 をできる。 をでる。 をできる。 をで。 をできる。 をで	識す像かな、れ関を広め、れ関となる工学知と全ないはいと全をでいませんでは、なけいなけんがは、なけいないないない。	れらの知識を で学んだ撮影 る知さを基盤 術の医療技術の 医療技術で 保するこ経験	応用する 思期する に 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	技術分野における先 き力を身に付けさま き力を身に付けさま に動像解析学、する お技術に対応授す と系統的診察の後情で ときされる とされる とされる とされる とされる にかいても解説す	
目群			先進医学		ることを目的と 科目で学んだ知 な知識と技術、 としてめ、研究開 カーの研究開発	するを基準では、 "人と題語でを基準に 作した がった 人と 題間 対 がらい 最 がらい 最 がらい それ からい それ からい それ からい それ かい	の構造と機能が て、大法を系統領 した最善の画 の医療機器、「いから開発さらいから関発さらい。」	及び疾病の反 に対応するた 的に教授するで 像情報の提供 医療接術を含 に発展につい	学技術の見識を広める 対り立ち。 を関する。 とめに要な基礎的 ものは一般では ものでは をはながい。 をはながい。 をはながい。 はないで、 はな	
	研究	卒業	卒業研究 I		技術学を総括す し、調査・研究を した研究課題に 発表(中間発表)	ることを目的 合行うことでま ついて、文献)など研究に 自ら課題を設	とする。担当 基礎的な研究方 調査、実験・計 関する一連の 定し、調査・	教員と学生で が法を総合的 ・測、分析・ 流れを実践さ 研究結果をす	学んだ診療放射線 で研究課題を設定 に教授する。設定 解析、論文作成・ ませる。診験すること とめ公表すること ご確立を目指す。	
	分野	·研究	卒業研究Ⅱ		技術学を総括す 基づき調査・研究 等を活用しよりで までの研究プロン ど)を基にアウ	ることを目的 そをより深化さ 研究に関する セス (文献調 トプットを作	とする。卒業を させるために卒 理解を深めさ 査、実験・計測 成し発表を行	研究 I で設定 業研究 I で設定 せる。研究系 け、分析・解 う。調査・研	学んだ診療放射線 をした研究テーマに 修得した研究方法 吉果についてはこれ 析、論文作成な 肝究結果をまとめ公 対線技術学を総括さ	

学校法人森ノ宮医療学園 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
森ノ宮医療大学					森ノ宮医療大学				
保健医療学部					保健医療学部				
鍼灸学科	60	-	240		鍼灸学科	60	-	240	
理学療法学科	70	-	280	\rightarrow	理学療法学科	70	-	280	
看護学科	90	-	360		看護学科	90	-	360	
臨床検査学科	60	-	240		臨床検査学科	60	-	240	
作業療法学科	40	-	160		作業療法学科	40	-	160	
臨床工学科	60	-	240		臨床工学科	60		240	
					<u>診療放射線学科</u>	<u>80</u>	-	<u>320</u>	学科の設置(届出)
計	380		1520		計	<u>460</u>		1840	
森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科					森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科				
保健医療学専攻(M)	6	_	12	\rightarrow	保健医療学専攻(M)	6	_	12	
医療科学専攻(D)	2		6	ŕ	看護学専攻(M)	6			専攻の設置(届出)
区原付于寻久(0)	2		O		医療科学専攻(D)	2	_	6	寺久の改直(周田)
計	8	-	18		EL STATE OF THE ST	14	-	30	
森ノ宮医療学園専門学校					森ノ宮医療学園専門学校				
鍼灸学科					鍼灸学科				
昼間部	90	-	270		昼間部	80	-	<u>240</u>	定員変更△10
夜間部	30	-	90		夜間部	30	-	90	
柔道整復学科				\rightarrow	柔道整復学科				
昼間部	90	-	270		昼間部	<u>60</u>	-	<u>180</u>	定員変更△30
夜間部	30	-	90		夜間部	30	-	90	
計	240		720		計	200		600	

森ノ宮医療大学 府内における位置関係



森ノ宮医療大学 最寄り駅からの距離、周辺地図

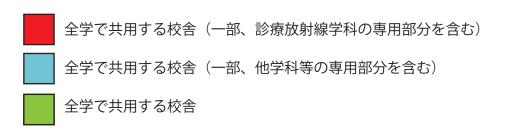


大阪メトロ中央線 コスモスクエア駅より約80m 徒歩1分

森ノ宮医療大学 校舎、運動場等の配置図



森ノ宮医療大学の校地面積…32,171.51 m 森ノ宮医療大学の校舎面積…27,108.06 m



森ノ宮医療大学

学 則(案)

第一章 目的

第二章 自己点検評価及び第三者評価

第三章 学部・学科等及び附属施設

第四章 学年、学期及び休業日

第五章 修業年限及び在学年限

第六章 入学

第七章 教育課程、履修方法等

第八章 休学、復学、転学、退学及び除籍

第九章 卒業及び学位

第十章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴

講生及び外国人留学生

第十一章 職員組織

第十二章 教授会、各種委員等

第十三章 入学検定料、入学料、授業料等

第十四章 賞罰

第十五章 大学開放及び生涯学習事業

第十六章 雜則

第一章 目的

(目的)

第1条 豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす。

第二章 自己点検評価及び第三者評価

(自己点検評価及び第三者評価)

- 第2条 本学は、教育水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育・研究・組織・運営・施設及び設備の状況について、自己点検評価を行う。
- 2 自己点検評価に関する必要な事項は別に定める。
- 3 本学は前項の措置に加え、その教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文 部科学大臣の認証を受けた者(以下「認証評価機関」という。)による評価(以下「認証評価」とい う。)を受けるものとする。
- 4 自己点検評価および第三者評価の結果を公表するものとする。

(情報の積極的な公開)

第3条 本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって積極的にその情報を公開するものとする。

第三章 学部・学科等及び附属施設

(学部、学科、入学定員及び収容定員)

- 第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科、臨床 工学科及び診療放射線学科を置く。
- 2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
	鍼灸学科	60	240
保健医療学部	理学療法学科	70	280
体 医 原子司	看護学科	90	360
	臨床検査学科	60	240

	作業療法学科	40	160
	臨床工学科	60	240
	診療放射線学科	80	320
合計		460	1840

- 3 保健医療学部鍼灸学科に鍼灸コース及びスポーツ特修コースを置く。
- 4 鍼灸コースは、入学定員40名、収容定員160名とし、スポーツ特修コースは、入学 定員20名、収容定員80名とする。

(学部及び学科の目的)

- 第4条の2 保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。
- 2 鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、専門知識と専門技術を身につけた人 材の育成を目的とする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性や知識、技術を身につけることに加え、 保健体育に関する専門知識を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。
- 4 理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 5 看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術 ならびに医療人としての態度を身につけた人材の育成を目的とする。
- 6 臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理観と強い責任感を有し、誠実に 臨床検査を実践することができる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 7 作業療法学科は、チーム医療とクライエント中心の作業療法を創造的に実践できる確かな専門知識 と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 8 臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 9 診療放射線学科は、人間性豊かで高いモラルを有する医療人として、チーム医療における役割と職責を自覚し、放射線診療を実践できる確かな専門知識と技術を身につけた人材の育成を目的とする。

(大学院)

第4条の3 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規則は別に定める。

(専攻科)

第4条の4 本学に次の専攻科を置く。

- (1) 助産学専攻科
- 2 専攻科に関する規則は別に定める。

(附属施設)

- 第5条 本学に次の附属施設を置く。
- (1) 附属図書館
- (2) 附属臨床実習施設
- 2 前項の附属施設に関し必要な事項は別に定める。

第四章 学年、学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

- 第7条 学年を次の2学期にわける。
 - (1) 前期4月1日から9月30日まで
 - (2) 後期10月1日から3月31日まで

(休業日)

- 第8条 休業日は次のとおりとする。
 - (1) 土曜日及び日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - (3) 春期休業日3月21日から3月31日まで
 - (4) 夏期休業日8月11日から9月30日まで
 - (5) 冬期休業日12月25日から1月7日まで
- 2 学長は前項の規定に関わらず、特別の必要があると認めるときは、臨時に休業日を設け、又は休業 日を変更し、若しくは休業日に授業を行うことができる。

第五章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第9条 本学の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第10条 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第16条、第17条、第18条の規 定により入学した学生は、第19条の規定により定められた在学すべき年数の2倍に相当する期間を 超えて在学することができない。

第六章 入学

(入学の時期)

- 第11条 入学の時期は学年の始めとする。
- 2 ただし、第16条、第17条、第18条の規定により入学する場合及び特別の必要があり、かつ、 教育上支障がないと認められる場合は、学期の始めとする。

(入学資格)

- 第12条 本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。
 - (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに該当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該 課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) 前各号に定める者の他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると 学長が認めた者

(入学の出願)

第13条 本学に入学を志願する者は、本学指定の期日までに、入学願書に入学検定料を添えて学長に 提出しなければならない。

(入学者の選考)

第14条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

- 第15条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本学所定の書類を 提出するとともに、所定の入学料及び学納金を納付しなければならない。
- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

- 第16条 学長は、編入学を志望するものがあるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に編入学を許可することができる。
- 2 本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。
- (1) 大学及び短期大学の課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校の課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第八十二条第十項に定める専修学校を卒業した者か、卒業見込みの者

(転入学)

第17条 学長は、他の大学に在籍しているもので、本学への転入学を志願する者があるときは、定員 に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(再入学)

第18条 学長は、再入学を志願する者があるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当 年次に入学を許可することができる。

(編入学等の場合の取扱い)

第19条 第16条、第17条、第18条の規定により入学を許可された者が既に修得した授業科目及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴き、学長が決定する。

第七章 教育課程、履修方法等

(教育課程)

- 第20条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。
- 2 鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第1のとおりとする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第2のとおりとする。
- 4 理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第3のとおりとする。
- 5 看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第4のとおりとする。
- 6 臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第5のとおりとする。
- 7 作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第6のとおりとする。
- 8 臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第7のとおりとする。
- 9 診療放射線学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第8のとおりとする。
- 第21条 授業は、講義、演習、実習のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

第22条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(単位の計算方法)

- 第23条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実習については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(1年間の授業期間)

第24条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週とすることを原則とする。

(単位の授与)

- 第25条 授業科目を履修し、その試験に合格した者に、担当の教員は所定の単位を与える。
- 2 前項の試験は、当該授業科目を履修した者でなければ、受けることができない。

(成績の評価)

第26条 成績の評価は、優、良、可及び不可の4段階をもって表示し、優、良及び可を合格とする。

(試験の種類)

第27条 各授業科目の試験は、定期試験、追試験、再試験及び臨時試験等とする。

(入学前及び在学時における他大学等での既修得単位等の認定)

- 第28条 学長は教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学等で履修した授業科目について修得した単位(大学等で科目等履修生として修得した単位を含む)を、該当する授業科目を本学において履修及び修得したものと見なし、単位を与えることができる。
- 2 学長は教育上有益と認めるときは、あらかじめ他の大学等と協議の上、学生が授業科目を履修する ことを認め、その履修した授業科目について修得した単位は本学における授業科目の履修により修得 したものとみなすことができる。
- 3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、第16条の編入学、第17条の転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、60単位を超えないものとする。

(教職に関する免許)

第28条の2 本学の学部学科において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科免許は、次のとお

りとする。

学部	学科等	免許状の種類	教科の種類
保健医療学部	鍼灸学科スポーツ特修コース	中学校教諭一種免許状高等学校教諭一種免許状	保健体育 保健体育
保健医療学部	看護学科	養護教諭一種免許状	養護

- 2 前項の免許の資格を得たい者は、第25条に基づく単位修得のほか、別表第2の鍼灸学科スポーツ 特修コースの教育課程及び別表第4の看護学科の教育課程及び別表第9の教職に関する科目のうちか ら、所定の単位を修得しなければならない。
- 3 前項の所定の単位の修得に関し必要な事項は別に定める。

第八章 休学、復学、転学、退学及び除籍

(休学)

- 第29条 疾病その他やむを得ない事情により3ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を 得て休学することができる。
- 2 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合において、学長の許可 を得たときは、この限りでない。
- 3 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。
- 4 休学の期間は第10条に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第30条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第31条 本学への在学期間中、他の大学等への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(退学)

第32条 退学しようとするものは、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

- 第33条 次の各号に該当する者は、学長が除籍することができる。
 - (1) 第10条の規定により定められた在学年限を超えた者

- (2) 第29条の規定により定められた休学期間を超えて、なお復学することができない者
- (3) 授業料を納入しない者
- (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者
- 2 前項(3)により除籍となった者が、所定の期日内に学費を納付した場合、復籍を認めることがある。

第九章 卒業及び学位

(卒業)

- 第34条 本学に4年(第16条、第17条、第18条の規定により入学したものについては、第19条の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、所定の授業科目を履修し、単位を修得した者については、教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定する。
- 2 学長は、前項の卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(学位の授与)

第35条 学長は、第34条1項により卒業を認定した者に次の学位を授与する。

学部	学科	学位
保健医療学部	鍼灸学科	学士 (鍼灸学)
	理学療法学科	学士 (理学療法学)
	看護学科	学士 (看護学)
	臨床検査学科	学士 (臨床検査学)
	作業療法学科	学士 (作業療法学)
	臨床工学科	学士 (臨床工学)
	診療放射線学科	学士 (診療放射線学)

第十章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第36条 本学において、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、学長は選考の上、 科目等履修生として履修を許可することができる。

(研究生)

第37条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学長は選 考の上、入学を許可することができる。 2 研究生となることを志願することができる者は大学を卒業した者又はこれと同等以上の能力がある と学長が認めた者とする。

(聴講生)

第38条 本学において、特定の授業科目について聴講を志願するものがあるときは、学長は選考の上、 入学を許可することができる。

(特別聴講生)

第38条の2他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。以下この条において同じ)の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、特別聴講生として入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第39条 外国人で、本学に入学を志願する者があるときは、学長は選考の上、外国人留学生として入 学を許可することができる。

第十一章 職員組織

(職員)

- 第40条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及びその他の必要な職員を置く。
- 2 学長が必要と認めた場合には副学長を置くことができる。

(各組織の長)

第41条 本学に、学長のほか、事務局長、研究科長、学部長、専攻科長、学科長、附属臨床実習施設 長、及び附属図書館長等を置く。

(学長等の職務)

- 第42条 学長は本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- 2 事務局長は、本学の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 研究科長は、本学の教授をもって充て、大学院の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理 する。
- 4 専攻科長は、本学の教授をもって充て、専攻科の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理 する。
- 5 学部長は、本学の教授をもって充て、保健医療学部の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を 掌理する。

- 6 学科長は、各学科の教授をもって充て、学部長の命を受け、各学科の運営に関する連絡調整を行う。
- 7 附属臨床実習施設長は、本学の教授をもって充て、附属臨床実習の活動に関する事項を掌理する。
- 8 附属図書館長は、本学の教職員をもって充て、附属図書館に関する事項を掌理する。

第十二章 教授会、各種委員等

(教授会)

- 第43条 本学の学生の入学、卒業及び課程の修了、学位授与その他教育研究に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。
- 2 教授会は、学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 3 教授会は理事長、法人本部長、学長、副学長、教授、准教授、講師及び事務局長をもって組織する。

(専門委員会)

- 第44条 本学に、専門事項を審議する専門委員会を置く。
- 2 専門委員会は学長の付託を受け専門事項を審議する。
- 3 専門委員会に関し、必要な事項は別に定める。

第十三章 入学検定料、入学料、授業料等

(授業料等の金額)

第45条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入額は別表第10のとおりとする。

(授業料等の納付)

- 第46条 本学の学生の授業料等は4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とし、その年額の2分の1に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。
- 2 経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を 猶予することができる。
- 3 第29条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の授業料の5分の1とする。
- 4 既に納付した入学検定料、授業料は、返還しない。

第十四章 賞罰

(表彰)

第47条 学長は、表彰に値する行為があった学生を表彰することができる。

(懲戒)

- 第48条 学長は、本学の学則その他学生に関する諸規定に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対して、懲戒することができる。
- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。
- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第十五章 大学開放及び生涯学習事業

(大学開放)

第49条 本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放 する。

(生涯学習事業)

第50条 本学は、地域社会の発展に寄与するため、生涯学習事業をとおして本学の教育研究資源の地域社会への還元に積極的に努めるものとする。

第十六章 雜則

(雑則)

第51条 この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は学長が別に定める。

附則

- 1 この学則は平成19年4月1日から施行する。ただし、第12条、第13条、第14条、第15条、 第45条、第46条の規定は、文部科学大臣が本学の設置を認可した日より施行する。
- 2 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1 年次	2 年次	3年次	4 年次	収容定員
平成 19 年度	120 人				120 人
平成 20 年度	120 人	120 人			240 人
平成 21 年度	120 人	120 人	120 人		360 人
平成 22 年度	120 人	120 人	120 人	120 人	480 人

- 3 この学則は平成23年4月1日から施行する。
- 4 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	収容定員
平成 23 年度	200 人	120 人	120 人	120 人	560 人
平成 24 年度	200 人	200 人	120 人	120 人	640 人
平成 25 年度	200 人	200 人	200 人	120 人	720 人
平成 26 年度	200 人	200 人	200 人	200 人	800 人

- 5 平成23年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 6 この学則は平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 7 この学則は平成25年4月1日から施行する。
- 8 この学則は平成27年4月1日から施行する。
- 9 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2 年次	3 年次	4 年次	収容定員
平成 28 年度	300 人	200 人	200 人	200 人	900 人
平成 29 年度	300 人	300 人	200 人	200 人	1000 人
平成 30 年度	300 人	300 人	300 人	200 人	1100 人
平成 31 年度	300 人	300 人	300 人	300 人	1200 人

- 10 この学則は平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 11 この学則は平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 12 この学則は平成30年4月1日から施行する。
- 13 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替

えるものとする。

年度	1年次	2年次	3 年次	4年次	収容定員
平成 30 年度	380 人	300 人	300 人	200 人	1180 人
平成 31 年度	380 人	380 人	300 人	300 人	1360 人
平成 32 年度	380 人	380 人	380 人	300 人	1440 人
平成 33 年度	380 人	380 人	380 人	380 人	1520 人

- 14 この学則は平成31年4月1日から施行する。
- 15 この学則は平成32年4月1日から施行する。
- 16 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2 年次	3 年次	4年次	収容定員
平成 32 年度	460 人	380 人	380 人	300 人	1520 人
平成 33 年度	460 人	460 人	380 人	380 人	1680 人
平成 34 年度	460 人	460 人	460 人	380 人	1760 人
平成 35 年度	460 人	460 人	460 人	460 人	1840 人

鍼灸学科 鍼灸コース 教育課程

火火 -	- 14	- 395.5	てコーク 教育味性	
	区:	分	授業科目	単位数
			基礎ゼミナール	2
		科	物理学	2
		学	生物学	2
		的	化学	2
		思考	情報処理	2
		77	統計学	2
				_
		人	心理学	2
į.	效	間	生命倫理学	2
		理	哲学	2
	斗	解	社会福祉学	2
	目 詳	と 社	日本国憲法	2
1	-	会	東洋史概説	2
			西洋史概説	2
			英語 I (初級)	2
			英語Ⅱ (中級)	2
		語	英会話	2
		学	医学英語	2
			基礎英語演習	2
-			応用英語演習	2
			スポーツ健康科学演習	2
			健康科学(スポーツ社会学を含む)	2
	学		健康管理学 I	2
	形	保	健康管理学Ⅱ	2
	Ė.	健	チーム医療とコミュニケーション	2
	手	医	栄養学	2
	¬ 	療	身体運動科学	2
	岸		東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
			IPW論	1
	I			4
		人	解剖学 I (骨・筋)	4
		体	解剖学Ⅱ (神経)	2
		の	解剖学Ⅲ(内臓・脈管)	2
		構	生理学 I (動物生理学)	2
		造と	生理学Ⅱ (植物生理学)	2
		機	生理学Ⅲ(応用生理学)	2
		能	運動学	2
			生化学	2
		疾	病理学	2
	専	病	臨床医学総論	2
	門基	の	整形外科学	2
	礎	びり	内科学	
	科	回立	臨床医学各論 I	2
学	目	復ち、		2
科		促そ	臨床医学各論Ⅱ	2
専		進を	臨床医学各論Ⅲ	2
門到		予	スポーツ医学	2
科目		防	リハビリテーション医学	2
群		及	画像診断学	2
		きゅうの	衛生学公衆衛生学	2
		の理の 理念	保健医療倫理	1
			経絡経穴学 I	1
		#*	経絡経穴学Ⅱ	1
		基礎	経穴局所解剖演習 I	1
	専	は	経穴局所解剖演習 II	1
	門	ŋ		
	科	きゅ	鍼灸科学概論 I	1
	目		鍼灸科学概論Ⅱ	1
		う 学	東洋医学概論Ⅰ	1
		,	東洋医学概論Ⅱ	1
			東洋医学概論Ⅲ	1

	区	分	授業科目	単位数
			鍼灸安全学	1
			臨床生理学	1
		m/-	臨床鍼灸学	1
		臨床	生体観察	1
		は	運動機能検査法	1
		b	現代医学系鍼灸学 I (整形外科系)	2
		きゅ	現代医学系鍼灸学Ⅱ(整形外科系)	2
		う学	現代医学系鍼灸学Ⅲ (内科系)	1
		学	東洋医学系検査法	1
			東洋医学各論I	1
			東洋医学各論Ⅱ	1
		うり社	鍼灸経営論	1
		う 学 りきゅは	関係法規	1
			基礎鍼実技I	1
			基礎鍼実技Ⅱ	1
			基礎灸実技 I	1
			基礎灸実技Ⅱ	1
			応用鍼灸実技 I	1
			応用鍼灸実技Ⅱ	1
			現代医学系鍼灸学実習I	1
		実習	現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	1
		白	現代医学系鍼灸応用実習	1
学			東洋医学系鍼灸実習I	1
科	専		東洋医学系鍼灸実習Ⅱ	1
専品	門門		東洋医学系鍼灸応用実習	1
門科	科		応用鍼灸治療学	1
目	目		臨床灸実習	1
群			特殊鍼灸治療学	1
		実臨	附属施術所基礎実習	2
		習床	附属施術所応用実習	2
			キャリアデザイン	1
			鍼灸総合演習 I	2
		総	鍼灸総合演習Ⅱ	2
		合	鍼灸総合演習Ⅲ	2
		領	卒業研究 I	1
		域	卒業研究Ⅱ	1
			学外見学実習 I	1
			学外見学実習Ⅱ	1
			美容鍼灸学総論	1
			テーピング技術論	1
			コンディショニング技術論	1
			スポーツ鍼灸学総論	1
		専	スポーツ鍼灸学各論	1
		門	介護学概論	1
1		領	老年ケア演習	1
		域	美容鍼灸学各論 I	1
			美容鍼灸学各論Ⅱ	1
			応用鍼灸学I	1
			応用鍼灸学Ⅱ	1
			スポーツ経営学	1
		7	卒業要件 (最低必要単位数)	124

鍼灸学科 スポーツ特修コース 教育課程

		. 74	ペーツ特修コース 教育課程 				
	区	分	授業科目	単位数			
			基礎ゼミナール	2			
		科	物理学	2			
		学	生物学	2			
		的	化学	2			
		思考		2			
		45	情報処理 統計学	2			
			心理学	2			
		人		2			
		間	哲学	2			
	蹇 斗	理解	社会福祉学	2			
	97 ∃	と	日本国憲法	2			
	岸	社	東洋史概説	2			
		会	西洋史概説	2			
			英語 I (初級)	2			
			英語Ⅱ(中級)	2			
		317	英会話	2			
		語学	医学英語	2			
		,	基礎英語演習	2			
			応用英語演習	2			
				_			
			スポーツ健康科学演習 健康科学(スポーツ社会学を含む)	2			
	<u> </u>		健康科字(スポーツ社会字を含む) 健康管理学 I	2			
	学 IR			2			
	中	保	健康管理学Ⅱ	2			
ì		健医	チーム医療とコミュニケーション	2			
	斗	療	栄養学 身体運動利益	2			
	∃ 岸		身体運動科学	2			
14	17-		東洋医療概論	2			
			統合医療概論	2			
			IPWinh	1			
		人	解剖学Ⅰ(骨・筋)	4			
		体	解剖学Ⅱ(神経)	2			
		の	解剖学Ⅲ(内臓・脈管)	2			
		構造	生理学 I (動物生理学)	2			
		と	生理学Ⅱ(植物生理学)	2			
		機	生理学Ⅲ(応用生理学)	2			
		能	運動学	2			
			生化学	2			
	専	疾	病理学	2			
	門	病の	臨床医学総論	2			
	基礎	及び回復	整形外科学	2			
	科	回り	内科学	2			
	目	直変した。	臨床医学各論I	2			
		のう	臨床医学各論Ⅱ	2			
		促そ	臨床医学各論Ⅲ スポーツ医学	2			
		進のマ		2			
		予防	リハビリテーション医学	2			
			画像診断学	2			
224	ĺ	ゆは健	衛生学公衆衛生学	2			
学 科					うりな医のな		
専				りの理念 り及び 医療福祉	保健医療倫理	1	
門	 	/Ex ME	経絡経穴学 I	1			
科目	Ì	-64-	経絡経穴学Ⅱ	1			
詳	Ì	基礎	経穴局所解剖演習 I	1			
	Ì	は	経穴局所解剖演習 II	1			
		り	鍼灸科学概論 I	1			
		きゅ	鍼灸科学概論Ⅱ	1			
		5	東洋医学概論I	1			
		学	東洋医学概論Ⅱ	1			
			東洋医学概論Ⅲ	1			
			鍼灸安全学	1			
専門			臨床生理学	1			
	科	w.c.	臨床鍼灸学	1			
	目	臨床	生体観察	1			
	Ì	は	運動機能検査法	1			
	Ì	ŋ	理助(城底快宜法 現代医学系鍼灸学 I (整形外科系)	2			
		きゅ	現代医学系鍼灸学Ⅱ(整形外科系)	2			
	Ì	う		_			
	Ì	学	現代医学系鍼灸学Ⅲ (内科系) 東洋医学系絵本法	1			
	Ì	,	東洋医学系検査法	1			
			東洋医学各論Ⅰ	1			
	Ì	うり社	東洋医学各論Ⅱ	1			
	İ	うき会学ゆは	鍼灸経営論	1			
		· ゆは	関係法規	1			

基礎鍼実技 1		区	分	授業科目	単位数
基礎灸実技 1 1 1 1 1 1 1 1 1				基礎鍼実技 I	
基礎灸実技 II に用鍼灸実技 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				基礎鍼実技Ⅱ	1
応用鍼灸実技 1 1 1 1 1 1 1 1 1				基礎灸実技 I	1
下川鍼灸実技Ⅱ				基礎灸実技Ⅱ	1
関代医学系鍼灸学実習 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				応用鍼灸実技 I	1
現代医学系鍼灸学実習 1				応用鍼灸実技Ⅱ	1
現代医学系鍼灸で用実習 1 現代医学系鍼灸で用実習 1 東洋医学系鍼灸を用実習 1 東洋医学系鍼灸を用実習 1 東洋医学系鍼灸を用実習 1 東洋医学系鍼灸を用実習 1 京田鍼灸治療学 1 1			宇	現代医学系鍼灸学実習I	1
東洋医学系鍼灸実習 I				現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	1
東洋医学系鍼灸実習 II					1
東洋医学系鍼灸応用実習 1 応用鍼灸治療学 1 1 臨床灸実習					1
応用鍼灸治療学 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
中外域の治療学 1					
特殊鍼灸治療学 1 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3					
実臨 附属施術所基礎実習 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3					
習床 附属施術所応用実習 2 キャリアデザイン 鍼灸総合演習 I 鍼灸総合演習 I 2 鍼灸総合演習 II 2 鍼灸総合演習 II 2 鍼灸総合演習 II 2 運動生理機能学演習 卒業研究 I 1 空外見学実習 I 1 学外見学実習 II 1 学外見学実習 II 1 スポーツ実習 II 球技A 1 スポーツ実習 II 球技B 1 スポーツ実習 II 球技 B 1 スポーツ実習 II 球技 C 1 スポーツ実習 IV ジンス 1 スポーツ実習 II 球技 C 1 スポーツ実習 IV メーシス 2 マケ保健 (学校保健 (学校安全・教急処置) 2 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクサーイズ) 1 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクサーイズ) 1 トレーニング科学演習 III (レジスタンスエクサーイズ・			ct+ 10/e		
キャリアデザイン 1					
議交総合演習 I 2 接換を総合演習 II 2 接換を総合演習 II 2 接換を総合演習 II 2 2 接換を総合演習 II 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
議灸総合演習					
総合 演数 (
 (本) 運動生理学 (主) 運動生理機能学演習 (主) 本業研究 I (主) 本書 (主) 本業研究 I (主) 本書 (主) /li>			644		
学科専門科目 ### 2					
域 卒業研究 I					
学科専門門科目群 1 学外見学実習 I 1 学外見学実習 II 1 学外見学実習 II 1 スポーツ実習 II 球技A 1 スポーツ実習 II 球技B 1 スポーツ実習 II 球技 C 1 スポーツ実習 II W表 1 スポーツ実習 II W表 2 学校保健 (小児保健・精神保健) 2 学校保健 (学校安全・教急処置) 2 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクササイズ1) 1 トレーニング科学演習 III (レジスタンスエクササイズ2・水中運動) 1 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクササイズ2・水中運動) 1 トレーニング科学演習 IV (指導実習) 1			域		
学外見学実習 I 1 学外見学実習 II 1 学外見学実習 II 1 コポーツ実習 II 球技A 1 スポーツ実習 II 球技B 1 スポーツ実習 II 球技C 1 スポーツ実習 II 球技 C 1 スポーツ実習 II などシス 1 スポーツ実習 II なボーツ実習 II なボーツ実習 II (レジスタンスエクササイズ) 1 トレーニング科学演習 II (エアロビックダンス・クササイズ・水中運動) 1 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクササイズ・水中運動) 1 トレーニング科学演習 IV (指導実習) 1					
学外見学実習 II 1 コポーツ実習 I 体つくり運動 1 コポーツ実習 II 球技 A 1 スポーツ実習 II 球技 B 1 スポーツ実習 II 球技 C 1 スポーツ実習 II 球技 C 1 スポーツ実習 IV 柔道 1 スポーツ実習 V ダンス 1 スポーツ実習 VI 器械運動 1 スポーツ実習 W生涯スポーツ 1 学校保健 (小児保健・精神保健) 2 学校保健 (学校安全・教急処置) 2 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエ クササイズ) 1 トレーニング科学演習 II (エアロビックダ ンス・ウォーキング・ジョギング) 1 トレーニング科学演習 III (レジスタンスエ クササイズ2・水中運動) 1 トレーニング科学演習 IV (指導実習) 1	22.6				
専門門科目					1
門 科目					1
科 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		, -			1
群 スポーツ美智 II 球技C スポーツ美智 II 球技C スポーツ美習 II 陸上競技 1 スポーツ美習 IV ダンス 1 スポーツ実習 V ダンス スポーツ実習 V が N スポーツ実習 V が N スポーツ実習 V が N スポーツ実習 V が N スポーツ実習 W 工 N 2 学校保健 (小児保健・精神保健) 2 学校保健 (小児保健・精神保健) 2 学校保健 (学校安全・救急処置) 2 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエ クササイズ1) トレーニング科学演習 II (エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング) トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクササイズ2・水中運動) トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクササイズ2・水中運動) トレーニング科学演習 IV (指導実習) 1				スポーツ実習Ⅱ球技B	1
スポーツ実習Ⅱ陸上競技 スポーツ実習Ⅳ柔道 スポーツ実習Ⅵ柔道 スポーツ実習Ⅵ素が コスポーツ実習Ⅵポ泳 コスポーツ実習Ⅶ生涯スポーツ 学校保健(小児保健・精神保健) 学校保健(学校安全・救急処置) トレーニング科学演習Ⅱ(レジスタンスエクササイズ) トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエクササイズ) トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエクササイズ) トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエクササイズ) トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエクササイズ・水中運動)				スポーツ実習Ⅱ球技C	1
スポーツ実習 V ダンス 1 スポーツ実習 VI 器械運動 1 スポーツ実習 VI 器械運動 1 スポーツ実習 VI I I I I I I I I I I I I I I I I I I	和十			スポーツ実習Ⅲ陸上競技	1
スポーツ実習VI器械運動 1 スポーツ実習VII水泳 1 スポーツ実習VII水泳 1 スポーツ実習VII工作 2 学校保健 (小児保健・精神保健) 2 学校保健 (学校安全・教急処置) 2 トレーニング科学演習 I (レジスタンスエクササイズ1) 1 ドレーニング科学演習 II (エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング) 1 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクササイズ2・水中運動) トレーニング科学演習IV (指導実習) 1				スポーツ実習IV柔道	1
スポーツ実習Ⅶ水泳 1 スポーツ実習Ⅷ生涯スポーツ 1 学校保健(小児保健・精神保健) 2 学校保健(学校安全・救急処置) 2 トレーニング科学演習Ⅱ(レジスタンスエ 1 カササイズ1) トレーニング科学演習Ⅲ(エアロビックダ ンス・ウォーキング・ジョギング) 1 トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエ 1 カササイズ2・水中運動) トレーニング科学演習Ⅳ(指導実習) 1				スポーツ実習Vダンス	1
スポーツ実習™生涯スポーツ 1 学校保健(小児保健・精神保健) 2 学校保健(学校安全・救急処置) 2 トレーニング科学演習 I (レジスタンスエ 1 カササイズ1) 1 トレーニング科学演習 II (エアロビックダ ンス・ウォーキング・ジョギング) 1 トレーニング科学演習 II (レジスタンスエ 1 カササイズ2・水中運動) 1 トレーニング科学演習IV (指導実習) 1				スポーツ実習VI器械運動	1
学校保健(小児保健・精神保健) 2 学校保健(学校安全・救急処置) 2 トレーニング科学演習 I (レジスタンスエ 1 クササイズ1) 1 トレーニング科学演習 II (エアロビックダ ンス・ウォーキング・ジョギング) 1 トレーニング科学演習 III (レジスタンスエ クササイズ2・水中運動) 1 トレーニング科学演習 IV (指導実習) 1				スポーツ実習WI水泳	1
学校保健(学校安全・救急処置) 2 トレーニング科学演習 I (レジスタンスエ 1				スポーツ実習Ⅷ生涯スポーツ	1
R (健 体 す					2
保健 (トレーニング科学演習 II (エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング) トレーニング科学演習 II (レジスタンスエクササイズ2・水中運動) トレーニング科学演習 IV (指導実習) 1					2
 (建 本) トレーニング科学演習 II (エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング) 1 トレーニング科学演習 III (レジスタンスエクササイズ2・水中運動) 1 トレーニング科学演習 IV (指導実習) 1 			保		1
育 トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエ クササイズ2・水中運動) トレーニング科学演習Ⅳ(指導実習) 1			健		1
トレーニング科学演習IV (指導実習) 1				トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエ	1
					1
P/J レ ーン / mm				体力トレーニング論	2
					1
					2
					1
7.7.5.5.57				老年ケア演習	1
1					2
スポーツ心理学 2				スポーツ心理学	2
スポーツ鍼灸学総論 1				スポーツ鍼灸学総論	1
					1
					2
スポーツ経営学 1					1
卒業要件(最低必要単位数) 14			2	卒業要件 (最低必要単位数)	142

理学療法学科 教育課程

	永 /公	777			
	区	分	授業科目	単位数	
			基礎ゼミナール	2	
		科	物理学	2	
		学	生物学	2	
		的	化学	2	
		思考	情報処理	2	
		~	統計学	2	
			心理学	2	
		人	生命倫理学	2	
奉		間	哲学	1	
ء -	-	理		2	
利 		解と	社会福祉学	2	
君		社	日本国憲法	2	
		会	東洋史概説	2	
			西洋史概説	2	
			英語 I (初級)	2	
İ			英語Ⅱ(中級)	2	
		語	英会話	2	
		学	医学英語	2	
			基礎英語演習	2	
			応用英語演習	2	
			スポーツ健康科学演習	2	
			健康科学(スポーツ社会学を含む)	2	
当	学		健康管理学 I	2	
音	3	保	健康管理学Ⅱ	2	
¥		健医	チーム医療とコミュニケーション	2	
追乘			栄養学	2	
E		療	身体運動科学	2	
君	羊		東洋医療概論	2	
			統合医療概論	2	
			IPW論	1	
		人	人体の構造演習 I (運動器)	1	
		体	人体の構造演習Ⅱ (運動器)	1	
		の	人体の構造 I (神経系)	2	
		構造	人体の構造Ⅱ(循環・内臓)	2	
		ル と	人体の構造実習	1	
		+616	人体の機能 I (動物性機能)	2	
		達能	人体の機能Ⅱ (植物性機能)	2	
		及 び	基礎運動学	1	
			心	臨床運動学	1
				身	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		の 発	運動学実習	1	
学		76	臨床心理学	1	
科	専門	疾	リハビリテーション概論	1	
専門	基	病	公衆衛生学	2	
科	礎	ح محدہ	生化学	2	
目	科日	障 害	病理学	2	
群	目	の	臨床病態学 I	2	
		成	臨床病態学Ⅱ	2	
		り 立	臨床病態学Ⅲ	2	
		ち	整形外科学	2	
		及	小児科学 (人間発達学)	2	
		び	精神医学	2	
		回復	リハビリテーション医学	2	
		過	作業療法・芸術療法論	2	
		程	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	2	
		の	介護学概論・ボランティア活動論	1	
		促進	スポーツ医学 テーピング技術論	2	

	区	分	授業科目	単位数
		基	医療関係法規論	2
		礎	理学療法触診法	1
		学 学	基礎理学療法学 I	1
		療	基礎理学療法学Ⅱ	1
		法	基礎理学療法学演習	1
		理	理学療法評価学総論	1
		一学 価 _密	理学療法評価学各論	2
		学法	臨床理学療法評価学 (動作分析)	1
		評	臨床理学療法評価学演習	1
			基礎日常生活活動学	1
			基礎運動療法学総論	1
			基礎運動療法学各論	1
			物理療法学	1
			運動器系理学療法学 I	1
		理	運動器系理学療法学Ⅱ	2
		学	運動器系理学療法学Ⅲ	1
		療法	神経系理学療法学 I	1
		治	神経系理学療法学Ⅱ	2
学		療	神経系理学療法学Ⅲ	1
科	車	学	内部障害系理学療法学 I	1
専門	門		内部障害系理学療法学Ⅱ	2
科	科		内部障害系理学療法学Ⅲ	1
目	目		発達障害理学療法学	1
群			義肢装具学	2
			臨床理学療法治療学演習	1
		療地	地域理学療法学	2
		療法学	生活環境論	1
		字字	老年期理学療法学	1
			理学療法特論 I	1
			理学療法特論Ⅱ	1
		総	理学療法特論Ⅲ	2
		合領	運動器系理学療法セミナー	1
		域	神経系理学療法セミナー	1
	研		内部障害系理学療法セミナー	1
			地域理学療法セミナー	1
		研卒	卒業研究 I	2
		究業	卒業研究Ⅱ	2
		_	臨床見学実習	1
		臨	検査測定実習	1
		床実	臨床評価実習	4
		習	臨床総合実習 I	7
			臨床総合実習Ⅱ	7
		卒業	要件(最低必要単位数)	125
		1 21		

看護学科教育課程

区分		分	授業科目	位数
			基礎ゼミナール	数 2
		-01	物理学	2
		科学		
		的	生物学	2
		思考	化学 標期 加 河	2
			情報処理	
			統計学 心理学	2
		人	生命倫理学	2
幸		間	哲学	2
ء 禾		理解	社会福祉学	2
E	3	٤	日本国憲法	2
君	羊	社会	東洋史概説	2
			西洋史概説	2
			英語 I (初級)	2
			英語 II (中級)	2
		-ar	英会話	2
		語学	医学英語	2
			基礎英語演習	2
			応用英語演習	2
			スポーツ健康科学演習	2
			健康科学(スポーツ社会学を含む)	2
		保健	健康管理学Ⅰ	2
4			健康管理学Ⅱ	2
音ま			チーム医療とコミュニケーション	2
追禾		医	栄養学	2
Ē	1	療	身体運動科学	2
君	¥		東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
			IPW論	1
		人	形態機能学 I	1
		体の	形態機能学Ⅱ	1
		構	形態機能学Ⅲ	1
		造と	形態機能学IV フィジカルアセスメント	1 2
		機	生化学	2
	専門科学	能	発達心理学	2
		疾病	微生物学	1
学		の	病理学	1
科		成り	臨床薬理学	1
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	臨床病態学 I	
科			臨床病態学Ⅲ	1
目 野	回復	臨床病態学Ⅲ 臨床病態学Ⅳ	1	
	の		1	
		促進	臨床病態学V 臨床心理学	
		4中	1	2
		健康	医療概論	1
		保障制	公衆衛生学 季糖期係注#	2
		障制度と社会	看護関係法規 保健統計学	2
		~社	保健統計学	2

	区	分	授業科目	単位数
			看護学概論	1
			看護理論	2
専門分野		基礎	生活援助論 I	2
		看	生活援助論Ⅱ	2
	護学	診療援助論 I	2	
	野 I	,	診療援助論Ⅱ	2
			看護過程演習	1
		実臨	基礎看護学実習I	1
		習地	基礎看護学実習Ⅱ	2
			成人看護学概論	2
		成	成人看護援助論 I	1
		人看	成人看護援助論Ⅱ	1
		護学	成人看護援助論Ⅲ	1
		7	成人看護援助論IV	1
		老	老年看護学概論	2
		学看	老年看護援助論 I	1
		護	老年看護援助論Ⅱ	1
		母	母性看護学概論	2
		~性	母性看護援助論 I	1
	専	于看 護	母性看護援助論Ⅱ	1
	門分	小	小児看護学概論	2
	野	- 児	小児看護援助論 I	1
	ΙΙ	子看 護		1
			小児看護援助論Ⅱ	1
		精神学系	精神看護学概論	2
		41	精神看護援助論 I	1
		護	精神看護援助論 II	1
		臨地安	成人看護学実習I(急性)	3
			成人看護学実習Ⅱ(慢性)	3
学			老年看護学実習I	3
科専		実習	老年看護学実習Ⅱ	1
門			母性看護学実習 小児看護学実習	2
科目			精神看護学実習	2
群		在宅看	在宅看護概論	2
			在宅看護援助論 I 在宅看護援助論 II	1
		護	外来看護論	1
		===	健康教育論	2
		看 護	家族看護学	1
		の	看護管理論	1
		統合	災害・国際看護論	1
		と	養護概説	2
		実践	学校保健	2
		I	健康相談活動論	2
			公衆衛生看護学概論	2
			公衆衛生看護学演習	2
		公血		2
	統	衆	公衆衛生看護活動論 I	1
	合	生	公衆衛生看護活動論Ⅱ	2
	分野	看護	公衆衛生看護活動論Ⅲ 公衆衛生季護活動診Ⅳ	2
	æĵ	学	公衆衛生看護活動論Ⅳ	2
			公衆衛生看護管理論	2
			保健医療福祉行政論	2
		监	在宅看護論実習	2
		地実	公衆衛生看護学実習	4
		習	主題実習I	2
			主題実習Ⅱ	1
		研卒 究業	看護研究	1
		九米	卒業研究	2
		看	臨床看護学セミナーI	2
		実変	臨床看護学セミナーⅡ	2
		践り	公衆衛生看護セミナー	1
		Ⅱ 合と		1
		_	Physical Control of the Control of t	1
			臨床看護技術セミナー	1

臨床検査学科 教育課程

大学の	<i>M</i> 13	大旦	. T-114	狄月 蘇性	
大学	区分		分	授業科目	位
学的思考 中期学 2 大間理解と社会 心理學學學會學會學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學			科	基礎ゼミナール	2
大学科専門科目群			学	物理学	2
中国			思		2.
大田理学			考		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				心理学	2
養科目群 報と社会 2			間	生命倫理学	2
科目群 と社会 社会福祉学 2 本国憲法 2 英語 I (中級) 2 2 医学英語 I 定				哲学・宗教学	2
日本国憲法			と	社会福祉学	2
学科専門科目群			社	日本国憲法	2
学科専門科目群 英語 I (中級) (中級) (中級) (中級) (中級) (中級) (中級) (中級)	石	Ŧ	云	統計学	2
下のでは、				英語 I (初級)	2
学科専門科目群 (基度学英部 I				英語Ⅱ (中級)	2
学科専門科目群 東西田 英会話 I 英会話 I 英会話 I 英会話 I 英会話 II			語		2
学部共通科目群 東洋思想史 2 生化学健康科学(スポーツ社会学を含む) 2 東洋思想史 2 生化学健康育理学I 2 健康管理学I 2 健康管理学I 2 操養学身体運動科学漢方医療概論 2 人体の構造I 2 人体の構造I 2 人体の構造I 2 人体の機能I 2 生化学を設置 1 分析化学 2 水急能 2 生化学表習分析化学 2 水息災害 2 東西陸と検定 2 東西院と検査 2 東西院 2 <td></td> <td></td> <td>字</td> <td>医学英語Ⅱ</td> <td>2</td>			字	医学英語Ⅱ	2
学部共通科目群 本 スポーツ健康科学演習健康科学(スポーツ社会学を含む) 2 2 東洋思想史 2 生化学 2 健康科学(スポーツ社会学を含む) 2 2 東洋思想史 2 健康科学 [2 2 健康管理学 [2 2 学本運動科学 2 2 資本医学概論 2 人体の構造 [1 2 人体の構造 [1 2 人体の機能 [2 2 生化学会論 2 生化学長習 1 分析化学 2 老年医学 2 政院害医学 2 政院害医学 2 政院害医学 2 政院害医学 2 政院者会校會 2 財政院務 2 全人体の機能 [2 2 生化学長習 2 力所能 2 変換書 2 政院等 2 政院等 2 政院等 2 政院等 2 政院等 2 支援時期 2 大大学 2 支援時期 2					2
学部共通科目群					2
学部共通科目群 東洋思想史生化学 2 健康管理学 I 2 健康管理学 I 2 健康管理学 I 2 好應管理学 I 2 美学 要体運動科学 第方医療概論 2 2 技術 運動科学 第方 医療機論 2 2 人体の構造 I 2 人体の構造 I 2 人体の機能 I 2 生化学実習 1 2 分析化 医学 署 2 水 急後 第四学 2 2 大体の機能 II 2 生化学 字習 1 2 分析化 医学 2 2 変 選 学 医学 要 2 東 選 学				· · ·	1
学部共通科目群 生化学 2 健康管理学Ⅱ 2 伊健康管理学Ⅱ 2 子養学 2 身体運動科学 2 液合医療概論 2 人体の構造Ⅱ 2 人体の構造Ⅱ 2 人体の機能Ⅱ 2 生化学実習 1 分析化學學書習 1 分析児医学 2 変理学 2 水急災害医学 2 東西とと後のの関の保健医療を変して、保健医学機合変のの関係性を変して、 2 産労機・有理学 2 医学概論 2 企会機能と素質 2 医学概論 2 企会機能と素質 2 変更を持続 2 医学概論 2 企会機能と素質 2 医学概論 2 企会機能と素質 2 医学概論 2 企会機能と素質 2 正医学概論 2 正版 2 医用工学概論 1 正版書 2 正成時間 2 2 2 2 2 2 2			健 医		-
 部共通科目群 保健医療 保健医療 提展管理学Ⅱ 2 技養学 身体運動科学 流合医療概論 人体の構造Ⅱ 人体の構造Ⅱ 人体の機能Ⅱ 生化学実習 力/体の機能Ⅱ 生化学表習 力/中の機能Ⅱ 生化学表習 力/中の機能Ⅲ 生化学表習 力/中の機能Ⅲ 生化学表習 力/中の機能Ⅲ 生化学表別 力/中の機能Ⅲ 生化学表別 力/中の機能Ⅲ 生化学表別 大体の機能Ⅲ 生化学表別 力/中の機能Ⅲ 生化学表別 大体の機能Ⅲ 生化学支援 大体の機能 生化学方 主要を支援 工化学経論 全域を対析科学序論 を変積 工化学 企業衛生学 工化学 工化学 工化学 工化学 工化学 工化学 工化 工化 工化 工工 /ul>	<u> </u>	÷		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
使康管理学 1					
世科目群 医療 に					
書群 第					1
学科専門科目群 事門基礎科目 2 「大本の構造」 2 人体の構造 I 2 人体の構造 I 2 人体の構造 I 2 人体の機能 I 2 生化学各論 2 生化学各論 2 生化学各論 2 生化学 要習 1 分析化学 2 水児医学 2 老年医学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 疾病産学療療 2 東理学 2 東西とを検査を検査ののの 2 大大大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	E	1			_
学科専門科目群 大体の構造 I 2 大体の構造 I 2 人体の構造 I 2 人体の構造 I 2 人体の構造 I 2 人体の機能 I 2 生化の機能 I 2 生化学各論 2 生化学実習 1 分析化学 2 水児医学 2 老年医学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 (基定学 度高能と検査・変更を含するののでは、保健性で変更を含される。 2 大大能で表して、表に、とのでは、大大能では、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、また、とのでは、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、とのでは、大大能を表して、表に、また、とのでは、大大能を表して、表に、また、とのでは、大大能を表して、表に、また、とのでは、大大能を表して、また、とのでは、大大能を表して、また、とのでは、大大能を表して、表に、また、とのでは、また、また、とのでは、また、とのでは、また、とのでは、また、とのでは、また、また、とのでは、また、また、また、とのでは、また、とのでは、また、とのでは、また、とのでは、また、とのでは、また、また、また。とのでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	君	羊			
PAP					
学科専門科目群 人体の構造 I 2 人体の構造 II 2 人体の構造 II 2 人体の機能 I 2 生化の機能 II 2 生化学各論 2 生化学 E 2 生化学 E 2 大体の機能 II 2 生化学各論 2 生化学 E 2 水児医学 2 老年医学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 医麻検査学総論 2 事書とと検検査を検査を含めるののを指定と検検査技術科学序論 2 病理学 2 医学概論 2 公衆衛生学 2 IPW論 1 工医 E用工学概論					
学科専門科目群 人体の構造II 2 人体の機能 I 2 人体の機能 I 2 人体の機能 II 2 生化学各論 2 生化学各論 2 生化学 B 2 少析化学 2 小児医学 2 老年医学 2 救急災害医学 2 薬理学 2 リハビリテーション概論 2 疾病産学療療とのであると変質 2 海ととで表しまない。 2 大大変に関連すると変質 2 大大変に関連すると変質 2 大大変を対象 2 大大変を対象 2 大変を対象 2 大変を対象 2 大変を対象 2 大変を対象 2 大変を表しまない。 2 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td>					-
学科専門科目 人体の機能 I 2 大体の機能 I 2 大体の機能 I 2 生化学格論 2 生化学各論 2 生化学表論 2 生化学表論 2 本化学 要習 1 分析化学 2 水児医学 2 老年医学 2 政決害医学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 疾病健学療のでのの医福健性医療のでの保健性医療のでの保健性医療を関するのの医神経性医療を対験論 2 大体衛生学療 2 大体の機能 I 2 大体の機能 I 2 大学を発動 2 東理学 2 方ので 保健性医療と機能 2 本年主要 B 2 大学概論 2 大学概論 2 大学概論 2 大学概論 2 大学概能 2 大学概論 2 大学概論 2 大学概論 2 大学概論 2 大学概論 2 大学概算 2 大学概算 2 大学概算					1
学科専門科目群 人体の機能 I 2 大体の機能 I 2 生化学各論 2 生化学実習 1 分析化学 2 水児医学 2 老年医学 2 水急災害医学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 疾基等 適とと検 の関の 医福健医療 を関のの 医福健医療 を対析科学序論 2 病理学 2 医学概論 2 公衆衛生学 2 IPW論 1 工医 医用工学概論					<u> </u>
学科専門書群 人体の機能Ⅱ 2 性化学各論 2 生化学実習 1 分析化学 2 小児医学 2 老年医学 2 救急災害医学 2 東門基礎科目 2 東門基礎科目 2 東西基礎 檢定 資本 受験 2 東建学 2 リハビリテーション概論 2 医病職 受験 檢查 受験 会社 会議 房理学 2 医学概論 2 公衆衛生学 2 打PW論 1 工医 医用工学概論				· ·	1
学科専門書群 生化学各論 2 生化学実習 1 分析化学 2 小児医学 2 老年医学 2 救急災害医学 2 薬理学 2 リハビリテーション概論 2 疾病健学連定と検療のでのの医福健医療ののの医福健医療を必要する。 2 医福健医療 と受機論 2 公衆衛生学 2 江医 医用工学概論 2 正医 医用工学概論 2					1
学科専門基礎科目群 生化学実習 1 が化学 2 分析化学 2 小児医学 2 老年医学 2 救急災害医学 2 薬理学 2 リハビリテーション概論 2 疾基等 連とと検 の別のの 医偏保保 学社社医療 を含す。 2 医学概論 2 公衆衛生学 2 IPW論 1 工医 医用工学概論 2			の		-
学科専門基礎科目 中門基礎科目 2 大学 老年医学 2 被急災害医学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 疾基医病毒管性 度少とを放射 であるののの 医痛症性 検査を持続 であるののの 医性神経性 反性 保証 を受視 に 保証 を を を また を また を また を また を また を また を また					
学科専門基礎科目 機能 小児医学老年医学 2 大会災害医学薬理学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 2 疾病健学連とと検療のその 度福健医療 での 保管社医療 と 機能 と 保健性 検検と 療 と 押職論 2 2 エ医 医用工学概論 2 2					2
門基礎科目 老年医学 2 東理学 2 リハビリテーション概論 2 集基医病礎学連とと検検のその関ののの医病機のできな関ののの医循膜とと検検をと療性性医療とと療性性医療と要素 2 医学概論 2 医学概論 2 公衆衛生学 2 IPW論 1 工医 医用工学概論 2		車	機	小児医学	2
期刊目 本機科目 救急災害医学 2 薬理学 2 リハビリテーション概論 2 素基医病應学連とと検検できる方のできる関のできる関のできる関係を含されています。 2 医偏保性検性医療と療性機能を含さます。 2 正保性検性医療と規論 2 工医 医用工学概論 1 工医 医用工学概論 2		門	能	老年医学	2
科目 薬理学 2 リハビリテーション概論 2 疾基医病産学 連とと検 のでき 関のの 医福保 学社性医療 性性性度度 2 医学概論 と受概論 と受機論 2 公衆衛生学 打PW論 1 工医 医用工学概論 2	門			救急災害医学	2
群 目 リハビリテーション概論 2 疾基医病礎学連とと検検査技術科学序論				薬理学	2
病礎学 連とと検 検査技術科学序論 2 同のの 病理学 2 医福健 学社性医 査と療 IPW論 1 工医 医用工学概論 2		目		リハビリテーション概論	2
連とと検 のできる 関のの 病理学 2 医石保 学祉性 検をと 査と療 医学概論 2 IPW論 1 工医 医用工学概論 2				臨床検査学総論	2
関のの病理学 2 医偏保学機能医療と療 2 T工医医用工学概論 2			連とと検	検査技術科学序論	2
学価健検性医査と療 公衆衛生学 2 IPW論 1 工医医用工学概論 2			関のの		2
査 療 IPW論 1 工医 医用工学概論 2			医福保	医学概論	2
査 療 IPW論 1 工医 医用工学概論 2			字祉健 検 に	公衆衛生学	2
% <u>T</u>			査を療	IPW論	1
字療 医用工学実習 1					2
			字療	医用工学実習	1

	区分		授業科目	単位数
		態床	臨床病態学 I	2
		^忠 床 学病	臨床病態学Ⅱ	2
			血液検査学I	2
		形	血液検査学Ⅱ	2
		態検	血液検査学実習	1
		査	病理検査学	2
		学	病理検査学実習	1
			一般検査学	1
		生 物	臨床化学検査学 I	2
		化	臨床化学検査学Ⅱ	2
		学	臨床化学検査学実習	1
		分 析	放射性同位元素検査学	1
		検	遺伝子検査学	2
		查学	遺伝子検査学実習 バイオテクノロジー演習	1
		1	微生物検査学 I	2
		病	微生物検査学Ⅱ	2
		因	微生物検査学実習	1
		・生体防御検査学	寄生虫検査学	1
			免疫検査学I	2
学			免疫検査学Ⅱ	2
科	車		免疫検査学実習	1
専門	門		輸血・移植検査学	2
科	科目		輸血・移植検査学実習	1
目群	Г	生	生理機能検査学 I	2
117			生理機能検査学Ⅱ	2
		理機	生理機能検査学Ⅲ	2
		能	生理機能検査学実習	1
		検 査	画像検査学	2
		学	超音波検査学I	1
		超音波検査学Ⅱ	超音波検査学Ⅱ	1
		管 传 香	検査総合管理学	2
		理総	医療情報科学	2
			関係法規	1
		全医 学管療 理安	医療安全管理学	1
			臨床薬理学	2
		総	食品衛生学	1
		合	食品関係法規	1
		領 域	総合演習 I	2
		-54	総合演習Ⅱ	2
			総合演習Ⅲ	2
		研卒	卒業研究 I	2
		究業	卒業研究Ⅱ	2
		実臨習地	臨地実習	7
		卒業	要件(最低必要単位数)	125

作業療法学科教育課程

区分		分	授業科目	単位数
科学			基礎ゼミナール	2
		学	物理学	2
的思考 人間理解.		的思	生物学	2
			情報処理	2
			心理学	2
			生命倫理学	2
			哲学・宗教学	2
			社会福祉学	2
禾		と 社	日本国憲法	2
君		会	統計学	_
ч	-			2
			英語 I (初級)	2
			英語Ⅱ (中級)	2
		語学	医学英語 I	2
		子	医学英語Ⅱ	2
			英会話I	2
			英会話Ⅱ	2
_	_		スポーツ健康科学演習	2
			健康科学(スポーツ社会学を含む)	2
			東洋思想史	2
1			生化学	2
音		保	健康管理学 I	2
j		健医	健康管理学Ⅱ	2
禾		療	チーム医療とコミュニケーション	2
君			栄養学	2
11	+		身体運動科学	2
			漢方医学概論	2
				_
			統合医療概論	2
		人体	人体の構造演習(運動器)	2
		\mathcal{O}	人体の構造I(循環・内臓)	2
		,構	人体の構造Ⅱ(神経系)	2
		身の発達!造と機能	人体の構造実習	1
		弁機	人体の機能 I (動物性機能)	2
		一能及	人体の機能Ⅱ (植物性機能)	2
		び	基礎運動学	2
		心	臨床運動学	1
			リハビリテーション概論	1
			公衆衛生学	2
			病理学	2
			内科学 I	2
			内科学Ⅱ	2
			救急処置法	2
学	専	疾	脳神経外科学	2
科声	門	病と	整形外科学	2
専門	基	障	小児科学(人間発達学)	2
科	礎科	害の		_
目群	目	の 成	精神医学	2
υ÷		り	精神医学各論	2
		立 ち	臨床心理学	2
		及	老年医学	1
		び	リハビリテーション医学	1
		回復	医療関係法規論	2
		復 過	理学療法概論	1
		程	芸術療法論	1
		の促	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	2
		進	介護学概論・ボランティア活動論	2
			スポーツ医学	2
			漢方医学各論	2
			東洋医学概論 I	1
				_
	i	l	東洋医学概論Ⅱ	1
				-

	区	分	授業科目	単位数
		療機	基礎作業学	2
	法化	作業科学入門	2	
		学業	作業療法概論	2
			作業療法評価学総論	2
		評作	身体障害作業療法評価学	2
		価素	精神障害作業療法評価学	1
		学法	発達障害作業療法評価学	1
			高次脳機能障害作業療法評価学	1
			日常生活活動学	2
			身体障害作業療法治療学総論	2
			精神障害作業療法治療学総論	2
			老年期障害作業療法治療学総論	2
			発達障害作業療法治療学総論	2
		作	身体障害作業療法治療学各論	2
		業	精神障害作業療法治療学各論	2
学		療法	発達障害作業療法治療学各論	1
科	車	治	老年期障害療法作業治療学各論	1
専門	門	療学	義肢装具学	1
科	科口	子	作業療法特論 I	1
目	目		作業療法特論Ⅱ	1
群			身体障害作業療法治療学演習	1
			精神障害作業療法治療学演習	1
			老年期障害作業療法治療学演習	1
			発達障害作業療法治療学演習	1
		療域	地域作業療法学	2
		法作業	生活環境論	1
		学業	障害者地域生活支援論	1
			卒業研究 I	2
		7"IT	卒業研究Ⅱ (身体障害)	2
		研卒究業	卒業研究Ⅱ (精神障害)	2
			卒業研究Ⅱ (老年期障害・地域)	2
			卒業研究Ⅱ (発達障害)	2
		臨	臨地見学実習	1
		床	臨床検査実習	2
		実	臨床評価実習	4
		習	臨床総合実習	16
		卒美	業要件(最低必要単位数)	126

臨床工学科 教育課程

<u>.</u>	床ュ	字	科教	育課程	
		区	ѝ	授業科目	単位数
				基礎ゼミナール	2
			科	物理学	2
	学的思考			生物学	2
			思	化学	2
			考	情報処理	2
				統計学	2
				心理学	2
	教		人	生命倫理学	2
	養		間 理	哲学	2
	科目		解	社会福祉学	2
	群		と 社	日本国憲法	2
			会	東洋史概説	2
				西洋史概説	2
				英語 I (初級)	2
				英語Ⅱ (中級)	2
			語学	英会話	2
			,	医学英語 基礎英語演習	2
				応用英語演習	2
				スポーツ健康科学演習	2
				健康科学(スポーツ社会学を含む)	2
	***			健康管理学 I	2
	学部		,	健康管理学Ⅱ	2
	共		保健	チーム医療とコミュニケーション	2
	通科		医	栄養学	2
	目		療	身体運動科学	2
	群			東洋医療概論	2
				統合医療概論	2
				IPW論	1
				医学概論	1
			及人	公衆衛生学	2
			7 10 FT	人体の構造 I	2
		機構能造		人体の構造Ⅱ	1
			^能 造	人体の機能 I	2
				人体の機能Ⅱ	1
			臨	生化学	2
			d=	病理学	2
			学士	免疫学	2
			的基礎字に必要	薬理学	2
			礎要	看護学概論	1
			な	基礎医学実習	1
	***		臨	医用工学	2
	学科	専	床	数学演習	1
	専	門基	工	応用数学	2
	門科	礎	学 に	応用物理学	1
	目	科目	必	応用化学	1
	群		要	電気工学 I	2
			な	電気工学Ⅱ	2
			理工	電気工学実習	1
			学	電子工学 I	2
			的	電子工学Ⅱ	2
			基	電子工学実習	1
			礎	放射線工学概論	1
			療臨より	情報処理工学	2
			4 工学の工学に必	医療統計学	2
			のと必	システム制御工学	2
			礎 ス テ 医	情報処理・システム制御工学実習	1
	-	_	_		· <u>-</u>

区分		7	授業科目	
			生体物性工学	2
		医用	生体材料工学	2
		生	バイオメカニクス	2
		体 工	バイオレオロジー	1
		学	計測工学	1
			生体情報処理工学	2
			医用機器学概論	2
		医	生体計測装置学	2
		用	生体計測装置学実習	1
		機器	医用治療機器学	2
		学	医用治療機器学実習	1
			画像診断装置学	2
			医用監視システム装置学	2
			体外循環装置学	1
	専		体外循環療法学	2
	野	生	体外循環実習	1
	科	体	血液浄化装置学血液浄化療法学	1
	目	機能		2
		代	血液浄化実習 人工呼吸装置学	1
		行装	人工呼吸泰區子	2
		置	人工呼吸実習	1
		学	人体機能補助装置学	1
学			人体機能補助療法学	2
科専			人体機能補助実習	1
門		管理学 関	医用機器安全管理学	2
科目			医用機器安全管理学実習	1
群			関係法規	2
			臨床医学総論 (内科学・外科学)	2
		連臨	内科学各論(循環器・呼吸器・腎・感染症)	2
	株		2	
			1	
		実臨	臨床実習	4
		習床	医用生体工学特講	1
	専	技臨	医用機器学特講	1
	門特	術床 特工	生体機能代行技術特講	1
	講	講学	関連臨床医学特講	1
			基礎工学特講	1
			先進科学技術論	1
			先進計測技術学	1
			先進治療技術学	1
		先進	機能評価分析学	1
	研	科	機能評価学演習	1
	究	学 技	医療情報システム学	1
	分野	術	医療情報システム学演習	1
	æ)		医用ロボット工学	1
			遺伝子検査学	1
			先進科学技術演習	1
		研卒	卒業研究 I	2
		究業	卒業研究Ⅱ	2
		卒業	要件(最低必要単位数)	124

診療放射線学科 教育課程

	区分	जे	授業科目	単位数
			基礎ゼミナール	2
	科		物理学	2
		学 的	生物学	2
思		思	化学	2
		考	情報処理	2
			統計学	2
			心理学	2
教		人間	生命倫理学	2
養		理	哲学	2
科		解と	社会福祉学	2
目群		社	日本国憲法	2
		숲	東洋史概説	2
			西洋史概説	2
			英語 I (初級)	2
			英語Ⅱ(中級)	2
		語学	英会話	2
			医学英語	2
			基礎英語演習	2
	-		応用英語演習	2
			MBS (Morinomiya Basic Seminar)	1
			チーム医療見学実習	1
			医療コミュニケーション	1
			チーム医療論	1
			IPW論	1
学			基礎体育	1
部		保	健康科学(スポーツ社会学を含む)	2
共通		健	健康管理学 I	2
科目群	療		健康管理学Ⅱ	2
			栄養学	2
			身体運動科学	2
			東洋医療概論	2
			統合医療概論	2
		#	数学	2
		基礎	数学演習	1
		科	物理学演習	1
		自演	生物学演習	1
		習	化学演習	1
			医学概論	1
			公衆衛生学	1
			人体の構造Ⅰ	1
			人体の構造Ⅱ	1
		人	人体の機能Ⅰ	1
		疾の	人体の機能Ⅱ	1
		次病の成り の構造と機	生化学	1
		成造	病理学	1
		り機	内科学I	1
学		V 100	内科学Ⅱ	1
子科	専	一ち及び	薬理学	1
専	門基	U.	看護学概論	1
門 科	礎		基礎医学演習	1
目	科目		外科学	1
群	п п		救急災害医学	1
			電気・電子工学	2
		保	医用工学	2
		健	工学演習	1
		. 大		+
		に福	情報処理工学	2
		びに放射線	医療統計学	1
		お	放射化学	2
			放射線生物学	2
			放射線化学・生物学演習	1
		77	放射線物理学	2
		及び技術工学的	放射線計測学	2
		術基	放射線物理学·計測学演習	1
		25		
		礎	放射線科学	1

区分		<i>चि</i>	授業科目	単位数
			放射線医学概論	1
			X線撮影技術学 I	2
			X線撮影技術学Ⅱ	2
		診	X線機器工学	2
		療	放射線撮影技術学	2
		画像	CT·MRI撮影技術学	2
		技	CT·MRI機器工学	2
		術学	撮影技術学・機器工学実験 I	1
		子	撮影技術学・機器工学実験 II	1
			画像解剖学	1
			画像解剖学演習	1
			機器工学演習	1
		核 技医	核医学検査技術学I	2
		術学	核医学検査技術学Ⅱ	2
		学検	核医学検査技術学実験	1
		査	放射性薬品学	1
		放 技射	放射線治療技術学I	2
	専	祈線	放射線治療技術学Ⅱ	2
	門科	学治	放射線治療技術学実験	1
	目	療	放射線治療学	1
		医田	画像工学	2
学科		報学情	医療情報学	1
専			医用画像情報学	2
門		全放	医用画像情報学実験	1
科目		管射	放射線安全管理学	2
群		理線学安	放射線関係法規	
		歴	安全管理学実験	1
		管理学	医療安全管理学	2
		断·技術	臨床画像解剖学	2
		技診	臨床画像解析学	2
		隘	臨床実習I	6
		床	臨床実習Ⅱ	2
		実習	臨床実習Ⅲ	2
			臨床実習ゼミナール	2
	専	技術放	診療画像技術学特講	1
	門	術特財	核医学・放射線治療学特講	1
	特講	特射講線	放射線技術学特講	1
	urr	**** 線	基礎医学特講	1
		先	先進核医学	1
	研	技進	先進放射線治療学	1
	究ハ	術科 学	先進画像解析学	1
	分野	,	先進医学	1
	23	研卒	卒業研究 I	2
		究業	卒業研究Ⅱ	2
1		卒業	要件(最低必要単位数)	126

教職に関する科目 教育課程

区分	授業科目	単 位 数
	保健体育科教育法 I	2
	保健体育科教育法Ⅱ	2
	保健体育科教育法Ⅲ	2
	保健体育科教育法IV	2
	教職論	2
	教育原理	2
	教育行政学	2
	教育心理学	2
	特別支援教育概論	1
教職	教育課程論	2
に	道徳教育論	2
関す	総合的な学習の時間の指導法	2
る 科	特別活動論	2
目	教育方法論	2
	生徒指導・進路指導論	2
	生徒指導論	2
	教育相談の基礎と方法	2
	教育実習事前事後指導	1
	教育実習 I	2
	教育実習Ⅱ	2
	養護実習(事前事後指導を含む)	5
	教職実践演習(中・高)	2
	教職実践演習 (養護教諭)	2

(単位:円)

学部名	学 年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料
学科名						
	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
鍼灸学科	3年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
	4年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
理学療法学科	3年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	4年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
看護学科	3年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
Ī	4年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
	1年次	250, 000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
臨床検査学科	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	1年次	250, 000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	710,000	1, 710, 000	
作業療法学科	3年次		1,000,000	710,000	1, 710, 000	
Ī	4年次		1,000,000	710,000	1, 710, 000	
	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
臨床工学科	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	1年次	250, 000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
診療放射線学科	3年次		1, 000, 000	640,000	1,640,000	
	4年次		1, 000, 000	640,000	1,640,000	

変更事項を記載した書類

○変更時期

平成32年4月1日

○変更事由

- ・平成32年度から診療放射線学科を新設することに伴い、学則の条文と別表を修正しました。
- ・平成32年度から学費を変更することに伴い、学則の別表を修正しました。
- ・授業料の納付等についての条文を、現行の運用に合わせて修正しました。

○変更点

- ・第4条第1項に定める保健医療学部の学科に、診療放射線学科を追加、第2項の入学定員 及び収容定員に診療放射線学科の記述を追加
- ・第4条の2に定める学部及び学科の目的に、診療放射線学科の目的を追加
- ・第20条、第35条に診療放射線学科に関する記述を追加
- ・第28条の2、第45条、別表第8、別表第9、の別表番号のずれを修正
- ・第46条に第4項として、授業料等の返還に係る条文を追加
- ・ 附則を追加
- ・別表第7の後に別表第8として、診療放射線学科の教育課程を追加
- ・別表第10の学費を変更し、診療放射線学科の記述を追加

旧

(学部、学科、入学定員及び収容定員)

第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、 臨床検査学科、作業療法学科及び臨床工学科を置く。

2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
	鍼灸学科	60	240
	理学療法学科	70	280
保健医療	看護学科	90	360
学部	臨床検査学科	60	240
	作業療法学科	40	160
	臨床工学科	60	240
合計		380	1520

(学部及び学科の目的)

第4条の2 保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。

- 2 鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、 専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性 や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識 を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。
- 4 理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 5 看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に 実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態 度を身につけた人材の育成を目的とする。
- 6 臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い 倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することがで

(学部、学科、入学定員及び収容定員)

第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、 臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科及び**診療放射線学科**を 置く。

2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
	鍼灸学科	60	240
	理学療法学科	70	280
/I Marc de	看護学科	90	360
保健医療	臨床検査学科	60	240
子部	作業療法学科	40	160
	臨床工学科	60	240
	診療放射線学科	<u>80</u>	<u>320</u>
合計		<u>460</u>	<u>1840</u>

(学部及び学科の目的)

第4条の2 保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。

- 2 鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、 専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性 や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識 を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。
- 4 理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 5 看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に 実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態 度を身につけた人材の育成を目的とする。
- 6 臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い 倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することがで

旧 新

きる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的と する。

- 7 作業療法学科は、チーム医療とクライエント中心の作業療法 を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人 材の育成を目的とする。
- 8 臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

(教育課程)

第20条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第 1のとおりとする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等 は別表第2のとおりとする。
- 4 理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第3のとおりとする。
- 5 看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第4のとおりとする。
- 6 臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第5のと おりとする。
- 7 作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第6のと おりとする。
- 8 臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第7のとおりとする。

きる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的と する。

- 7 作業療法学科は、チーム医療とクライエント中心の作業療法 を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人 材の育成を目的とする。
- 8 臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。
- 9 診療放射線学科は、人間性豊かで高いモラルを有する医療人 として、チーム医療における役割と職責を自覚し、放射線診療を 実践できる確かな専門知識と技術を身につけた人材の育成を目的 とする。

(教育課程)

第20条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第 1のとおりとする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等 は別表第2のとおりとする。
- 4 理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第3のと おりとする。
- 5 看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第4のとおりとする。
- 6 臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第5のと おりとする。
- 7 作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第6のと おりとする。
- 8 臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第7のとおりとする。
- 9 診療放射線学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第8のとおりとする。

(教職に関する免許)

第28条の2

2 前項の免許の資格を得たい者は、第25条に基づく単位修得のほか、別表第2の鍼灸学科スポーツ特修コースの教育課程及び別表第4の看護学科の教育課程及び別表第8の教職に関する科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

旧

(学位の授与)

第35条 学長は、第34条1項により卒業を認定した者に次の 学位を授与する。

学部	学科	学位
	鍼灸学科	学士 (鍼灸学)
	理学療法学科	学士 (理学療法学)
保健医療	看護学科	学士 (看護学)
学部	臨床検査学科	学士 (臨床検査学)
	作業療法学科	学士 (作業療法学)
	臨床工学科	学士 (臨床工学)

(授業料等の金額)

第45条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入額は別表第9のとおりとする。

(授業料等の納付)

第46条 本学の学生の授業料等は4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とし、その年額の2分の1に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。

- 2 経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀 と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者に ついては、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその 徴収を猶予することができる。
- 3 第29条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の

(教職に関する免許)

第28条の2

2 前項の免許の資格を得たい者は、第25条に基づく単位修得のほか、別表第2の鍼灸学科スポーツ特修コースの教育課程及び別表第4の看護学科の教育課程及び別表第9の教職に関する科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

新

(学位の授与)

第35条 学長は、第34条1項により卒業を認定した者に次の 学位を授与する。

学部	学科	学位
	鍼灸学科	学士 (鍼灸学)
	理学療法学科	学士 (理学療法学)
归烛层点	看護学科	学士 (看護学)
保健医療	臨床検査学科	学士 (臨床検査学)
学部	作業療法学科	学士 (作業療法学)
	臨床工学科	学士 (臨床工学)
	診療放射線学科	学士(診療放射線学)

(授業料等の金額)

第45条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入 額は別表第10のとおりとする。

(授業料等の納付)

第46条 本学の学生の授業料等は4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とし、その年額の2分の1に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。

- 2 経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀 と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者に ついては、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその 徴収を猶予することができる。
- 3 第29条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の

旧				т		
授業料の5分の1とする。	授業料の5分	の1とする	3.			
	4 既に納付	した入学	食定料、 授	業料等は	、返還した	<u> </u>
附則	附則					
追加	15 この学	則は平成	3 2 年 4 月	1日から	施行する。	_
	16 第4条は、次表に掲					
	<u>年度</u>	1年次	2年次	3 年次	4年次	<u>収容定員</u>
	平成 32 年 <u>度</u>	<u>460 人</u>	380 人	380 人	300 人	<u>1520</u> <u>人</u>
	<u>平成 33 年</u> <u>度</u>	460 人	460 人	380 人	380 人	<u>1680</u> <u>人</u>
	<u>平成 34 年</u> <u>度</u>	460 人	460 人	460 人	380 人	<u>1760</u> <u>人</u>
	<u>平成 35 年</u> <u>度</u>	<u>460 人</u>	<u>460 人</u>	<u>460 人</u>	<u>460 人</u>	<u>1840</u> <u>人</u>

別表第8 診療放射線学科を追加	,				
診療放射線学科を追加	- 1 2	別表第	<u>₹8</u>		
			対線学科	教育 課程	
		e var a	×31/0×1-7-1	TO HIMTE	
			<u>区分</u>	<u>授業科目</u>	単 位 位
			<u>~7</u>	KXTI E	数
				基礎ゼミナール	<u>2</u>
			科	<u>物理学</u>	<u>2</u>
			教養科目 教養科目	<u>生物学</u>	<u>2</u>
				<u>化学</u>	<u>2</u>
				情報処理	<u>2</u>
				統計学	<u>2</u>
				<u>心理学</u>	2
		教		生命倫理学	2
		養		<u>哲学</u> 社会福祉学	<u>2</u> <u>2</u>
		目		日本国憲法	2
		群	社 会	東洋史概説	2
			本 	<u>本许文概能</u> 西 <u>洋史概説</u>	2
				英語 I (初級)	<u>2</u>
				英語 II (中級)	<u>2</u>
			語	英会話	<u>2</u>
			学	医学英語	<u>2</u>
				<u>基礎英語演習</u>	<u>2</u>
				<u>応用英語演習</u>	<u>2</u>
				MBS (Morinomiya Basic Seminar)	1
				<u>チーム医療見学実習</u>	1
				医療コミュニケーション	1
		انجد		<u>チーム医療論</u>	1
		学部	/p.	IPW h	1
		共 通	保 健	基礎体育	<u>1</u> <u>2</u>
		科	医療	健康科学(スポーツ社会学を含む) 健康管理学 I	<u>2</u>
		目 群	75(<u>健康管理学Ⅱ</u>	2
		4+		茂養堂	2
				身体運動科学	2
				東洋医療概論	<u>2</u>
				統合医療概論	<u>2</u>

		Ι,	*** ***	
		基	数学	2
		礎科	数学演習	<u>1</u>
		I⊟I		<u>1</u>
		万		1_
		ĦI		1
				1
			<u>公衆衛生学</u>	1
			<u>人体の構造 I</u>	1
		l .	人体の構造Ⅱ	1
		人	<u>人体の機能 I</u>	<u>1</u>
		疾の	人体の機能Ⅱ	<u>1</u>
		柳膚	生化学	<u>1</u>
	;	成プレ	病理学	1
		り	<u>内科学 I</u>	1
		ちに	内科学Ⅱ	1
	甲甲	びび		1
専	専門科目群	'		1
科				<u>1</u>
目				<u>1</u>
群				1
			電気・電子工学	<u>2</u>
		 保	医用丁学	<u>2</u>
		並健	工 学 演 羽	1 1
		び医	<u>上于很自</u>	+ -
		に福	旧牧处理工子	2
			医療航計字	1
		線 お	<u>放射化学</u>	<u>2</u>
		のは	<u>放射線生物学</u>	<u>2</u>
		学る	放射線化学・生物学演習	<u>1</u>
		及工	放射線物理学	<u>2</u>
		りが学し	<u>放射線計測学</u>	<u>2</u>
		術基	放射線物理学・計測学演習	<u>1</u>
		礎	放射線科学	1
				<u>2</u>
	群 	科専門科目群		中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国

旧	新					
		区分 授業科目			単 位 数	
				<u>放射線医学概論</u>	1	
				X線撮影技術学 I	<u>2</u>	
				X線撮影技術学Ⅱ	<u>2</u>	
			診	<u> </u>	<u>2</u>	
		療	<u>放射線撮影技術学</u>	<u>2</u>		
			画像	CT・MRI撮影技術学	<u>2</u>	
			技	<u>CT・MRI機器工学</u>	<u>2</u>	
			術学	撮影技術学・機器工学実験I	<u>1</u>	
			 	撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	1	
				画像解剖学	<u>1</u>	
				画像解剖学演習	<u>1</u>	
				機器工学演習	1_	
			核	核医学検査技術学 I	<u>2</u>	
			校 医学検	核医学検査技術学Ⅱ	<u>2</u>	
			学検	核医学検査技術学実験	<u>1</u>	
			査	放射性薬品学	<u>1</u>	
			放	放射線治療技術学I	<u>2</u>	
			放射線 粉 粉 粉	放射線治療技術学Ⅱ	<u>2</u>	
			学治	放射線治療技術学実験	<u>1</u>	
	 学		療	放射線治療学	<u>1</u>	
			医	<u>画像工学</u>	<u>2</u>	
	科専		報用	医療情報学	1	
	門		報用画像	医用画像情報学	<u>2</u>	
	科目		情	医用画像情報学実験	1	
	群		全放	放射線安全管理学	<u>2</u>	
			全管理学 放射線安	放射線関係法規	1	
			学安	安全管理学実験	1	
			全際学年安	医療安全管理学	2	
			断画術・像	<u>臨床画像解剖学</u>	<u>2</u>	
			術 ・ 像	<u>臨床画像解析学</u>	<u>2</u>	
			臨	臨床実習 I	<u>6</u>	
			床	臨床実習Ⅱ	<u>2</u>	
			実	臨床実習Ⅲ	<u>2</u>	
			習	<u>臨床実習ゼミナール</u>	<u>2</u>	
		#-1	+-診	診療画像技術学特講	1	
		専門	技術特講診療放射線	核医学・放射線治療学特講	1	
		特	特射	放射線技術学特講	1	
	講	講線	基礎医学特講	1		
				<u>先進核医学</u>	1	
			先 技進	<u> </u>	1	
		研究	技権科学	<u></u>	1	
		分	学 	<u> </u>	1	
		野	研	卒業研究 I	2	
			研卒究業	<u> </u>	2	
				 	126	
	L				1 - 	

新 旧 別表第8 別表第<u>9</u> 別表第9 別表第<u>10</u> 学費 学費 (単位:円)

学部名 学科名	学 年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料	学部名 学科名
	1年次	250,000	900, 000	680, 000	1,830,000		7.1.1
呆健医療学部	2年次		900, 000	680, 000	1,580,000	30, 000	保健医療学部
减灸学科	3年次		900, 000	680, 000	1,580,000	30,000	鍼灸学科
	4年次		900, 000	680, 000	1,580,000		
	1年次	250,000	900, 000	680, 000	1,830,000		
呆健医療学部	2年次		900, 000	680, 000	1,580,000	30,000	保健医療学部
理学療法学科	3年次		900, 000	680,000	1,580,000	30,000	理学療法学科
	4年次		900, 000	680,000	1,580,000		
	1年次	250,000	900, 000	680, 000	1,830,000		
呆健医療学部	2年次		900, 000	680,000	1,580,000	30, 000	保健医療学部
看護学科	3年次		900, 000	680,000	1,580,000		看護学科
	4年次		900, 000	680,000	1,580,000		
	1年次	250,000	900, 000	680,000	1,830,000		
呆健医療学部	2年次		900, 000	680, 000	1, 580, 000	20,000	保健医療学
臨床検査学科	3年次		900, 000	680, 000	1, 580, 000	30,000	臨床検査学科
	4年次		900, 000	680, 000	1,580,000		
	1年次	250,000	900, 000	680, 000	1,830,000		
呆健医療学部	2年次		900, 000	680, 000	1, 580, 000	30,000	保健医療学
作業療法学科	3年次		900, 000	680, 000	1,580,000	30,000	作業療法学科
	4年次		900, 000	680, 000	1,580,000		
	1年次	250,000	900, 000	680, 000	1,830,000		
呆健医療学部	2年次		900, 000	680, 000	1, 580, 000	20.000	保健医療学
临床工学科	3年次		900, 000	680, 000	1, 580, 000	30, 000	臨床工学科
	4年次		900,000	680,000	1,580,000	1	

学部名	学 年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料
学科名						
	1年次	250,000	1,000,000	<u>550,000</u>	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
鍼灸学科	3年次		1.000.000	650,000	1.650,000	
	4年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
	1年次	250,000	1.000.000	<u>550,000</u>	1.800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
理学療法学科	3年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	4年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	1年次	250, 000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
看護学科	3年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
	4年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
臨床検査学科	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640.000	1.640.000	
	1年次	250,000	1,000,000	<u>550,000</u>	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
作業療法学科	3年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	4年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	1年次	250,000	1,000,000	<u>550,000</u>	1,800,000	30,000
保健医療学部	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
臨床工学科	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	<u>1年次</u>	<u>250,000</u>	1,000,000	<u>550,000</u>	1,800,000	30,000
<u>保健医療学部</u>	<u>2年次</u>		1,000,000	640,000	1,640,000	
診療放射線学科	<u>3年次</u>		1,000,000	640,000	1,640,000	
	<u>4年次</u>		1,000,000	640,000	1,640,000	

森ノ宮医療大学 教授会規程

平成19年4月1日制定 平成22年10月19日改定 平成26年7月29日改定 平成27年4月1日改定 平成28年5月24日改定

(趣旨)

第1条 森ノ宮医療大学学則の規定による森ノ宮医療大学教授会(以下「教授会」という。)の組織、権限、運営等については、この規程の定めるところによる。

(審議事項)

- 第2条 教授会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 教育課程の編成に関すること
 - (2) 授業及び試験に関すること
 - (3) 学生の入学、卒業または課程の修了、その他学生の在籍に関すること、及び学位の授与に関すること
 - (4) 学生指導に関すること
 - (5) その他、教育または研究に関する事項
- 2 前項の規定に掲げる事項のほか、理事長ならびに学長の諮問した事項を審議し、意見を述べることができる。

(組織)

第3条 教授会は森ノ宮医療大学(以下「本学」という。)の理事長ならびに学長、教授、准教授、専任 講師、法人本部長、事務局長をもって組織する。

(議長)

- 第4条 教授会は、学長が招集し、その議長となる。
- 2 議長に事故あるときは、構成員のうちから議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。

(招集)

第5条 教授会は、前条の規定に関する事項について、審議する必要があると認めるときに、あらかじめ 審議事項を通知して招集する。ただし、緊急の場合は、この限りではない。

(議事)

第6条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

- 2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の時は、議長が決す。ただし、特別の必要があると認められるときは別に定める割合以上の多数をもって議決することがある。
- 3 教授会は、必要があると認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

(議事録)

第7条 議長は、議事録を作成しなければならない。

(議案の提出)

- 第8条 教授会に議案を提出しようとする者は、会議の開催日の3日前までに議長に申し出なければならない。
- 2 臨時に教授会を開くことを要求する者は、議長に議案を添えて申し出なければならない。

(委員会)

第9条 教授会に専門的事項を審議するため、委員会を置くことができる。

(事務)

第10条 教授会の事務は、大学教務室において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規程は平成22年10月19日から施行する。
- 3 この規程は平成27年4月1日から施行する。
- 4 この規程は平成28年5月24日から施行する。

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科 設置の趣旨等を記載した書類

目次

1.	. 設置の趣旨及び必要性	1
	(1) 大学設置の沿革	1
	(2) 診療放射線学科設置の必要性	1
	① 診療放射線技師の現状	2
	② 社会的ニーズ	2
	③ 近畿及び大阪エリアにおける診療放射線学科の必要性	4
	④ 質の高い診療放射線技師養成の必要性	4
	(3) 教育研究上の目的及び学科の特色	5
	① 診療放射線学科が研究対象とする学問分野	5
	② 教育研究上の目的	5
	ア 基礎教育の徹底	6
	イ 専門的医療人の育成	6
	ウ 情報通信技術の活用	
	エ 診療放射線技術の実践	
	③ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	
	ア 精度の高い専門的知識と専門技術	
	イ チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力	
	ウ 豊かな人間力	
	エ 主体的問題解決能力	
2.	. 学部、学科等の特色	
	(1) 医学・健康科学領域の学識と診療放射線学領域の知識の取得	
	(2) 放射線診療への情熱と高い倫理観の育成	
	(3) 円滑なコミュニケーション能力の取得とチーム医療の担い手の養成	
	(4) 個性の尊重と到達目標の明確化	
	. 学科の名称及び学位の名称	
4.	. 教育課程の編成の考え方及び特色	
	(1) 教育課程の基本構成と方針(カリキュラム・ポリシー)	
	① 教育内容	
	② 教育方法	
	③ 学修成果の評価方法	
	(2) 教養科目群の編成と特色	
	(3) 学部共通科目群の編成と特色	
	(4) 学科専門科目群 (専門基礎科目) の編成と特色	
	(5) 学科専門科目群(専門科目)の編成と特色	19

	(6) 学科専門科目群(専門特講・研究分野)の編成と特色	. 15
	(7) 卒業認定	. 16
5.	教員組織の編成の考え方及び特色	. 17
	(1) 教員組織の編成について	. 17
	(2) 主要科目と教員配置について	. 17
	(3) 教員の年齢構成について	. 18
6.	教育方法、履修指導方法及び卒業要件	. 19
	(1) 教育方法	. 19
	① 他学科との連携教育	. 19
	② 少人数教育	. 19
	③ 課題探究・問題解決能力を養う教育	. 20
	④ 担任制・チューター制の導入	. 20
	⑤ キャップ制の導入	. 20
	(2) 履修方法とその指導	. 20
	(3) 卒業要件	. 21
7.	施設、設備の整備計画	. 21
	(1) 校地、運動場の整備計画	. 21
	① 校地の状況	. 21
	② 校舎の建設	. 22
	③ 運動施設の確保	. 22
	ア 運動施設拡充	. 22
	イ 体育系の授業	. 23
	ウ 課外活動支援	. 23
	(2) 校舎等施設の整備計画	. 24
	① 講義室	. 24
	② 基礎的な技術指導が可能な実習室	. 24
	③ 専任教員の実験・研究施設	. 24
	④ 個別指導及び問題解決能力を養う演習室	. 25
	⑤ 地域との交流の場, 生涯学習の拠点	. 25
	⑥ その他	. 25
	(3) 図書等の資料及び図書館の整備計画	. 25
	① 図書館の整備計画	. 26
	② 図書資料整備計画	. 26
	③ 他の情報機関との協力	. 27
	④ 学術情報センターとしての機能	. 27
8.	入学者選抜の概要	. 28
	(1) 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)	. 28
	(2) 入学者選抜方法	. 28
	① AO (アドミッション・オフィス) 入試 (10名)	. 28

② 公募推薦入試(30名)	. 29
③ 指定校推薦入試(若干名) 2021 年度入試から導入予定	. 29
④ 一般入試 (38名)	. 29
⑤ 社会人入試(若干名)	. 29
9. 資格取得	. 30
10. 実習の具体的計画	. 30
(1) 実習の基本方針	. 30
(2) 実習先の確保の状況	. 31
(3) 実習先との契約内容 個人情報保護、感染防止対策、事故防止対策について	. 31
① 個人情報の保護について	. 31
② 感染防止対策について	. 32
③ 事故防止対策について	. 32
(4) 臨床実習水準確保についての方策	. 32
(5) 臨床実習先との連携体制	. 33
(6) 臨床実習前の準備及び事後の指導計画	. 33
(7) 臨床実習に際しての専任教員の配置並びに巡回指導計画	. 34
(8) 臨床実習施設における実習指導者及び学生の配置計画	. 34
(9) 臨床実習の成績評価体制及び単位認定方式	. 34
11. 管理運営	. 34
(1)教学面における管理運営体制	. 34
① 教授会	. 34
② 管理運営会議	. 35
(2) 教授会に関連する下部組織としての委員会	. 35
① エンロールメントマネジメント委員会	. 35
② 教務委員会	. 35
③ 自己点検評価・FSD 委員会 (FSD とはFD と SD を総称する本学独自の造語。以下FSD とする。)	. 36
④ 人権問題委員会	. 36
⑤ 附属図書館運営員会	. 36
⑥ 学生支援委員会	. 36
⑦ 教職課程委員会	. 36
⑧ 臨地・臨床実習委員会	. 36
12. 自己点検・評価	. 36
(1)実施の方法と体制	. 36
(2) 結果の活用・公表	. 37
① 結果の活用	. 37
② 評価報告書の作成と公表	. 37
③ 評価	. 37
(3) 評価項目	. 37
(4) 認証評価	. 38

13. 情報の公表
(1) 大学の教育研究上の目的に関すること39
(2) 教育研究上の基本組織に関すること40
(3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること40
(4) 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了
した者の数、並びに進学者数及び就職者数、その他進学及び就職等の状況に関すること40
(5)授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること41
(6) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること 41
(7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること41
(8) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること41
(9) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること 41
(10) その他42
① 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報42
② 財務に関する情報42
14. 教育内容の改善を図るための組織的な研修等 43
(1)自己点検評価・FSD 委員会実施体制43
(2) SD の実施体制
(3) FD の実施体制
① 教員の資質を判断する客観的・合理的な評価の策定 43
ア 学生による授業評価43
イ 教職員による公開授業見学会44
ウ 研究活動の評価44
エ 大学運営への貢献度に対する評価44
オ その他の活動報告44
② 教員の研修・研鑽機会の創出45
ア 教育活動改善担当者の配置45
イ 教育活動改善に関する研修、研究機会の確保45
15. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制45
(1) 教育課程内の取り組み45
(2) 教育課程外の取り組みについて
(3) 適切な体制の整備

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科 設置の趣旨等を記載した書類

1. 設置の趣旨及び必要性

(1) 大学設置の沿革

学校法人森ノ宮医療学園は、「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」という建学の精神のもと、昭和48(1973)年、大阪市東成区に鍼灸師養成のための専門学校「大阪鍼灸専門学校(現:森ノ宮医療学園専門学校)」を開設した。その後は、「生命(いのち)への愛と畏敬」を学園の精神とし、基本理念である「人によりそい幸福(しあわせ)を希う学園」を目指して発展を続けてきた。平成12(2000)年には同専門学校に柔道整復学科を新設し、これまでに3,000人以上の鍼灸師、1,500人以上の柔道整復師を輩出している。

平成 19 年 4 月には、大阪市住之江区に保健医療学部鍼灸学科と理学療法学科を備えた森ノ宮医療大学を開設した。森ノ宮医療大学は、設立の目的を「幅広い知識と高度な専門技術を有し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす」と定めている。

また、開学から4年後の平成23年4月には、保健医療学部看護学科と、大学院保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)を設置し、さらに5年後の平成28年4月には、保健医療学部に臨床検査学科と作業療法学科の2学科と、1年課程の助産学専攻科を設置、平成30年4月には保健医療学部臨床工学科と、大学院保健医療学研究科医療科学専攻(博士後期課程)を設置したことから、本学は現在1学部6学科、1専攻科、大学院1研究科2専攻(修士課程・博士後期課程)という体制になった。

令和2年4月に保健医療学部に診療放射線学科を新設することで、大学の目的として掲 げるチーム医療の教育をより充実させるとともに、広く社会に貢献できる医療人の育成を 通してさらなる保健医療分野の発展に寄与することを目指す。

(2) 診療放射線学科設置の必要性

本学は平成19年の開学以来、保健医療分野における社会貢献を目指し、社会的ニーズ

に即した教育と人材育成に努めてきた。この度本学が計画している保健医療学部への診療 放射線学科新設も、診療放射線技師に対する社会の要請と期待に応えるものである。

① 診療放射線技師の現状

診療放射線技師は、昭和 26 年 12 月に公布された文部・厚生省令の診療エックス線技師 学校養成所指定規則により学校教育がはじまり、昭和 59 年 9 月の診療放射線技師学校養成 所指定規則の改正(授業時間数 2,900 時間)を経て、平成 13 年 4 月のカリキュラム大綱化 により時間数から単位数 (93 単位)に変更された。さらに平成 27 年 4 月、業務拡大に伴い、 指定規則の単位数が 93 単位から 95 単位に増加され(平成 27 年文科省厚労省令第 1 号)、 現在に至る。

また、近年の法令改正により、診療放射線技師の業務内容が拡張されている。1) 平成5年4月、診療の補助としての磁気共鳴画像診断装置: MRI (Magnetic Resonance Imaging)、超音波診断装置、眼底写真撮影装置が業務として追加(健政発第293号、医事第40号)。2) 平成16年8月、陽電子放射断層撮影装置: PET (Positron Emission Tomography) による検査(医政発第0801001号)、3) 平成17年7月、放射線治療で使用される放射線に陽子線及び重粒子線、中性子線が追加(医政発第0729011号)、4) 平成22年4月、厚生労働省から画像診断における読影の補助、放射線検査等に関する説明と相談が業務の一部として通知されている(医政発0430第1号)。さらに5) 平成27年4月、静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、抜針及び止血を行う行為、肛門にカテーテルを挿入する行為、カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為などが追加された(医政医発0331第2号)。

このような現状において、これからは診療放射線技師として診療(診断と治療)に携わるためには、医学・医療を基盤とした高い倫理性と豊かな人間性をもち、人間を統合的に理解する能力、科学的な学問体系から得られた専門的知識・技術に裏付けされた実践力、チームの一員として役割を果たす責任と協働する能力、問題解決に向けた科学的思考能力と主体的学修能力を備えた人材を育成する必要がある。このような社会の要望に対応できるだけの素養を身に付けた診療放射線技師の育成には、大学における学士課程の教育が必須である。

② 社会的ニーズ

近年、先端 X 線診断機器である MDCT (Multi Detector Computed Tomography) をは じめ画像診断装置の急速な発展と前述の法令改正による業務が拡大するなかで、放射線医 療の特化に伴う放射線専門医師の不足による要因が加わり、診療放射線技師に対して専門 的な知識と技能が求められている。

平成30(2018)年6月に報道された、千葉大学病院で男女9人の患者に対してCT検 査画像診断の報告内容を医師が見落とすなどしてがんの診断が遅れ、2 人が死亡した問題 では、担当医が自分の専門分野だけに注目し、別の部位のがんの存在を見落したことが原 因とされている。同様に報告書を十分に確認せず治療が遅れたケースは、他にも多数報告 されている。このようなことが起こる背景には、医療の ICT (Information and Communications Technology) 化である病院情報システム(Hospital Information System: HIS) や PACS(Picture Archiving and Communication Systems)の普及があ る。たとえば CT 検査の場合、主治医が検査のオーダーを出し、診療放射線技師が検査を 行い、画像ができる。この画像を見て放射線科医が画像診断報告書を作成するが、数百枚 の画像を読影し報告書を書くには一定の時間がかかるのに加え、増え続ける検査のオーダ ーに報告書の作成が追いついていないという側面もある。一方、撮影された画像は HIS や PACS を介して、検査終了後すぐに主治医の端末で画像を確認することができるため、報 告書が届く前に画像だけを見て診断し、患者に説明することも少なくない。前述の平成22 年4月30日付医政発0430第1号「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進に ついて」において診療放射線技師のさらなる役割として、「画像診断における読影の補助 を行う」ことが求められており、この読影の補助が見落としの防止対策の有効な対策の1 つになる可能性がある。

一方、平成 19 年 4 月に施行された「がん対策基本法」では、「放射線療法及び化学療法については、がん医療における重要性が高まってきていることを踏まえ、卒前教育、卒後の臨床研修の各段階において、適切な教育、研修が行われるよう、必要な措置を講ずるとともに、これらの分野に関する人材の育成と専門的な教育・研究体制の充実を図ること」、また「放射線療法の品質管理が十分に行われるよう、適切な措置を講ずるとともに、あわせて専門的な人材の育成に努めること」としている。さらに、「がん検診については、最新の診断機器の効率的利用や撮影技師の技能向上等により、早期発見率を向上させるとともに、がん検診の事後評価を推進すること」としている。

実際に文部科学省は、平成 19 (2007) 年度から平成 23 (2011) 年度までに「がんプロフェッショナル養成プラン」を、さらに平成 24 (2012) 年度から平成 28 (2016) 年度まで、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」を実施し、がん医療に専門的に携わる医師、歯科医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、医学物理士等の医療従事者の育成を行ってきた。

これらのことから、現状及び将来のがん診療(診断と治療)における診療放射線技師の 役割は非常に重要であり、業務に携わる診療放射線技師の質の向上を図るための専門基礎 教育が必要である。

上記のような社会ニーズに加え、本学の施設・設備、教室等の状況から教育の質を保つことが可能な入学定員数を検討し、診療放射線学科の入学定員を80名に設定した。

③ 近畿及び大阪エリアにおける診療放射線学科の必要性

診療放射線技師の養成施設は、平成 31 (2019) 年 1 月現在で全国に 50 校 (入学定員 3,080 人) 設置されており、大学 35 校 (入学定員 2,081 名:約 67.5%)、専修学校や各種学校 15 校 (入学定員 999 名:約 32.4%) である【資料 1】。そのうち、近畿における大学は、国立大学 1 校 (大阪大学医学部保健学科放射線技術学専攻:入学定員 40 人)と私立大学 3 校 (鈴鹿医療科学大学保健衛生学部放射線技術科学科:入学定員 100 名、京都医療科学大学医療科学部放射線技術学科:入学定員 77 人及び大阪物療大学保健医療学部診療放射線技術学科:入学定員 80 名)の 3 校である。また専修学校 3 校も設置されており計7 校で入学定員は 487 人である。高学歴志向が高まる中で、大阪府周辺地域における診療放射線技師の養成は、全国平均よりも約 7%も高い 39.0%を専修学校や各種学校に依存している状況となっている。

大阪府内には北部に大阪大学医学部保健学科放射線技術科学専攻が、南部に大阪物療大学保健医療学部診療放射線技術学科が設置されているのみであり、中央部に位置する政令指定都市である大阪市内に放射線医学分野の教育・研究拠点として、地域医療の向上と発展に幅広く貢献することができる保健医療分野における総合医療大学(4年制)である本学に診療放射線学科を新設することの意義は大きいと考えられる。

④ 質の高い診療放射線技師養成の必要性

近年、我が国においては、疾病構造の変化に対応するための医療技術の進歩により、診療放射線技師には専門的な知識や技能の向上が求められている。一方で他の医療従事者と意思の疎通を図り、相互の立場を思いあう対人関係の形成のために、円滑な人間関係の構築を図る必要がある。結局、幅広い教養を身につけた豊かな『人間力』を備えることが求められていることから、人に対して深い思いやりを持って行動し、適切な倫理判断ができるような態度を醸成させることが重要である。さらに、理学や機器工学分野の教育を専門基礎として医学・医療分野の教育を主体とした診療放射線技師の養成教育のなかで、専門分野における学術研究の進展に対応するための継続的な自己研鎖力や基礎的な研究能力が求められることから、医療環境の変化に対応することができる診療放射線技師を育成することが必要である。この点において総合医療大学での診療放射線技師教育は、科学的・論理的思考力の獲得、情報化社会に対応できる能力の向上及び診療放射線技術の革新や推進を

担うべき能力の育成を目的としており、放射線診療に関する医学的・理工学的な教育研究 を展開することで、この領域で活躍できる人材を養成が可能である。

また、高度に進化し続ける医療機器や医療技術に対応し安全に放射線医療を実践する観点から、平成26年5月22日付けで、診療放射線技師養成校の4年制大学教育への移行を要望した「診療放射線技師養成教育に関する要望書」が、公益社団法人日本放射線技師会から厚生労働省医政局医事課長に提出されている【資料2】。さらに、公益社団法人日本放射線技師会及び本学の所在地にある公益社団法人大阪府放射線技師会からは、本学に対して、学科新設の賛同書【資料3】【資料4】が提出されており、本学の診療放射線学科新設に強い期待が寄せられている。

(3) 教育研究上の目的及び学科の特色

① 診療放射線学科が研究対象とする学問分野

診療放射線学科では「診療放射線学」及び「診療放射線技術学」を研究対象とする。

② 教育研究上の目的

森ノ宮医療大学は、「幅広い知識と高度な専門技術を有し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす」ことを目的とする。

なお、ここで言う「高度な専門技術」とは、大学教育で重視される教養教育や、基礎から応用まで体系的に積み上げられた専門教育をベースに、専門性を更に深めていく中で身につけていく様々なスキルの事であり、将来、医療の専門家として頼られ、各分野で重要な役割を担っていくために欠かせないものと考えている。また、保健医療学部は上で述べた大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的としている。

診療放射線学科においては、医学及び理工学の幅広い専門的知識並びに最先端の放射線 診療(診断と治療)技術を修得し、医療従事者としての自覚及び倫理観をもち、患者との 間に良好な信頼関係を構築できる能力を身につけた、より質の高い医療を提供できる診療 放射線技師を育成することを目的としている。すなわち、卒業時点で医療従事者としての ふさわしい態度、幅広い知識、安全に医療を行う技術を身につけており、診療放射線技師 国家資格を取得したのち、医療現場においてチーム医療での役割に寄与すると共に、高度 化・複雑化した放射線機器のニーズに対応し、これに伴う放射線治療技術の促進に資する とともに、高度に専門化した医療保健学分野の体系化を図り、豊かな人間性と創造性に基 づいた科学的思考力と適切な判断力を有する人材の輩出を目指す。

下記ア~エで、診療放射線学科が目指す教育研究上の目的をさらに具体的に列挙する。

ア 基礎教育の徹底

診療放射線技術領域に従事するためには、人体の構造・解剖の基礎及び各種疾患の病態を体系的に学び、それらに関わる放射線検査装置の原理・構造などの理工学的基礎知識を習得し、その適正かつ安全な使用法や検査に必要な知識・技術を習得する必要がある。さらに放射線を安全かつ最適に利用するための管理に関する知識と技術を有し実践できることが求められている。このような放射線診療の基盤となる知識と技術の習得を徹底する。

イ 専門的医療人の育成

医療に携わる診療放射線技師として使命感と倫理観を自覚し、放射線を用いた診療(診断と治療)における適正な医療技術の提供とそれに対する責任の持てる専門的医療人を育成する。

ウ 情報通信技術の活用

情報化社会の進展により、医学・医療分野でも情報通信技術(ICT)を用いた手法が取り入れられている。地域医療情報連携ネットワークの高度化、遠隔医療の普及促進、医療等分野における AI 利活用、8K 等高精細映像データ利活用など様々な ICT の手法や情報を適切に扱い、学習やコミュニケーションに利活用できる知識及び技能の習得を確実なものとし、深刻な個人情報漏洩などの危険性・対策についても理解する。

エ 診療放射線技術の実践

診療放射線技師業務の複雑なタスクを基本的なスキルに分解・簡素化し繰り返し実習することにより、習得した知識・技能を確実なものとするとともに、Objective Structured Clinical Examination (OSCE) にロールプレイングの技法を取り入れ、インストラクションによる業務タスクの実践に繋げ、「知っていること」を「できること」に導く。

③ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、 学士(診療放射線学)の学位が与えられる。これは診療放射線技師国家試験受験資格とな る。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与する。

ア 精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。

イ チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、 チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩 と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。

ウ 豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえる ことのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

工 主体的問題解決能力

診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、主体的に創造的に問題を解決することができる。

2. 学部、学科等の特色

診療放射線学科の特色

診療放射線学科が属する保健医療学部は、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択・実践し得る指導的人材を育成することを使命としている。

診療放射線学科は保健医療学部に設置され、入学定員は80人、収容定員は320人とし、人間育成と人格養成を教育の根幹に据え、個性の尊重・品性の陶冶という理念を礎に、多様な背景や目的を持って入学してくる学生に、それぞれの個性に応じ、その総合力(専門力・応用力・即戦力)を最大化する教育を施すシステムを確立し、それにより人間社会の豊かな発展に貢献できる高度な診療放射線技師を育成することとしている。

また、高等教育のユニバーサル化による診療放射線学科の高度専門職業人養成において、専門教育では診療放射線分野に関する基礎的知識と基本的技術の実践能力を有するとともに、専門性を進化させて生涯学び続けるだけの素養を育むとともに、常に前進し続け

るための向上心を培うことを特色としている。

教育システムの具体的内容は、医学・健康科学とそれに関連した領域の学識と診療放射線領域での十分な知識を身に着け、医療・保健・福祉に関わる高度先進医療が理解できた上で、医療従事者としての意義と重要性を理解し、健康創生への情熱、病める人に対する共感、高い倫理観を持って、医療・保健・福祉の発展に寄与することができ、医療に関わる課題に取り組むための幅広い視野を身につけ、チーム医療の一員として円滑にコミュニケーションができる能力をもった診療放射線技師を養成することとしている。

診療放射線学科の特色を、以下で具体的に示す。

(1) 医学・健康科学領域の学識と診療放射線学領域の知識の取得

教養科目群・学部共通科目群では、幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を育成し、医療系統合教育や医学教育も含め、各専門分野における徹底した集団指導により、診療放射線技師に求められる学識と知識を涵養することを目指す。学科専門科目群では、医療及び医学に関連する幅広い知識を身につけるために、基礎医学、臨床医学のみならず、生命科学領域を通して人のからだ全体を放射線の眼で診ること(放射線検査)ができ、放射線を巧みに操ること(放射線療法)によるがん治療の知識と技術を取得することに留まらず、次世代の診療放射線学の研究や医療をけん引できる人材の育成を目標とし、3、4年次には研究分野の教育を実施し、生命科学領域を中心とした診療放射線学に関する先進的・専門的知識を習得し、独創的な研究を展開する実行力を持ち合わせた診療放射線技師の育成を図る。

(2) 放射線診療への情熱と高い倫理観の育成

医療に携わる診療放射線技師としての感性豊かな人間性や人間そのものに対する共感と深い洞察力及び病める者を救おうという強い意思と情熱を育むカリキュラムを構築し、カリキュラム全体を通し、医療専門職としてふさわしい使命感と倫理観を自覚し、放射線を用いた診療(診断と治療)における適正な医療技術の提供とそれに対する責任の持てるプロフェッショナルを育成する。さらに、放射線診療を実施するための法的根拠、規律、規範、患者の権利、診療放射線技師の義務について学ぶことにより、法規・規範の遵守の精神を構築するとともに、医療人としての高い倫理性を有し、自己犠牲と奉仕の精神をもって行動できる診療放射線技師を育成する。

(3) 円滑なコミュニケーション能力の取得とチーム医療の担い手の養成

問題解決型授業等の科目を設け、早期から看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、鍼灸師、臨床工学技士の個々の専門領域への興味と理解を深めるとともに、これら全学科の学生が合同で学ぶ融合型授業により、チーム医療に不可欠な他職種への理解を深めるとともに表現能力とコミュニケーション能力を鍛える。これにより、患者の訴えを共感的に傾聴でき、専門的な知識、技術等を分かりやすく説明でき、診療放射線技師としてチーム医療を支え、他職種のスタッフとのチーム医療の重要性を理解し実践することによって患者のQOL向上に貢献できるような人材を育成する。

(4) 個性の尊重と到達目標の明確化

個々の学生が持つ異なる性格と特色ある才能を尊重し、画一化することなく、それぞれの才能を発揮できるような講義・実習を工夫することにより学生の知的好奇心を育む。さらに、診療放射線技師の業務指針に即したスペシャリストを学生自らの目標とし、それを実現する手段を探索しながら学び、達成するために自律的な努力を重ねることができるような養成カリキュラムを構築し、生涯学び続ける姿勢を堅持できる人材を育成する。

3. 学科の名称及び学位の名称

本学科は保健医療分野において放射線診療を担う専門医療人を育成するとともに、放射線診療の進展に寄与すべき教育・研究を行うことを目的としている。これを簡潔平易に表す学科名称として「診療放射線学科」(Department of Radiological Sciences)とする。

本学科の卒業要件を満たしたものに対して学士の学位を授与する。学位の名称はその教育・研究内容から「学士(診療放射線学)」(B.S.in Radiological Sciences)とする。

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

(1) 教育課程の基本構成と方針(カリキュラム・ポリシー)

診療放射線学科が掲げる「養成する人材像」及び「診療放射線学科の特色」の趣旨を実現するために、本学科の教育課程は『教養科目群』、『学部共通科目群』、『学科専門科目群(専門基礎科目、専門科目、専門特講、研究分野)』と順次体系的に構成されている。この構成は医療に携わる専門職の養成に有効なプログラムを提供するのみならず、中央教育

審議会の答申を踏まえ、学士力(知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習 経験と創造的思考力)を育むように編成されている。診療放射線学科もこれに従って科目 編成を行い、人間性・科学性、国際性、倫理観に関する総合力ならびに社会人として広汎 な知識を有し国際的かつ社会的素養を有した人材育成を目指す。

診療放射線学科の教育課程編成・実施の方針としてカリキュラム・ポリシーを以下に記す。

① 教育内容

- ・1、2年次には教養科目、学部共通科目ならびに専門知識の基礎を修得し、診療放射線 技師の礎となる知識、技術、人間力の習得を目指す。
- ・3、4年次には1、2年次に学修した知識を基に臨床実習において、臨床現場で活用できる知識、技術、さらにはチーム医療における自らの役割について学修し、専門職医療人としての確固たる知識・技術を身に付けるために、実践的な実習を中心に演習や講義に取り組む。

② 教育方法

- ・医療知識、教養知識を修得するための講義科目を配置する。
- ・臨床実習において活用できる技術、知識の修得を目標とした実習科目を配置する。
- ・他職種連携教育(IPE)を積極的に導入し、チームで模索・討議し、協調性をもって 解決策を検討するチーム医療実践のための演習科目を配置する。
- ・予習、復習などをシラバスに記載し、学修すべきポイントを明確にすることで、積極 的に課題を見出し自ら問題解決に取り組む主体的な学修を促す手法で教育を行う。

③ 学修成果の評価方法

- ・科目ごとに学修到達目標を明確にし、目標到達度に応じて学修成果の評価を行う。
- ・ルーブリック等を積極的に活用し、評価基準を教員・学生ともに共有し、評価の透明 性・公平性が確保された手法で学修成果の評価を行う。

(2) 教養科目群の編成と特色

本学の教養科目群は『科学的思考』、『人間理解と社会』、『語学』の科目区分によって構成される。『科学的思考』では、物事の相互関係を正しく理解し分析できる力、また得られたデータから推論によって仮説を出し、それを検証していくという科学的思考力を培う。

『科学的思考』の科目区分では、医療従事者としての心構えと科学的思考の基礎を築

く。「基礎ゼミナール」では、高校から大学へのスムーズな移行と、大学で自ら学ぶこと への動機付けをおこなう。「情報処理」では昨今の情報コミュニケーション技術の発展に ともなう膨大な知識と情報を有効に活用するためのメディア・リテラシーを修得する。

『人間理解と社会』の科目区分では、人と人との関係において他者を理解する事、すなわち人の心の様相を理解することの意味を学ぶ。また人と社会の結びつきについて学修することで、社会の中で生きていく人のあるべき姿を考える。「生命倫理学」、「哲学」では人の尊厳を幅広く理解し、医療に携わる上で必要な倫理的判断力を育む。

『語学』では、国際共通語である英語に特化した語学力の向上を日指す。医療の分野に おいても、グローバル化に対応するために英語の重要性は増している。英語を用いて異文 化を理解し、英語でコミュニケーションがとれるよう実践的な英語力の修得を目指す。

(3) 学部共通科目群の編成と特色

既設の6学科では令和2年度からカリキュラムを変更し、診療放射線学科を含む保健医療学部の全7学科で『学部共通科目群』の科目編成が統一される。これにより、『学部共通科目群』では既設学科と密に連携をもち、専門職種間での相互の理解を深めた教育を目指す。学科を越えて同じ目標に向かい、ともに学ぶ機会を設けることで異なる医療職種の理解につなげる。特に「MBS(Morinomiya Basic Seminar)」と「チーム医療見学実習」は入学当初から座学と見学実習を通して医療への興味と理解と深め、専門職医療人のベースを確立する。また、「チーム医療論」と「医療コミュニケーション」は、医療の現場でチームとして協働するために必要とされる資質や素養を身につけるために必修とした。ここでは医療者と患者、そして医療者同士でのコミュニケーションを学ぶとともに、医療におけるコミュニケーションの重要性とチーム医療の意義を学び、多様な環境に対応できる能力を育む。また、同じく必修とした「IPW論」では、異なる医療職を目指す他学科の学生との症例検討等を通し、専門職間連携の方法について学びを深める。

(4) 学科専門科目群 (専門基礎科目) の編成と特色

『学科専門科目群』の専門基礎科目では、診療放射線学の理論と実践の基盤となる医学・理工学・放射線の科学の専門分野として人体・理工学・放射線の科学を焦点に、「生命現象や各種疾患の病態の理解、チーム医療における医療内容の把握、理工学的技術の放射線診療への応用」を習得するために、専門基礎科目群として『基礎科目演習』、『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』及び『保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術』の3領域から構成されている。

『基礎科目演習』の科目区分では、「数学」、「数学演習」、「物理学演習」、「生物学演習」及び「化学演習」を選択科目として設定することにより高校時代に履修していない科目の基礎を学び、学科専門科目群へのスムーズな移行を図る。

『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』では、広く保健医療に携わる者としての共通認識の為の「医学概論」と「公衆衛生学」を学び、職種間相互理解において重要な位置を占める「人体の構造 II」、「人体の構造 II」と「人体の機能 II」、「人体の機能 II」について系統的に学び、基礎事項を理解する。さらに人体における生物学的、化学的な仕組みを「生化学」、「病理学」、「内科学 II」、「内科学 II」、「外科学」、「薬理学」及び「看護学概論」において系統的に学ぶとともに、「基礎医学実習」により生物、化学的な成分分析及び理工学的な計測技術を学ぶことにより、生命現象の総合的な理解を日指す。また、「教急災害医学」を選択科目として配置し、臨床実践において必要な救命技術や緊急時の対応等を学べるようにする。

『保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術』では、医学と理工学の融合した医用生体工学分野を中心とした内容を「医用工学」で学び、放射線機器を論理的に理解するための科目として、電気現象と電子現象を解析する「電気・電子工学」を配置し、放射線機器で使用される様々な電気・電子回路の働きを「工学演習」で学び、

「専門基礎科目実験」において講義で学んだ知識・理解を深め、必要な技術を修得し応用展開できるようにする。一方、診療放射線学の根幹である放射線の物理現象の基本事項から原子物理学、放射線と物質(生体)の相互作用を中心に学習するための必修科目として「放射線物理学」を、放射線の化学の基本事項から分離法、製造法、核反応を学び放射性核種の化学的性質を理解するために「放射化学」を必修科目として設定した。さらに、放射線の人体に対する影響を詳しく学ぶために「放射線生物学」を、放射線の医学利用及び放射線防護における放射線計測の知識を得るために「放射線計測学」を、放射線診療に必要なシステム化、情報化など医療情報技術を理解するために「情報処理工学」を必修科目として配置した。加えて、「放射線物理学・計測学演習」、「放射線化学・生物学演習」及び「医療統計学」を選択科目として設定することにより、知識・理解を深め専門分野における学習への円滑な移行を図る。

(5) 学科専門科目群(専門科目)の編成と特色

学科専門科目群の専門科目では、診療放射線技師として必要な知識と技術を学び、問題解決のための基本的な能力、臨床現場で必要とされる基礎的な業務実践能力、チーム医療の一員として医療に携わることの重要性を理解できる能力及び社会人としての基本的な遵

守事項を育む。科目区分は『診療画像技術学』、『核医学検査技術学』、『放射線治療技術学』、『医用画像情報学』、『放射線安全管理学』、『医療安全管理学』、『画像診断・技術』及び『臨床実習』の8領域から構成する。

『診療画像技術学』領域では、診療放射線技師に必要な医療専門職としてのスキル(知識・技術・態度)を主に扱う科目として、「X線撮影技術学 I」、「X線撮影技術学 II」、「X線機器工学」、「放射線撮影技術学」、「CT・MRI 撮影技術学」、「CT・MRI 機器工学」、「撮影技術学・機器工学実験 II」、「画像解剖学」、「画像解剖学」、「面像解剖学演習」、「放射線医学概論」及び「機器工学演習」を学ぶ。

「X線撮影技術学 I」に対応する主要な画像モダリティは、X線を用いた単純撮影検査 (骨及び胸腹部の一般撮影、歯科領域、乳房 X線検査など)で、X線撮影に必要なポジショニング、画質評価、患者とのコミュニケーションなどを学ぶ。

「X線撮影技術学Ⅱ」に対応する画像モダリティは、X線を用いた造影検査(消化管造影、 血管造影)で、検査法、前処置・後処置及び画像処理技術などを学ぶ。

「X線機器工学」では、X線装置の基本概要(X線管球、X線装置、X線高電圧装置、 X線機械装置と関連する機器)、特殊検査で用いられる専用装置及びそれらに付随する機 器・装置の基本を学ぶ。

「放射線撮影技術学」に対応する画像モダリティは、非電離放射線を用いた超音波画像検 査、眼底検査などとそれらに付随する撮影装置の基本概要を学ぶ。

「CT・MRI 撮影技術学」では、画像診断の中心的モダリティである X線 CT 検査及び MRI 検査を学び、それらに付随する機器・装置は「CT・MRI 機器工学」で基本概要を学ぶ。

「X線撮影技術学・機器工学実験 I」、「X線撮影技術学・機器工学実験 II」では「X線撮影技術学 I」、「X線撮影技術学 II」、「放射線撮影技術学」及び「CT・MRI 撮影技術学」で学んだ内容について、ファントムと実際の装置を用いて撮影することで、撮影技術、装置・機器の性能評価、保守点検及び安全確認事項など、学内実験を通して体系的に診療放射線業務を理解するとともに、実践に応用することができる能力を学ぶ。

「画像解剖学」では、FPD装置、CR装置、X線CT装置などのX線を用いた画像診断装置の特性と画像の成り立ちを理解し、読影の補助に必要な画像診断の基本と画像解剖学の基礎を学ぶ。さらに「画像解剖学演習」では、画像検査と画像解剖学を演習形式で学習し、基礎学力と理解力を高める科目として配置した。

さらに、日々進歩している放射線機器、検査技術、造影剤など過去から最先端技術までを 学ぶため「放射線医学概論」を設定して配置した。

『核医学検査技術学』領域では、人体に放射性医薬品を投与して、人体の病態・生理機能

の情報を得て画像を生成し、放射性医薬品の体内移動、及び特徴、種類について学ぶために、「核医学検査技術学 I 」、「核医学検査技術学 II 」及び「放射性薬品学」を配置し、放射性医薬品、画像収集とデータ解析などに加え、核医学検査に使用される装置の構造と原理、品質・安全管理を学ぶ。また、核医学領域の講義で学んだ知識の理解を深め、実践的能力を習得するために学内において開講する「核医学検査技術学実験」を配置した。さらに、核医学領域の画像解析の意義と画像診断について学ぶ、「臨床実習 I 」及び「臨床実習 III」を配置した。

『放射線治療技術学』領域では、高エネルギー放射線発生装置により発生した放射線を人体に照射して、人体内の腫瘍等に対する治療を行う技術の基礎的な知識と技術、また放射線治療に用いられる関連機器に関する原理と構造、及び品質・安全管理についての知識と技術について「放射線治療技術学Ⅰ」、「放射線治療技術学Ⅱ」で学ぶ。また、放射線治療の対象となる腫瘍、正常組織に対する影響、さらに近年話題となっている先端放射線治療技術を理解するために「放射線治療学」を必修科目として配置する。さらに、講義で学んだ知識理解を深め、必要な技術・態度を獲得するために学内で開講する「放射線治療技術学実験」、及び学外の医療施設で行う「臨床実習Ⅱ」及び「臨床実習Ⅲ」を必修科目として配置した。

『医用画像情報学』領域では、増感紙/フィルム系を用いて作成するアナログ画像の成り立ちを「画像工学」で、CR や FPD を用いて作成するデジタル画像に対する画像解析・画像評価・画質評価・画像処理・情報処理技術について「医用画像情報学」で学ぶ。近年におけるX線画像は、放射線部にとどまらず、他部門や他病院へ転送なども行われている。「医療情報学」では、病院情報システム (HIS)、放射線情報システム (RIS)、画像情報管理システム (PACS)、画像情報の伝送、運用管理、医療情報としての標準化・標準規格 (HL7、IHE、DICOM など)とそれらによる情報連携などを学ぶ。さらに、講義で学んだ知識理解を深め、必要な技術を獲得するために学内で開講される「医用画像情報学実験」を必修科目として配置した。

『放射線安全管理学』領域では、診療放射線技師として医療現場で必要とされる放射線安全管理の基礎知識及び適切な管理法について学び、放射線機器の安全性確保と性能維持を実践するための科目として「放射線安全管理学」、「安全管理学実験」を配置し、実験では放射線機器や医用機器を、測定器及び検査器具(チェッカー)を用いてチェックすることで、放射線安全管理等に関する知識の確認と適切に運用できる能力と技術を育成する。さらに、医療人として患者や自分自身を守るための法律的な知識を学ぶための科目として「放射線関係法規」が配置され、単に法律の知識を学ぶだけでなく、診療放射線技師や医師が関係した過去の判例から法的根拠を検討し、医療上の法的な話題に関して根拠を基に自分の考えをまとめる作業を通じて、将来診療放射線技師として働くことへの自覚を培う。

『医療安全管理学』領域では、近年複雑化かつ多様化する医療現場におけるリスクマネジメントとセーフティマネジメントを理解するための科目として「医療安全管理学」を配置した。

『画像診断・技術』領域では、各モダリティにおける医師の求める画像の生成、撮影のメカニズム、関連機器の仕組みと運用と管理、診療画像の検像、読影の補助を統合した科目として「臨床画像解剖学」、「臨床画像解析学」を設定した。診療放射線技師が画像検査に携わる際に必要な臨床における画像解剖学さらに画像解析学の内容について、より患者に優しく、より低侵襲で、より質の高い画像検査を提供することに主軸を置き、患者を中心に行われるチーム医療における高い臨床実践能の礎を培うことを目標としている。

『臨床実習』領域では、「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」及び「臨床実習Ⅲ」を配置し、学外の医療施設等において指導者のもと、実際の患者に接しながら診療放射線技師の行う業務等について臨床の現場を体験することにより、学内の講義で学んだ知識と、演習及び学内実習で身に付けた放射線画像検査技術・放射線治療技術の統合を図ると同時に、関連業務について実際的な技術を習得する。また「チーム医療」における診療放射線技師の役割と、関連する他職種との関わりなどについて理解する。

臨床実習に先立ち、「1)ひとりの社会人・医療人としての常識を再認識する、2)様々な 医療行為について理解する、3)自己学習を促進するための能力を養う」ことを目的に「臨 床実習ゼミナール」を必修科目として配置した。この「臨床実習ゼミナール」の単位を修得 した学生に対して医療施設における臨床実習を履修可能とする。

(6) 学科専門科目群 (専門特講・研究分野) の編成と特色

『学科専門科目群(専門特講)』では、4年間積み上げた知識と技術を臨床現場で実践できるよう、診療放射線技師としての専門的知識と実践的能力を最終確認するための科目群『診療放射線技術特講』として、「診療画像技術学特講」、「核医学・放射線治療学特講」、「放射線技術学特講」、「基礎医学特講」の4科目を配置している。講義においては、チュートリアル、ブレーンストーミングなどの講義法によりコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高めるとともに、講義内容の事前事後学習のためにe-learningシステムを構築し、学生の習熟度に合わせて、いつでもどこでも自己学習ができるような携帯型端末を活用したICT活用教育を推進し、多様な情報を分析・統合し、理解を深めることで問題解決能力を養成する。

『学科専門科目群 (研究分野)』では、医療現場においてチーム医療での役割に寄与すると共に、高度化・複雑化した医用機器のニーズに対応し、これに伴う治療技術の促進と

医療イノベーションに資する診療放射線技師を輩出するための科目群として『先進科学技術』と『卒業研究』を配置する。

『先進科学技術』では、「先進核医学」、「先進放射線治療学」、「先進画像解析学」、「先進医学」の講義4科目から構成することとしている。1)PET/CT、PET/MRIなどを学ぶ「先進核医学」、2)強度変調放射線治療(IMRT)、重粒子線治療などを学ぶ「先進放射線治療学」、3)コンピュータ技術を活用したコンピュータ支援診断(CAD)技術や今後導入されるであろう人工知能(AI)による画像診断などを学ぶ「先進画像解析学」、4)iPS細胞、免疫療法、移植医療などの進化する先進医療を学ぶ「先進医学」などの選択科目から、学生自身の興味と習得した知識及び卒業研究の内容に即した科目を選択する。放射線についてミクロの世界である物理現象、生物学的影響などの基礎部分から、エネルギー生産、医療品生産、環境保全などで展開されるマクロな分野まで幅広い領域をより深く学び、21世紀の生命科学を担う診療放射線技師を育成する。

『卒業研究』では、必修科目として徹底した個別指導を行い、これまでに学んだ専門知識の集大成を図るとともに、修得した知識・問題解決能力・コミュニケーション能力を主体的に発揮できる能力を修得する。3 年次の「卒業研究 I」では、能動学習を主体とした自律的学習態度を身につけて生涯研修の能力的基盤とし、専門科目で身につけた知識や技能を統合するために Problem-based learning や Team-based learning などの多様な教育方略を採用するとともに、形成的評価により自分の学習到達度を確認しながら学修を進めることができるようにする。4 年時の「卒業研究 II」では、臨床実習等で明確になった課題や疑問に対し指導教員のもと自分でものを考える能力や種々の問題を解決できる能力を養成し、研究者としても活躍できるデザイン力を養う。

(7) 卒業認定

診療放射線学科に4年以上在籍し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数(126単位)を修得し、卒業までに身につける能力としての診療放射線学科のディプロマ・ポリシーの必要要件を満たしたものに卒業を認定する。

授業科目とディプロマ・ポリシーとの対応表【資料 5】と科目相関図【資料 6】(カリキュラム・マップ)を示す。

5. 教員組織の編成の考え方及び特色

(1) 教員組織の編成について

診療放射線学科の専任教員は10名(教授6名、准教授1名、講師1名、助教2名)で 組織される。中心となる研究分野は「診療放射線学」及び「診療放射線技術学」であり、 診療放射線技師は診療放射線技師が中心となって教育する教員組織を構成している。

具体的には、博士(保健学)の学位を取得している者が2名、博士(医療技術学)が1名、博士(医学)が4名で、専任教員10名のうち7名が博士号保有者である。また、2名は修士(保健学)、残る1名は学士(保健衛生学)の学位を取得している。この博士号を保有していない3名中1名は博士後期課程に在籍中、1名は博士後期課程に進学予定、残る1名も博士後期課程への進学を計画している。

医療資格では、10名中9名が診療放射線技師及び残る1名は医師の国家資格を有する。 また9名は教員就任時に5年以上の臨床経験を持っている。

(2) 主要科目と教員配置について

学科専門科目群の専門基礎科目に区分されている理工学的基礎科目、放射線の科学及び技術に関する科目においては、その領域に十分な教育経験と研究業績を持つ専任教員と工学系の本学他学科の兼担の教員が担当し、人体の構造及び機能と医学的基礎科目においては、その領域に十分な教育経験と研究業績を持つ医学系の専任教員と本学他学科の兼担の教員が担当し、診療放射線技師の専門科目の基礎となる知識と技術を体系的に享受できるようにした。

学科専門科目群の専門科目に区分されているいずれの授業科目においては、その領域に十分な教育経験と研究業績を持つ教員を配置した。診療放射線学において放射線技術学分野の科目に対しては診療放射線技師の専任教員が、基礎医学分野の科目に対しては医師の専任、兼担教員が、「放射線安全管理学」と「医療安全管理学」においては診療放射線技師の専任教員が担当する。画像診断・技術においては、「臨床画像解析学」と「臨床画像解剖学」といった放射線医学の要の科目に対し、専門職業人養成の観点から、臨床現場において診断領域の経験が豊富な診療放射線技師および医師を兼任教員として配置した。さらに学科専門科目群においては、演習科目を多く配置し、グループワークやプレゼンテーションによる学習指導、チュートリアルやブレーンストーミングなどの教育を実践できる教員を配置している。

(3) 教員の年齢構成について

開設時、専任教員の年齢構成は、60歳代に教授3名、50歳代に教授3名、40歳代に准教授1名、30歳代に講師1名、助教2名となっている。本学の定年年齢が満60歳であり、森ノ宮医療大学教員等定年規程【資料7】では、「大学の学部学科等の設置に係り、就任することが予定されている者は、それぞれの学部学科等の開設後、学年進行が終了する年度末まで在職を認める」と規定しているため、定年年齢に達した教員については、完成年度まで在職させるものとする。診療放射線学科での完成年度では、開設時に定年年齢を超えている60歳代の教授3名のみが定年年齢に該当するので、学年進行終了時以降においては、本学の再雇用規程【資料8】に基づき、必要に応じて在籍を継続する。

さらに、学年進行終了時以降は、教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、退職する教員の専門性、年齢、職位等を考慮し、適宜後任を補充する。この後任の採用は以下に示す方針で行う。

- ・本学の教育研究の維持・向上をはかるため、採用方法を内部昇格のみに限定せず、公 募により外部からも広く候補者を求め、その中から適任者を確保する。
- ・採用はバランスのとれた年齢構成となるよう年齢も考慮する。
- ・原則として、定年まで4年以上の期間がある者を採用する。
- ・年齢構成は、下の表で職位ごとに定めた構成を日途に配慮して採用する。

表: 将来(令和10年頃)の教員配置計画

	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	計
教授		2	4	1	7
准教授		2			2
講師	1	1			2
助教	2				2
計	3	5	4	1	13

○若手教員の育成計画

本学では、教員の自己研讃を促し研究・研修を推進する目的で、研究内容や研究環境を 考慮した上で、専任教員が週半日~1日を学外等での研究・研修活動に充てることを認め ている。

若手教員に対しては、本学で教職課程を担当する教員を中心メンバーとする「教育方法 改善研究部会」が、学内で年2回実施している授業アンケート結果を基に、授業内容の設 計や改善策を検討し、指導法等のアドバイスを行う。

また、「学術研究委員会」では、若手教員の研究に対する助言や支援に加え、研究における倫理教育を実施している。同委員会では研究費配分も行っており、若手教員のプロジェクトについても積極的に採用していく。さらに、若手教員の教育研究活動の資質向上のため、助教等を対象とした大学院(修士課程・博士後期課程)への進学についてもサポートしていく。

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1)教育方法

診療放射線学科が掲げる「養成する人材像」及び「診療放射線学科の特色」の趣旨を実現するため、また学生が主体的に学習に取り組むことができるようにするために効果的な教育方法として以下のような体制をとる。

① 他学科との連携教育

チーム医療の実践に求められる豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人を育成するためには他学科(他職種)との連携教育が必要不可欠となる。学部共通科目においてチーム医療や IPW(Interprofossional Work)(専門職連携)を他学科の学生と共に学び、自分の専門領域のみならず他領域の広範な視点を加えてチームで目標を共有し実践できる能力を育成する。

② 少人数教育

実習・演習は少人数のグループを編成することで、学生の積極的な参加を促し学修効果を高める。講義に関しても、科目に応じてグループワークや討論の場を積極的に設けて学生の主体的・能動的な学修態度を育成すると共に、個別的な学修支援の徹底を図る。3年次からは学生を各研究室にふり分け、卒業研究に必要な専門知識を深めるために学生一人ひとりの志向や能力を見極め、きめ細かな指導を行う。

なお、診療放射線学科の臨床実習は3年次後期、4年次前期の必修3科目10単位で、 期間も最長10週間であり、教員にかかる負担は限定的である。このため、教育全般にお いてきめ細かな少人数制の指導を行うことが可能である。

③ 課題探究・問題解決能力を養う教育

将来、臨床で遭遇する可能性のある多種多様な問題を解決するには論理的・総合的な判断能力が必要である。実習・演習を通して「なぜ」という問いを大切にし、教員が安易に答えを提示するのではなく学生自ら答えを導き出すことを手助けする。もしその答えが間違っていてもそのプロセスを重視し、より掘り下げて考えていくことで、考える力そのものを育んでいく。また卒業研究では、テーマの設定、文献検索、現状分析などを行い、問題点を抽出し解決するための科学的思考力や、日常検査の中に新しいものを見つけようとする課題探究能力を養う。

④ 担任制・チューター制の導入

本学では学科毎に担任制あるいはチューター制度を導入し、担当教員が定期的に履修方法や学生生活に関して面接指導を行う。診療放射線学科では、1、2年次は担任制をとり、3年次以降は卒業研究担当教員がチューターとなって対応や指導にあたる。

また、学生と教員とのコミュニケーションを充実させるため、専任教員はオフィスアワーを設定し、講義に関する質問だけでなく、勉強の仕方や学生生活に関する相談にも応じる。

⑤ キャップ制の導入

診療放射線学科においてはキャップ制を導入し、履修科目の年間登録上限単位数を 44 単位に設定している。

年間登録上限単位数を設定することは、単位の実質化を目的に、学生負担の軽減と履修科目の学修時間の確保を行うことで、十分な学修効果を上げることを目指している。特に、病院等医療施設における臨床実習を履修するまでに診療放射線技師学校養成所指定規則に定める単位数をおおよそ修得し、必要な知識を備えたうえで臨床実習に出ることが望ましいことに加え、一般教養科目群等に関する科目の履修に関し十分な学修時間を確保できるような上限とした。

(2) 履修方法とその指導

大学における履修は高等学校までの履修と比べて相違点が多いことから、学生が履修方法を理解できるよう定例的に履修指導を行い、最終的には自律できるようにする。

まず、各年次の前期開始日のオリエンテーションで履修指導を実施し、学生自身の興味・関心を尊重し、卒業後の進路も視野に入れた科目履修を促す。さらに、履修に関わる質問への対応や成績不良者の指導などは、随時個別に実施する。

担任あるいはチューターが中心となって学生指導に当たり、適切な対応・指導を実施する。

(3) 卒業要件

卒業の要件は4年以上在籍し、『教養科目群』「科学的思考」、「人間理解と社会」から必修8単位+選択4単位以上、「語学」から必修4単位+選択2単位以上、『学部共通科目群』から必修5単位+選択2単位以上、『学科専門科目群』の『専門基礎科目』「基礎科目演習」から選択3単位以上、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」から必修12単位+選択1単位以上、「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術」から必修17単位+選択1単位以上、『学科専門科目群』の「専門科目」から必修56単位+選択1単位以上、『学科専門科目群』の「専門科目」から必修56単位+選択1単位以上、「専門特講」から必修4単位、「研究分野」から必修4単位+選択2単位以上の計126単位以上修得することとしている。

なお、年間で履修できる単位数は上限 44 単位以内としている。授業科目の単位の考え 方は、講義については 15 時間をもって 1 単位とし、実習・演習は 30 時間をもって 1 単位 とした。臨床実習に関しては十分な学修が必要と考え 45 時間を 1 単位とした。

なお、「放射線診断重点モデル」、「放射線治療重点モデル」及び「チーム医療重点モデル」の3つの履修モデルを【資料9】に示す。

7. 施設、設備の整備計画

(1) 校地、運動場の整備計画

① 校地の状況

校地は平成 18 年に大阪市住之江区南港北 1 丁目 26 番 16 号 (地番:1 丁目 39 番 1 号) に 7,683.81 ㎡の土地 (容積率 800%) を大阪市から購入し、平成 20 年に隣接する同南港 北 1 丁目 39 番 2 号に 8,311.43 ㎡を追加購入、さらに平成 28 年に隣接する同南港北 1 丁目 40 番 1 号~3 号、8 号~9 号に 16,941.41 ㎡を追加購入したことにより、合計 32,936.65 ㎡を保有している。大阪メトロ中央線のコスモスクエア駅から徒歩約 1 分の場所にあり、学生の通学や教職員の通勤に高い利便性と、市民に開かれた大学としての役割を担うことができる立地条件である。

近隣には、高層マンションやオフィスビルが林立し、徒歩 5 分圏内には入国管理局や大阪府咲洲庁舎がある。さらに、近隣企業との協力でボランティア活動やアスレチックトレ

ーナー等の見学実習を行うなど、地域との結びつきを最大限に活用できる。一方、海辺等の自然が間近にあり、学生と市民が触れ合うことができる憩いの場を介し、豊かな人間性を醸成し、学生に活力をもたらし、専門職医療人の育成の環境としてふさわしい立地であると考える。

② 校舎の建設

平成19年の大学開学に伴い、鍼灸学科および理学療法学科の校舎「東棟」を建設し、残りの校地を緑豊かな空地とした。平成22年度に「学生食堂棟」、平成23年度には看護学科設置に伴い「西棟」を建設した。また平成28年度には「南棟」を建設し、臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科、大学院保健医療学研究科医療科学専攻が使用している。診療放射線学科については、上述の追加購入した校地(同南港北1丁目40番3号)にS造5階建ての校舎を建築し、それを使用する予定である。尚、これについては平成31年2月着工、翌年1月竣工予定である。

③ 運動施設の確保

大学にとって運動場は、教育や休息のために必要であることから、平成 29 年度にスポーツ施設「グリーンスクエア」を整備した。これは、フットサルやサッカーに対応した人工芝舗装部(約 1,936 ㎡)、多目的広場としてクレー舗装部(約 1,468 ㎡)、ランニングコースとしてウレタン舗装部(周回 300m)を備えた施設となっており、夜間の使用にも対応するべく人工芝舗装部には LED 照明も設置している。

ア 運動施設拡充

上述の通り運動場を整備したが、体育の授業や部活動により柔軟に対応するべく下記 i) ~ ii) のとおり運動施設を使用している。

i)舞洲スポーツアイランド(所在地 大阪市此花区北港緑地2丁目2番15号)

舞洲スポーツアイランドは、運動場 4 面、球技場 2 面、体育館 2 棟、テニスコート 21 面を有し、大学から専用バスでほぼ遅延無く約 7 分で到着する。これは「運動場に係る要件の弾力化による大学設置事業(828)」の特例措置の適応を受けるべく、「ビジネス人材育成特区」として申請、認定されている。

上記施設の利用については、移動時間を考慮し、実習自体や前後の授業に時間的な支障が生じないよう時間割の策定に配慮する。また、学生の経済的負担軽減のため、授業及び課外活動の際には中型バスを大学〜舞洲スポーツアイランド間にて往復巡回させている。さらに学生数増加に伴う課外活動の活発化に合わせて、学科や学年の枠組みを超えて、共通の目的や趣味を持つ仲間と互いに刺激しあいながらあらゆるスポーツを楽

しむことができるよう、施設利用回数の増加や休憩施設等の充実を図り、課外活動運営を支援している。

ii)本学体育館

平成28年度の南棟竣工に合わせてバスケットボールコート2面、バレーボールコート2面、バドミントンコート6面を取ることができる新体育館を南棟に併設して、授業や課外活動で利用できるようにし、学内における運動施設環境の充実を図っている。

イ 体育系の授業

既設学科においては「スポーツ健康科学演習(2単位)」の授業を本学の「スポーツ施設 グリーンスクエア」や「舞洲スポーツアイランド」を活用して実施している。診療放射線 学科においても既存学科同様、これら本学施設等を活用し授業運営を行う。

ウ 課外活動支援

課外活動においては現在、大学が認可した部 13 団体(柔道部、バドミントン部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、陸上部、ハンドボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、サッカー部、茶道部、軽音部、硬式テニス部、準硬式野球部、ライフサポート部)および公認サークル 2 団体(ボランティアサークル、アコースティックギターサークル)の合計 16 団体が活動している。

主な活動場所としては、本学体育館や「スポーツ施設グリーンスクエア」に加え、隣接 地域にある運動場・競技施設を活用している。

i) おおきにアリーナ舞洲

利用時間: $17:30\sim21:00$ (休暇期間中 $13:00\sim16:00$)

利用回数:年間約70日

ii) セレッソスポーツパーク舞洲

利用時間: $19:00\sim21:00$ (休暇期間中 $13:00\sim15:00$)

利用回数:年間約109日

iii) その他各団体の施設

(例:ミズノ株式会社所有テニスコート・港スポーツセンターなど)

上記施設を確保し、課外活動運営を支援している。今後も本学体育館やスポーツ施設「グリーンスクエア」の利用状況に応じて継続予定である。

(2) 校舎等施設の整備計画

現有校舎は、地上 4 階建ての「東棟」 (7,193.15 m)、2 階建ての「学生食堂棟」 (603.63 m)、6 階建ての「西棟」 (4,523.74 m)、7 階建ての「南棟」 (10,940.87 m) が ある。これに加えて 5 階建ての新校舎建築 (5,422.59 m予定)を計画している(平成 31 年 2 月着工、翌令和 2 年 1 月竣工)。

校舎の基本的な整備方針として、高度な知識と臨床技術を修得した専門職医療人を育成することから、少人数の教室を備えるとともに、特に実習室の充実を図る。

校舎整備の具体的な方針として、①少人数指導も可能な講義室群、②基礎的な技術指導が可能な実習室群、③個人指導及び問題解決能力を養う演習室群、④教員の積極的な研究 を促す実験・研究室群、⑤地域との交流の場、生涯学習の場となり得る施設群などを目指 し、各室を整備する。

なお、選択科目なども考慮し、時間割に基づいて講義室・実習室等の使用状況を調査した結果、年間を通じ4学年が全ての曜日において、同一の部屋を重複して使用する可能性はない。【資料10】

① 講義室

講義室は大学全体で大小合わせて 40 室ある。これに加えて 10 室の講義室を備えた新校舎を建築し、診療放射線学科はこれらを使用する。このほか、現有校舎に、保健医療学部全体で共有する講義室として少人数用の小講義室や 130 人を収容できる大講義室等を備え、人数規模に合わせて使用できるよう配慮している。

② 基礎的な技術指導が可能な実習室

実習室は現有校舎に 36 室ある。診療放射線学科は新校舎に設置予定の 9 室の実習室を使用する。マンモグラフィや X 線 CT 等、それぞれの用途に合わせた設備を有する実習室は、約 15 ㎡~57 ㎡の広さを持つ。学生数に対応した機器・備品を配備し、多様な診療放射線学の実習に即して整備する。

③ 専任教員の実験・研究施設

専任教員の研究室は、現有校舎に 63 室ある。新校舎 5 階には診療放射線学科の教員が使用するものも含めて、個人研究室 18 室と、共同研究室 1 室を整備する。共同研究室 (約50 ㎡)は 10 人程度を収容可能であり、准教授、講師、助教、助手が共同で使用するのに十分な広さを有する。なお、室内はパーテーション等で仕切りを設けるなどして、教員一人ひとりの研究環境が確保されるよう配慮する。

専任教員の実験室は現有校舎に 10 室あり、各教員の研究分野に応じた実験に対応している。東棟には動物を対象とする実験室、生理学系実験室、病理学系実験室が 1 室ずつ、西棟には多目的実験室 4 室がある。南棟には臨床検査、臨床工学等に関連した実験室を 3 室整備している。加えて新校舎にも実験室 1 室を整備する。

④ 個別指導及び問題解決能力を養う演習室

語学演習や卒業研究に活用できる小スペースの演習室を、現有校舎に合計 14 室設けており、新校舎にも 4 室整備する。学生と教員が直接対話できる小空間を用いることにより、問題提起の訓練や解決能力向上の育成に役立たせるほか、卒業研究の指導等にも活用する。

⑤ 地域との交流の場, 生涯学習の拠点

大学共有の図書館は、南棟2階に設置されており、図書館の面積は1027.17 ㎡、閲覧座 席数は274 席、収容可能冊数は8万冊となっている。また、体育館についても、前述のと おり南棟に併設されている。

図書館や体育館、また大講義室やホール等の学内施設は、内部の利用だけに留まらず、研修会や市民講座等を誘致して地域の人たちの利用を促し、生涯学習の拠点となっている。

⑥ その他

学生が自習等を行うためのフリースペースは、東棟1階、4階、西棟1階、2階、南棟の 1階と3階~5階、7階に整備されている。新校舎では、5階の専任教員の研究室前に学生 の自習等のスペースを設けることにより、学生と教員が気軽にコミュニケーションをとれ る空間をつくる。

(3) 図書等の資料及び図書館の整備計画

平成 19年(2007年)の開学以来、保健医療学部を有する大学に必要とされる専門的な分野の資料を積極的に収集すると同時に、高等教育の教養を司る機関として、一般教養的な分野の資料の充実にも尽力してきた。開学から 10年目を迎えた平成 28年(2016年)には新校舎(南棟)に移転し、新図書館「メディカル・アイ」が誕生した。

大学の目的である「豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅 広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成す る。」に基づき、近年は多職種の専門的な分野及び「チーム医療」関連の資料の充実にも 努めている。 診療放射線学科の設置に向けて、下記に記載の点において準備し、都度、整備を進める。

① 図書館の整備計画

南棟の 2 階部分に設置された「メディカル・アイ」の面積は 1,027.17m²、閲覧座席数は 274 席、収納可能冊数は開架・閉架合わせて約 80,000 冊である。

開館時間は、平日 8 時から 20 時 30 分、土曜日・日曜日 11 時から 17 時である。早朝からの開館による「朝活支援」、放課後の自主学習を保証する「復習支援」、平日来館できない実習中の学生も利用できる土日開館等、学生のニーズに応じたサービスに力を注いでいる。

機器環境については、常設パソコン 55 台、貸出用ノート型パソコン 10 台、プリンター5 台を設置し、Wi-Fi 環境を整備、情報検索やレポート作成、印刷等、学生の多様なニーズに合わせた利用を可能にしている。これらのパソコンを利用し、オンライン蔵書目録(OPAC) や医学情報データベースの検索、閲覧、ダウンロード等のサービスが受けられるが、他にOPAC 利用に特化した専用のパソコンを 2 台設置し、速やかな蔵書検索を可能にしている。

設備については、グループ学習室を 3 室設置し、ノートパソコンを持ち込んでのプレゼンテーションの練習や、視聴覚資料を用いたグループ学習を可能にし、診療放射線学科の画像を多用する学習の利用にも適している。

カウンター前のブラウジングスペースにはソファ席を設け、読み物的な書籍を配架して くつろげる空間とする一方、私語は全館通して全面的に禁止とし、自主学習のための静粛な 環境を保つようにした。

図書館入口には磁気ゲートシステム (Book Detection System: BDS) を設置して、資料を管理するとともに入退館者数をカウントしている。

② 図書資料整備計画

図書資料については、既に所蔵している保健医療学の専門的な分野及び一般教養的な分野の資料に加えて、診療放射線学に関連する資料をリストに基づいて学科開設までに約100冊購入し、開設時には29,200冊とする予定で、今後も引き続き蔵書内容の充実を図るとともに、版の改訂に合わせて最新版も購入していくこととする。【資料11】

学術雑誌については、医学・保健衛生学関係を中心に整備しているが、新たに診療放射 線学に関連する雑誌を9誌(国内雑誌4誌、国外雑誌2誌、文献データベース3誌)を整 備し、開設時には440誌(国内雑誌378誌、国外雑誌62誌)とする予定である。【資料 11】 国内の医学文献データベースについては、国内最大級の医学文献データベース「医中誌 Web」や「メディカルオンライン」「メディカルファインダー」等を導入して、(診療放射線学関係含む)国内の保健医療関係の最新の文献の入手を可能にしている。

国外の医学文献データベースについては、主題範囲に Radiology の分野も含んだ「Pro-Quest Nursing & Allied Health Source」を導入しており、診療放射線関連の国内外雑誌の閲覧が可能となっている。

ほかに「MEDLINE」などへの検索エンジンとして米国国立医学図書館が無料で公開する「PubMed」や日本の学術情報データベース「CiNii」などからも無料公開文献の入手が可能であるが、本学図書館ではこれらすべての文献をサーチする手段として「360Link」を導入しており、雑誌名のほか、分野別のリスト表示、提供元別のリスト表示、Citation-Linker(巻・号・頁からの検索)、電子ブックの文献情報検索を可能にしている。

③ 他の情報機関との協力

国立情報学研究所の目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)に加入して、全国の大学図書館等の情報機関と連携、文献複写及び相互貸借サービスの充実を図るとともに、国立国会図書館の文献複写サービスも利用、学内に所蔵のない文献が速やかに入手できる環境を整備している。

そのほかに、私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会に所属し、協議会内の相互 協力にも努めている。

④ 学術情報センターとしての機能

図書館内はもちろん、図書館以外の学内施設や学外からもほしい情報が入手できるよう、スマートフォンや個人用の端末を利用しての OPAC 蔵書検索、医学文献データベースへのアクセス、検索、閲覧等が可能な環境づくりを整備している。

また、学内に所蔵がなくデータベースからも入手できない文献についても、NACSIS-ILLの相互利用によって入手できるよう務めるとともに、ガイダンスの実施によって情報 検索から資料の入手まで充実した図書館利用ができるよう務めている。

このように、自館の資料を整備し、多館との相互協力体制を構築して、学生の多様なニーズに応えるサービスを提供し、教員の教育研究活動を支援することで、学術情報センターとしての機能の充実を図っている。

8. 入学者選抜の概要

(1)入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

保健医療学部診療放射線学科が求める学生像は以下のとおりである。

教育目標に定める専門職医療人の人材を育成するために、本学の学修内容に強い関心と 意欲を有しているのと同時に、専門知識修得のために最低限度必要な高等学校までの基礎 学力、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求める。具体的 には以下のような人物像(アドミッション・ポリシー)を求める。

- 1) 医療職の仕事を理解し、医療に関す学修を継続的に続ける意欲がある。
- 2) 高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科・科目を修得している。
- ※ただし、理系科目は必ず修得していること
- 3) 他者と協働できるコミュニケーション力、思考・判断力を有している。
- 4) 自分のため、人のために努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- 5) 1) ~ 4) の評価は、各入試種別の特徴に合わせて以下の選抜方法を組み合わせて行う。
- ・国語、英語、数学、生物、化学、物理に相当する科目
- ※ただし、数学は必ず選択すること
- 面接
- ・調査書(評定値、資格取得、課外活動などを評価)

【禁煙への取り組み】

本学では、学生の健康を確保するため、また医療人を育成する大学の責務として、大学 全敷地内および大学周辺の全面禁煙化を実施している。入学者は大学敷地内および大学周 辺での喫煙行為を行わないことを約束できる者とする。

(2)入学者選抜方法

本学科が求める学生を多面的に評価し選抜できるよう、多様な選抜方法を実施する。具体的には以下のとおりである。

① AO(アドミッション・オフィス)入試(10名)

「将来、社会に貢献するために本学で学びたい」という高い目的意識と強い学習意識を持った人たちを積極的に評価するために実施する。基礎学力試験による基礎学力、面接による人物評価、高等学校や社会での取り組みを総合的に判定する。

② 公募推薦入試(30名)

入学志望動機書、推薦書、基礎学力試験、面接試験によって、学力到達度や適性を総合 的に判定する。

③ 指定校推薦入試(若干名) 令和3(2021)年度入試から導入予定

入学志望動機書、推薦書、面接試験によって学力到達度や適性を総合的に判定する。

④ 一般入試(38名)

入学志望動機書、学科試験、面接試験によって、学力到達度や適性を総合的に判定する。

⑤ 社会人入試(若干名)

職業に従事した経験を持つ社会人を対象とし、面接を重視し、学科試験を含め、総合的に判定する。なお、社会人とは、下記のいずれかに該当する現役高校生以外のすべての方で、おおむね2年以上の就労経験(アルバイトも含む)がある方とする。

- 1) 高等学校・中等教育学校を卒業した方
- 2) 通常の課程による 12年の学校教育を修了した方
- 3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる方

F		
試験区分	試験科目	募集人員
AO 入試	○基礎学力試験:「国語総合(古文・漢文を除く)」、「コ	10名
	ミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・	
	英語表現I」、「数学I・数学A」に相当する科目	
	○個人面接	
公募推薦入試	○基礎学力試験:「国語総合(古文・漢文を除く)」、「コ	30名
	ミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・	
	英語表現 I 」、「数学 I ・数学 A」、「生物基礎」、「化学基	
	礎」に相当する科目	
	○グループ面接	
指定校推薦入試	○個人面接	若干名
一般入試	○学科試験:「国語総合(古文・漢文を除く)」、「コミュ	38名
	ニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・英語	
	表現Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「生物基礎・生物」、「化学	
	基礎・化学」「物理基礎・物理」	
	○グループ面接	
社会人入試	○学科試験:「国語総合(古文・漢文を除く)」、「コミュ	若干名
	ニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・英語	
	表現Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「生物基礎・生物」、「化学	

基礎・化学」「物理基礎・物理」 ○個人面接

9. 資格取得

診療放射線技術学科の教育課程は、診療放射線技師学校養成所指定規則(別表第1)で 定める教育内容及び単位数等の条件を満たしているため、卒業要件に必要な単位を修得す ることにより、卒業と同時に国家資格である診療放射線技師法に定める診療放射線技師国 家試験受験資格を得ることができる。【資料12】

10. 実習の具体的計画

(1) 実習の基本方針

大学での実習は、将来放射線診療の専門家として頼られ、指導的な立場で重要な役割を 担っていくために必要な技術・知識を修得するためのものと位置付けられる。したがっ て、長期的な視点で診療放射線技師としての仕事を見据え、科学的な思考で物事を捉え、 主体的に課題を探求していく姿勢を重視して実習を進めていく点が、専門学校とやや異な る。具体的には、症例検討による実習内容の振り返りや、実習後に課されるレポートで先 行研究等を踏まえた考察を行うことに重点を置き、問題解決能力を養う。

1年次前期における「MBS(Morinomiya Basic Seminar)」、「チーム医療見学実習」、2年次前期における「医療コミュニケーション」、後期の「チーム医療論」及び3年次前期の「IPW論」等の科目履修により、医療チームの一員としての診療放射線技師の役割と責任を学修し、3年次前期までに履修する学科専門科目群、専門基礎科目、専門科目において検査時に不可欠な知識と技術を学修した後、3年次後期の臨床実習に臨む。

臨床実習では、社会人としての良識や医療人としての倫理観を身につけた上で、学内での学修内容を基礎として、放射線検査の基本的な実践技術を体験し修得する。さらに診療放射線技師として、提供する放射線画像情報の意義や検査研究の重要性について体系的に学修する。

学生は臨床実習施設で臨床実習指導者の指導のもとに、放射線診療の全体像の把握、臨床症例を通しての診療放射線技師として必要な「画像検査」、「核医学検査」及び「放射線治療」などの知識と技術・技能及び態度を身に付ける。またこれまで個別に学修した画像検査各々を一連の流れとして学修するとともに、画像情報がどのように臨床に役立てら

れ、診断・治療に結びついているのかを臨床現場で学修することにより、診療放射線技師 の業務責任の重要性について自覚させる。さらに、実際の現場において患者や医療スタッ フとの直接的関わりを通し、専門職業人としての責任感を養い、保健・医療・福祉分野に おける診療放射線技師の役割について理解することを目標としている。

臨床実習での学習効果を高めるため、事前学修による動機づけ及び事後の指導による意味づけにより、知識と技術の統合を図る。さらに、学生がそれぞれの放射線診療で学修すべき内容や個人情報の保護、医療安全、実習上留意すべき点等を含めた臨床実習要綱を作成する。

(2) 実習先の確保の状況

本学が所在する大阪市内をはじめとして、大阪府下を中心に、兵庫県、京都府、奈良県の中核病院あるいは大学病院を選定し、合計 38 施設から臨床実習受け入れの承諾を得ており、本学科の定員 80 名に対して十分な臨床実習先を確保できている。【資料 13】【資料 14】

学生の実習施設の配置については、その居住地も考慮し、できる限り時間的に無理のかからない施設に配置することを基本とする。

(3) 実習先との契約内容 個人情報保護、感染防止対策、事故防止対策について

① 個人情報の保護について

臨床実習では、臨床実習先の患者の個人診療情報を入手できる環境にあるため、守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努める必要があり、以下の点に注意して、学生に対して事前指導を徹底する。

- ・患者への説明と同意
- ・匿名性の確保と守秘義務について
- ・実習に関する紙媒体・電子媒体の使用方法
- ・個人情報の転記
- ・個人情報の転送と保管

また、決して情報漏洩のないよう、学生に「誓約書」を提出させ、個人情報取扱いに関する保護ガイドラインを十分に理解させた上で実習に臨ませる。【資料 15】、【資料 16】

② 感染防止対策について

臨床実習中は、学生白身が感染したり、学生を介して患者に感染させたりする可能性があるため、学内にて感染防止に関する知識、感染防止手順を学修させるとともに、感染事故発生時や感染が疑われる場合には、臨床実習指導者並びに大学実習担当教員に直ちに報告するように指導する。

また、1年次に麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘及びB型肝炎ウイルスの抗体検査を 行い、必要に応じて予防接種を指導する。なお実習中、実習後にこれらの感染症を発症し た場合には、臨床実習指導者並びに大学実習担当教員に直ちに報告するように指導する。

③ 事故防止対策について

臨床実習中に学生が当事者となり、機器破損、患者等に対しての身体損傷などを引き起こす可能性がある。このため、学生全員に「一般社団法人日本看護学校協議会共済会共済制度」に加入させるとともに、事故防止に関する事前教育を行い、以下の事項を徹底する。

- ・安全なケアが提供できるよう、十分な事前学習・練習を踏まえて実習に臨む。
- ・検査等の実施前後は必ず臨床実習指導者に確認・報告をし、決して独断で行動しない。
- ・事故・インシデントの発生時は、直ちに実習担当教員と臨床実習指導者に報告するとともに、施設によって別途届け等の必要がある場合は、所定の手続きに従って行動する。対応方法等は「事故・インシデント発生時の手引き」(本学で作成中の「診療放射線学科臨床実習要項(案)」より抜粋)【資料 17】を参照する。事故・インシデントのレベルや連絡ルートの判断については【資料 18】、【資料 19】に基づいて行う。
- ・実習中に学生が事故を起こした場合には、原則として定められた連絡ルートで報告する。

(4) 臨床実習水準確保についての方策

臨床実習は、学内で修得した知識・技術を臨床で実践する場であり、実習に本学の教育 水準が反映され、学内での学修と実習の質が同レベルに保たれることが重要となる。

実習水準の確保の方策として、下記に示すことを実施する。

- ・大学実習担当教員と臨床実習指導者の間で、本学の教育について共通認識を持つこと 等を目的とした臨床実習指導者会議を、年1回、実習前に開催する。
- ・臨床実習コアカリキュラムをもとに、臨床実習で学修する事項を決め、目標を立てて

達成するシステムをとる。コアカリキュラムは、公益社団法人日本診療放射線技師会の「診療放射線技師関連法令および臨床実習のあり方」等を参考に策定する。【資料20】

- ・大学実習担当教員は、実習開始前に各実習施設の臨床実習指導者と打ち合わせを行い、施設ごとに実習のオリエンテーション資料を作成することで、各実習施設での実習に必要な情報や知識について、学生が事前に学修しておくようにする。
- ・臨床実習期間中は、本学と臨床実習施設の間で相談の場を設け、臨床実習教育の水準 を向上し、臨床実習指導者と大学実習担当教員がともに成長できるよう連携を図る。

(5) 臨床実習先との連携体制

臨床実習を行う上で、臨床実習施設と本学との連携体制を強化することは大変重要となる。そこで、臨床実習指導者と本学との連絡を密にするため、各臨床実習施設に大学実習担当教員を配置し、原則として同一教員が連絡をとるようにする。

実習前には、大学実習担当教員と臨床実習指導者で構成される臨床実習指導者会議を年 1回開催し、本学教育水準と臨床の理解を深め、実習カリキュラムの検討、学生の実習へ の適応、実習の評価に関する基準などについて話し合うほか、また、大学実習担当教員と 臨床実習指導者が、実習での指導についてどのように役割分担するか協議し、共通認識を 図っておく。

臨床実習期間中についても、大学実習担当教員と臨床実習指導者は適宜、相談の場を持ち、連絡を密にしておくことで、実習指導上の問題が発生した際に迅速に対応できるようにする。

(6) 臨床実習前の準備及び事後の指導計画

臨床実習に先立って、大学実習担当教員が各実習施設を訪問し、臨床実習の概要等をも とに説明し、臨床実習指導者と十分に協議する。各施設の実習には、臨床実習指導者に臨 床経験豊富な人材が加わるように依頼する。

臨床実習に臨むにあたり、学生には事前に身だしなみや心構え、患者に対する接遇、感染事故防止、感染や事故発生時の対応について十分に学修させる。実習後はレポート提出を課し、さらに実習後のレポートとは別に臨床実習の総括レポートを提出させる。また各施設の臨床実習指導者には、実習終了後、臨床実習評価表による評価をお願いする。【資料 21】、【資料 22】、【資料 23】

(7) 臨床実習に際しての専任教員の配置並びに巡回指導計画

大学実習担当教員は、各臨床実習施設での実習が安全かつ適正に行われるように、実習開始前と実習中の2回にわたって各施設を訪問し、臨床実習指導者と協議及び学生の指導に当たる。また必要に応じて臨床実習先に赴き、臨床実習が円滑に進むように努める。大学実習担当の各教員には、毎週1日あるいは2日、授業を担当しない曜日を設定しており、実習先の巡回指導と授業を両立しやすいよう配慮する。【資料24】

(8) 臨床実習施設における実習指導者及び学生の配置計画

臨床実習での指導は、各実習施設で、5年以上の臨床経験を持つ臨床実習指導者が当たる。また学生に関しては、受け入れ施設の実態、学生の居住地など総合的に判断し、1~10名の学生を配置する。【資料 24】

(9) 臨床実習の成績評価体制及び単位認定方式

成績評価は、臨床実習の評価基準を設定し、大学実習担当教員と臨床実習指導者による協議後に、単位認定者が目標達成状況を総合的に判断し、決定する。臨床実習評価基準は、臨床実習の規定日数以上の出席、指定された実習記録の提出、実習後のレポート、総括レポート等を項目として設定している。

11. 管理運営

(1) 教学面における管理運営体制

本学では教育研究目的の達成のため、以下の管理運営体制を構築する。

① 教授会

森ノ宮医療大学学則及び教授会規程に基づき、以下の教学面における重要事項を審議する。

- 1)教育課程に関すること
- 2) 授業及び試験に関すること
- 3) 学生の入学、卒業または課程の修了、その他学生の在籍に関すること、及び学位の 授与に関すること
- 4) 学生指導に関すること

- 5) 学則その他重要な規程の制定改廃に関すること
- 6) 森ノ宮医療大学の教学に関する予算の具体的運営に関すること
- 7) その他、教育または研究に関する事項

また、これらの事項のほか、理事会ならびに学長の諮問した事項を審議する。

教授会の編成は学長、副学長、教授、准教授、専任講師、事務局長のほか、教学面から の設置者への要望と連携を効果的にするため学園理事長をもって組織する。

教授会の開催については、月1回(毎月第3木曜日)を定例教授会とし、また、教授会構成員もしくは、議長は必要に応じて会議を招集し、臨時教授会を開催することができることとし、教授会の機動的な体制を確保している。

② 管理運営会議

上記教授会で審議する事項及び重要事項をあらかじめ検討、調整するために、管理運営会議を置く。この構成メンバーは、学長、副学長、学部長、学科長、図書館長の他、理事長、法人本部長、事務局長、教務室長、学生支援室長、総務室長、広報室長等で構成する。会議については月1回(毎月第2木曜日)を定例の管理運営会議とし、必要に応じて臨時管理運営会議を開催する。

(2) 教授会に関連する下部組織としての委員会

教授会との連携を適切かつ有効的に行うために、専門的事項を審議、起案、また実行することを目的として、教授会の諮問機関として下記委員会を常設し、構成メンバーは各委員会において定める。

(1) エンロールメントマネジメント委員会

エンロールメントマネジメント委員会は、大学入学から在学中、また就職支援や卒後教育等、一連の教育活動、すなわち入学者選抜、入試運営、就職活動支援、卒後教育、入試広報に関する情報の調査分析を実施し、有効的な教育活動を実施することを目的として設け、教授会に提言する。また大学として一貫性を持ち学習者への支援活動に資するための委員会でもある。なお、このエンロールメントマネジメント委員会の下部に専門部会を設け、審議した事項を企画運営実施する組織として、大学事務局と連携して、入試専門部会等を設置している。

② 教務委員会

教育課程の編成、運営及び授業科目の履修、試験等に関することなどを審議検討し、教 授会に上申するために設けている。

③ 自己点検評価・FSD 委員会 (FSD とは FD と SD を総称する本学独自の造語。以下 FSD とする。)

自己点検・評価に関する必要な事項を審議するとともに、教職員の資質向上に資する組織的な取り組みについて検討、提案、具体的運営を図るために設けている。

④ 人権問題委員会

人権を尊重し、人権侵害問題が発生した際に適切な対処を行うことを目的に設けている。活動の一環として、人権意識の啓発のためにセミナー等を定期的に開催する。

⑤ 附属図書館運営員会

附属図書館の運営に関する重要事項を協議し、充実した図書館運営を行うことを目的に設けている。

⑥ 学生支援委員会

本学学生の進路や、課外活動、奨学金制度など、総合的な学生支援を図ることを目的に 設けている。

⑦ 教職課程委員会

本学における教職課程に関する諸事項を検討し、実行することにより充実した教職教育を行うことを目的に設けている。

8 臨地・臨床実習委員会

本学における臨地および臨床実習に関する諸事項を検討、実行する、もしくは共有することにより充実した教育を行うことを目的に設けている。

12. 自己点検・評価

(1) 実施の方法と体制

本学では、自己点検・評価に関して、必要な事項を定めた「自己点検評価・FSD 委員会 規程」に則り、「自己点検評価・FSD 委員会」を設置して、自己点検・評価に関わる活動を 展開している。

自己点検評価・FSD 委員会は、法人本部長、学部長、学科長、事務局長、事務局管理職、 および専任教員と専任事務職員等で構成し、積極的に自己点検・評価活動及び FD 及び SD への取り組みを推進する。

教育活動評価の重要な指標として、「授業評価アンケート」を年2回実施しているほか、 年に2回、教員同士が相互に評価を行う「公開授業週間」を全学的に実施している。 自己点検・評価は4年に1回実施することになっており、本学では平成29年度「自己 点検報告書」を公表している。また、ホームページの「数字で見る森ノ宮医療大学」の中で も各種の教育関連データの公表を行っている。

(2) 結果の活用・公表

① 結果の活用

評価の結果に基づき、成果が到達目標に至った項目については、さらに向上を目指すための検討材料として利用する。また、成果が到達目標に至らず、今後も継続して改善が必要な項目については、「自己点検評価・FSD 委員会」と対象部署が協力して原因を追求するとともに、改善の方向性を検討し、随時具体化を図る。また、評価の結果については「中期経営計画」にも反映させている。

② 評価報告書の作成と公表

各評価項目の評価結果とそれらを集約、分析した結果、見出された課題等の詳細を「自己点検報告書」にまとめている。

自己点検・評価の結果等の関連情報の発信手段としては、大学のホームページや各種制作物を活用して、学内外へ公表している。

③ 評価

各評価項目について、4段階で評価する。さらに、「自己点検評価・FSD 委員会」では、評価の指標によって表現しきれない側面、要因、状況等を考慮に入れて結果を総合的に検討、点検し、必要な調整、修正により補正を行い、自己点検・評価を確定する。

自己点検・評価・改善のそれぞれの活動の中でも、大学を改革し発展させるために最も 重要なことは、全学を挙げて達成に取り組む姿勢と不断の努力の積み重ねであると考えら れる。本学では1年サイクルで「事業報告書」と「事業計画書(年報)」を作成し自己点 検・評価を実施している。

(3)評価項目

本学の大学院および全学科の教育、研究活動に携わる全部門の活動を対象とし、認証評価機関である公益財団法人日本高等教育評価機構の定める大学評価基準を基本に、以下の項目について自己点検・評価を行っている。なお平成31年度に作成予定の自己点検報告書については新評価システムに対応した項目に変更する予定である。

1) 使命・目的等

- ・使命・目的及び教育目的の明確性
- ・使命・目的及び教育目的の適切性
- ・使命・目的及び教育目的の有効性
- 2) 学修と教授
- ・学生の受入れ
- 教育課程及び教授方法
- ・学修及び授業の支援
- · 単位認定、卒業 · 修了認定等
- ・キャリアガイダンス
- ・教育目的の達成状況の評価とフィードバック
- ・学生サービス
- ・教員の配置・職能開発等
- ・教育環境の整備
- 3)経営・管理と財務
- ・経営の規律と誠実性
- ・ 理事会の機能
- ・大学の意思決定の仕組み及び学長のリーダーシップ
- ・コミュニケーションとガバナンス
- ・業務執行体制の機能性
- ・財務基盤と収支
- 会計
- 4) 自己点検・評価
- ・自己点検・評価の適切性
- ・自己点検・評価の誠実性
- ・自己点検・評価の有効性

(4) 認証評価

学校教育法第 109 条において、大学・大学院は政令で定める期間 (7 年以内) ごとに、 文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関による評価を受けることとされている。

森ノ宮医療大学及び大学院では、平成 25 年度に「公益財団法人日本高等教育評価機構」による認証評価を受審し、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合しているという大学機関別認証評価を受けた。認定の期間は、令和 2 (2020) 年までとなってい

る。

今後も次回の認証評価を受けるべく、自己点検・評価・改善計画に則り、教育に関わる様々な情報を集約し、教育の質の保証に向けたシステムを構築するとともに、「中期計画」とリンクしながら PDCA サイクルを取り入れた取り組みを実施していく。

13. 情報の公表

学校法人としての公共性に鑑み、社会に対する説明責任を果たすため、法人の基本情報、法人の経営及び財政に関する情報、法人が設置する学校の教育研究に関する情報、事業報告に関する情報、設置認可(届出)申請に関する情報等を刊行物及びホームページによって広く公開している。

学校教育法施行規則の一部改正に伴い、平成 23 (2011) 年 4 月 1 日より施行された教育情報の公表については、ホームページのトップページに「情報の公表」のタブを設定して、必要十分な情報にすばやく到達できるよう設定し、年度ごとの事業報告(年報)等の最新情報を提供している。

財務情報の公開についても、ホームページ上で計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、固定資産明細表)監査報告書を公開し、閲覧や印刷ができるようにしている。また、財務情報については、別資料を作成し、解説、グラフ等を多用して、分かりやすさに配慮して公表・公開している。

本学では、教育研究活動を含め、大学運営に関わるあらゆる状況について、事業報告書 (年報)等の刊行物への掲載やホームページ等により広く周知を図っている。情報の提供 は、以下の方法により教育研究活動、入学試験情報、社会活動等に関わる内容を広く提供 している。この際、個人情報保護への配慮を怠らないようにしている。なお、情報の提供 については、学部等と協働して実施している。

以下の本学のホームページアドレスは、細分化されているので主なアドレスのみ記載している。

(1) 大学の教育研究上の目的に関すること

森ノ宮医療学園の概要や大学の目的、学部の目的、学科の目的(鍼灸学科・理学療法学科・ 看護学科・臨床検査学科・作業療法学科・臨床工学科)を公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/1_1.pdf 概要、教育研究上の目的https://www.morinomiya-u.ac.jp/guide/mind.html 建学の精神・教育目標

(2) 教育研究上の基本組織に関すること

学校法人森ノ宮医療学園の構成等について公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/guide/organizational.html 学園組織図

(3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

専任教員数・教員が有する学位及び業績・教員1人当たりの学生数・年齢別教員数・職 階別教員数・専任教員数と非常勤教員数の比率等について公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/1_2.pdf 専任教員数

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_1_2_130902.pdf 教員が有する学位及び業績

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_1.pdf 教員一人当たりの学生数

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_3.pdf 年齡別専任教員数

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_4.pdf 職階別専任教員表

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_1_2.pdf 専任教員と非常勤教員の比率

(4)入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は

修了した者の数、並びに進学者数及び就職者数、その他進学及び就職等の状況に関すること

アドミッションポリシー、入学者数、収容定員、在学者数、卒業(修了)者数、就職者 (進学者)数、収容定員充足率、入学者推移、社会人学生数、留学生数及び海外派遣学生数 等について公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_2_1.pdf アドミッションポリシー https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_2_2.pdf 入学者数、収容定員、在学者数、卒業者数

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_2_3.pdf 進学者数、就職者数

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_2.pdf 収容定員充足率

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_8.pdf 入学者推移

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_12.pdf 社会人学生数

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_13.pdf 留学生数及び海外派遣学生数

(5) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

各学科の授業科目・単位数・講義概要の検索と一覧表・シラバス照会システム等を公表 している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/syllabus_list.html

(6) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること(学則からの抜粋)や教育上の目的に応じた学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学位授与数と授与率、退学・除籍者数、中退率、留年者数等を公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_4.pdf 学修の成果に係る評価及び卒業又は終了の設定に当たっての基準

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_5.pdf 学生の修学に関する支援
https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_6.pdf 学生が修得すべき知識及び能力
https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_6.pdf 学位授与数および授与率
https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_9.pdf 退学者・除籍者数・中退率
https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_1_11.pdf 留年者数

(7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

校地・校舎の概要、キャンパスマップ、施設紹介、図書館の概要や学生生活(クラブ・サークル紹介、学生支援センター、年間スケジュール、学生食堂、下宿・マンション紹介、交通アクセス)について公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/1_3_1.pdf 校地・校舎等の概要 https://www.morinomiya-u.ac.jp/campus/ サポートプログラム・施設紹介 https://www.morinomiya-u.ac.jp/guide/access.html 交通アクセス

(8) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

授業料、入学料その他の大学が徴収する費用(年間)を公表している。 https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/1_4.pdf 授業料、入学料

(9) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

学生の修学に関する支援体制、学生の進路選択に関する支援体制、心身の健康等に関す

る支援体制について公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/2_5.pdf 学生の修学に関する支援

(10) その他

① 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

学則等各種規程、設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検報告書、認証評価の結果等について公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/5_2_1.pdf 森ノ宮医療大学学則

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/information.html 情報の公表:設置認可申請書 https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/certification/jikotenken.pdf 平成 29 年度自己 点検報告書

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/certification/hyouka.pdf 平成 25 年度認証評価報告書

② 財務に関する情報

財産目録、貸借対照表、収支計算書、監事の監査報告書、財務の状況を平易に説明する 資料、事業報告書(年報)、事業計画書等を公表している。

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/h29_zaisanmokuroku.pdf 平成 29 年度財産目録

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/h29_kessan.pdf 平成 29 年度決算報告書 https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/h29_kansahokokusho.pdf 平成 29 年度監査報告書

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/h29_kessan_zaimu.pdf 財務の状況を平易に説明する資料

https://www.morinomiya-u.ac.jp/info/pdf/h29_jigyo.pdf 平成 29 年度事業報告書

以上のように、教育情報と財務情報は、刊行物(大学案内・大学ガイド・学生便覧等)と「ホームページ」https://www.morinomiya-u.ac.jp/により、学内外すべてに公開されている。

14. 教育内容の改善を図るための組織的な研修等

本学では、教育、研究、臨床を通じて広く社会的、国際的貢献を果たすため、それらに携わる教員の資質の維持向上を目的に自己点検評価・FSD 委員会を設置し、方策を立て実施、改善を図る。

(1) 自己点検評価・FSD 委員会実施体制

自己点検評価・FSD 委員会は、法人本部長、学部長、学科長、事務局長、事務局管理職、専任教員と専任事務職員で構成し、積極的に自己点検・評価活動及びFD 及びSD への取り組みを推進する。

(2) SD の実施体制

毎年2回以上、SD に関する研修会等を開催している。平成30年度においては教職員を対象としたものとして、研究費の取り扱いやリスクマネジメントをテーマにセミナーを実施したほか、外部講師を招いてチームビルディング研修を開催した。また、新卒採用者を対象とした新卒研修を実施や、他大学と連携し、ロジカルシンキング、タイムマネジメントなどに関する合同研修を実施するなど、大学職員に必要な知識、技能の取得、資質向上を図っている。これらの企画は本学人事制度などに基づき、自己点検・評価FSD委員会において年度計画が検討され、毎年開催されている。

(3)FD の実施体制

① 教員の資質を判断する客観的・合理的な評価の策定

以下の5項目の視点から各教員を客観的・合理的に評価し、人事配置、その他本学のシステムを検証、改革するための指針とし、さらに学生による授業評価ならびに教職員による公開授業見学会の結果分析を踏まえ、教育環境の改善を図り教員の資質向上に資する。なお、教員の資質を判断する際の客観的・合理的基準や評価項目については、本学の管理運営体制、社会的要請などを考慮し策定を進めるものとする。

ア 学生による授業評価

学生による授業評価を前期と後期に1回ずつ実施し、全教員が最低でも年に1回は評価 されるよう対象となる科目を設定している。各科目の評価結果は自己点検評価・FSD 委員 会を通じて各教員に還元するとともに、結果の総括を学内に公表し、それ自体を本学の自 己評価の対象とすることにより、教育活動の向上・改善に活用する。状況に応じ、学長、 学部長、学科長より直接指導を行うことがある。

イ 教職員による公開授業見学会

教職員による公開授業見学会を、前期と後期に1回ずつ実施し、全教員が最低でも年に 1回は評価されるよう対象となる科目を設定している。

公開授業見学会に参加した教職員は見学した授業のアンケートを記入し、そのアンケート集計結果については自己点検評価・FSD委員会を通じて各教員に還元するとともに、結果の総括を学内に公表し、それ自体を本学の自己評価の対象とすることにより、教育活動の向上・改善に活用する。状況に応じ、学長、学部長、学科長より直接指導を行うことがある。

ウ 研究活動の評価

各年度に、研究進捗状況、競争的研究資金の獲得状況、研究業績(専門誌掲載、著作、 学会発表、シンポジウム発表)、研究を通じた社会貢献など、各教員の研究活動評価を行 う。これら研究活動状況は、各年度に各教員により策定される「教員目標管理シート」に て共有・評価され、各教員へフィードバックすることで、研究能力の向上、研究活動の推 進を促し、同時に教育内容の充実にもつなげる。また、この評価を本学の自己評価の対象 とすることにより、大学全体の研究・教育体制の強化を図る。

エ 大学運営への貢献度に対する評価

担任やチューター業務、各種委員会活動等、大学運営にかかわる様々な業務の取り組み内容に対し評価を行う。取り組み状況は、各年度に各教員により策定される「教員目標管理シート」にて共有・評価され、各教員へフィードバックすることで、大学運営への積極的な貢献を促し、より優れた教育現場の確立につなげる。また、この評価を人事配置に活用、あるいは本学の自己評価の対象とすることにより、組織全体の教育体制の強化を図る。

オ その他の活動報告

各種社会活動やボランティア活動など、教員が参加しているさまざまな活動について も、その活動状況は、各年度に各教員により策定される「教員目標管理シート」にて共 有・評価され、教員の資質向上の契機とする。各教員の活動を学生教育に生かす施策を 講じ、研究内容の充実を図る。

② 教員の研修・研鑽機会の創出

教育活動改善への取り組みを積極的に進める。学生による授業評価および公開授業見学会(前述)に加え、大学としての組織的な教育方法、教育内容の改善に取り組み、教員の研修、研鑽機会の創出を通じて、大学に対する社会の要請に応えるとともに、教員の資質向上を目指す。具体的には以下の方策をとる。

ア 教育活動改善担当者の配置

教授会のもと、自己点検評価・FSD 委員会が下部組織である教育方法改善研究部会において教育活動改善担当者を指名して各教員の教育活動改善への取り組みを担当し、必要に応じて教員に対して助言や指導を行う。

イ 教育活動改善に関する研修、研究機会の確保

各年度末に1回、学内で教員相互が多様な観点から教育活動改善について研修・研究する機会を設ける。また、教員に学外での教育活動改善に関する研修・研究機会の情報提供を行うとともにその活用を奨励する。

15. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

(1)教育課程内の取り組み

診療放射線学科では、自立した医療人としての自己実現を目指すために、修学を支援する学内の制度や施設についてのオリエンテーションを行う。診療放射線技師という職業の職務内容、職業倫理等に関しては1年次の「基礎ゼミナール」「放射線科学」において概略を学ぶ。2年次から「放射線安全管理学」「医療安全管理学」「放射線関係法規」を通じ放射線診療業務の具体的な業務の管理・運営から社会との繋がりについて学び、社会的・職業的自立を促す。また、専門教育への橋渡しとなる基礎的知識・技能に関しては「放射線医学」において放射線診療の専門職になるための基盤づくりを行う。さらに心身の健康や職業としての学問、医療人としての生涯学習の基礎を理解するとともに、演習科目でのグループ活動を通じて、チーム形成能力の動機づけを図る。チーム医療に関する教育を通じて自己と他職種の役割を理解するために、1年次の「MBS」にてチーム医療の必要性について教授し「チーム医療見学実習」にて体感し、2年次の「医療コミュニケーション」では具体的なコミュニケーションスキルを指導し、2年次後期の「チーム医療論」で知識を深める。そして、3年次には、7学科合同の授業として、「IPW論」を開講し、症例を通じ各学科の専門性を基に専門職間連携の理念を実現するための方法について教員とともに

討議する。

専門的知識・実践的技術を修得し、医療専門職として自立するための指導は、診断領域、核医学領域、放射線治療領域の各領域別に専門基礎科目・専門科目にて行い、臨床実習では学内で修得した知識や技術を持ち、病院放射線部で実習を行う。臨床実習では、疾患と直結した知識や技能を高めることが最大の目的ではあるが、併せて医療人として患者や病院職員に対してのコミュニケーションの取り方や言葉遣い、振る舞い、仕事に取り組む姿勢等を学ぶ。卒業時には、診療放射線技師国家試験受験資格が与えられ、将来、医療人として活躍するために必要な知識を多く身につけることができる。

(2) 教育課程外の取り組みについて

学科と学生支援委員会、学生支援室において次の取り組みを行い、学生全員が自身の能力と性格に応じた職場に自力で就職できる力を育成する。

1 年次

医療接遇マナー講座(入学式直後のオリエンテーション時に実施)、キャリア支援セミナー(現場で活躍されておられる方を招いて、座学や演習を取り入れた講演会)

· 2 年次

キャリア支援セミナー

· 3 年次

個別面談、キャリア支援セミナー、実習前医療接遇マナー講座、学内合同就職説 明会

· 4 年次

個別面談、学内合同就職説明会、就職ガイダンス(社会人マナー、履歴書の書き 方、模擬面接等)、キャリア支援セミナー、卒業前社会人マナー講座

(3) 適切な体制の整備

本学は、保健医療学部に鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、作業療法学科、臨床検査 学科、臨床工学科の6学科に加え診療放射線学科の開設を目指しており、他の医療職との 連携やチーム医療を意識し、東洋医学、西洋医学の垣根を越えた医療人育成に力を入れて いる。

特に、キャリア支援については、各学科の学科長及び進路担当教員、学生支援委員会、 学生支援室が一体となって行っている。また、キャリアディペロツプメントアドバイザー (CDA)や産業カウンセラー、キャリアカウンセリング研修を受講した職員を学生支援室に配置し、個々の学生の性格や希望に即したきめ細かな対応ができる体制を整えている。

森ノ宮医療大学 保健医療学部 診療放射線学科 設置の趣旨等を記載した書類 資料目次

- 資料 1 診療放射線技師養成校一覧
- 資料2 診療放射線技師養成教育に関する要望書
- 資料3 診療放射線学科開設に関する要望書
- 資料4 大阪府診療放射線技師会からの要望書
- 資料5 授業科目とディプロマ・ポリシーの対応表
- 資料6 科目相関図(カリキュラムマップ)
- 資料7 森ノ宮医療大学 教員等定年規程
- 資料8 学校法人森ノ宮医療学園 再雇用規程
- 資料9 診療放射線学科履修モデル
- 資料10 診療放射線学科 時間割表
- 資料11 診療放射線学科 購読雑誌リスト・購入図書リスト
- 資料12 教育課程と指定規則との対比表
- 資料13 臨床実習施設一覧
- 資料14 臨床実習施設の承諾書
- 資料15 誓約書
- 資料16 森ノ宮医療大学 個人情報取扱いに関する保護ガイドライン
- 資料17 実習要項(抜粋)
- 資料18 事故・インシデント発生時の手引き
- 資料19 臨床実習に伴う連絡ガイドライン
- 資料20 臨床実習ガイドライン 日本診療放射線技師会案
- 資料21 臨床実習出席表
- 資料22 臨床実習レポート(案)
- 資料23 臨床実習評価表
- 資料24 臨床実習巡回指導・配置表

大 学 35校 (国立:11校、公立:3校、私立:21校)

_						_		_	
-1	北海道	国立	大学	北海道大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	35	
2	青森	国立	大学	弘前大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	40	
3	宮城	国立	大学	東北大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	37	
4	新潟	国立	大学	新潟大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	38	
5	石川	国立	大学	金沢大学	医薬保健学域保健学類放射線技術科学専攻	昼	4	39	
6	愛知	国立	大学	名古屋大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	40	
7	大阪	国立	大学	大阪大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	40	
8	岡山	国立	大学	岡山大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	37	
9	徳島	国立	大学	徳島大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	37	
10	福岡	国立	大学	九州大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	34	
11	熊本	国立	大学	熊本大学	医学部保健学科放射線技術科学専攻	昼	4	37	
12	茨城	公立	大学	茨城県立医療大学	保健医療学部放射線技術科学科	昼	4	40	
13	群馬	公立	大学	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線学部診療放射線学科	昼	4	35	
14	東京	公立	大学	首都大学東京	健康福祉学部放射線学科	昼	4	40	
15	北海道	私立	大学	日本医療大学	保健医療学部診療放射線学科	昼	4	50	
16	北海道	私立	大学	北海道科学大学	保健医療学部診療放射線学科	昼	4	50	
17	茨城	私立	大学	つくば国際大学	医療保健学部診療放射線学科	昼	4	80	
18	栃木	私立	大学	国際医療福祉大学	保健医療学部放射線・情報科学科	昼	4	120	
19	群馬	私立	大学	群馬パース大学	保健科学部放射線学科	昼	4	70	
20	埼玉	私立	大学	日本医療科学大学	保健医療学部診療放射線学科	昼	4	80	
21	東京	私立	大学	杏林大学	保健学部診療放射線技術学科	昼	4	60	
22	東京	私立	大学	駒澤大学	医療健康科学部診療放射線技術科学科	昼	4	60	
23	東京	私立	大学	帝京大学	医療技術学部診療放射線学科	昼	4	100	
24	神奈川	私立	大学	北里大学	医療衛生学部医療工学科診療放射線技術科学専攻	昼	4	70	
25	新潟	私立	大学	新潟医療福祉大学	医学放射線学科	昼	4	90	
26	岐阜	私立	大学	岐阜医療科学大学	保健科学部放射線技術学科	昼	4	90	
27	愛知	私立	大学	藤田保健衛生大学	医療科学部放射線学科	昼	4	55	(2018年10月 藤田医科大学へ校名変更)
28	三重	私立	大学	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部放射線技術科学科	昼	4	100	
29	京都	私立	大学	京都医療科学大学	医療科学部放射線技術学科	昼	4	77	
30	大阪	私立	大学	大阪物療大学	保健医療学部診療放射線技術学科	昼	4	80	
31	岡山	私立	大学	川崎医療福祉大学	医療技術学部診療放射線技術学科	昼	4	60	
32	広島	私立	大学	広島国際大学	保健医療学部診療放射線学科	昼	4	70	
33	徳島	私立	大学	徳島文理大学	保健福祉学部診療放射線学科	昼	4	50	
34	福岡	私立	大学	純真学園大学	保健医療学部放射線技術科学科	昼	4	80	
35	福岡	私立	大学	帝京大学	福岡医療技術学部診療放射線学科	昼	4	60	

小計 2,08

専門学校ほか 15校

_	専門字形	とはか	15校						
1	東京	国立	養成所	自衛隊中央病院	診療放射線技師養成所	昼	3	25	
2	北海道	私立	専門学校	北海道医薬専門学校	診療放射線学科	昼	3	40	
3	北海道	私立	専門学校	専門学校日本福祉看護・診療放射線学院	診療放射線学科	昼	3	0	H28年より学生募集停止
4	東京	私立	専門学校	城西放射線技術専門学校	診療放射線学科	夜	4	40	
5	東京	私立	専門学校	中央医療技術専門学校	診療放射線学科 (昼間部)	昼	3	120	
					診療放射線学科 (夜間部)	夜	4	40	
6	東京	私立	専門学校	東京電子専門学校	診療放射線学科	昼	3	90	
7	東京	私立	専門学校	専門学校東洋公衆衛生学院	診療放射線技術学科	昼	3	74	
8	静岡	私立	専門学校	静岡医療科学専門大学校	医学放射線学科	昼	3	40	
9	愛知	私立	専門学校	東海医療技術専門学校	診療放射線科	昼	3	80	
10	大阪	私立	専門学校	大阪行岡医療専門学校長柄校	放射線科	昼	3	50	
11	大阪	私立	専門学校	清恵会第二医療専門学院	放射線技師科1部	昼	3	30	
					放射線技師科2部	夜	4	30	
12	兵庫	私立	専門学校	神戸総合医療専門学校	診療放射線科	昼	3	80	
13	福岡	私立	専門学校	福岡医療専門学校	診療放射線科	昼	3	100	
14	大分	私立	専門学校	日本文理大学医療専門学校	診療放射線学科	昼	3	80	
15	鹿児島	私立	専門学校	鹿児島医療技術専門学校	診療放射線技術学科	昼	4	80	

小計 99

大学	専修学校	合計
2 081	000	3 080

日放技発第 270 号 平成 26 年 5 月 22 日

厚生労働省医政局 医事課長 北 澤 潤 様

> 公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 中 澤 靖



診療放射線技師養成教育に関する要望書

本会は、国民医療及び放射線診療に関わる予防・診断・治療等の技術の発達を図り、もって公衆衛生の向上及び国民保健の維持寄与することを目的とし、種々の事業を行っております。

最近の医療技術や医療機器は著しく進歩し、そして臨床現場では医療安全の 推進とチーム医療の普及により診療放射線技師の業務は大きく変化しており、 求められる知識情報量は大幅に増えております。しかしながら現在の医療を担っている診療放射線技師の育成については、依然として専門学校、短期大学が 残存しております。(大学 29 校、短期大学 1 校、専門学校 14 校)

最先端医療に対応できる診療放射線技師の育成について、放射線を利用する診療技術について基本原理を学び、さらに高度化していく専門的な医療技術に対応できる知識と技術を習得することです。そして医療人の原点である人間性を尊重し、心豊かな医療技術者として活躍するために必要とされる広汎な基礎的教養を身につけることも大切なことです。カリキュラム編成は、文部科学・厚生労働両省の指定規則に則り、最先端の診断・治療機器の基礎原理を理解し、それを臨床の現場で使いこなせる実践的技術の習得を重視しています。この目的を達成するために4年間で修得すべき講義・実験・演習は非常に広範囲にわたり、高度な内容を含んでいます。以上より診療放射線技師の4年制大学教育への移行をご理解、ご支援をいただきたく要望させていただきます

記

1. 診療放射線技師の基礎教育を4年制大学以上とすることを要望する

以上

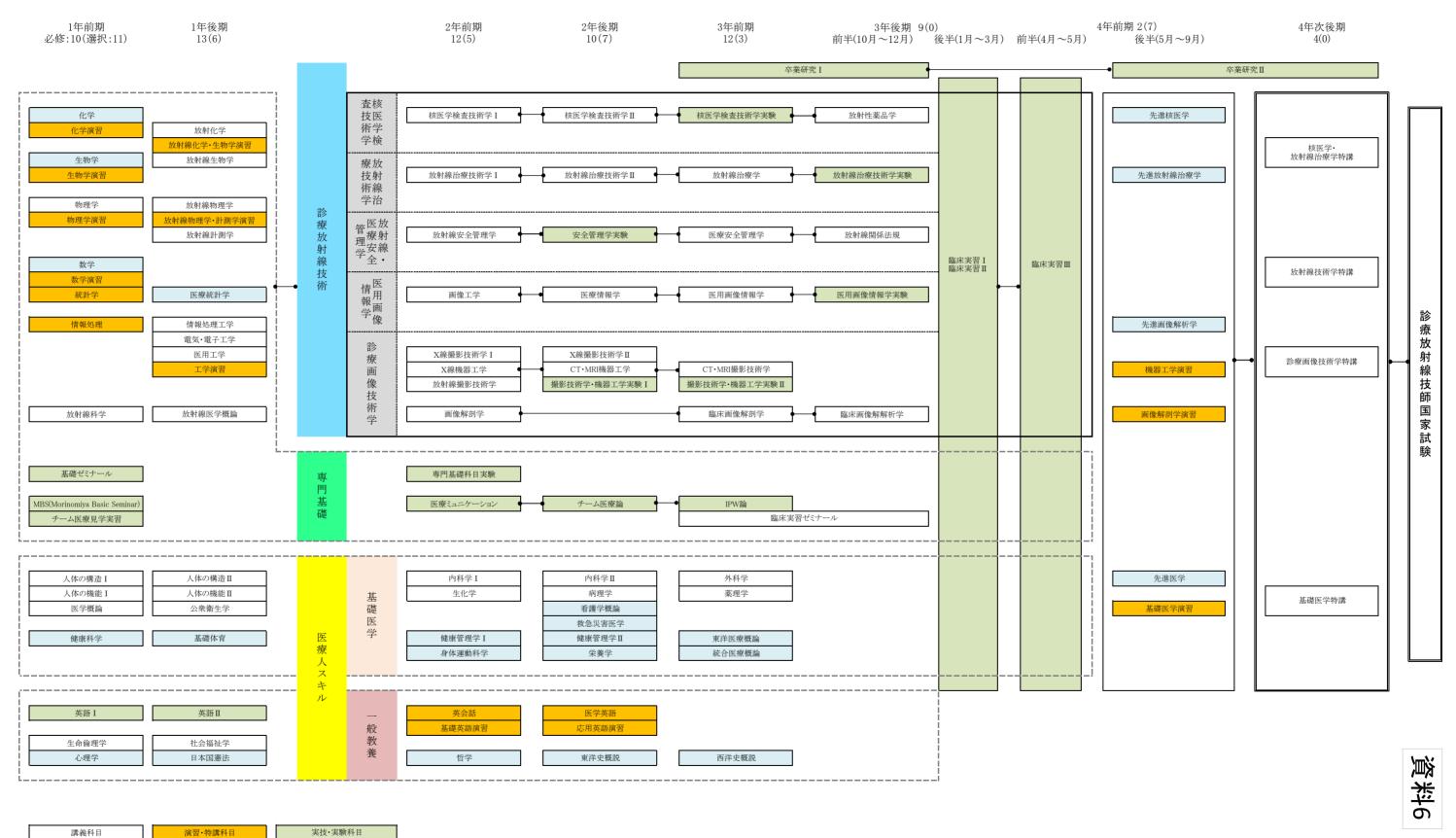
【卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】 ●診療放射線学科 診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士(診療放射線学)の学位が与えられる。 これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、 実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。 ●4つのディプロマ・ボリシー ①精度の高い専門的知識と専門技術 保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の ディプロマポリシー 高い知識と裏門技術を活用」、それぞれの立場を理解したトで診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。 (DP: 学位授与方針) ②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・ コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。 ③豊かな人間力 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、 さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。 ④主体的問題解決能力 診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、 主体的に創造的に問題を解決することができる。 単位数 区分 授業科目 及び 卒業要件 1 2 3 4 選択 必修 1前 2 0 0 0 基礎ゼミナール 1前 生物学 1前 ŔΫ 1前 情報処理 1前 1前 0 1前 人間 生命倫理学 1前 位 2前 理 科目 1後 択 1後 群 東洋中極鋭 2後 位 西洋史概説 3前 1前 英語 | (初級) 英語 || (中級) 1後 英会話 2前 2 医学英語 2後 0 2 2前 基礎英語演習 2 応用英語演習 2後 MBS(Morinomiya Basic Seminar) 1前 チーム医療見学宝習 1前 医療コミュニケーション 0 2前 チーム医療論 2後 0 0 学部共通科目 IPW論 3前 位 基礎体育 1後 健康科学(スポーツ社会学を含む) 1前 2 択 健康管理学 | 2前 群 健康管理学Ⅱ 2後 位 栄養学 2後 以 2前 0 身体運動科学 東洋医療概論 3前 2 統合医療概論

【卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ボリシー)】 ●診療放射線学科 診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士(診療放射線学)の学位が与えられる。 これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、 実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。 ■4つのディプロマ・ボリシー ①精度の高い専門的知識と専門技術 保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の ディプロマポリシー 高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。 (DP:学位授与方針) ②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・ コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、 さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。 4)主体的問題解決能力 診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、 主体的に創造的に問題を解決することができる 履修方法 D D D D 当 授業科目 選択 卒業要件 (1) (2) (4) 必修 (3) 1後 0 択 0 0 数学演習 1後 1 私 1前 0 物理学演習 目 位 生物学演習 1前 1 0 0 化学演習 1前 0 医学概論 1前 公衆衛生学 1後 人体の構造Ⅰ 1前 1 0 人体の構造Ⅱ 1後 修 -人体の機能 I 1前 1 0 0 疾病の成り立ち体の構造と機能及 0 0 人体の機能Ⅱ 1後 生化学 2前 0 0 位 病理学 0 2後 選 択 内科学Ⅰ 2前 内科学Ⅱ 2後 位 3前 0 0 0 看護学概論 2後 1 4前 基礎医学演習 外科学 3前 0 0 救急災害医学 2後 -電気・電子工学 1後 2 医用工学 1後 工学演習 1後 0 0 健 並 ぴ 情報処理工学 1後 福 医療統計学 1後 0 放 祉に 射 0 放射化学 1後 位 お の 科 放射線生物学 1後 2 0 択 0 放射線化学・生物学演習 1後 0 学及 理 及び技術理工学的基準 放射線物理学 1後 2 0 位 放射線計測学 1後 2 以 放射線物理学・計測学演習 1後 0 0 0 放射線科学 1前 1 専門基礎科目実験 2前 0 0

【卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ボリシー)】 ●診療放射線学科 診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士(診療放射線学)の学位が与えられる。 これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、 実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。 ■4つのディプロマ・ボリシー ①精度の高い専門的知識と専門技術 保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の ディプロマポリシー 高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。 (DP:学位授与方針) ②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・ コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。 ③豊かな人間力 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、 さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。 4)主体的問題解決能力 診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、 主体的に創造的に問題を解決することができる 単位数 D D 履修方法 D D 当 区分 及び 卒業要件 選択 (4) 必修 (1) (2) (3) 放射線医学概論 1後 0 0 0 X 線攝影技術学 I 2前 2 0 0 X 線撮影技術学 II 2後 X 線機器工学 2前 2 放射線撮影技術学 2前 CT・MRI撮影技術学 3前 CT · MRI機器工学 2後 技 撮影技術学・機器工学実験Ⅰ 2後 1 0 撮影技術学・機器工学実験Ⅱ 3前 0 0 画像解剖学 2前 0 画像解剖学演習 4前 機器工学演習 4前 0 0 核医学检查技術学 | 2前 2 技 医 核医学検査技術学Ⅱ 2後 3前 学 検 核医学检查技術学宝驗 0 査 3後 0 放射線治療技術学 | 2前 2 位 技 射 放射線治療技術学川 2後 選 術線 放射線治療技術学実験 3徐 0 療 0 放射線治療学 3前 位 画像工学 2前 2 以 情報 医療情報学 2後 画 医用画像情報学 3前 2 0 医用画像情報学実験 3後 0 0 放射線安全管理学 2前 2 全 放 放射線関係法規 3後 理線 学 安 安全管理学実験 2後 1 0 0 管安医学理全療 医療安全管理学 2 0 0 技断像 2 0 臨床画像解剖学 3前 0 術・冷診 臨床画像解析学 3後 2 0 0 0 臨床実習! 3% 6 0 0 臨床実習Ⅱ 3後 床 実習 臨床室習Ⅲ 4前 2 0 0 0 臨床実習ゼミナール 3通 0

【卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ボリシー)】 ●診療放射線学科 診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士(診療放射線学)の学位が与えられる。 これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、 実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。 ●4つのディプロマ・ボリシー ①精度の高い専門的知識と専門技術 保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の ディプロマポリシー 高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。 (DP:学位授与方針) ②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・ コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、 さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。 4)主体的問題解決能力 診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、 主体的に創造的に問題を解決することができる。 単位数 履修方法 D D D D 当 及び 卒業要件 区分 授業科目 選択 (1) (2) (3) (4) 必修 診療画像技術学特講 4後 0 0 技術 核医学・放射線治療学特講 1 0 0 4後 術特講家放射線 4後 0 基礎医学特識 4後 1 0 0 4前 0 先進核医学 先進放射線治療学 0 4前 科 先進画像解析学 4前 技術 0 先進医学 4前 1 0 3通 卒業研究 | 究 業 卒業研究Ⅱ 4通 2 0 卒業要件単位数

科目相関図(カリキュラムマップ)



森ノ宮医療大学 教員等定年規程

平成19年4月1日制定 平成22年10月19日改訂 平成26年12月16日改訂

(目的)

第1条 この規程は、森ノ宮医療大学(以下「大学」という)の教授、准教授、講師及び助教 (以下「教員」という)並びに助手の定年に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定年)

第2条 教員並びに助手は、満60歳に達した後に到来する3月31日をもって定年退職する。但し、大学の学部学科等の設置に係り、就任することが予定されている者は、それぞれの学部学科等の開設後、学年進行が終了する年度末まで在職を認める。

(再雇用)

第3条 前2条にかかわらず、本人が希望する場合で、労使協定に定める選考基準に達した教員は、1年の期間を定めて嘱託教員として、再雇用する。再雇用に関し必要な事項は、別に定める再雇用規程において 定める。

(規程の改廃)

第4条 この規程の改廃は、理事会の議を経て、理事長がこれを行う。

附 則

- 1 この規程は平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規程施行の際、現に在職する教員及び大学の設置に係り、就任することが予定されている者は、第 2条の規定にかかわらず、平成23年3月31日まで在職することができる。
- 3 この規程は平成22年4月1日から施行する。
- 4 この規程施行の際、看護学科設置及び大学院設置に係り、就任をすることが予定されている者は、第2 条の規定にかかわらず、それぞれの学年進行終了時まで在職することができる。
- 5 この規程は平成22年10月19日から施行する。(改廃条文)
- 6 この規程は平成26年12月16日から施行する。

学校法人森ノ宮医療学園 再雇用規程

平成27年3月24日制定

(目的)

第1条 この規程は、就業規則第17条第5項の規定に基づき、定年に達した職員の再雇用に関する事項を 定めることを目的とする。

(定年の通知)

第2条 学園は、定年の日の3カ月前に本人に対して定年の通知を行う。

(再雇用の申出)

第3条 前条による定年の通知を受けた者で再雇用を希望する者は、通知日より15日以内に学園に再雇用の申し出を行わなければならない。

(再雇用の可否の決定)

第4条 学園は、再雇用の申し出があった場合は、労使協定に定める再雇用の基準に基づきその可否、並びに労働条件を決定し、再雇用の申し出の日から2カ月以内に本人に通知する。但し、就業規則第17条第1項但し書に該当する年齢に達するまでの間は、希望者全員を再雇用する。

(再雇用の期間)

第5条 再雇用の期間は1年とする。但し、労使協定に定める更新基準を満たした場合は、満65歳までを 限度に再雇用契約を更新する。

(再雇用の解約)

第6条 再雇用の期間中に、再雇用の条件を欠くに至った場合は、雇用期間中とはいえども再雇用を打ち切ることがある。

(就業場所及び従事業務)

第7条 再雇用後の就業場所及び従事業務は再雇用契約締結の際、学園が決定する。

(再雇用後の給与)

第8条 再雇用後の給与は、本人の能力、経験等を勘案して学園が決定する。

2 定期昇給は行わない。

(賞与)

第9条 賞与は支給しない。

(退職金)

第10条 退職金は支給しない。

(労働条件)

- 第11条 再雇用者の次に定める労働条件については、個別に定める雇用契約による。
- (1) 始業時間及び終業時間
- (2) 休日
- (3) 年次有給休暇
- (4) 各種社会保険

附 則

1 この規程は平成27年4月1日から施行する。

●診療放射線学科履修モデル (放射線診断重点モデル)

黒字:必修科目 青字:選択科目

	式 <i>ル</i> 又オ	Ŋ 76水子 学年	E 科履修モデル(放 I 1年版	211/21		2年次			3年次			黒字:必修科目 4年次		T .	
区分	_		科目名		選択		必修	選択	科目名	必修	選択	科目名	必修	選択	7
	去	科学的	基礎ゼミナール 物理学	2											
	-5	的 思	情報処理	2	2										単位
-			心理学		2										127
教養	と 社	人 問 理 解	生命倫理学	2											E
科 目	会	解	社会福祉学	2											
群	小計		I	8	4		0			0	0		0	0	1
	910	番	英語 I (初級)	2		医学英語		2							2
		学	英語Ⅱ (中級)	2											上位以
F	小計			4	0		0	2		0	0		0	0	EX.
学		呆	MBS (Morinomiya Basic	1		医療コミュニケーション	1	2	IPW論	1			Ů		2
部共通		建 医	Semminar) チーム医療見学実習	1		チーム医療論	1		東洋医療概論		2				上位
*通 科		Ŕ													E)
	小計			2	0		2	0		1	2		0	0	
		基	数学		2										
		礎 科	数学演習		1										T
		自演	MTINE I		1										-
		習													
		小計	I	0	3		0	0		0	0		0	0	
		人 疾 体		1		生化学	1		薬理学	1					ij
		病の構		1		病理学 内科学 I	1		外科学	1					# # 1
		成び造		1		内科学Ⅱ	1								È
	専	り と 立 機	人体の機能!	1		内科字Ⅱ 救急災害医学	1	1							f: L
	門基		人体の機能Ⅱ	1		NOXOLOT		1							-
	礎科	小計	A STATE OF THE IN	6	0		4	1		2	0		0	0	1
	目	並 保	電気・電子工学	2	Ė	専門基礎科目実験	2			Ì				Ė	İ
		び医		2											
		放気	情報処理工学	2											i
		組 祉	放射化学	2											# # 1
		が 基礎 はおけ	放射線生物学	2											自信
		学	放射線化学・生物学演習		1										Į
		及理	放射線物理学	2											
		技一	77.71 10K F1 10G-T-	2											
		術的	放射線科学	1				_							
F		小計	放射線医学概論	15 1	1	X線撮影技術学 I	2	0	CT・MRI撮影技術学	2	0	画像解剖学演習	0	0	
		療				X線撮影技術学Ⅱ	2		撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	1					
		幽像				X線機器工学 放射線撮影技術学	2 2								
		技術				CT・MRI機器工学	2								
		学				撮影技術学・機器工学実験 I 画像解剖学	1								
学科		查核				核医学検査技術学I	2		核医学検査技術学実験	1					1
専門		技医 術学				核医学検査技術学Ⅱ	2		放射性薬品学	1					
科		学検													
目 群		療放 技射				放射線治療技術学I	2		放射線治療技術学実験	1					
		術線 学治				放射線治療技術学Ⅱ	2		放射線治療学	1					
						画像工学	2		医用画像情報学	2					1
	専門	情報学医用画像				医療情報学	1		医用画像情報学実験	1					
	科目	学像					L								
	-	全放 管射	-			放射線安全管理学	2		放射線関係法規	1		-			
		理線				安全管理学実験	1								
		学安							医療安全管理学		-			-	-
		管療							△	2					
		管理学													
									臨床画像解剖学	2					1
		技断像会							臨床画像解析学	2					
		₩ 診													
		彰		- 1					臨床実習 I	6		臨床実習Ⅲ	2		1
		臨						1	臨床実習Ⅱ	2	Ì		ĺ		
		臨床実							and the first community						1
	1, 21.	臨床		1	0		90	0	臨床実習ゼミナール	2	0			,	+
	小計	臨床実習		1	0		26	0	臨床実習ゼミナール		0	診療画像技術学特識	2	1	
	専	臨床実習		1	0		26	0	臨床実習ゼミナール	2	0	診療画像技術学特講 核医学・放射線治療学特講	1	1	
-	専門特	臨床実習		1	0		26	0	臨床実習ゼミナール	2	0	核医学・放射線治療学特講	1	1	
_	専門	臨床実		1	0		26	0	臨床実習ゼミナール	2	0	核医学・放射線治療学特講 放射線技術学特講	1 1 1	1	
-	専門特	臨床実習		1			26	0	臨床実習ゼミナール	2		核医学・放射線治療学特講	1	0	
-	専門特講	臨床実習 技術特講 学							臨床実習ゼミナール	2 27		核医学・放射線治療学特講 放射線技術学特講 基礎医学特講 先進核医学	1 1 1	1	
- - -	専門特講小計研	臨床実習 技術特講 診療放射線							臨床実習ゼミナール	2 27		核医学・放射線治療学特講 放射線技術学特講 基礎医学特講	1 1 1		
	専門特講 小 研究分	臨床実習 技術特講 学技術							臨床実習ゼミナール 空業研究 I	2 27		核医学・放射線治療学特講 放射線技術学特講 基礎医学特講 先進核医学	1 1 1	1	- Ŀ
	専門特講 小計 研究	臨床実習 技術特講 学技								2 27 0		核医学・放射線治療学特課 放射線技術学特課 基礎医学特課 先進核医学 先進減医学	1 1 1 1 4	1	- L

●診療放射線学科履修モデル (放射線治療重点モデル)

黒字:必修科目 青字:選択科目

****	学 倫理学 福祉学 I (初級) II (中級) Morinomiya Basic inar) 上 医療見学表習 学演習 学演習 学演習 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		0 1 1 1	2年次 科目名 哲学 医学英語 医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I 内科学 I	0 0 1 1 2	2 2 2 2	3年次 科目名	必修01	選択 0 0 0	4年次 科目名	②修 0 0	0	計 必修8単位+選択4 単位以上 12 2単位以上 2 上 位+選択 6 位 4 億 1 上 位以 7
************************************	学 学 編組学 編組学 I (初級) II (中級) Morinomiya Basic inar) ム医療見学実習 学演習 学演習 学演習 概 衛生学 の構造 I のの機能 I ・電子工学 エ学 処理 エ学 化学 練生物学	2 2 2 2 8 8 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2 2	0 0 1 1 1 3	医学英語 医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 育理学 内科学 I	0 1 1 2 0 1	2 2 2 2 2	IPW\$\hat{h}	0 1	0		0	0	修8単位+選択4 12 位+選択 上 上 上 上 上 上 上 上 12 位 14 億 1
思 人間理解	学 倫理学 福祉学 I (初級) II (中級) Morinomiya Basic inar) 上	2 2 2 8 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0 1 1 1 3	医学英語 医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 育理学 内科学 I	0 1 1 2 0 1	2 2 2 2 2	IPWihi	0 1	0		0	0	単位以上 12 2単位以 6 2単位以 7
************************************	倫理学福祉学 I (初級) II (中級) Morinomiya Basic inar) 上 公医療見学実習 学演習 学演習 学演習 学演習 「教達」 「の機能 II 「の機能能 II 「電子工学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「	2 8 8 2 2 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2	0 0 1 1 1 3	医学英語 医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 育理学 内科学 I	0 1 1 2 0 1	2 2 2 2 2	IPW論	0 1	0		0	0	上 接 4 12 2 位 + 選択 4 12 2 单位以 6 2 单位以 7 7
一	I(初級) II(中級) Morinomiya Basic inar) A医療見学実習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I ・電子工学	2 8 8 2 2 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2	0 1 1 1 3	医学英語 医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 育理学 内科学 I	0 1 1 2 0 1	2 2 2	IPW論	0 1	0		0	0	上 2 位 + 選択 4 12 2 单位以 6 2 单位以 6 上 位以 7
一	II (中級) Morinomiya Basic inint) 山医療見学実習 学演習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 II ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	2 2 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2	0 1 1 1 3	医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I	0 1 1 2 0 1	2 2 2	IPW論	0 1	0		0	0	4 12 2位以 上位以 6 2位以 上位以 7
##	II (中級) Morinomiya Basic inint) 山医療見学実習 学演習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 II ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	2 2 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2	0 1 1 1 3	医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I	0 1 1 2 0 1	2 2 2	IPW論	0 1	0		0	0	2位: 2位: 2位: 4位以 6 2位: 2位: 2位: 2位: 7
事等 英語 事等 本部 事等 基礎科目演習 小野人体の構造と機能及 小部人体の構造と機能及 本部 本部 疾病の成り立ち 小部 東門基礎科目 本部 東門基礎科目 本部 本の機造と機能及 小部 変素 本の構造と機能及 小部 立びに放射線のの科学及び技術 小部 が対射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射射	II (中級) Morinomiya Basic inint) 山医療見学実習 学演習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 II ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	2 4 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2	0 1 1 1 1 3	医療コミュニケーション チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I	1 1 2 2 0 1	2 2 2	IPW論	1					上 単 # # # # # # # # # # # # # # # # # #
学 小計 WBS(Semilian) 学部共通科目 本 本 本 本 <td< td=""><td>Morinomiya Basic inar) 山医療見学実習 学演習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学</td><td>0 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2</td><td>0 1 1 1 1 3</td><td>チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I</td><td>1 1 2 2 0 1</td><td>2 2</td><td>IPW論</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>在以 6 2位以 2位以 1 位以 7</td></td<>	Morinomiya Basic inar) 山医療見学実習 学演習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	0 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2	0 1 1 1 1 3	チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I	1 1 2 2 0 1	2 2	IPW論	1					在以 6 2位以 2位以 1 位以 7
WBS (1) Semini	学演習 学演習 学演習 学演習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I の機能 I ・電子工学 エ学 処理工学 化学 線生物学	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2 2	0 1 1 1 1 3	チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I	1 1 2 2 0 1	2 2	IPW論	1					6 2位; 単+化 上位選 以択 ¹ 7
Wis Care	学演習 学演習 学演習 学演習 学演習 学演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I の機能 I ・電子工学 エ学 処理工学 化学 線生物学	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2 2	0 1 1 1 1 3	チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I	1 1 2 2 0 1	2 2	IPWinh	1					2 位。 単 + 位 上 位選 以択 7
大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手	本 医療見学実習 学演習 学演習 学演習 一	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2	1 1 3	チーム医療論 栄養学 生化学 病理学 内科学 I	1 2 0 1	2			0		0	0	上位選; 以択 ¹ 7
本	学演習 演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	0 1 1 1 1 1 1 1 6 2 2 2 2	1 1 3	生化学 病理学 内科学 I	0 1	2		1	0		0	0	以択 5
日 小計 基礎科目演習 化学 中 中 中 中 中 中 中 中 中	学演習 演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	0 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 2 2 2 2	1 1 3	病理学 内科学 I	0			1	0		0	0	
## (本) (**) (*	学演習 演習 概論 衛生学 の構造 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	1 1 1 1 1 1 6 2 2	1 3	病理学 内科学 I	1	0							
## (七学) 本物 (七学) 本物 (七学) 本物 (七学) 本物 (七学) 本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (小計 (集) (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の構造と機能及 (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の)	(複響 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1 1 1 1 1 1 6 2 2	3	病理学 内科学 I	1	0							選択
1 演習 1	(複響 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1 1 1 1 1 1 6 2 2	3	病理学 内科学 I	1	0				1			上第
小計	概論 衛生学 の構造 I の構造 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	1 1 1 1 1 1 6 2 2	3	病理学 内科学 I	1	0							位
大体の構造と機能及 大体の構造と機能及 大体の構造と機能及 大体の構造と機能及 大体の構造と機能及 大体の構造と機能及 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大	 衛生学の構造 I の構造 I の機能 I ・電子工学工学 工学処理工学 化学線生物学 	1 1 1 1 1 1 6 2 2		病理学 内科学 I	1	0							以
疾病の成り立ち 小並びに放射線を10 を	 衛生学の構造 I の構造 I の機能 I ・電子工学工学 工学処理工学 化学線生物学 	1 1 1 1 1 6 2 2 2	0	病理学 内科学 I			薬理学	0	0	基礎医学演習	0	0	3
特徴 (本体 体体 体体 体体体体体体体体体体体体体体体体体体) (本体) (xk) (xk	の構造 I の構造 I の機能 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	1 1 1 1 6 2 2 2	0	内科学 I	1 *		^{朱柱子} 外科学	1		CENCIA TIME		1	選必
成び造と機能及 り立ち を 専門基礎科 目 が で 気 展 能 医 指 線 上 線 を で に 放射	の構造 I の機能 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	1 1 1 6 2 2 2	0		1			1					択修 11
専門基礎科目	の機能 I の機能 I ・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	1 1 6 2 2 2	0		1								単2位単
基礎科目	・電子工学 工学 処理工学 化学 線生物学	6 2 2 2	0	Î.									以位
科目 並びに放射線施における理工学的 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放	工学 処理工学 化学 線生物学	2 2 2	0										上+
びに放射線 極医 情 放 放 放 射 線 が 動 が 射 線 が 射 線 が 射 線 が 射 射 射 射 射 射 射 射 射 射	工学 処理工学 化学 線生物学	2 2	1	the markle will and the section of	4	0		2	0		0	1	13
に 療福 対 放 放 対 放 放 対 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放	処理工学 化学 線生物学	2	1	専門基礎科目実験	2								
か 編 独 放射 線線 基礎 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放	化学 線生物学												No. 14
線基征 (線生物学												選必 択修
科 ⁽⁴⁾ なかり かり		2											1 1 単 7
を		2											位単
5 工 放射系 等 的 放射系 小計 診 放射系	線計測学	2											以位 上+
術 的 放射系 小計 診 放射系	線物理学・計測学演習		1										
診放射症	線科学	1											
n/	始 IC 兴福弘	15	1	v (6) 40 0/4+ (4: 24)	2	0	CT UDITER HACK	0	0		0	0	18
	線医学概論	1		X線撮影技術学 I X線撮影技術学 II	2		CT・MRI撮影技術学 撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	2		機器工学演習		1	
画				X線機器工学 放射線撮影技術学	2								
像 技					2								
術 学				撮影技術学・機器工学実験 I	1								
学 科 <u> </u>				画像解剖学 核医学検査技術学 I	2		核医学検査技術学実験	1					
専 技医				核医学検査技術学Ⅱ	2		放射性薬品学	1					
科学検													
目 療放 技射				放射線治療技術学I	2		放射線治療技術学実験	1					必修
祈線				放射線治療技術学Ⅱ	2		放射線治療学	1					5 6
学治		-		画像工学	2		医用画像情報学	2		 	1		単
専門 経 学 像				医療情報学	1		医用画像情報学実験	1					位 +
		1	L		L								選択
全放管射				放射線安全管理学	2		放射線関係法規	1					1 単
理線				安全管理学実験	1								位
学安		-					医療安全管理学	2		 	1		以上
管理学全							Laborate Sept. 1						1
学全			1		Ĺ			L]
							臨床画像解剖学	2					1
技斯 ・ 診							臨床画像解析学	2					1
							The death was a			mis de de ver ess			1
臨床							臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	6		臨床実習Ⅲ	2		1
実習							臨床実習ゼミナール	2					1
小計		1	0		26	0		27	0		2	1	57
										診療画像技術学特講	1		必
_車		- 1								核医学・放射線治療学特講	1		修 4
専 技術 飲			1							14 4 144 1 1 4 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1		
専 門 特 講 講 郷				I				Ì		放射線技術学特講	1		単
門 術放特射講線						0				放射線技術学特講基礎医学特講	1		単位
小計		0	0		0	Ť		0	0		1	0	単 位 4
小計 学先		0	0		0			0	0	基礎医学特講	1		単 位 4 選必 択修
小計 学先 研 技進 究 術科		0	0		0		卒業研究 I		0	基礎医学特講 先進放射線治療学 先進医学	1 1 4	1	単位 4 選択24
小計 学先 研 技進 究 術科		0	0		0		卒業研究 I	2	0	基礎医学特講 先進放射線治療学	1	1	単位 4 選択2単位 上単位
小計 学先 技進 密 術科 分 野 所 卒			0		0		卒業研究 I			基礎医学特講 先進放射線治療学 先進医学	1 1 4	1 1	単位 4 選択 4 上 単

## 1		_	学年	1年次			京里ホピノブレア 2年次			3年次			4年次			41
변경 : 1 전 :	科目区分	_		科目名		選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択	計
### 15 1		±-	科学													必修
### 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 1		亏	的田		2	9										単 8
### 15 전 #	-				2	- 4						H				1位位
### 전쟁 100명		と社	間	社会福祉学						ļ						上選
### 전쟁 100명	科	会	理解	日本国憲法		2				ļ						択 4
### 15800 2 2 조순은 12 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					8	4		0	0		0	0		0	0	12
### 19 1				英語 I (初級)	2		英会話		2							2位:
### 1				英語Ⅱ (中級)	2					ļ						上世 + 付
### 1												L				以択
### 15 전 #	学		п	MRS (Morinomiva Rasic		0			2			0		0	0	_
### 19 1	文字	仮	建	Semminar)						IPW論	1					単 + 4
***	群通				1		チーム医療論	1		ļ						上位選以択
				使尿付子 (ハホ・ノ社式子を占む)	2	+		2	0		1	0		0	0	-
### 200 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전	н	7	基	粉学										Ť		選
# 1			礎	奴子		2				ļ						択
변			目	化学演習		1				ļ						上第
2년 1 1 1 1 1 1 1 1 1										ļ						位以
### 1					0	3		0	0		0	0		0	0	
## 1			人	医学概論	_	Ť	生化学		-	薬理学	+	_		-	,	
2				公衆衛生学	1		病理学	1		外科学	1					選必 択修
변경 2 전 시작/ 시작 (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			の構	人体の構造 I	1		内科学 I	1		1						1 1
		yelen	りと	人体の構造Ⅱ	1		内科学Ⅱ	1								位単
大学 1 1 1 1 1 1 1 1 1				人体の機能 I	1		看護学概論		1	ļ						以位上+
10 10 10 10 10 10 10 10				人体の機能Ⅱ	1											
1		科	49.	mb ma		0	arm # M-선 = 스파		1		2	0		0	0	13
2		Ħ	元 健				専門基礎科目実験	2								
## 1			に数							ļ						
			灰		2	١.				ļ						選必択修
中の			線基に			1				ļ						1 1
文 7 公計 10 2 公開報報報報報告 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			科地や							ļ						位単
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			" る							ļ						以位 上+
対対			び生							ļ						
中子			海 子							ļ						
「					_	1		2	0		0	0		0	0	18
京画				放射線医学概論	1								画像解剖学演習		1	
中华年等时间有目目目目标 數數學與學技術学、機能學主義學」 1 1 1 2										娰於仅附子,改品工子夫帙Ⅱ	1					
一			像					2		ļ						
中の			術							ļ						
技術学 技術 技術 技術 技術 技術 技術 技術							画像解剖学					L_'				
特別	科車															
B	門		術学				核医学検査技術学Ⅱ	2		放射性薬品学	1					
技材 放射線治療技術学 1	目						放射線治療技術学I	2		放射線治療技術学事驗	1	H				必
中部 中部 中部 中部 中部 中部 中部 中部	群		技射								-					修
一			学治							ļ						6
全数 数幹線與係法規 1 管射 2 空安 医療空房 管展 医療空房 技術() 医療空房 超底 医療空房 基底 Example () 基本 Example () Example () Example () Example () Example ()			情 E					2		医用画像情報学	2					位
全数 数幹線與係法規 1 管射 2 空安 医療空房 管展 医療空房 技術() 医療空房 超底 医療空房 基底 Example () 基本 Example () Example () Example () Example () Example ()		門	報画				医療情報学	1		医用画像情報学実験	1					+
管財 理務 学女 女会管理学実験 1 施展 資子会 (原療安全管理学) 2 技術 後 育・診 工業習 日 大学 (原療安全管理学) 2 施展 財務 (市育分計 課業 (事務) 1 (の) (の) (の) (の) (目				<u> </u>	Li di Lida al- A Arte arri Vi			LLA LAGRINAE N. III		<u> </u>				択
空安 空安 空族 空族 空族 空族 空族 空族			管射							放射線関係法規	1					1 単
医療安全管理学 2 技術を含物性 塩床画像解剖学 塩水画像解剖学 2 塩麻素質目 塩麻素質目 塩麻素質目 2 塩素素質 2 水計 2 ウサッカリン (株成の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の							以主日柱于天 峽	1		ļ						位
技術 (食						\vdash				医療安全管理学	2	\Box		1		上
技術 (食			理索							1						
技術 技術 機術・診			字全									L_				
1			_{技能} 画								2					
臨床実習 I 協床実習 II 2 小計 1 0 26 0 27 0 診療画像技術学特課 1 校療 特別 数射線技術学特課 1 体医学・放射線治療学特課 1 体医学・放射線治療学特課 1 体医学・放射線技術学特課 1 体系 基礎医学特課 1 体系 基礎医学特課 1 体系 基礎医学特課 1 体系 基礎医学特課 2 体系 基礎医学特課 2 体系 基礎医学特課 2 体系 基礎医学特課 2 体系 基礎医学特課 2 体系 基礎医学特課 2 体系 基礎医学特別 2 体系 基礎医学			術・診							臨床画像解析学	2					
Recompany						₩			<u> </u>	mt	<u> </u>	\vdash	ID- ob ob 100 vm			1
Substitution			床										端爪丟省Ⅲ	2		
小計																
専門特 技術 特別 講練 「		小計		<u> </u>	1	0		26	0			0		2	1	57
小計 0 0 0 0 0 0 4 0 4 0 4 学先 技進	Ī	ptr.	++:診										診療画像技術学特講	1		必
小計 0 0 0 0 0 0 4 0 4 0 4 学先 技進		門	1文療 術 #4							1			核医学・放射線治療学特講	1		修
小計 0 0 0 0 0 0 4 0 4 0 4 学先 技進		特	特射							1			放射線技術学特講	1		単
研究的 学生 技進 第		217	**************************************					Ĺ		<u> </u>	L	L	基礎医学特講	1	L	位
研究分野 研卒究果 日本 中華研究I 2 本業研究I 2 本業研究I 2 上華 位以 小計 0 0 0 0 2 0 2 2 6	ļ	小計	332, 41.		0	0		0	0		0	0	生油拉針鎖公布产	4		4
完 術科		研								1						選必択値
野 研卒 完業 小計 0 0 0 0 2 0 2 2 6		究				<u> </u>				de Novembre	<u> </u>				Ĺ	, 2 4
対計			TT							卒棄研究Ⅰ	2		午棄研究Ⅱ	2		上 単単 位位
									1		1	. '				以+
함 36 10 34 3 32 0 8 3 12		野				L			L			L,		L.		あっ

資料10

(選) 化学演習 大講義室303 大講義室303 大講義室303 人体の機能Ⅰ 安部辰夫 人体の構造 I 森谷正之 佃 (選)健康科学(スポーツ社会学を含む) (選) 生物学演習 大講義室304 大講義室304 大講義室304 大講義室304 佐野加奈給 安部辰夫 古岡敏治 放射線科学 小縣裕二 医学概論 K 大西英雄・垣本晃宏 チーム医療見学実習 (選) 物理学演習 大講義室303 大購義室303 大講義室303 大講義室303 大講義室303 (選) 心理学 井手口範男 (選) 化学 生哈倫理学 安部辰夫 田中美子 稲田慎 쏬 MBS (Morinomiya Basic Seminar) (選) 情報処理Bクラス (選) 情報処理Aクラス 中講義室301・302 藤重仁子・長尾晋宏 井手口範男 大講義室304 井手口範男 山口功 英語 I 401 ≾ 401 小縣裕二・今井信也・阿部秀高 基礎ゼミナール 大講義室303 大講義室303 大講義室303 (選) 生物学 大講義室303 (選) 統計学 井手口範男 久国正章 安部辰夫 为屈沙 皿 級 \$\$ \$\$ 担当的 担当教員 M XX M 担当数員 5時限 ** 8 担当教員 1時限 2時限 10:40 3時題 13:00 4時限 14:40 16:20 9:00

時間割表 前期 診療放射線学科 1年

時間割表後期 後期 診療放射線学科 1年

	,		=		=	
		Ħ	⋠	水	*	御
1時限	ш ж	人体の構造Ⅱ	電気・電子工学	医用工学	人体の機能Ⅱ	忽蒙為丁(竅)
8	担当权商	森谷正之	原良昭	片山俊郎	五十嵐淳介	稲田慎
10:30	- 第	大講義室304	大講義室303	大講義室304	大講義室303	大講義室304
2時限	四 英	社会福祉学	英語Ⅱ	- 英孫(題)	(選) 数学演習	放射化学
10:40	阿姆斯	掛川直之	藤重仁子・長尾晋宏	片山俊郎	片山俊郎	垣本晃宏
12:10	8H 86	大講義室304	中講義室301・302	大講義室304	大講義室303	大講義室304
3時廢	田 旅	公衆衛生学	(選)医療統計学	情報処理工学	放射線生物学	放射線物理学
13:00	11 岩灰原	神田靖士	井手口範男	中沢一雄	一	岩元新一郎
14:30	额	大講義室304	大講義室303	大講義室304	大講義室303	大講義室304
4時隙	四	(選)基礎体育	(選)放射線化学・生物学演習	放射線計測学	(選)放射線物理学・計測学演習	(題)日本国憲法
14:40	18 %於原	伊奈新太郎	山畑飛鳥•武本渚	今并信也	奥村雅彦	植田重幸
16:10	窦	体育館	大講義室303	大講義室304	大講義室303	大講義室304
5 時獨	田 報				放射線医学概論	
16:20	担訴教員				が水道	
17:50	88 36				大講義室303	

時間割表 前期 診療放射線学科 2年

*
*
傠

時間割表後期 後期 診療放射線学科 2年

器 器	#	ET.	次 (題)	水(選)医学英語	*	钳
S	祖当教員		重信あゆみ	長尾晋宏		
10:30	器		大講義室305	大講義室306		
2時限	田 蔡	チーム医療論	% 基本	I 典陸囚	CT・MR機器工学	撮影技術学・機器工学実験[
10:40	担当数員	奧村雅彦	安部辰夫	三木宏文	wow.	船橋正夫・山畑飛鳥
12:10	数	大講義室306	大講義室305	大講義室306	大講義室305	実習室演習室2
3時限	華	(選) 栄養学	看護学概論	X線撮影技術学Ⅱ	(選)健康管理学Ⅱ	校医学検查技術学工
13:00	租場数量	森美侑紀	伊津美孝子	船橋正夫	中原英博	大西英雄
14:30	数率	大講義室306	大講義室305	大講義室306	大講義室305	大講義室306
4時限	華	(選)救急災害医学	放射線治療技術学工	医療情報学	(選)応用英語演習	安全管理学実験
14:40	担当数量	古岡敏治	奥村雅彦	川眞田実	藤重仁子	垣本晃宏・武本渚
16:10	数章	大講義室306	大講義室305	大講義室306	大講義室305	実習室演習室3
5時限	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					安全管理学実験
16:20	相談問					垣本晃宏・武本渚
17:50	数					実習室演習室2

時間割表 前期 診療放射線学科 3年

		B	Ж	ж	ĸ	争
1時限	英		核医学検查技術学実験			
8 6	担当教員		大西英雄・垣本晃宏・山畑飛鳥			
10:30	86 86		実習室演習室3			
2時限	英	(羅)	核医学検查技術学実験	掛棒安		
10:40	担当教員	松枝啓至	大西英雄・垣本晃宏・山畑飛鳥	三木宏文		
12:10	数章	大講義室304	実習室演習室3	大講義室304		
3時題	英	医療安全管理学	(選)統合医療概論	(選)東洋医療概論	放射線冶療学	CT・MR摄影技信学
13:00	担当教員	фоп	山下仁・森美由紀・増山祥子	横山浩之	松本光弘	фол
14:30	※	大講義室304	大講義室303	大講義室304	大講義室303	大講義室304
4時限	華	臨床画像解剖学	IPW語	撮影技術学•機器工学実験 II	業盃条	医用画像情報学
14:40	担当教員	小豆瓶	小縣裕二・山畑飛鳥	山口功・今井信也・武本渚	山本浩一	船橋正夫
16:10	额	大講義室304	大講義室303	実習室演習室4	大講義室303	大講義室304
5時限	華			撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	卒業研究 I	臨床実習ゼミナール
16:20	担当教員			山口功・今井信也・武本渚	專任全教員	小縣裕二、山口功、大西英雄、船橋正夫、奧村雅 彦 今并信也、垣本晃宏、山畑飛鳥、武本渚
	额			実習室演習室4	大講義室303・304・305・306 中講義室301・302	大講義室303・304・305・306 中講義室301・302

時間割表後期 後期 診療放射線学科 3年

時間割表 前期 診療放射線学科 4年

臨床実習皿:担当教員(小縣裕二、山口功、大西英雄、船橋正夫、奥村雅彦、今井信也、垣本晃宏、山畑飛鳥、武本渚)

時間割表後期 診療放射線学科 4年

		B	ж	Ж	*	#
1時限	華	m				
8 8	租場製品					
10:30	器	final final				
2時限	平	珍療国像技術学特請				
10:40	祖無報	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□				
12:10	級	# 大講義室305				
3時限	平 平	核医学•放射線治療学特講	放射線技術学特請			
13:00	担当数项	» 大西英雄・奥村雅彦	小縣裕二・垣本晃宏・山畑飛鳥			
14:30	簽	* 大講義室305	大講義室306			
4時限	平	п.	基礎医学特講			
14:40	日治院		今井信也			
16:10	\$6 \$6	SSS SSS	大講義室306			
5時限	Φ 		卒業研究 II			
16:20	日治院司		専任全教員			
17:50	\$H \$\$	gai .	大講義室303・304・305・306 中講義室301・302			

資料11

診療放射線学科 購読雑誌リスト

種別	誌名	出版社	その他情報
洋	Radiology	Radiological Society of North America	ISSN:0033-8419
洋	Medical Physics	AMERICAN INSTITUTE OF PHYSICS	ISSN:0094-2405
和	RadFan	株式会社メディカルアイ	
和	臨床放射線	金原出版	
和	月刊 新医療	エム・イー振興協会	
和	INNERVISON	インナービジョン	メディカルオンライン収録あり
和	映像情報Medical	産業開発機構	メディカルオンライン収録あり
和	臨床画像	メジカルビュー社	メディカルオンライン収録あり
和	画像診断	学研メディカル秀潤社	

診療放射線学科 購入図書リスト

書名	出版社	ISDN
1 Khan's The Physics of Radiation Therapy Fifth版	LWW	978-1451182453
2 Pediatric Radiation Oncology, 6th ed.	WOLTERS KLUWER	978-1496342867
3 Radiation Oncology : A Questionbased Review	Wolters Kluwer Health	978-1496360366
4 Radiation Oncology Management Decisions	Wolters Kluwer Health	978-1496391094
5 Uncertainties in External Beam Radiation Therapy(AAPM 2011 Summer School)	Medical Physics Pub Corp	978-1930524521
6 よくわかる放射線・放射能の問題―基礎知識から除染・廃棄物処理まで	学研教育出版	978-4055009898
7 医療・介護のための死生学入門	東京大学出版会	978-4130120630
		978-4130120630
8 放射化学の事典	朝倉書店	
9 マンモグラフィガイドライン 第3版増補版	医学書院	978-4260019651
.0 脳の機能解剖と画像診断 第2版	医学書院	978-4260035514
1 放射線治療技術標準テキスト	医学書院	978-4260036054
2 新·医用放射線科学講座 放射線画像医学	医歯薬出版	978-4263206430
3 新·医用放射線科学講座 放射線画像技術学	医歯薬出版	978-4263206447
4 新·医用放射線科学講座 医用画像工学	医歯薬出版	978-4263206454
5 新·医用放射線科学講座 医療安全管理学	医歯薬出版	978-4263206461
6 新·医用放射線科学講座 診療画像機器学 第2版	医歯薬出版	978-4263206478
7 新·医用放射線科学講座 医用画像情報工学	医歯薬出版	978-4263206485
8 絵とき 放射線のやさしい知識	オーム社	978-4274020902
9 放射線技術学シリーズ 放射線物理学	オーム社	978-4274201967
20 放射線技術学シリーズ 放射線システム情報学 ―医用画像情報の基礎と応用―	オーム社	978-4274208478
11 放射線技術学スキルUPシリーズ 標準 ディジタルX線画像計測	オーム社	978-4274209321
11 放射線技術学スキルUPシリーズ 標準 救急撮影法	オーム社	978-4274209321
	1 1	
23 放射線技術学シリーズ 放射線生物学(改訂2版)	オーム社	978-4274211195
24 放射線技術学シリーズ 放射線安全管理学	オーム社	978-4274211331
25 放射線技術学スキルUPシリーズ 標準 MRIの評価と解析	オーム社	978-4274212420
26 放射線技術学シリーズ 放射線計測学(改訂2版)	オーム社	978-4274214691
27 放射線技術学シリーズ X線撮影技術学 改訂2版	オーム社	978-4274216442
28 放射線技術学シリーズ 放射線治療技術学 改訂2版	オーム社	978-4274216497
29 放射線技術学シリーズ 放射化学(改訂3版)	オーム社	978-4274218149
80 放射線技術学シリーズ 核医学検査技術学 改訂3版	オーム社	978-4274218606
31 放射線技術学シリーズ 医療安全管理学	オーム社	978-4274219597
32 放射線技術学スキルUPシリーズ 診断X線領域における 吸収線量の標準測定法	オーム社	978-4274220326
33 放射線技術学シリーズ MR撮像技術学(改訂3版)	オーム社	978-4274221095
44 よくわかる医用画像情報学	オーム社	978-4274221316
15 放射線技術学シリーズ CT撮影技術学(改訂3版)	オーム社	978-4274221323
	オーム社	978-4274221699
77 放射線技術学スキルUPシリーズ 標準X線CT画像計測 改訂2版	オーム社	978-4274222078
88 診療放射線技師国家試験 完全対策問題集 2019年版	オーム社	978-4274222245
89 核医学ハンドブック	オーム社	978-4274223297
10 がん放射線治療と看護の実践:部位別でわかりやすい!最新治療と有害事象ケア	金原出版	978-4307070874
計 新·図説単純X線撮影法	金原出版	978-4307070881
2 放射線治療 基礎知識図解ノート	金原出版	978-4307071024
3 外部放射線治療におけるQAシステムガイドライン 2016年版	金原出版	978-4307071031
4 放射線治療計画ガイドライン 2016年版 第4版	金原出版	978-4307071048
15 MR・超音波・眼底 基礎知識図解ノート 第2版	金原出版	978-4307071079
16 すぐに役立つ がん放射線治療 看護入門	金原出版	978-4307702331
	共立出版	978-4320035928
18 医用放射線辞典 第5版	共立出版	978-4320061750
19 新·医用放射線技術実験 基礎編	共立出版	978-4320061811
50 新·医用放射線技術実験 臨床編	共立出版	978-4320061811
(1) 医用工学 第2版	共立出版	978-4320061835
22 診療放射線基礎テキストシリーズ 医用工学	共立出版	978-4320061873
33 診療放射線基礎テキストシリーズ 放射線物理学	共立出版	978-4320061880
4 核医学イメージング(ME教科書シリーズ)	コロナ社	978-4339071610
5 診療放射線技師を目指す学生のための医用超音波論	コロナ社	978-4339072389
6 診療放射線技師を目指す学生のための医用磁気共鳴イメージング論	コロナ社	978-4339072396
7 診療放射線技師を目指す学生のための医用X線CT工学	コロナ社	978-4339072402
8 放射線機器学 1 診療画像機器 改訂新版	コロナ社	978-4339072419
9 放射線機器学Ⅱ 改訂新版	コロナ社	978-4339072426
	· · · · · ·	
(0) 病気のひとのこころ: 医療のなかでの心理学(日本心理学会心理学叢書)	誠信書房	978-4414311204

書名	出版社	ISDN
62 最新エビデンスに基づく放射線治療: UCSF腫瘍医による実践ハンドブック	中外医学社	978-4498065185
63 詳説強度変調放射線治療:物理・技術的ガイドラインの詳細	中外医学社	978-4498065208
64 詳説 放射線治療の精度管理と測定技術—高精度放射線治療に対応した実践Q&A	中外医学社	978-4498065260
65 がん放射線療法ケアガイド 新訂版	中山書店	978-4521737669
66 臨床放射線腫瘍学―最新知見に基づいた放射線治療の実践	南江堂	978-4524263226
67 診療放射線技術 上巻 改訂第13版	南江堂	978-4524263240
68 診療放射線技術 下巻 改訂第13版	南江堂	978-4524263257
69 放射線治療学 改訂6版	南山堂	978-4525270964
70 放射化学·放射線化学(診療放射線技術選書)改訂5版	南山堂	978-4525278359
71 放射線管理技術(診療放射線技術選書)改訂4版	南山堂	978-4525279042
72 医用画像情報学 改訂3版 (診療放射線技術選書)	南山堂	978-4525279332
73 核医学検査技術学 改訂3版(診療放射線技術選書)	南山堂	978-4525279431
74 トコトンやさしい電気の本 第2版(B&Tブックス)	日刊工業新聞社	978-4526078668
75 放射線を科学的に理解する 基礎からわかる東大教養の講義	丸善出版	978-4621085974
76 診療放射線技師スリムベーシック 1 放射線生物学	メジカルビュー社	978-4758311007
77 診療放射線技師 スリムベーシック 6 核医学	メジカルビュー社	978-4758311052
78 診療放射線技師 画像検査フルコース	メジカルビュー社	978-4758311311
79 診療放射線技師 若葉マークのペーシェントケア	メジカルビュー社	978-4758311397
80 診療放射線技師グリーン・ノート〈基礎編〉(2nd edit)	メジカルビュー社	978-4758314534
81 診療放射線技師グリーン・ノート〈臨床編〉(2nd edit)	メジカルビュー社	978-4758314541
82 第2種放射線取扱主任者試験マスターノート	メジカルビュー社	978-4758314831
83 第2種 放射線取扱主任者試験 重要問題集中トレーニング	メジカルビュー社	978-4758314848
84 診療放射線技師 画像診断機器ガイド	メジカルビュー社	978-4758316880
85 第1種放射線取扱主任者試験マスターノート	メジカルビュー社	978-4758316927
86 第1種放射線取扱主任者試験 重要問題集中トレーニング	メジカルビュー社	978-4758316965
87 RT 臨床実習ルートマップ	メジカルビュー社	978-4758317108
88 人体のメカニズムから学ぶ 放射線生物学	メジカルビュー社	978-4758317252
89 ポケット・レビュー帳 (3rd edition) - 診療放射線技師	メジカルビュー社	978-4758317269
90 診療放射線技師ブルーノート 基礎編	メジカルビュー社	978-4758317283
91 診療放射線技師イエローノート 臨床編	メジカルビュー社	978-4758317290
92 出題傾向徹底分析!診療放射線技師国家試験 重要問題集	メジカルビュー社	978-4758319065
93 診療放射線技師スリム・ベーシック 放射線物理学 改訂第2版	メジカルビュー社	978-4758319157
94 診療放射線技師スリムベーシック 放射化学 改訂第2版	メジカルビュー社	978-4758319164
95 診療放射線技師スリムベーシック 医用工学 改訂第2版	メジカルビュー社	978-4758319171
96 診療放射線技師スリム・ベーシック 放射線計測学 改訂第2版	メジカルビュー社	978-4758319188
97 核医学·PET·SPECT(放射線医学)	金芳堂	978-4765315289
I ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ)	金芳堂	978-4765315456
		978-4765315456 978-4765315463
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ)	金芳堂	
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科	金芳堂	978-4765315463
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ)	金芳堂金芳堂	978-4765315463 978-4765317122
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(Iro Books)	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 工学社	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 工学社 学研プラス	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション).	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-477520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携	金芳堂金芳堂金芳堂エ学社学研プラス学研学研メディカル秀潤社診断と治療社	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-47819949
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識	金芳堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版]	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-477520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-479365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ペーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ芳世 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4818016774
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ベーシックレッスンー身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 工学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4797365689 978-4815808044 978-4815808044 978-4816774 978-4830637452
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ペーシックレッスシー身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4818016774 978-4830637452 978-4830642142
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ベーシックレッスンー身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線技師のアフェッショナルガイド	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-48106774 978-4830637452 978-4830642142 978-4830642203
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ベーシックレッスシー身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線業務の医療安全テキスト	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-48166774 978-4830642142 978-4830642203 978-4830642227
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ベーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線業務の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-477520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-48150637452 978-4830642142 978-4830642227 978-4830642234
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ベーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線業務の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-477520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4816642214 978-4830642234 978-4830642234 978-4830642234
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ベーシックレッスンー身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線業務の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版 118 放射線医学物理学 第3版増補	金芳堂 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-477520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-48164774 978-4830642142 978-4830642234 978-4830642234 978-4830642272 978-4830642272 978-4830642272
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ペーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線業務の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版 118 放射線と学物理学 第3版増補 119 放射線線量測定学	金芳堂 金芳堂 金芳堂 工学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-477520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4818016774 978-483064224 978-4830642234 978-4830642234 978-4830642272 978-4830642289 978-4830642296
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ペーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線業務の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版 加射線経量測定学 120 考えるCT撮像技術	 金芳堂 金芳堂 金芳堂 工学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂 	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4818016774 978-4830642203 978-4830642203 978-4830642203 978-4830642272 978-4830642272 978-4830642289 978-4830642296 978-4830642296
98 放射線医学 頭頸部 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ペーシックレッスンー身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線技師プロフェッショナルガイド 115 診療放射線技所プロフェッショナルガイド 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版 放射線経験調定学 118 放射線線量測定学 120 考えるCT撮像技術 121 図解診療放射線技術実践ガイド	金芳堂 金芳堂 金芳堂 工学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4797365689 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4816774 978-4830642242 978-4830642242 978-4830642242 978-4830642272 978-4830642289 978-4830642296 978-4830642202 978-4830642206 978-4830642206 978-4830642206
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療 (がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ベーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線表の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版 118 放射線経量測定学 120 考えるCT撮像技術 121 図解診療放射線技術実践ガイド 122 なるにはBOOKS 診療放射線技師になるには	金芳堂 金芳堂 金芳堂 工学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 文光堂 マ光堂 ペリかん社	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4816774 978-4830647422 978-4830642234 978-4830642272 978-4830642289 978-4830642296 978-4830642296 978-4830642302 978-4830642319 978-4830642319
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 99 放射線医学 消化器 画像診断・IVR(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療学 105 がん放射線治療学 106 単純X線撮影必携 107 知っておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ペーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線表の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版 118 放射線を物理学第3版 119 放射線線量測定学 120 考えるCT撮像技術 121 図解診療放射線技術実践ガイド 122 なるにはBOOKS 診療放射線技師になるには 123 医療倫理学のABC 第3版	 金芳堂 金芳堂 金芳堂 エ学社 学研プラス 学研 学研メディカル秀潤社 診断と治療社 SBクリエイティブ 翔泳社 中央労働災害防止協会 名古屋大学出版会 日本看護協会出版会 光文堂 文光堂 ス光堂 スルプレンド社 	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-4777520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-4798152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4818016774 978-4830642212 978-4830642227 978-4830642227 978-4830642289 978-4830642296 978-4830642296 978-4830642319 978-4830642319 978-4830642319
98 放射線医学 頭頸部 画像診断(放射線医学シリーズ) 100 診療放射線技師国家試験対策全科 101 これからの健康科学 第5版 102 画像処理アルゴリズム入門(I・o Books) 103 がん・放射線療法2017 改訂第7版 104 やさしくわかる放射線治療学 105 がん放射線治療(がん看護セレクション). 106 単純X線撮影必携 107 知つておきたい放射能の基礎知識 108 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖 109 電離放射線障害防止規則の解説 第6版 110 詳解テキスト 医療放射線法令[第二版] 111 臨床倫理ペーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ 112 わかりやすい核医学 113 診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック 114 診療放射線表の医療安全テキスト 116 臨床核医学・PET検査技術学 117 放射線治療物理学第3版 118 放射線経量測定学 考えるCT撮像技術 121 図解診療放射線技術実践ガイド 122 なるにはBOOKS 診療放射線技師になるには 123 医療倫理学のABC 第3版 124 臨床医・RI技師のための脳SPECTパーフェクトガイド: 診断・治療・手術に使える 124 臨床医・RI技師のための脳SPECTパーフェクトガイド: 診断・治療・手術に使える	金芳堂 金芳堂 金芳堂 ・	978-4765315463 978-4765317122 978-4765317474 978-477520466 978-4780909432 978-4780909753 978-4780910711 978-4787819949 978-47878152554 978-4805917213 978-4815808044 978-4818016774 978-4830642142 978-4830642203 978-4830642227 978-4830642296 978-4830642296 978-4830642319 978-4830642319 978-4830642319 978-4830642319 978-4830642319 978-4830642319

書名	出版社	ISDN
128 逐次近似CT画像再構成の基礎(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860031046
129 医用放射線物理学 診療画像検査法	医療科学社	978-4860033552
130 C言語による画像再構成んp基礎(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860033705
131 SPECT画像再構成の輝度(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860033712
132 MRI画像再構成の基礎(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860033729
133 Excelによる画像再構成入門(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860033736
134 「診療画像検査法」医用放射線計測学	医療科学社	978-4860033750
135 拡散MRIの基礎と応用(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860034153
136 診療放射線技師読影ノート〈腹部編〉	医療科学社	978-4860034290
137 コーンビームCT画像再構成の基礎(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860034337
138 解らないことだらけの放射線被ばく	医療科学社	978-4860034344
139 逐次近似CT画像再構成の基礎(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860034399
140 C言語による画像再構成入門 フーリエ変換の基礎と応用(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860034498
141 診療放射線技師読影ノート 骨軟部編	医療科学社	978-4860034504
142 C言語による画像再構成入門 トモシンセスから3次元ラドン逆変換まで(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860034511
143 放射線生物学(新版)	医療科学社	978-4860034658
144 放射線技師のための数学 3訂版	医療科学社	978-4860034689
145 放射線物理学演習〔第2版〕 一特に計算問題を中心に一	医療科学社	978-4860034726
146 放射線技師のための物理学	医療科学社	978-4860034733
147 圧縮センシングMRIの基礎(画像再構成シリーズ)	医療科学社	978-4860034795
148 放射線安全管理学 第2版	医療科学社	978-4860034849
149 診療放射線技師国家試験 撮影・読影問題 総ざらい	医療科学社	978-4860034900
150 診療画像技術学IIa X線撮影技術学	医療科学社	978-4860034917
151 診療放射線学辞典	医療科学社	978-4860034924
152 SPECT基礎読本	医療科学社	978-4860034948
153 18F-FDG PET基礎読本	医療科学社	978-4860034955
154 最新 診療放射線技師国家試験問題集 2019年版	医療科学社	978-4860037192
155 画像でみる人体解剖アトラス 原著第4版	エルゼビア・ジャパン	978-4860343026
156 外部放射線治療装置: 放射線機器品質管理実践マニュアル	日本放射線技師会出版会	978-4861570278
157 臨床医学の基礎(放射線診療を支える人のために)	ピラールプレス	978-4861940583
158 外部放射線治療装置の品質管理の標準/熊谷孝三編著 PILAR PRESS, 2015.	ピラールプレス	978-4861941214
159 放射線治療計画装置の運用標準:受け入れ試験から日常管理まで	ピラールプレス	978-4861941221
160 チーム医療を支える診療放射線技師になろう	ピラールプレス	978-4861941290
161 これだけは習得しよう CT検査―診療放射線技師のために	ピラールプレス	978-4861941474
162 放射線治療計画(一準備から照射まで一)	ピラールプレス	978-4861941931
163 診療放射線技師(診療放射線技師学生)のための医学用語集	三恵社	978-4864876735
164 放射線治療分野の医学物理士のための基礎知識:医学物理士養成コアテキス	篠原出版新社	978-4884123246
165 生物効果比(RBE)、線質係数(Q)及び放射線荷重係数(wR) (ICRP Publication)	日本アイソトープ協会	978-4890731626
166 国際放射線防護委員会の2007年勧告 (ICRP Publication)	日本アイソトープ協会	978-4890732029
167 永久挿入線源による前立腺がん小線源治療の放射線安全 (ICRP Publication 98)	日本アイソトープ協会	978-4890732043
168 放射線のABC 改訂版	日本アイソトープ協会	978-4890732128
169 アイソトープ手帳 11 机上版	日本アイソトープ協会	978-4890732173
170 アイソトープ法令集 Ⅲ 労働安全衛生・輸送・その他関係法令 2011年版	日本アイソトープ協会	978-4890732180
171 医学における放射線防護—2007年10月主委員会により承認 (ICRP Publication 105)	日本アイソトープ協会	978-4890732197
172 原子力事故または放射線緊急事態後の長期汚染地域に居住する人々の防護に対する委員会—2008年10 月主委員会により承認 (ICRP Publication 111)	0 日本アイソトープ協会	978-4890732234
173 はじめての放射線測定―正しく理解し、正しく測ろう放射線	日本アイソトープ協会	978-4890732265
174 新しい外部照射放射線治療技術による事故被ばくの予防(ICRP publication 112)	日本アイソトープ協会	978-4890732340
175 放射線安全管理の実際		978-4890732357
176 やさしい放射線とアイソトープ 5版	日本アイソトープ協会	370 4030702007
	日本アイソトープ協会 日本アイソトープ協会	978-4890732364
177 MDCTにおける患者線量の管理 (ICRP Publication 102)		
177 MDCTにおける患者線量の管理 (ICRP Publication 102) 178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113)	日本アイソトープ協会	978-4890732364
	日本アイソトープ協会 日本アイソトープ協会	978-4890732364 978-4890732418
178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113)	日本アイソトープ協会 日本アイソトープ協会 日本アイソトープ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425
178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113) 179 アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449
178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113) 179 アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版 180 語りあうためのICRP 111—ふるさとの暮らしと放射線防護	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732456
178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113) 179 アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版 180 語りあうためのICRP 111—ふるさとの暮らしと放射線防護 181 外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116)	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732456 978-4890732470
178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113) 179 アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版 180 語りあうためのICRP 111—ふるさとの暮らしと放射線防護 181 外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116) 182 放射線管理実務マニュアル	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732470 978-4890732470 978-4890732517
178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113) 179 アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版 180 語りあうためのICRP 111—ふるさとの暮らしと放射線防護 181 外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116) 182 放射線管理実務マニュアル 183 看護と放射線—放射線を正しく理解する	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732456 978-4890732470 978-4890732517 978-4890732562
178放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113)179アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版180語りあうためのICRP 111ーふるさとの暮らしと放射線防護181外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116)182放射線管理実務マニュアル183看護と放射線一放射線を正しく理解する184よくわかる放射線・アイソトープの安全取扱い	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732456 978-4890732470 978-4890732517 978-4890732562 978-4890732654
178放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練(ICRP Publication 113)179アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版180語りあうためのICRP 111ーふるさとの暮らしと放射線防護181外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116)182放射線管理実務マニュアル183看護と放射線一放射線を正しく理解する184よくわかる放射線・アイソトープの安全取扱い185放射線取扱の基礎 8版	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732470 978-4890732470 978-4890732517 978-4890732562 978-4890732654 978-4890732661
178放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113)179アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版180語りあうためのICRP 111ーふるさとの暮らしと放射線防護181外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116)182放射線管理実務マニュアル183看護と放射線一放射線を正しく理解する184よくわかる放射線・アイソトープの安全取扱い185放射線取扱の基礎 8版186アイソトープ法令集 2018年版 1 放射線障害防止法関係法令	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732470 978-4890732517 978-4890732562 978-4890732664 978-4890732661 978-4890732678
178放射線診断およびIVRICおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113)179アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版180語りあうためのICRP 111ーふるさとの暮らしと放射線防護181外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116)182放射線管理実務マニュアル183看護と放射線一放射線を正しく理解する184よくわかる放射線・アイソトーブの安全取扱い185放射線取扱の基礎 8版186アイソトープ法令集 2018年版 1 放射線障害防止法関係法令187救急撮影ガイドライン	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732456 978-4890732470 978-4890732517 978-4890732562 978-4890732654 978-4890732661 978-4890732678 978-4890732678
178放射線診断およびIVRICおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113)179アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版180語りあうためのICRP 111ーふるさとの暮らしと放射線防護181外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116)182放射線管理実務マニュアル183看護と放射線一放射線を正しく理解する184よくわかる放射線・アイソトーブの安全取扱い185放射線取扱の基礎 8版186アイソトープ法令集 2018年版 1 放射線障害防止法関係法令187救急撮影ガイドライン188放射線画像の形成過程と物理特性	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732456 978-4890732470 978-4890732517 978-4890732562 978-4890732654 978-4890732678 978-4890732678 978-4890732678 978-4892698866 978-4895894241
178 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 (ICRP Publication 113) 179 アイソトープ法令集 II 医療放射線防護関係法令 2015年版 180 語りあうためのICRP 111 ― ふるさとの暮らしと放射線防護 外部被ばくに対する放射線防護量のための換算係数 (ICRP Publication 116) 放射線管理実務マニュアル 183 看護と放射線一放射線を正しく理解する 184 よくわかる放射線・アイソトープの安全取扱い 185 放射線取扱の基礎 8版 186 アイソトープ法令集 2018年版 1 放射線障害防止法関係法令 187 救急撮影ガイドライン 188 放射線面像の形成過程と物理特性 189 臨床研究のためのディジタル画像処理の基礎とパソコンソフト活用術	日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 日本アイソトーブ協会 メディカルトリビューン メディカルトリビューン	978-4890732364 978-4890732418 978-4890732425 978-4890732449 978-4890732470 978-4890732517 978-4890732562 978-4890732654 978-4890732661 978-4890732678 978-4892698866 978-4895894241 978-4895894258

	書名	出版社	ISDN
193	核医学の基本パワーテキストー基礎物理から最新撮影技術まで	メディカルサイエンスインターナショナル	978-4895927390
	放射線治療ガイドブック:放射線治療にかかわるすべての人に 改訂版	医療科学社	978-4900770737
	医療領域の放射線管理マニュアル—Q&A・医療関係法令 改訂版	医療放射線防護連絡協議会	978-4901141116
196	庁院しま老のための协助領込底、今、社会もこ頃まれている协助領込底を扱わたい庁院が知ってセノベネ	エム・イー振興協会	
	こととは一患者視点も含めて解く(月刊新医療別冊)		978-4901276320
	医療放射線防護の常識・非常識 - 医療現場の声から世界の流れまで(改訂新版)	インナービジョン	978-4902131208
	若い診療放射線技師 こんなときどうする?	ベクトルコア	978-4902380958
	放射線治療物理学	国際文献社	978-4902590562
	デジタル画像処理(改訂新版)	画像情報教育振興協会	978-4903474502
	放射線について考えよう。	明幸堂	978-4991034800
	1 医療放射線技術学概論(診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	10 放射線検査学(核医学)(診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	12 放射線治療学・放射線生物学 (診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	13 放射線計測学(診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	14 放射線管理学(診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	2 放射線物理学(診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	3 放射線機器学(診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	7 放射線像情報学 (診療放射線技術学大系) 8 放射線臨床病態学 (診療放射線技術学大系)	通商産業研究社通商産業研究社	
	8 放射線端床病態字(診療放射線技術学大系) 9 放射線検査学(X線)(診療放射線技術学大系)	通商産業研究社	
	9 放射線検査子(ス線) (診療放射線技術子人系) 叢書(37)初学者のための核医学実験入門	日本放射線技術学会	
	最書(37)列子有のための核医子美歌入门 叢書(36)図解 知っておきたい放射線情報システムの構築	日本放射線技術学会	
		日本放射線技術学会	
	最書(34)Interventional Radiologic Technology	日本放射線技術学会	
	叢書(33)放射線治療における位置照合とセットアップの実際	日本放射線技術学会	
	叢書(32)動画で見る一般撮影マニュアルー上肢・下肢編ー	日本放射線技術学会	
	叢書(31)図解放射線防護ミニマム基礎知識	日本放射線技術学会	
	叢書(30)ICRUレポート79 日本語翻訳「医用画像のROC解析」	日本放射線技術学会	
	叢書(28)核医学における臨床解析ソフトウェアの基礎と応用	日本放射線技術学会	
221	叢書(27)X線CT撮影における標準化~GALACTIC~(改訂2版)	日本放射線技術学会	
222	叢書(26)PETおよびPET/CT検査技術の基礎	日本放射線技術学会	
223	叢書(25)医療被ばく測定テキスト(改訂2版)	日本放射線技術学会	
224	叢書(24)医用画像部門における不変性試験マニュアル	日本放射線技術学会	
225	叢書(14-4)乳房撮影精度管理マニュアル	日本放射線技術学会	
226	叢書(11)光子減弱係数データブック	日本放射線技術学会	
227	ICRUレポート70 日本語翻訳 胸部X線写真の画質	日本放射線技術学会	
228	叢書(5-2)放射線技術学用語集·補遺編	日本放射線技術学会	
	[ICRU reports]57 Conversion Coefficients for use in Radiological Protection Against External Radiation	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports]55 Secondary Electron Spectra from Charged Particle Interactions	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
231	[ICRU reports]52 Particle Counting in Radioactivity Measurements	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
232	Ireated by External Beams of Fast Neutrons	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
233	書付き(訳: 日本原子力研究所保健物理部 城谷孝氏他)	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports]41 Modulation Transfer Function of Screen-Film Systems	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
235	[ICRU reports]40 The Quality Factor in Radiation Protection	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports] 33 Radiation Quantities and Units	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
237	[ICRU reports]32 Methods of Assessment of Absorbed Dose in Clinical Use of Radionuclides	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
238		OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports] 27 An International Neutron Dosimetry Intercomparison	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
240	3 33	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
241	[ICRU reports]23 Measurement of Absorbed Dose in a Phantom Irradiated by a Single Beam of X or Gamma Rays	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
242	[ICRU reports]22 Measurement of Low-Level Radioactivity	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports] 20 Radiation Protection Instrumentation and Its Application	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
244		OXFORD UNIVERSITY PRESS	
245	[ICRU reports] 15 Cameras for Image Intensifier Fluorography	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
246	[ICRU reports]14 Radiation Dosimetry:X Rays and Gamma Rays with Maximum Photon Energies Between 0.6 and 50 MeV	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
247	[ICRU reports]13 Neutron Fluence Neutron Spectra and Kerma	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports]12 Certification of Standardized Radioactive Sources	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports] 10c Radioactivity	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
	[ICRU reports]10b Physical Aspects of Irradiation	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
		1	-1

資料12

_	_							(診療放射	寸線技師	5学校)	(森ノ	宮医療	大学 伢	R健医療	学部	診療放射	才線学科	,)
			指定	€規則の耈	育内容			基礎分野		礎分野			138	専門分野		1		П
			教育課程	_		_		科	人体の構	的保 基礎医療	診	核	放	医	放	医		
	区	分	授業科目	配当年次	単位数	1単立当たりの専問	履修方法 及び 卒業要件	人間と生活 学的思考の基盤	成り立ち構造と機能及び疾病の	业びに放射線の科学及 燃福祉における理工学	珍療画像技術学	医学検査技術学	射線治療技術学	医用画像情報学	射線安全管理学	医療安全管理学	臨床実習	
						数		14	13	18	17	6	6	6	4	1	10	95
		科	基礎ゼミナール	1前		15	必	0										
		· 学 的	物理学 生物学	1前 1前		15 15	修	0										
		思考	化学	1前		15	8 単	0										1 1
		-5	情報処理 統計学	1前 1前		15 15	位 +	0										
		人	心理学 生命倫理学	1前 1前		15	選 択	0										1 1
****		甲理	哲学	2前	2 1	15	4 単	0										ll
教養		解と	社会福祉学日本国憲法	1後 1後		15 15	位 以	0								1		10
科目		社会	東洋史概説	2後	2 1	15	上	0										18
群			西洋史概説 小計	3前	2 1	15	12	0										
ĺ			英語 I (初級)	1前	2 1	15	選択4単位含む)	12			-			-		-		1
			英語Ⅱ (中級)	1後	2 1	15	選 必 修 2	0										ll
		語学	英会話 医学英語	2前 2後		15 15	東 "	0										1 1
			基礎英語演習	2前	2 1	15	· 位位 以 + 上	0										ll
			応用英語演習 小計	2後	2 1	15	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 1
			MBS (Morinomiya Basic Seminar)	1前	1 1	15	選択2単位含む)	0	0	- 0	0	0	0	0	0	0	0	\vdash
	1		チーム医療見学実習	1前	1 1	15	必	0										
			医療コミュニケーション	2前		15 80	修	0										1 1
			チーム医療論 IPW論	2後		15	5 単	0										1 1
学部		保健	基礎体育	1後		30	位 +	0										l l
共通		医	健康科学 (スポーツ社会学を含む)	1前		15 15	選 択	0										7
科目		療	健康管理学 I 健康管理学 II	2前		15	2 単	0										l
群			栄養学	2後	2 1	15	立 位 以	0										ll
			身体運動科学 東洋医療概論	2前		15 15	上	0										1 1
			統合医療概論	3前		15		0										1 1
			小計			()	7 選択2単位含む)	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 1
		基礎	数学	1後		15	選	0										
		科	数学演習 物理学演習	1後 1前		30 30	以3	0										1 1
		ョ演	生物学演習	1前	1 3	30	上 当 位	0										
		習	化学演習	1前	1 3	30		0				_						
			小計医学概論	1前	1 1 1	15	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
			公衆衛生学	1後	1 3	30	必		0									
		人	人体の構造 I 人体の構造 II	1前 1後		30 30	修 1		0							+		
		存体	人体の機能 I 人体の機能 II	1前	1 3	30	2 単		0									1
ĺ		(病の成り立の構造と機)	生化学	1後 2前	1 3	30 30	位		0									1 I
		成とい	病理学 内科学 I	2後 2前		30 30	+ 選		0									1 I
学	244	対機能を	内科学Ⅱ	2後	1 3	30	択 1		0									1 I
科	専門	一 ち及び	薬理学 看護学概論	3前2後		30 15	単 位		0							1		1 I
専門科	基礎		基礎医学演習	4前	1 1	15	以 上		0									34
目群	科目		外科学 救急災害医学	3前2後		30 15			0									
中			小計	≥ tX		1	13 湯和(資金ま)		13							1		
ĺ			電気・電子工学	1後		15	選択1単位含む)			0								1
		並 健 び 医	医用工学 工学演習	1後 1後		15 30	必修			0				1		+ -		
		に療福	情報処理工学	1後	2 1	15	7			0								
		射祉に	医療統計学 放射化学	1後 1後		15 15	単 位			0						1		1 I
		の礎お	放射線生物学	1後	2 1	15	+ 選			0								
		科 ける 理	放射線化学・生物学演習 放射線物理学	1後 1後		30 15	· 択 1			0								
ĺ		びエ	放射線計測学	1後	2 1	15	単位			0								
1		技 学 術 的	放射線物理学·計測学演習 放射線科学	1後 1前		30 15	以			0				-		-		1 I
1		基	専門基礎科目実験	2前		15	Ŀ			Ö								1 I
			小計			(3	18 選択1単位含む)	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	1
-						(,						·	<u> </u>					

指定規則の教育内容				基礎分野	古阳甘	礎分野		5	表	専門分野				一						
			相从	上規則の第	行内谷			基礎分野	人	的保				导门刀到				1		
			教育課程		単位数	1単位当た	履修方法	人間と生活科学的思考の基	体の構造と機能及	基礎並びに放射線ではおけ	診療画像技術	核医学検査技術	放射線治療技術	医用画像情報	放射線安全管理	医療安全管理	臨床実習			
	区分		授業科目	配当 年次		りの時間数	及び 卒業要件	14	び 疾 病 の 13	のる 科理 学工 及学 18	学 17	学 6	学 6	学 6	学 4	学 1	10	95		
L,			#C 6.1.66 nc 224 lat 4A	1.60	必修 選折													Щ		
			放射線医学概論 X線撮影技術学 I	1後 2前	2	30 15					0							1		
			X線撮影技術学Ⅱ	2後	2	15					Ö							1		
		診療	X線機器工学	2前	2	15					0							1		
		画	放射線撮影技術学 CT・MRI撮影技術学	2前 3前	2	15 15					0							4		
		像 技	CT·MRI機器工学	2後	2	15					0							1		
		術	撮影技術学・機器工学実験 I	2後	1	45					0							1		
		学	撮影技術学・機器工学実験 II	3前	1	45					0							4 I		
			画像解剖学	2前 4前	1 1	30 30					0							-		
			画像解剖学演習 機器工学演習	4前	1	30					0							-		
		核	核医学検査技術学I	2前	2	15						0						1		
		技医 術学	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2	15						0						1		
		学検	核医学検査技術学実験	3前	1	45	必					0						1 1		
		査	放射性薬品学	3後	1	15	修 5					0						4		
		放 技射	放射線治療技術学I	2前	2	15	6						0					4		
	専	術線	放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療技術学実験	2後	2	15 45	単位						0					4		
	門	学治 療	放射線治療学	3前	1	30	+						0					•		
	科目	医	画像工学	2前	2	15	選 択							0				57		
	ı	報用 報画 学像	医療情報学	2後	1	15	1							0				1		
		学像	医用画像情報学	3前	2	15	単 位 以 上 -							0			\Box]		
عند		情	医用画像情報学実験	3後	1	45		45 以							0			+	4	
学科		放 管射	放射線安全管理学	2前	2	15									0					
専門の		理線 学安	放射線関係法規	3後	1	15											0			
科目		全	安全管理学実験	2後	1	45									0			-		
群		管理学	医療安全管理学	3前	2	15												0		
		断画 術・像	臨床画像解剖学	3前	2	15					0							1		
		技診	臨床画像解析学	3後	2	15					0									
		ete ste	臨床実習I	3後	6	45											0	4		
		実臨 習床	臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ	3後 4前	2	45 45		-									0	1		
			臨床実習ゼミナール	3通	2	30											0	1		
			小計			•	57	0	0	0	20	6	6	6	4	2	12	1		
				1 ,		1	(選択1単位含む)	0	0	0			1	(選択科目	1)			ш		
	専門	技診	診療画像技術学特講 核医学·放射線治療学特講	4後 4後	1	15 15	必修				0	0	0	0				1		
	特	特線放	协制组士海学帐课	4後	1	15	位修4			0					0	0		4		
	講	講 射		4後	1	15	単		0									1		
			小計	4前	1 1	15	4 .ix.											\vdash		
	研	先 技進	先進核医学 先進放射線治療学	4前	1	15 15	択 ^必					0	0					1		
	究	術科	先進画像解析学	4前	1		¥ 4 ⊭ ⊭				0		Ľ					1		
	分野	学	先進医学	4前	1		択2単位以上 と単位以上		0									6		
	æ]"	研卒 究業	卒業研究 I	3通	2	30	上選											۱ <u>۱</u>		
		九米	卒業研究Ⅱ	4通	2	30	<u>e</u>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
			小計				(選択2単位含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ш		
			卒業要件単位数				126	28	13	18	20	6	6	6 (選択科目	4	2	12	116		
			指定規則に対する増単	位数				14	0	0	3	0	0	0	0	1	2	21		
Щ.			おんががになりる相手	350				0	0	0			1	(選択科目)			21		

9-3 臨床実習施設一覧

	法人名	施設名	住所	所要時間 (分)
1	独立行政法人 国立病院機構	大阪医療センター	大阪市中央区法円坂2-1-14	25
2	医療法人 警和会	大阪警察病院	大阪市天王寺区北山町10-31	30
3	地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪国際がんセンター	大阪市中央区大手前3-1-69	25
4	公立大学法人 大阪市立大学	大阪市立大学医学部附属病院	大阪市阿倍野区旭町1-5-7	35
5	国立大学法人 大阪大学	大阪大学医学部附属病院	吹田市山田丘2番15号	55
6	独立行政法人 地域医療機能推進機構	大阪病院	大阪市福島区福島4-2-78	30
7	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会吹田病院	吹田市川園町1-2	50
8	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会中津病院	大阪市北区芝田2-10-39	40
9	地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪急性期・総合医療センター	大阪市住吉区万代東3-1-56	55
10	地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪はびきの医療センター	羽曳野市はびきの3-7-1	65
11	独立行政法人 国立病院機構	大阪南医療センター	河内長野市木戸東町2番1号	70
12	学校法人 関西医科大学	関西医科大学総合医療センター	守口市文園町10番15号	50
13	公益財団法人 田附興風会 医学研究所	北野病院	大阪市北区扇町2-4-20	35
14	学校法人 近畿大学	近畿大学医学部附属病院 ※平成31年4月1日に近畿大学病院へ病院名変更	大阪狭山市大野東377-2	85
15	地方独立行政法人 堺市立病院機構	堺市立総合医療センター	堺市西区家原寺町1-1-1	45
16	地方独立行政法人	市立東大阪医療センター	東大阪市西岩田3-4-5	50
17	日本赤十字社	高槻赤十字病院	高槻市阿武野1丁目1番1号	60
18	社会医療法人 きつこう会	多根総合病院	大阪市西区九条南1丁目12番21号	20
19	公益財団法人 日本生命済生会	日本生命病院	大阪市西区江之子島2丁目1-54	20
20	医療法人 錦秀会	阪和記念病院	大阪市住吉区苅田7丁目11番11号	50
21	医療法人 錦秀会	阪和第二泉北病院	堺市中区深井北町3176	75
22	社会医療法人 生長会	ベルランド総合病院	堺市中区東山500-3	60
23	独立行政法人 地域医療機能推進機構	星ヶ丘医療センター	枚方市星丘4-8-1	70
24	パナソニック健康保険組合	松下記念病院	守口市外島町5-55	60
25	社会医療法人 景岳会	南大阪病院	大阪市住之江区東加賀屋1-18-18	40
26	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション	淀川キリスト教病院	大阪市東淀川区柴島1-7-50	35
27	地方独立行政法人	りんくう総合医療センター	泉佐野市りんくう往来北2-23	70
28	独立行政法人 労働者健康安全機構	関西労災病院	尼崎市稲葉荘3-1-69	60
29		市立伊丹病院	伊丹市昆陽池1丁目100番地	70
30		宝塚市立病院	宝塚市小浜4丁目5-1	80
31	地方独立行政法人 奈良県立病院機構	奈良県総合医療センター	奈良市七条西町2丁目897-5	60
32		西宮市立中央病院	西宮市林田町8番24号	65
33		兵庫県立西宮病院	西宮市六湛寺町13-9	40
34	学校法人 兵庫医科大学	兵庫医科大学病院	西宮市武庫川町1-1	45
35	社会医療法人 高清会	高井病院	天理市蔵之庄町470-8	60
36	公立大学法人 奈良県立医科大学	奈良県立医科大学附属病院	橿原市四条町840番地	70
37	国立大学法人 京都大学	京都大学医学部附属病院	京都市左京区聖護院川原町54	75
38	独立行政法人 国立病院機構	京都医療センター	京都市伏見区深草向畑町1-1	75

実習承諾書

(実習先については資料13の臨床実習施設一覧を参照)

誓 約 書

森ノ宮医療大学学長 殿

私は、森ノ宮医療大学保健医療学部 診療放射線学科の臨床実習において、下記の事項を遵守することをここに誓約致します。

記

- 1. 森ノ宮医療大学保健医療学部学生として「森ノ宮医療大学個人情報保護に関するガイドライン」の事項を十分に理解し、実習先病院等において実習・ 見学(以下「実習等」という。)を行うこと
- 2. 実習先病院等の定める諸規則、心得等を遵守し、実習指導者の指示に従って、実習等を誠実に履行すること
- 3. 実習・見学期間中はもちろん、その後においても、実習等において知り得た個人情報・法人機密情報を第三者に漏らさないこと
- 4. 私の故意又は過失により、実習先病院とその関係者、あるいは第三者に、 事故、器物破損、個人情報・法人機密情報の漏えい、その他の損害を与えた 場合は、大学と連帯してその賠償の責を負うこと なお、大学が賠償負担を負った場合は、大学の救済に応じること

平成 年 月 日

学籍番号()	
氏名		卸

以上

森ノ宮医療大学 個人情報取扱いに関する保護ガイドライン

I. 個人情報取扱いに関する 保護ガイドラインの趣旨

診療放射線技師は患者様の様々な情報を取り扱う業務である。直接、患者様より知りうる情報も多い。従って、実習に臨む学生が遵守すべきガイドラインを以下の通り定める。

Ⅱ. 個人情報保護に関する基本的考え方

- 1. 学生は、患者様の個人情報を容易に入手できる立場であることを自覚し、不必要・ 不適格な情報収集をしてはならない。
- 2. 学生は、患者様の匿名性を確保し、守秘義務を遵守し、実習中に知り得た情報を漏らしてはならない。
- 3. 大学は、学生の個人情報の取り扱いについて教育を行う。

Ⅲ. 大学と実習施設との事前協議について

個人情報の取り扱いについては、実習施設と大学との間で、以下に示す事項について十分に協議する。その際、実習施設の個人情報の取り扱いに関する規定を確認すると同時 に、本ガイドラインを実習施設に提示する。

(協議事項)

- 1. 大学と施設との誓約書の必要性の有無について
- 2. 実習中の学生が学修するために行う実習記録物について
- 3. 学生の個人情報について(森ノ宮医療大学で定めている個人情報に関する規定について実習施設に説明)

IV. 実習記録物(実習メモ、デイリーレポート)に関する取扱い

学生は臨床実習で取り扱う個人情報について 、以下の内容を遵守する 。

- 1) 実習記録物には、個人が特定されるような情報は記入しない。
- 2) 実習記録物には、不必要、不確実な情報を記載しない。
- 3) 実習記録物の作成は、大学、実習施設及び自宅以外では行わない。
- 4) 実習に関する 全ての書類はファイルに綴じ、施設、大学と自宅以外には持ち出さない。帰学日には実習記録物を常に携帯し、放置して他者の目の触れることのないように注意する。
- 5) 学生問で実習記録物の貸し借り、ファックスやメールのやり取りをしない。
- 6) 実習記録物は複写しない。
- 7) 実習期間中の取り扱いに関する上記事項が守れなかった場合、速やかに実習指導 者及び担当教員に報告し、指示に従って事故報告書を提出する。

実習要項 (抜粋)

II . 臨床実習の実施方法

内容

1. 実習科目の履修および単位認定にかかわる条件	2
2. 臨床実習における基本事項	2
(1) 実習時間	2
(2) 出欠席、遅刻、早退	2
(3) 身だしなみ	2
(4) 学生としての態度	2
(5) 患者様に対する心得	2
① 患者様への倫理的配慮を遵守する	2
② 言葉遣いや態度に留意する	2
③ 学生としての関係性を保つ	2
(6) 事故防止	2
(7) 健康管理、感染予防	2
(8) 学生更衣室の使用	2
(9) 交通手段	3
(10) 気象異常・ストライキ時の対応	3
3. 個人情報使用に関するガイドライン	3
(1) 当ガイドラインの趣旨について	3
(2) 実習時に使用が想定される個人情報について	3
(3)情報媒体(電子媒体)の使用について	3
(4)情報媒体(紙媒体)の使用について	3
(5) Web サービスの利用について	4
4. 事故・インシデント発生時の手引き	4
(1)目的	4
(2) 用語の定義	4
(3) 事故・インシデント発生時における対応方法	
① 学生の責務	4
② 施設担当教員の責務	
③ 実習単位認定者の責務	4
④ 学科長の責務	5
(4) 記録物紛失事故	
5. 感染症予防の手引き	
(1) 実習に伴う感染症抗体価検査および予防接種の実施について	
(2) 感染症発生時・発生が疑われる場合の対処	5
(3) 実翌への復帰について	F

1. 実習科目の履修および単位認定にかかわる条件

~省略~

2. 臨床実習における基本事項

(1) 実習時間

臨床実習(以下実習)の時間は原則として8:30~17:30までとする。ただし、実習内容、患者様の状況や臨床 実習施設(以下施設)の特徴などに応じて時間調整を行うことがある。実習中はゆとりを持って行動すること。 また、時間を厳守し、決められた時間の5分前行動を原則とする。

(2) 出欠席、遅刻、早退

~省略~

(3) 身だしなみ

~省略~

(4) 学生としての態度

~省略~

(5) 患者様に対する心得

- ① 患者様への倫理的配慮を遵守する
- 1) 実習中は学生といえども社会人としての行動を心がける。
- 2) 患者様や家族からの病状に関する質問には不用意な即答は避け、施設の実習指導者に報告する。
- 3) 患者様の個人情報の保護に努め、他者に知られたくない過去および個人情報は決して口外しない。
- ② 言葉遣いや態度に留意する
- 1) 患者様には、学ばせていただいているという学修者であると同時に、医療人として自覚ある態度で接する。
- 2) 患者様はさまざまな人生経験者であることを認識し、尊敬の念を持ち接する。
- ③ 学生としての関係性を保つ
- 1) 患者様からの贈答は受け取らない。対応できないときは施設の実習指導者または施設担当教員に相談する。
- 2) 実習終了後は患者様や家族と個人的な関わりを持たない。また、プライベートな連絡先の交換をしない。

(6) 事故防止

- 1) 臨床現場で迅速に対応できるよう、十分な事前学習・練習を踏まえて実習に臨む。
- 2) 患者様と接点を持つ際は必ず施設の実習指導者に確認・報告をし、決して独断で行動しない。
- 3) 事故・インシデント発生時(施設の物品・器具の破損、暴力・暴言・セクシャルハラスメント等の被害・危害の受難、交通事故の遭遇およびこれらの未遂を含む)は、直ちに施設の実習指導者と施設担当教員に報告するとともに、「事故・インシデント発生時の手引き」に従い行動する。施設によって別途届け等の必要がある場合は、所定の手続きに従って行動する。

(7)健康管理、感染予防

- 1) 健康管理、感染予防においては、「感染症予防の手引き」を熟読し、遵守する。
- 2) 実習前に各自で保険加入状況、感染症抗体価保有状況について確認しておく。
- 3) 規則正しい生活を習慣づけ、自己の体調管理に努める。(実習期間中はアルバイトを入れない。)
- 4) 施設へは必ず健康保険証のコピーを持参する。
- 5) 処置やケアの前後には手洗いを十分に行う。

(8) 学生更衣室の使用

~省略~

(9)交通手段

~省略~

(10) 気象異常・ストライキ時の対応

~省略~

3. 個人情報使用に関するガイドライン

(1) 当ガイドラインの趣旨について

- 1) 個人情報取扱事業者に該当するか否かを問わず、診療放射線技師を志す学生として患者様情報の漏洩が守秘義務違反に相当することを強く認識し、これの保護に努めること。
- 2) 本学学生として以下の記載内容に反する行為があった場合に関しては、直ちに実習を中断し、状況に応じた処分を検討する。

(2) 実習時に使用が想定される個人情報について

- 1) 患者様の疾患、障害、予後に関する討議・質問は、原則として患者様やその家族はもとより、他の患者様など無関係な者であっても耳に入ることのない場所で行う。
- 2) 患者様やその周囲の者からの場合においても、疾患、症状、予後に関する質問に対しては、決して返答せずに施設の実習指導者に相談する。
- 3) カルテの使用、カンファレンス資料等の取り扱いに留意し、必要に応じて施設の実習指導者を始めとする実習施設職員の指示を受ける。
- 4) 症例報告・レポートの提出に際しては、以下の事項に留意する。
 - ・患者氏名:記載しない。イニシャル表記も禁止する。やむを得ず2者以上を区別する必要がある場合は、 A.B.・・・・とする。
 - ・生年月日:記載しない。年齢は患者像の把握に必要である場合に限り許可するが、○歳代などに留める。
 - ・性別:記載する。
 - ・現病歴: 患者像の把握に必要とされる最小限度の記載のみとする。
 - ・家族構成:患者像の把握に必要とされる最小限度の記載のみとする。
 - ・家族歴: 患者像の把握に必要とされる最小限度の記載のみとする。
- 5) 画像・動画記録については、別途「画像・動画資料の撮影ならびに使用に関する誓約書」に基づき使用の趣旨を説明の上、患者様あるいはその家族から署名による同意を得た後に使用する。また、使用においては誓約内容を遵守する。

(3) 情報媒体 (電子媒体) の使用について

- 1) ワード、エクセルなどの電子ファイルを作成する際には必ずパスワードを設定する。
- 2) 原則として、ネットワーク接続されていない PC を使用する。
- 3) やむを得ずネットワーク接続下にある PC を使用する場合は、セキュリティソフトを必ず使用し、毎回安全を確認する。
- 4) 現在オフラインにある PC であっても、peer to peer (P2P) ソフトやその他の情報流出の可能性が高いソフトをインストールしたことのある PC は、使用を禁止する。
- 5) フラッシュメモリやポータブル HDD など、携帯性の高い端末への保存はファイル提出など、やむを得ずファイル移動が必要な場合に限り、常時保存することを禁止する。また、その際はパスワードにより暗号化できるもののみを使用する。
- 6) 電子媒体への記録は、ファイルを消去した後でも復元可能性が極めて高いことに留意し、データの不必要な 記録は厳に慎む。(ゴミ箱の中身を完全に消去した後であっても、復元は容易である)

(4)情報媒体(紙媒体)の使用について

- 1) 実習中得られた情報について、容易に他人の目に触れる形で記録することは禁止する(例. 掌へのメモ、透過性の高いファイルの使用など)。
- 2) デイリーノート、症例レポートなど、紙媒体で記録されたものに関して、紛失・散逸が無いよう厳重に取り

扱う。

3) 実習終了後、不必要となった記録物・メモ類はシュレッダー等により、個人データを復元不可能な形にして 廃棄する。

(5) Web サービスの利用について

- 1) 患者様等の個人情報によらず、実習施設ならびに実習中の生活に関する情報は、SNS (LINE や Facebook など) やブログなど公共性の高いサービスに決して発信してはならない。
- 2) 原則としてオンラインストレージサービス (iCloud や dropbox、google drive など) を利用したファイル保存は禁止する。また、Web メールをはじめとするその他の Web サービスを使用する際などにも利用法、利用規約を必ず確認し、不作為による情報の漏洩を避ける。

4. 事故・インシデント発生時の手引き

(1)目的

実習中、不測の事態により事故が生じた場合や、事故につながるようなこと(インシデント)が起こった場合は、この手引きに従い適切な対応を速やかに行う。また、所定の報告書「事故・インシデント発生報告書」に基づき報告を行い、発生原因などを明らかにすることにより、事故・インシデントの再発防止を図り、また教育への指針とする。

(2) 用語の定義

*ここでいう「事故」とは、以下のようなことをいう。

- 1) 学生が実習で患者様に対して傷害を与えた場合。
- 2) 学生が患者様および施設の物品を破損するなどの損害を与えた場合。
- 3) 学生自身が実習で感染や危害(セクシャルハラスメント、暴力を含む)を受けた場合。
- 4) 施設への通学途上および実習中に交通事故などに遭遇した場合。
- *ここでいう「インシデント」とは以下のことをいう。

事故発生にはいたらなかったが、適切な対処を行っていなかったら事故になる可能性があると施設の実習指導者または施設担当教員が判断した場合。

(3) 事故・インシデント発生時における対応方法

事故・インシデント発生時は、以下の方法に従って適切かつ迅速に対応する。また事故・インシデントのレベルに基づく発生時の具体的な対応は、表 1、図 1 に準ずる。

*ここでいう事故のレベルは患者様に影響を与えた場合に適応する。その事故のレベルは、その状況により適宜 判断する。

① 学生の責務

- 1) 学生は、実習中に事故が発生した場合は、図1に従って速やかに施設の実習指導者および施設担当教員に報告する。
- 2) 学生は、事故の状況により、「事故・インシデント発生報告書」(以下、報告書) に記載し、施設担当教員に提出する。

② 施設担当教員の責務

- 1) 施設担当教員は、実習中の事故発生の事実関係の確認、および事故発生に関わる学生に対する指導・助言、施設の実習指導者との協議により、問題を適切かつ迅速に解決するように努める。
- 2) 施設担当教員は、発生した事故について速やかに実習単位認定者に報告する。
- 3) 施設担当教員は、学生当事者からの報告書の受理を行う。
- 4) 施設担当教員は、関係者のプライバシーおよび人権を尊重し、知り得た秘密を洩らさないよう注意する。

③ 実習単位認定者の責務

- 1) 実習単位認定者は実習中の事故発生状況の詳細な把握、施設担当教員への指導・助言、施設との協議・調整を行い、問題を適切かつ迅速に解決するよう努める。
- 2) 実習単位認定者は、施設担当教員から報告を受け、その受理を行う。
- 3) 実習単位認定者は、速やかに学科長へ報告する。

- 4) 実習単位認定者は、関係者のプライバシーおよび人権を尊重し、知り得た秘密を他に漏らさないよう注意する。
- 5) 実習単位認定者は、教員間で、事故の対応や事故防止教育が必要であると判断したときには、施設担当教員と協議を行うなど、速やかに適切な措置を講じる。

④ 学科長の責務

- 1) 学科長は、実習単位認定者から実習中の事故について報告を受け、実習施設責任者と協議・調整を行い、問題を適切かつ迅速に解決するように努める。
- 2) 学科長は、報告書の受理を行う。
- 3) 学科長は、事故のレベルや状況により、速やかに学部長及び学長に報告する。
- 4) 学科長は、関係者のプライバシーおよび人権を尊重し、知り得た秘密を他に漏らさないよう注意する。
- 5) 学科長は、学内での事故の対応や事故防止教育が必要であると判断したときは、施設担当教員、および事故の関係者を招集し協議を行うなど、速やかに適切な措置を講じる。

(4) 記録物紛失事故

記録物紛失事故とは、その個人名が特定できると判断される記録物の紛失を言う。事故・インシデント発生の「レベル4」に相当すると判断して対処する。

5. 感染症予防の手引き

(1) 実習に伴う感染症抗体価検査および予防接種の実施について

- 1) 施設での院内感染防止のため、風疹、麻疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体価検査を受ける。抗体がなければ自己責任で予防接種を受け、健康管理センターに報告する。
- 2) その他、病院の指定する予防接種を確認し、実習に出るまでに接種しておく。

(2) 感染症発生時・発生が疑われる場合の対処

- 1) 風邪症状や、37.5℃以上の発熱があるときは施設に出向せず、速やかに施設担当教員に連絡し、受診等の指示に従う。
- 2) 実習中に体調不良のため休む場合は、施設担当教員に連絡した後、医療機関を受診し、診断書を担当教員へ 提出する。
- 3) インフルエンザの流行する時期に 38℃以上の発熱があり、咳や咽頭痛等の急性呼吸器症状を伴う場合にはインフルエンザに感染している可能性がある。また、インフルエンザに感染している人との濃厚接触歴があることなども、感染を疑う上での参考になる。その他の感染症に関しても、地域、施設、学内、家族の感染症の動向に注意を払う。
- 4) 実習期間中に、発熱、咳、下痢、嘔吐、発疹等の感染症が疑われる症状がある場合は、施設の実習指導者および施設担当教員に連絡し、指示に従う(自己判断しない)。施設ならびに患者様によっては、微細な風邪症状でも実習内容の制限が必要になるため、施設担当教員への連絡を怠らない。
- 5) 施設内での感染が疑われる場合の対処は、原則として施設の方針に従う。

(3) 実習への復帰について

- 1) 実習において出席停止もしくは実習制限となりうる感染症は、表2に示す。
- 2) 実習復帰の時期は表2に準ずる。
- 3) 実習期間中の感染症発症に関しては、医師が発行する「実習への復帰が可能である」ことが書かれた内容を含む診断書を提出のうえ復帰する。
- 4) 学校保健安全法施行規則に定める感染症以外に関しても、実習施設ならびに患者様により対応が異なるため、 自己判断で復帰せず施設担当教員に連絡 A し、指示に従う。

A 家族、友人等に感染症発症者がいる場合、濃厚接触歴を併せて報告する。

表 1 事故・インシデント発生のレベル

レベル	対象者への影響	報告判断基準
0	間違ったことは発生したが、対象者には実施されなかった (インシデント ^注)	施設担当教員は実習
ハイリスク	レベル 0 の状況ではあるが、実施されれば「レベル 2 」以上が予測される $(インシデント$ ^注)	単位認定者に報告
1	事故による対象者への実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性がある 観察を強化し、心身の配慮の可能性が生じた場合	
2	事故により対象者への観察の強化の必要性とバイタルサインに変化が生じた、または、検 査の必要が生じた場合	実習単位認定者は学 科長まで報告
3	事故により必要でなかった治療、処置の必要性や入院日数の増加が生じた場合	学科長は学部長まで 報告
4	事故による障害が一生続く場合	学部長は学長まで報
5	事故が死因となる場合	告

注:レベル0あるいはレベルハイリスクを、用語の定義(2)のインシデントとする。

(参考、原 洋子:「リスクマネージメント」の体制づくりを考える. 看護展望, 24(10), p41-45, 1999, 一部改変)

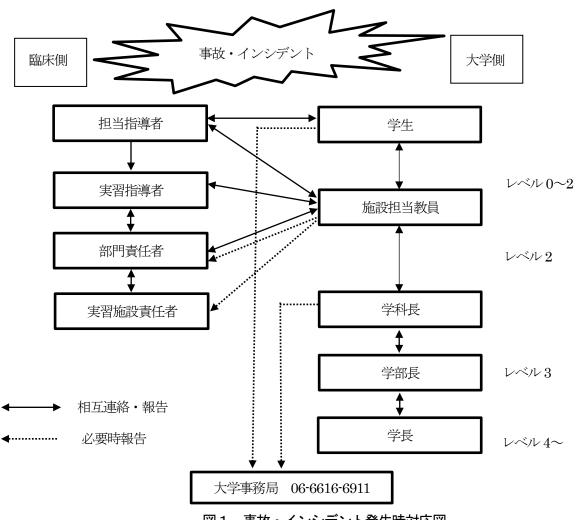


図1 事故・インシデント発生時対応図

<表2> 感染症と出席停止期間 学校保健安全法施行規則の第19条

平成25年5月2日現在

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、 治癒するまで 南米出血熱、ペスト、痘そう、マールブルグ病、	
第 ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、 ※感染症の予防及び感染症の患者 重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスによる 関する法律第六条第七項から第九	
ものに限る)、鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9によ る「新型インフルエンザ等感染症	
インフルエンザ (1~2) インフルエンザ:発症した後5日2 鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ等感染症を 除く	を経過し、かつ、
百日咳 (6~15) 特有の咳が消失するまでまたは5 性物質製剤による治療が終了する	
第 麻疹 (はしか) (10~12) 解熱後3日間を経過するまで	
種 流行性耳下腺炎(おたふく) (14~24) 耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫 日を経過し、かつ全身状態が良好	
風疹 (14~21) 発疹が消失するまで	
水痘 (11~21)	
咽頭結膜熱(プール熱) (5~6) 主要症状消退後2日間を経過する	まで
結核および髄膜炎菌性髄膜炎 主治医において感染のおそれがな	いと認めるまで
腸管出血性大腸菌感染症 (4~8) 主治医において感染のおそれがな	いと認め、実習
流行性角結膜炎 (7~14) への出向許可が出るまで	
第 急性出血性結膜炎 (1~2) 種 コレラ	
種 コレラ	
細菌性赤痢	
腸チフス・パラチフス	
溶連菌感染症 (2~4) 左記は、条件によっては出席停止	
手足口病 (2~7) 置が必要と考えられる感染症の例	1
ウイルス性肝炎 (4~7週)	いと認め 実習へ
仏楽住和は (17°18) の出向許可が出るまで	
の 他 マイコプラズマ肺炎 (2~3週)	
他 ノロウイルスもしくはロタウイルスなど	
そのルパンギーナ (2~7) 他 マイコプラズマ肺炎 (2~3週) の	
頭ジラミ(1ヵ月程度) 左記は、条件によっては出席停止	
水いぼ「伝染性軟属腫」 置が必要と考えられる感染症の例	
伝染性膿痂疹[とびひ] (2~10)	
ヘルペス性歯肉口内炎 の出向許可が出るまで	

事故・インシデント発生時の手引き

1)目的

学生が行う臨床実習において、不測の事態により事故が生じた場合や、事故につながるようなこと(インシデント)が起こった場合は、この手引きに従い速やかに適切な対応を行う。また、所定の報告書<u>〈様式8〉</u>「事故・インシデント発生報告書」に基づき報告を行い、発生原因などを明らかにすることにより、事故・インシデントの再発防止を図り、また教育への指針とする。

2) 用語の定義

- (1) ここでいう「事故」とは、以下のようなことをいう。
 - ① 学生が臨床実習で患者様に対して傷害を与えた場合。
 - ② 学生が患者様および実習施設の物品を破損するなどの損害を与えた場合。
 - ③ 学生自身が臨床実習で感染や危害(セクシャルハラスメント、暴力を含む)を受けた場合。
 - ④ 実習施設への通学途上および実習中に交通事故などに遭遇した場合。
- (2) ここでいう「インシデント」とは以下のことをいう。

事故発生にはいたらなかったが、適切な対処を行っていなかったら事故になる可能性があると臨床実習指導者または大学実習担当教員が判断した場合。

3) 事故・インシデント発生時における対応方法

事故・インシデント発生時は、以下の方法に従って適切かつ迅速に対応する。また事故・インシデントのレベルに基づく発生時の具体的な対応は、<u><表2>、<図1></u>に準ずる。 *ここでいう事故のレベルは患者に影響を与えた場合に適応する。その事故のレベルは、 その状況により適宜判断する。

(1) 学生の責務

- ① 学生は、実習中に事故が発生した場合は、<u><図1></u>に従って速やかに大学実習担当 教員および臨床実習指導者に報告する。
- ② 学生は、事故の状況により、<u><様式8></u>「事故・インシデント発生報告書」(以下、報告書と略称)に記載し、大学実習担当教員に提出する。

(2) 大学実習担当教員の責務

- ① 大学実習担当教員は、実習中の事故発生の事実関係の確認、および事故に関わる学生に対する指導・助言、施設側の直接の指導者との協議により、問題を適切かつ迅速に解決するように努める。
- ② 大学実習担当教員は、発生した事故について速やかに実習単位認定者へ報告する。
- ③ 大学実習担当教員は、学生からの報告書の受理を行う。

④ 大学実習担当教員は、関係者のプライバシーおよび人権を尊重し、知り得た秘密 を漏らさないよう注意する。

(3) 実習単位認定者の責務

- ① 実習単位認定者は実習中の事故発生状況の詳細な把握、大学実習担当教員への指導・助言、臨床側の協議・調整を行い、問題を適切かつ迅速に解決するよう努める。
- ② 実習単位認定者は、大学実習担当教員から報告を受け、その受理を行う。
- ③ 実習単位認定者が学科長でない場合は、速やかに学科長へ報告する。
- ④ 実習単位認定者は、関係者のプライバシーおよび人権を尊重し、知り得た秘密を他に漏らさないよう注意する。
- ⑤ 実習単位認定者は、教員間で、事故の対応や事故防止教育が必要であると判断した ときには、大学実習担当教員と協議を行うなど、速やかに適切な措置を講じる。

(4) 学科長の責務

- ① 学科長は、単位認定者から実習中の事故について報告を受け、臨床実習指導者と協議・調整を行い、問題を適切かつ迅速に解決するように努める。
- ② 学科長は、報告書の受理を行う。
- ③ 学科長は、事故のレベルや状況により、速やかに学部長に報告する。
- ④ 学科長は、関係者のプライバシーおよび人権を尊重し、知り得た秘密を他に漏らさないよう注意する。
- ⑤ 学科長は、学内での事故の対応や事故防止教育が必要であると判断したときは、大 学実習担当教員ならびに実習単位認定者、事故の関係者を招集し、協議、教育を行 うなど、速やかに適切な措置を講じる。
- ⑥ 学科長は、全容を掌握し臨床実習指導者、臨床実習施設責任者と協議し共通認識 を図る。
- ⑦ 実習教育の質向上を目的とした学科と臨床実習施設との連携会議や臨床実習指導者への相談の場を設け、積極的な協議をとおして、相互に協力し合い、指導体制を強化する。

4) 記録物紛失事故

記録物紛失事故とは、その個人名が特定できると判断される記録物の紛失を言う。事故・インシデント発生の「レベル 4」に相当すると判断して対処する。

<表2> 事故・インシデント発生のレベル

レベル	対象者への影響	報告判断基準
0	間違ったことは発生したが、対象者には実施されなかった (インシデント ^注)	大学実習担当教員は
ハイ	レベル 0 の状況ではあるが、実施されれば「レベル 2」以上が予測される	実習単位認定者まで
リスク	(インシデント ^注)	報告
1	事故による対象者への実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性がある。	
	観察を強化し、心身の配慮の可能性が生じた場合	
2	事故により対象者への観察の強化の必要性とバイタルサインに変化が生じた、ま	実習単位認定者は学
	たは、検査の必要が生じた場合	科長まで報告
3	事故により必要でなかった治療、処置の必要性や入院日数の増加が生じた場合	学科長は学部長まで
		報告
4	事故による障害が一生続く場合	学部長は学長まで報
5	事故が死因となる場合	告

注:レベル 0 あるいはレベルハイリスクを、2) 用語の定義のインシデントとする。

(参考、原 洋子:「リスクマネージメント」の体制づくりを考える. 看護展望, 24(10), p41-45, 1999, 一部改変)

事故・インシデント発生報告書

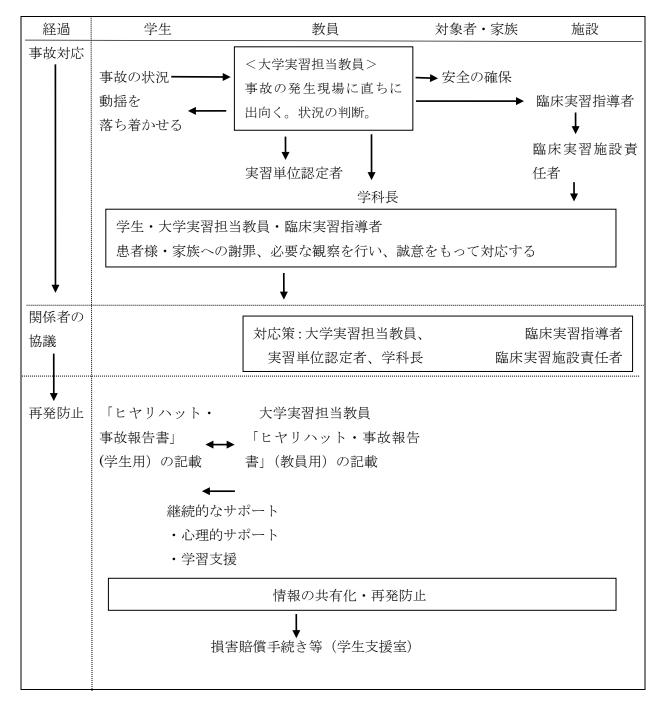
<様式8>

		平	成	年	月	日
森ノ宮医療大学診療放射線学科長 殿						
実習科目名 (実習施設	名 ()
学籍番号	() 名前	()
事故・インシデントの発生日時:	年	月	日	午前/午後	美	寺 分
事故・インシデントの発生場所:						
事故・インシデントの種類:転倒・転落、	誤薬、熱傷、	患者	誤認、針	刺し事故		
その他()
大学実習担当教員に報告した日時:	年	月	日	午前/午後	美	寺 分
実習単位認定者に報告した日時:	年	月	目	午前/午後	美 目	寺 分
事故・インシデントの状況ならびに対応						
/ 						
(事故の場合)事故発生後の対象者の状況	ļ					
事故・インシデントが発生した理由						
事故の発生を未然に防ぐための方法(イン	シデントの名	を生を	未然に防に	ずた理由)		
THE TRANSPORT OF THE PROPERTY		u _L . С	. > CM((C))1	<i>)</i> /C/ŁH/		
反省と課題						

[学生]→[大学実習担当教員] → [実習単位認定者] → [学科長]

事故発生時の対応の一例

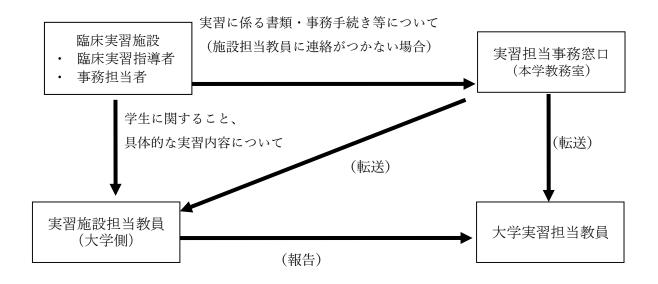
<図1>



臨床実習に伴う連絡ガイドライン

① 臨床実習に関する連絡先 《 臨床実習施設 → 大学 》

平日 (大学開講日) 午前 8:45~午後 5:00



* 実習担当事務窓口(本学教務室)

実習に係る事務手続きに関すること、連絡先に判断がつきかねる場合 は本学教務室へお問い合わせください。お問い合わせ頂きました内容に よりましては、施設担当教員または大学実習担当教員へお電話を転送させ て頂きます。

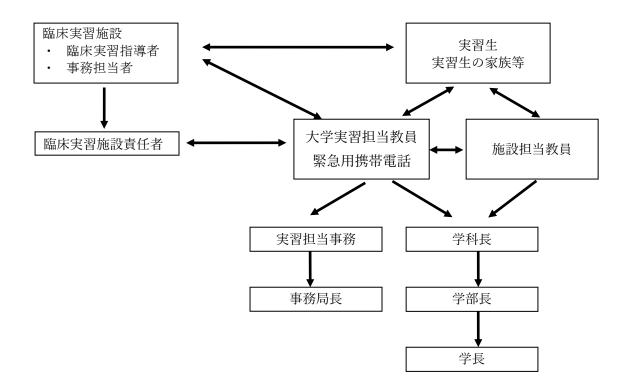
* 実習施設担当教員

学生に関すること、具体的な実習内容等につきましては、施設担当教員 へお問い合わせください。

②臨床実習に関する緊急連絡網《臨床実習施設→ 大学》 《実習生 → 大学》

この緊急連絡網は、学生の臨床実習に係る事故等の緊急連絡 または 本学の休日、時間外 (午前 8:45~午後 5:00 以外の時間) の緊急連絡に 利用してください。

緊急を要しない連絡等については、通常の連絡網の利用をお願いします。



* 緊急連絡の内容により連絡先を変更いたします

第1回診療放射線技師学校養成所 カリキュラム等改善検討会

資料3

平成30年3月29日

全国診療放射線技師教育施設協議会・公益社団法人日本診療放射線技師会(案)



はじめに

診療放射線技師養成施設については、「診療放射線技師学校養成所指定規則」(以下「指 定規則という。」において、入学又は入所の資格、修業年限、教育内容などが規定されてい る。

平成13年3月10日付けをもって指定規則が改正されているが、この改正から既に10数年が経過している。医療安全の担保とチーム医療の観点から、平成22年4月30日付け医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について(医政発0430第1号)により、画像診断における読影の補助、放射線検査等に関する説明・相談について、診療放射線技師の業務として明記され、さらに診療放射線技師法の一部改正に伴い、平成27年2月20日付け指定規則の改正(医政発0220第2号)により、教育内容及び単位数について見直しが行われた。しかし、医療の高度化や複雑化に伴う業務の増大等により、診療放射線技師に求められる技術や能力が変化しており、他のメディカルスタッフにおいても教育内容、単位数の見直しが検討されている。

そこで日本診療放射線技師会(以下技師会)と全国診療放射線技師教育施設協議会(以下施設協議会)は、合同で平成27年9月29日に第1回検討会を開催して以来、平成29年3月29日までに計10回わたる会合を重ね、合意を得た報告書を「診療放射線技師関連法令および臨床実習のあり方」としてまとめたので報告する。

なお指定規則は診療放射線技師の国家試験受験資格を付与できる一定の水準を備えた学校 及び養成所を指定する基準と手続きを定めたもので、教育内容、教育上必要な機器・器具・ 標本・模型、教員等の教育条件の水準確保という機能を果たしている。従って、各施設がそ れぞれの判断で指定規則に定める単位数以上に単位数・時間数を増やしたり、教育上必要な 画像診断装置・放射線治療装置等を整備して、特色ある診療放射線技師を養成することが望 まれる。

1. 診療放射線技師学校養成所指定規則別表第一について

診療放射線技師学校養成所指定規則別表第一については、表 1 の通りとする。なお、教育内容に対する教育目標については表 2 (平成 27 年 3 月 31 日 医政発 0331 第 26 号 診療放射線技師養成所指導ガイドライン別表 1 相当)の通りとする。

表 1 診療放射線技師学校養成所指定規則別表第一について

教育内容		単位数	
		改正案	現行
基礎分野	科学的思考の基礎	1.4	1.4
	人間と生活	14	14
専門基礎分	人体の構造と機能および疾病の成り立ち	13	13
野	保健医療福祉における理工学的基礎な	18	18
	らびに放射線の科学及び技術		
専門分野	診療画像技術学	17	17
	核医学検査技術学	6	6
	放射線治療技術学	6	6
	医療画像情報学	6	6
	放射線安全管理学	4	4
	医療安全管理学	2	1
	画像診断・技術学	4	_
	臨床実習*	12	10
合計		102	95

^{*)} 臨床実習については、10単位以上は病院等において行うこと

表2(指導ガイドライン別表1に相当する)教育内容と教育目標について

教育	内容	単位数	教育目標
基	科学的思想の基盤		科学的・論理的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主
基礎分野		1.4	体的な判断と行動を培う。生命倫理及び人の尊厳を幅広
野	人間と生活	14	く理解する。国際化及び情報化社会に対応できる能力を
			養う。
専	人体の構造と機能及		人体の構造と機能及び疾病を系統立てて理解し、関連科
芦基	び疾病の成り立ち		目を習得するための基礎能力を養う。併せて、地域社会
専門基礎分野		13	における公衆衛生について理解する。また、造影剤の血
野			管内投与や下部消化管の検査に対応して、病態、解剖及
			び薬理について、系統立てて理解する。

る: に, 技 [,]	健医療福祉におけ 理工学的基礎並び 放射線の科学及び 術 療画像技術学	18	保健・医療・福祉における理工学及び情報科学の基礎知識を習得し、理解する能力を育成する。 保健・医療・福祉における放射線の安全な利用に必要な基礎知識を習得し、理解力、観察力及び判断力を養う。 エックス線撮影・エックス線コンピュータ断層撮影・磁気共鳴断層撮影・超音波撮影等における装置の構成及び保守管理法を理解し、撮影・撮像に必要な知識・技術及び結果の解析と評価について学習する。また、患者接遇の基礎能力を養う。
核	医学検査技術学	6	核医学検査の原理及び装置等の構成、動作原理及び保守管理法を理解し、核医学検査に必要な知識・技術及び結果の解析と評価について学習する。
放	射線治療技術学	6	放射線治療の原理及び装置の構成、動作原理及び保守管理法を理解し、放射線治療に必要な知識・技術及び治療計画の解析と評価について学習する。
医	療画像情報学	6	医療画像の成り立ちに必要な画像情報の理論を理解し、 画像解析、評価、処理及び医療情報システムの知識を学 習する。
放	射線安全管理学	4	放射線などの安全な取扱いとその関係法規及び保健医療 領域における安全管理の知識や技術を学習し、問題解決 能力を養う。
	像診断・技術学	2	診療放射線技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全に配慮して造影剤の投与など適切に検査に伴う行為ができる能力を身につける。また、造影剤の投与に伴う危険因子を認識し、特にアナフィラキシーなど重篤な合併症の発生時に適切に対処するため、速やかに医師等に連絡し、自らが一次救命処置を適切に実施できる能力を身につける。 医療機器等に関わる関係法規及び医療安全の基礎的知識や技術を学習し、医療事故等の発生原因とその対策について学習する。 診療放射線業務を行う上で必要な画像診断における読
四'	家衫例。1文例子	4	影療放射療業務を打り工で必要な画像影例におりる記 影補助について学習する。さらに、画像処理・画像解析、 画像診断に伴って必要な病態生理学、臨床解剖学を理解 する。
臨	床実習	12	診療放射線技師としての基本的な実践能力を身に付け、

		併せて、施設における放射線部門の運営に関する知識・
		分析力等を養うとともに、被験者及び患者への適切な対
		応を学ぶ。 また医療安全や感染症対策についての適切な
		対応を学ぶとともに、チーム医療の一員として責任と役
		割を実践できる能力を養う。
合計	102	

2. 専任教員の要件

専任教員の要件は以下の通りとする。

指定規則別表第一に掲げる各教育内容を教授するのに適当な教員を有し、かつ、そのうち 7人 (一学年に二学級以上を有する学校又は養成所にあっては、一学級増すごとに3を加えた数)以上は、診療放射線技師、医師又はこれと同等以上の学識経験を有する者(以下「診療放射線技師等」という。)である専任教員であること。ただし、診療放射線技師等である専任教員の数は、当該学校又は養成所が設置された年度にあっては5人 (一学年に二学級以上を有する学校又は養成所にあっては、一学級増すごとに1を加えた数)、その翌年度にあっては6人 (一学年に二学級以上を有する学校又は養成所にあっては、一学級増すごとに2を加えた数)とすることができる。

診療放射線技師等である専任教員のうち**4人**以上は免許を受けた後**5**年以上法第**2**条第**2** 項等に規定する業務を業として行った診療放射線技師であること。

3. 教育上必要な機械器具、標本、模型

教育上必要な機械器具、標本、模型については別表 1 (指導ガイドライン別表 2) の通りとする。

4. 臨床実習

診療放射線技師教育における教育改善を図るため、臨床実習において学生に実施させても よい行為とその水準を分類し、教育指導の指針とするが、その作成に当たっての考え方は次 のとおりとする。

- (1) 患者に対する行為にあたっては、患者の権利の保障と安全性の確保を最優先に考えて 臨ませること。また、事前に患者・家族に十分かつ分かりやすい説明を行い、同意を 得て行わせること。
- (2) 学生による行為の実施にあたっては、実施する実習内容についての説明能力を十分に つけさせるとともに、事前に実践可能なレベルにまで技術を修得させておくこと。
- (3) 患者の状態や学生の学習状況によっては、必ずしも予め定めた水準での実施が適当でない場合がある。そのような場合には、以下の事項を考慮して臨床実習指導教員の判断のもとに水準を変更して行うこととする。
 - ・ 学生が実施しても診療放射線技師の実施に比較して患者への大きな身体侵襲

を来すものでないかどうか

- ・ 学生の技術の修得状況や実習の根拠となる知識習得の程度が十分であるか否 か
- ・ 学生と患者・家族とのコミュニケーションに問題はないか
- (4) 行為については、学生の臨床実習において最終学年までに経験させてもよい項目を示すものであり、行為の実施によって予測される患者の身体侵襲の程度を目安としつつ、 教育的観点を考慮した上で水準を分類した。

診療放射線技師の資格を有しない学生の行為も、その目的、手段、方法が社会通念から見て相当であり、診療放射線技師が行う行為と同程度の安全性が確保される範囲内であれば、違法性はないと解することが可能である。すなわち、(1) 患者・家族の同意のもとに実施されること、(2) 診療放射線技師教育としての正当な目的を有するものであること、(3) 相当な手段、方法をもって行われることを条件にするならば、その違法性が阻却されると考えられる。ただし、(4) 法益侵害性が当該目的から見て相対的に小さいこと(法益の権衡)、(5) 当該目的から見て、そのような行為の必要性が高いこと(必要性)が認められなければならないが、正当な診療放射線技師教育目的でなされたものであり、また手段の相当性が確保されていれば、これらの要件は満たされるものと考えられる。

診療放射線技師養成のための臨床実習において、一定条件下で許容される基本的行為の例示について表 3 に示す。また、一定条件下で許容される基本的行為の具体的内容の水準 I、水準 II、水準 II 、水準 II について、それぞれ表 4、5、6 に示す。

臨床実習の前に各施設が責任をもって学生を評価し、「臨床実習を行う基本的行為にかかる能力を有する」学生のみ臨床実習を行うものとする。また、臨床実習については、10単位以上は、病院等において行うこと。(現指定規則 備考4)

「臨床実習を行う基本的行為にかかる能力を有する」学生の評価については、施設協議会において、将来的には全国統一の評価方法になるよう検討する。

表3 一定条件下で許容される基本的行為の例示

水準I	水準Ⅱ	水準Ⅲ
実習指導者*1の助言・指導に	実習指導者(臨床実習指導教	学生単独での実施は許容され
より、学生が補助的に実施で	員等) *2 の指導・監視のもと	ず、実習指導者
きる行為	で学生が実施できる行為	(臨床実習指導教員等)*2 の
		実施を見学する行為
X 線撮影検査(補助)	血管撮影検査(補助)	造影剤注入による検査
X 線透視検査(補助)	外部放射線治療(補助)	静脈路の抜針・止血
X線CT検査(補助)	X線撮影検査	血管撮影検査
MRI 検査(補助)	X線透視検査	画像下治療(IVR)
核医学検査(補助)	X線 CT 検査	外部放射線治療
超音波検査(補助)	MRI 検査	CT シミュレータ撮影・固定
骨塩定量検査 (補助)	核医学検査	具作成
無散瞳型眼底撮影検査(補助)	超音波検査	放射線治療計画
医療機器の点検	骨塩定量検査	密封小線源治療
画像診断モニタの点検	無散瞳型眼底撮影検査	RI 内用療法
	放射線源の安全管理	放射性医薬品の準備
	放射線治療の品質管理(検証	検像作業
	作業)	画像等手術支援
	漏えい線量測定	
	医療機器の品質管理	
	画像診断モニタの品質管理	

- ※1 実習指導者とは、5年以上の実務経験及び業績を有し、十分な指導能力を有する診療放射線技師とする。
- ※2 実習指導者(臨床実習指導教員等)は、**教員の資格を有する診療放射線技師、又は5** 年以上実務に従事した後に厚生労働省の定める基準に合った「診療放射線技師臨床 実習指導者講習会」を修了した診療放射線技師であること。
- ※3 補助にはポジショニングは含まれない。
- ※4 放射線等を人体(患者)に対して照射する行為の臨床実習での実施の可否については、関係団体や学識経験者等を含めて検討する必要があることから、厚生労働省に設置する検討会において検討していただきたい。なお、非侵襲的な行為である MRI 撮影、超音波検査、核医学検査(PET-CT, SPECT/CT を除く)については、臨床実習において実施できる。

表 4 水準 I の具体的内容(学生が補助的に実施できる行為)

行為名	
	具体的行為
	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査部位の確認と検査
X 線撮影検査(補助)	に関する事前説明、撮影に関わる機器の設定及び準備、被験者
.,,,,,,	の撮影前までに関連する介助(ポジショニングは含まない)、放射線防護及
	び被ばく低減に関わる処置、X線撮影条件の設定
	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査内容の確認と検査
	に関する事前説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定及び
X 線透視検査(補助)	使用薬剤等の準備、被検者の撮影前までに関連する介助(ポジショニング
	は含まない)、放射線防護及び被ばく低減に関わる処置、X線透視(撮
	影)条件の設定
	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査内容の確認と検査に関す
X線CT検査(補助)	る事前説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定及び使用薬
	剤等の準備、被検者の撮影前までに関連する介助(ポジショニングは含ま
	ない)、放射線防護及び被ばく低減に関わる処置、撮影条件の設定
	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査内容の確認と検査に関す
	る事前説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定及び使用薬
MRI 検査(補助)	剤等の準備、被検者の撮影前までに関連する介助(ポジショニングは含ま
	ない)、撮影条件の設定
	装置の始業前点検、被検者(患者)の検査内容の確認と検査に関する
	事前説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定及び使用薬剤
核医学検査(補助)	等の準備、被検者の撮影前までに関連する介助(ポジショニングは含まな
	い)、放射線防護及び被ばく低減に関わる処置、検査条件の設定
	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査内容の確認と検査に関す
超音波検査(補助)	る事前説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定、被検者の
是日区快点(11119月)	撮影前までに関連する介助(ポジショニングは含まない)
	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査内容の確認と検査に関す
骨塩定量検査(補助)	る事前説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定及び準備、
月 塩 足 里 (灰 旦 、 (
	被検者の撮影前までに関連する介助(ポジショニングは含まない)
無散瞳型眼底撮影検査	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査内容の確認と検査に関す
(補助)	る事前説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定及び準備、
	被検者の撮影前までに関連する介助(ポジショニングは含まない)
医療機器の点検	検査用補助器具の動作確認、各種検査装置や関連機器のウォーミング
	アップ、目視による始業前点検、終業点検、機器の清掃
画像モニタの点検	電源投入、目視による始業前点検、終業点検、モニタの清掃

表 5 水準Ⅱの具体的内容(実習指導者の指導・監視のもとで学生が実施できる行為)

行為名	具体的行為
	装置の始業前点検、被検者(患者)及び検査(治療)内容の確認
	と検査(治療)に関する事前説明、必要な処置の確認、検査(治療)
	に関わる機器の設定及び使用薬剤等の準備、被検者(患者)の撮影前
血管撮影検査(補助)	までに関連する介助(ポジショニングは含まない)、放射線防護被ばく低減
	に関わる処置、X線透視(撮影)条件の設定、参照画像の作成・表示、
	被検者(患者)被ばく線量の記録(面積線量値など)
	装置の始業前点検、患者及び治療内容の確認と説明、必要な処置の確
	認、治療に関わる機器の設定及び使用機器等の準備、患者の治療前ま
外部放射線治療(補助)	でに関連する介助(ポジショニングは含まない)、放射線防護及び被ばく低
	減に関わる処置、照射条件の確認
X線撮影検査	水準Iに加えて、ポジショニング、移動型X線装置を使用した撮影の補助
X線透視検査	水準 I に加えて、ポジショニング、被験者(患者)の被ばく線量の記録(面
A /水及扩充4块 自.	積線量計値など)
X線 CT 検査	水準 I に加えて、X線 CT のポジショニング、MPR やボリュームレンダリ
A 脉 UI 恢宜	ングなどの画像処理
MRI 検査	水準 I に加えて、造影を伴わない単純 MRI の撮影、MIP やボリューム
WIIVI 快值.	レンダリングなどの画像処理
	水準 I に加えて、ガンマカメラ・SPECT・PET 等による撮影
核医学検査	(SPECT/CT、PET/CT を除く)、データ処理、RI 廃棄物の保管・廃
	棄、装置の定期的な性能試験
超音波検査	水準Iに加えて、ゼリーの塗布、プローブによるスキャン
骨塩定量検査	水準Iに加えて、ポジショニング、X線撮影条件の設定(管電圧、管電流、
月塩に単伏且	時間、距離など)、骨密度測定結果の作成・印刷
	水準Ⅰに加えて、ポジショニング、撮影条件の設定(観察光量、撮影光量、
無散瞳型眼底撮影検査	視度補正レンズ、固視標、焦点の調整など)、眼底像への切り替え、撮
	影
	診療用放射線照射器具又は装置(ガンマナイフ、腔内照射装置など)
放射線源の安全管理	の放射能及び線量測定、放射性医薬品の取扱及び汚染の測定、放射性
	同位元素装備診療機器の放射能及び線量測定
放射線治療の品質管理	治療計画の確認 (ガントリ、コリメータ、寝台、ウェッジなど)、治療
	計画の検証(MU 値、実測)。治療装置の品質管理(機械的、線量的
(検証作業)	品質管理)の実施
漏えい線量測定	測定器 (サーベイメータ) の選択、X 線装置の遮蔽能力の確認、測定
痛えい 緑重側 正	する機器の照射条件や測定場所の決定、線量率または積算線量の測定、

	バックグラウンドの測定、測定結果の記録・保存、測定器の管理
	水準Iに加えて、不変性試験の実施、消耗部品の点検、安全装置の点
	検、AEC の点検、X 線出力の安定性・再現性の評価、被ばく線量の評
医療機器の品質管理	価、出力される画像の画質評価(空間分機能、コントラスト分解能な
	ど)、評価結果の確認・記録、評価結果に基づくキャリブレーション・
	調整の実施
	水準Iに加えて、不変性試験の実施、目視による全体評価、グ
画体 診断エーカの目所体	レースケールの評価、アーチファクトの評価、輝度均一性の評価、輝
画像診断モニタの品質管	度計・照度計などを用いた不変性試験など、各種評価結
理	果の確認・記録・検討、評価結果に基づくキャリブレーション・調整
	の実施

表 6 水準Ⅲの具体的内容(臨床実習指導教員等の実施を見学する行為)

	PRDF1日
行為名	具体的行為
	造影剤を投与・注入するすべての検査における被検者確認、事前
造影剤注入による検査	説明、機器の設定及び準備、X線撮影条件の設定、医療情報・画
	像情報に係る作業及びX線を照射する行為
	静脈路の自動注入器への接続、自動注入器の操作、検査終了後に
静脈路の抜針・止血	おける抜針前の被検者の状態確認、抜針及び止血、被検者への説
	明
血管撮影検査	水準Ⅱに加えて、画像情報に係る作業及びX線を照射する行為
	血管系及び非血管系 IVR 手技における患者確認、事前説明、機器
画像下治療(IVR)	の設定及び準備、X線撮影条件の設定、参照画像の作成、清潔操
	作、画像情報に係る作業及びX線を照射する行為
#1 -bp ±1. #1 \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	水準Ⅱに加えて、画像の取得を含む位置照合に係る作業、医療情
外部放射線治療	報を含む記録に係る作業及び放射線を照射する行為
	装置の始業前点検、患者及び検査内容の確認と検査に関する事前
Om > > > > EIII / EI	説明、必要な処置の確認、検査に関わる機器の設定及び固定具等
CT シミュレータ撮影・固	の準備、患者の撮影前までに関連する介助、放射線防護及び被ば
定具作成	く低減に関わる処置、撮影条件の設定、固定具作成の補助(シェ
	ルや吸引バックなど)
	治療計画体積 (PTV) 及び正常臓器の輪郭抽出、アイソセンタの
放射線治療計画	設定、治療パラメータの設定(ビーム角度、コリメータ角度、ビ
	ームウェイトなど)、線量分布図及び DVH の確認
	密封小源線を用いるすべての放射線治療に伴う患者確認、事前説
	明、治療に関わる機器・器具の設定及び準備、患者のポジショニ
密封小線源治療	ング(整位) 及び関連する介助、照射データの設定、画像の取得
	を含む位置照合に係る作業、医療情報を含む記録に係る作業及び
	放射線を照射する行為
	放射性同位元素を経口的あるいは経静脈的に投与する治療に伴う
RI 内用療法	患者確認、事前説明、治療に用いる放射性医薬品の準備、医療情
	報を含む記録に係る作業、患者退出の評価
+1.61.14.15.## 17 5 3/4/#	放射性同位元素のミルキング、標識化合物の合成、被検者情報確
放射性医薬品の準備	認、分注作業及びサイクロトロンによる製造、記録に係る作業
	オーダーに応じた画像情報が取得できていることを確認し、確定
検像作業	する行為、画像の付帯情報・画像の濃度・画像の方向・画像の順
	序を確認し、必要に応じて行う画像の修正や不必要な画像の削除
	被検者情報確認、3D画像処理に伴う領域抽出・骨削除、3D
画像等手術支援 	画像作成、3D プリンタ用 STL データ作成、3D 模型作成作業

5. 臨床実習指導者の要件

臨床実習指導者の要件等については以下の通りとする

- (1) 臨床実習は、原則として昼間に行うこと。
- (2) 実習指導者は、各指導内容に対する専門的な知識に優れ、5年以上の実務経験及び業績を有し、十分な指導能力を有する診療放射線技師であること。ただし、一定条件下で許容される基本的行為の例示の水準Ⅱおよび水準Ⅲについては、教員の資格を有する診療放射線技師、又は5年以上実務に従事した後に厚生労働省の定める基準に合った「診療放射線技師臨床実習指導者講習会」を修了した診療放射線技師であること。
- (3) 臨床実習を行う施設において、診療画像技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学の各部門にそれぞれ主任者が選定されていること。
- (4) 実習施設における実習人員は、実習指導者1人につき2人程度とすること。

別表 1-1 基礎分野

+11+2			改訂	·案	現行													
教育	育内容	品 名	品名	数量														
			気圧計	1														
	科				乾湿球温度計	1												
	学	基礎実験• 実習機械器具			定積気体温度計	1												
	的		1式		ストップウォッチ	1												
	思				ļ	ļ					p Hメータ	1						
	考			気圧計	分光光度計	1												
基	の			1式	1式	1式	1式	1式	温度計	天秤(電子天秤を含	1							
礎	基								1式	ストップウォッチ	t.)	1						
分	盤			天秤(電子天秤を含む。)	攪拌器	1												
野																顕微鏡等	乾燥器	1
	人																	遠心分離器
	間と					純水製造器	1											
	生生				顕微鏡	1												
	上 活				恒温槽	1												
					高真空装置(電離真	1式												
					空計を含む)	1 1												

別表 1-2 専門基礎分野(人体の構造)

教育内容		改訂案	現行			
		品 名	数量	備考	品名	数量
		人体模型	1		人体骨格模型	1
		人体骨格模型	1		人体骨格 (実物)	1
		消化器系模型	1		脳模型	1
		呼吸器模型	1		頭骨模型	1
	人	心臓模型	1		視器模型	1
	体 の	血液循環器系模型	1		聴器模型	1
	構造と	脳及び神経系模型	1		鼻解剖の分岐模型	1
専		腎臓及び泌尿器模型	1		歯の分岐模型	1
門	機 能	肛門模型	1		喉頭模型	1
基礎	及				肺区域模型	1
分野	び 疾				肺動静脈模型	1
到	病 の				気管支模型	1
	成				心臓模型	1
	り 立				肺臓と肝臓模型	1
	ち				消化器系模型	1
					泌尿器系模型	1
					膝関節模型	1
					脊髄神経模型	1
					血液循環系模型	1

別表 1-3 専門基礎分野 (理工学・放射線の科学)

			改訂	丁案	現行	
教育内容		品 名	数 量	参考備品	品名	数量
		放射線量測定装置	1	電離箱式照射線量計	電離箱式照射線量計	2
		放射能測定装置	1式	GMカウンタ	GM カウンタ(吸収板セット を含む)	2
					ガスフローカウンタ	1
				シンチレーションカウンタ	シンチレーションカウンタ	1
				シンチレーションスペクト	シンチレーションスペク	1
		放射線エネルギ	1式	ロメータ 半導体検出器	トロメータ	
		一測定装置		十号呼快山 岙 マルチチャネル波高分析装	半導体検出器	1
	保			置等	マルチチャンネル波高分 析装置	1
	健医	患者被ばく線量測 定装置	1式	CTDI用(線量計・ファントム)等		
	療				テスター	10
	福				電力計	1
	祉に				電子電圧計	1
	に				微小電流計	1
	おける理				接地抵抗計	1
専						1
門基					電圧・電流計	/1
礎	工				高周波電流計	人 1
分	学				コニバーサルカウンタ	1
野	的				直流電位差計	1
	基礎			テスター 電力計	(本体、倍率器、分流器、反照検 流計及び標準電池)	1
	並		. 15.	電圧・電流計	オシロスコープ	4
	びに	医用工学実習機器	1式	オシロスコープ 単巻電圧調整器	メモリースコープ	1
				信号発生器	波形接写装置	2
	放			直流可変安定化電源等	万能ブリッジ	1
	射				コールラウシュブリッジ	1
	線の				ホイートストンブリッジ	1
	科				ケルビンダブルブリッジ	1
	学及				摺動抵抗器	10
					単巻電圧調整器	10
	び				三相変圧器	1
	技				信号発振器	4
	術				直流増幅器(差動型)	1
					直流可変安定化電源	6
					交流安定化電源	2

別表 1-4 専門分野 (診療画像技術学)

教育内容		改訂案		現行 二,	
				1	
	유 명	数量	参考備品	品名	数量
	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	3	一般X線撮影装置 X線透視撮影装置	診断用エックス線装置(単相全波整流型、コンデンサ式及びインバータ式)	各1台
)	乳房撮影用 X 線装置 移動型 X 線装置、等	エックス線用テレビ装置	11
	デジタルラジオグラフィ装置	1	フラットパネルディテクタ (FPD) コンピューテッドラン゙オグラフィ (CR) 等	* デジタルラジオグラフィ装置一式	1
	X線コンピュータ断層撮影装置	1		* 医用エックス線コンピュータ断層撮影装置	1
0	○骨密度測定装置	1		* 骨密度測定装置	1
				イメージインテンシフアイア	1
				電磁開閉器	1
				フォトタイマー	1
				半導体タイマー	1
	X線撮影台	Н	立位又は水平式撮影台	リーダー撮影台 ブッキーデーブル	
	人体ファントム(撮影用)	2 片	人体ファントム (X線撮影及び透視用) CT 撮影用ファントム等	人体ファントム(撮影用)	2
診 漿	QA ファントム (画像診断領域)		<i>水ファントム</i> CT 性能評価ファントム マンモグライ QA キット 超音波画像診断装置評価用7ッ7ム等	* QCファントム(診断)	П
国:				エックス線フィルムカセッテ	1/1 人
一 :			E - Andrew - E - A	エックス線用グリッド	3
	X線撮影関連用具	1	散乱線除去用クリッド. 医田 X 線写直翻察器等		1
怎 》				角度計	1
(H				シヤウカステン	2
换	抜針および止血のシュシレーションイC係る模型	1			
۲	下部消化管検査等に係るカテーテル	2			
0	〇磁気共鳴画像診断装置	1		〇 磁気共鳴画像診断装置	1
	超音波画像診断装置	2		超音波画像診断装置	1
	超音波診断トレーニングファントム	1		超音波診断トレーニング装置(ファントムを含む)	1
	無散瞳眼底写真撮影装置	1		眼底写真撮影装置	1
				エベン	1
#	県者介助・救命・威染対策実習用具 1000円	fi F	ベッド、車椅子、ストレッチャー	車椅子	1
		y 1	蘇生法用教育人体モデル 教育田の自動体外式除細動器等	ストレッチャー	1
			A T 12 4 T U WO T T 1 T Z Z Z Z Z W Z T T T T Z Z Z Z Z Z Z Z	蘇生法用教育人体モデル(レサシアン)	1
				管電圧計	1
	X線出力アナライザ	11		管電流計	1
				蛍光量計	1
				ストロボ用コマ	1
	()销典/	1		ピンホールカメラ	1
	λ 棕 尚 電 圧 炎 圧 畚 (快 型) 口 路	1 I			

別表 1-5 専門分野(核医学・放射線治療)

サム	中宏	改言	丁案		現行		
教育	内容	品 名	数量	備考	品名	数量	
				ガンマカメラ	* ドーズキャリブレータ	1	
				エミッション コピュータ断	電気冷蔵庫	1	
	核 医	○ 核医学検査機器		層撮影装置、	フード(専用でなくてもよい。)	1	
	学検査技		1式	核医学画像処 理装置	グローブボックス(専用でなくても よい。)	1	
			1 = 1	各種ファント ム(QAQC)	* 頚ファントム(甲状腺摂取率用)	1	
	術学			等	* QCファントム(核医学)	1	
専門	子				○ エミッションコンピュータ断層撮 影装置	1	
分					* ハンドフットクロスモニター	1	
野	放			高エネルギ	* ファントム(治療線量測定用)	1	
		○ 放射線治療機器	1式	一放射線発生	* QCファントム(治療)	1	
	射 線			装置	○ 高エネルギー放射線発生装置	1	
	治療技術学	○ 放射線治療計画装置	1式	放射線治療計 画装置 各種ファント ム (線量測定・ QAQC) 等			

○:養成施設において備えることが望ましい品

別表 1-6 専門分野(医用画像情報学)

教育内容		7,7,7	改訂案	J對 (区用四家用報)	現行	
教育	`'内容	品 名	数量	備考	品名	数量
					写真用器具一式	1
					フィルムカツター	1
					乾燥器(フィルム 用 及びペー パー 用)	2
				光学濃度計 アルミ階段	暗室ランプ	各種
				解像度テストチャ ート	暗室時計	2
		画像評価用機器	1式	バーガーファント ム (凸型, 凹型)	フィルム保存箱	2
	医田田			アクリル板セット (1cm, 5cm 厚)	自動現像機	1
専門	用画			X 線ろ過板(アルミ 及び銅)	濃度計	2
分野	像情			等	マイクロデンシト メータ	1
	報学				解像カテストチャート	2
					アルミ階段	1
					光センシトメータ	1
				Married St VI Bill de St.	輝度計	1
		デジタル画像実		輝度計又は照度計 医用画像表示モニ	照度計	1
		習機器	1式	タ 画像解析ソフトウェア等		
		パーソナルコン ピュータ	1台/1人		パソコン	1台/2人

別表 1-7 専門分野(放射線安全管理学・その他)

		数量	1/1人		П	П	1	П	1	2	1/1人	3	2	2	各種
	現行	品名	個人被曝線量計	熱蛍光線量計	電離箱サーベイメータ	GM サーベイメータ	シンチレーションサーベイメータ	* 中性子サーベイメータ p)	* ダストサンプラー p)	鉛衝立	金行プロック	貯蔵容器	エックス線防護衣	放射性同位元素遠隔操作器具	標準線源
	改訂案	備考	電離箱 電離箱サーベイメータ GM サーベイメータ シンチレーションサーベイメータ等 シンチレーションサーベイメータ等 の中性子サーベイメータ のダストサンプラー他 * ゲン						鉛衝立 遮蔽板 鉛ブッ エックス線防護用具 上ックス線防護用具 放射性同位元素遠隔操作器具等 エック 放射性 放射性				貯蔵箱含む		
		数量		八							1元				
사자 나 나 시기		品 名	個人被ばく線量	計 (学内・臨床実習)		空間線量計						放射線障害防護用器具			
数 事 E 分 膨 存 女 對 緣 安 全 衛 安 全 簡 期 学 正															

〇: 養成施設において備えることが望ましい品目

臨床実習出席表 (フォーマット)

学籍番号: 学生氏名:

	月	火	水	木	金
日付	/	/	/	/	/
指導者印					
備考					
日付	/	/	/	/	
指導者印					
備考					
日付		/	/		
指導者印					
備考					
日付	/	/	/	/	
指導者印					
備考					
日付		/	/	/	/
指導者印					
備考					
日付	/	/	/	/	
指導者印					
備考					
日付	/	/	/	/	/
指導者印					
備考					

^{*} 欠席、遅刻、早退等がありましたら備考欄に記入してください

臨床寒習

☆実習日誌☆実習レポート

実施日: 年	月	日()
--------	---	----	---

氏名:_____

提出日	再提出日		
月日	月日	月 日	
指導者 印	指導者 印	指導者 印	

森ノ宮医療大学 保健医療学部 診療放射線学科

実 習 日 誌

部署		
実習項目	1. 一般撮影実習	
	2. X線 CT・MRI 実習	
	3. 造影検査実習	
	4. 核医学検査実習	
	5. 放射線治療実習	
	6. その他()

本日の目標		
時間	実習内容	
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
自己分析	理解できた点	
	反省点	
次への目標		
実習担当者		担当者印
コメント		

実習レポート

中羽(目光) 点周	
実習 (見学) 症例	
↔ 222 (□ 5;;) fv;; uu	
実習 (見学) 機器	
観察点など	
P127(7/11 01 C	

⇒田 目音	
課題	

臨床実習評価表 (フォーマット)

実習施設					
学生氏名					
実習期間	年 月 日 ~	年	月	日	
1. 臨床実習評価【通	直正評価】				
身だしなみ	医療人として身だしなみに気をつける。	A	В	С	D
態度	病院・施設の規則および時間を守る 節度ある言葉遣いができ、礼儀正しく接する	A	В	С	D
積極性	実習を意欲的に取り組み、意思表示ができる	A	В	С	D
協調性	周りとの充分なコミュニケーションがとれる	A	В	С	D
知識	知識・技術に対する向上心・探究心をもつ	A	В	С	D
2. 臨床実習評価【技					
心構え	「臨床実習の手引き」その他注意事項を理解 し、実習生としての心構えを実践できる	A	В	С	D
一般撮影実習	一般撮影検査の内容を理解し、基礎知識を活用 して各実習項目を実践・理解できる	A	В	С	D
X線 CT・MRI 実習	X線CT検査・MRI検査の内容を理解し、基礎 知識を活用して各実習項目を実践・理解できる	A	В	С	D
造影検査実習	造影検査の内容を理解し、基礎知識を活用して 各実習項目を実践・理解できる	A	В	С	D
超音波検査・眼底検査・ 骨塩定量検査実習	超音波検査・眼底検査・骨塩定量検査等の内容 を理解し、基礎知識を活用して各実習項目を実 践・理解できる	A	В	С	D
核医学検査実習	核医学検査の内容を理解し、基礎知識を活用し て各実習項目を実践・理解できる	A	В	С	D
放射線治療実習	放射線治療の内容を理解し、基礎知識を活用し て各実習項目を実践・理解できる	A	В	С	D
判断力	勝手な行動を起こさず、指導者の指示に従い行 動できる	A	В	С	D
		'		'	

3. 臨床実習評価【課題評価】								
課題	与えられた課題を消化できている	A	В	C	D			
内 容	形式・客観的内容・専門用語などを取り入れて、 資料・参考文献を活用している。また自分の考 えを明確に表現できている	A	В	С	D			

4.	実習を通	値して、 与	学生が変化した	た点または進	≝歩が見られ <i>†</i>	た点についてご言	己入ください	
5.	指導して	⁻も改善;	が見られなか	った点があれ	れば具体的に	ご記入ください		
	. 総合評値)総合合 実習全	所見	て学生の優れ	ιている点、←	う後の課題につ	Oいてご意見·ご郥	か言をお願いし	ン ます
森		でを参え	ぎに総合的に 学 は は は は は は は は は は は は は は は は は は			<u>を</u> つけてください		
学	生氏名							
			優	良	可	不可		
							年	日
				臨床実	智施設名			印
				臨床実	習指導者名			印

1. 臨床実習 I(3年後期) 1月5日~2月28日 6週間

21G 42 43 45 教授 奥村 雅彦 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 22G 44 45 独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター 24G 46 48 49 49 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 25G 50 50 51 批本 渚 医療法人 生長会 ベルランド総合病院 26G 52 53 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 27G 54 55 55 28G 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 29G 58 59 30G 助教 山畑 飛鳥 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会 吹田病院 31G 62 63 33G 59 61 61 33G 対本・学法人 大阪大学 関西医科大学総合医療センター 33G 66 65 33G 日本赤十字社 高槻赤十字病院 高槻赤十字病院 34G 68 69 71 72 73 34G 地方独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 35G 71 72 73 36G 地方独立行政法人 京都大学 京都大学医学部附属病院 36G 75 76 76 77 78 78 本生表生 本生素長 本生素長 37G 77 78 77 78 本生素長 本生素長 本生素長 38G 79 本生素長 本生素長 本生素長 本生素長 38G 79 本生素長 本生素長 本生素長 本生素長 本生素長 38G 70 本生素 本生素 本生素 本生素 本生素 38G 79 本生素 本生素 本生素 本生素 本生素 本生素	グループ	学籍番号	担当教員	日~2月28日 6週间 法人名	施設名
2G 3	1G	1		学校法人 兵庫医科大学	兵庫医科大学病院
大西 英雄 大西 英雄 大西 英雄 独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災無限 独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災無限 独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災無限 独立行政法人 国立高院機構 大阪医をセンター 地方独立行政法人 国立高院機構 大阪医をセンター 地方独立行政法人 大阪府立兵院機構 大阪海院 地方独立行政法人 国立高院機構 大阪海院 地方独立行政法人 是国规则国 海会支部 大阪河湾生会 大阪海院 地方独立行政法人 是国规则国 海会支部 大阪河湾生会 北野南院 地方独立行政法人 是国规则国 海会支部 大阪河湾生会 北野南院 北西海院 地方独立行政法人 是国规则国 海会支部 大阪河湾生会 北野南院 北西海院 北西海区 北西	2G	3	教授		
株立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 10	3G	5			 兵庫県立西宮病院
10 10 10 10 10 10 10 1	4G	7		┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	 関西労災病院
## 1	5G	9			宝塚市立病院
数様	6G	11			
15	7G	13		┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	大阪医療センター
17	8G	15	71、224、121—	地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪国際がんセンター
10日 19 11日 20 1日 1日 20 1日	9G	17		社会医療法人 きつこう会	多根総合病院
12G 21 22 23 23 24 25 25 26 26 26 27 27 27 27 27	10G	19			
13G 24 25 26 25 26 26 27 26 27 28 28 29 29 29 29 29 29	11G	21		社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会中津病院
13G 25	12G			地方独立行政法人 地域医療機能推進機構	大阪病院
15G 28 29 28 28 30 30 31 32 34 35 34 35 36 37 38 39 39 39 39 39 39 39 39 39 39 39 39 39	13G		田口勿	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション	淀川キリスト教病院
16G 30 30 30 31 32 33 34 35 35 36 37 38 39 39 20G 40 41 42 42 43 45 45 45 45 45 45 45	14G	27		医療法人 警和会	大阪警察病院
17G 31 32 33 34 34 35 35 35 35 35	15G			公益財団法人 日本生命済生会	日本生命病院
17G 33	16G	31		社会医療法人 景岳会	南大阪病院
18G 36 37 38 38 38 38 39 38 39 38 39 39	17G	33 34		地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪急性期・総合医療センター
19G 38 39 40 40 40 40 41 40 40 40	18G	36		医療法人 錦秀会	阪和記念病院
20G 40 41 41 42 43 22G 検援 43 45 45 23G 検援 45 45 45 23G 地方独立行政法人 44 45 47 24G 地方独立行政法人 48 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49	19G	38		公立大学法人 大阪市立大学	大阪市立大学医学部附属病院
22G 44	20G	40 41		学校法人 近畿大学	近畿大学医学部附属病院 ※平成31年4月1日に近畿大学病院へ病院名変更
22G 45	21G	43		地方独立行政法人	りんくう総合医療センター
24G 47 48 49 50 51 26G 財教 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50		45			·
19		47			
25G 50 26G 51 26G 52 27G 54 27G 54 28G 56 28G 56 57 山畑 飛鳥 29G 58 30G 59 30G 61 31G 62 31G 62 32G 64 65 65 33G 66 34G 68 68 69 70 71 35G 72 37G 77 37G 77 37G 77 37G 77 37G 79 38G 79	24G	49	助教	社会医療法人 生長会 	ベルランド総合病院
27G 53 27G 54 55 55 28G 56 29G 58 30G 59 30G 60 31G 62 31G 63 32G 64 34G 68 34G 69 37G 70 37G 77 37G 77 37G 77 37G 77 37G 79 **A 会社 **A 見県立医科大学 (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株)	25G			医療法人 錦秀会	阪和第二泉北病院
28G 55 56 57 58 58 59 59 59 30G 60 61 61 63 32G 66 67 34G 68 69 70 71 72 73 36G 77 78 38G 79 79 4 4 4 4 5 5 4 4 4 5 5	26G			地方独立行政法人 堺市立病院機構	堺市立総合医療センター
1	27G	55		社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会吹田病院
10 10 10 10 10 10 10 10	28G	57		国立大学法人 大阪大学	大阪大学医学部附属病院
31G 61	29G	59	山畑 飛鳥	学校法人 関西医科大学	関西医科大学総合医療センター
1	30G			パナソニック健康保険組合	松下記念病院
32G 64 65 33G 独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 34G 68 69 70 70 72 73 独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 35G 71 72 73 国立大学法人 京都大学 京都大学医学部附属病院 36G 75 76 76 78 公立大学法人 奈良県立医科大学 奈良県立医科大学附属病院 37G 77 78 本 晃宏 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 38G 79 本 晃宏 本 完良県 立 医科大学 原見県 立 医科大学 原見県 立 医科大学 原見県 立 医科大学 原見県 立 医科大学 原見県 立 医療センター	31G	62		日本赤十字社	高槻赤十字病院
33G 66 67 67 34G 准教授 今井信也 地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 35G 70 71 72 73 36G 74 76 76 77 78 37G 国立大学法人 京都大学 京都大学医学部附属病院 37G 77 78 78 79 公立大学法人 奈良県立医科大学 奈良県立医科大学附属病院 38G 79 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 社会医療法人 高清会 高井病院	32G	64		独立行政法人 地域医療機能推進機構	星ヶ丘医療センター
34G 68 69 70 71 35G 71 72 73 36G 75 76 77 37G 77 78 79 38G 79 4 公立大学法人 奈良県立医科大学 第中 奈良県公医科大学附属病院 本会医療法人 高速会 高井病院	33G	66		地方独立行政法人	市立東大阪医療センター
70	34G	68		独立行政法人 国立病院機構	京都医療センター
36G 74 75 76 76 37G 公立大学法人 奈良県立医科大学 奈良県立医科大学附属病院 37G 77 78 78 79 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 38G 79	35G	70 71 72		国立大学法人 京都大学	京都大学医学部附属病院
37G 77	36G	74 75	禁師	公立大学法人 奈良県立医科大学	奈良県立医科大学附属病院
38C 79 計 4 全 医 2	37G	77		地方独立行政法人 奈良県立病院機構	奈良県総合医療センター
	38G			社会医療法人 高清会	高井病院

臨床実習巡回指導•配置表

1. 臨床実習Ⅱ(3年後期) 3月1日~3月31日 2週間

グループ	学籍番号	担当教員	日~3月31日 2週间 	
1G	80		学校法人 兵庫医科大学	上
	78 76		子权広人 共准医科人子	
2G	74 72	教授 大西 英雄		西宮市立中央病院
3G	70 68			兵庫県立西宮病院
4G	66		独立行政法人 労働者健康安全機構	関西労災病院
5G	64 62			宝塚市立病院
6G	60 58			市立伊丹病院
7G	56 54	教授 小縣 裕二	独立行政法人 国立病院機構	大阪医療センター
8G	52 50		地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪国際がんセンター
9G	48 46		社会医療法人 きつこう会	多根総合病院
10G	44 42		公益財団法人田附興風会 医学研究所	北野病院
11G	40		社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会中津病院
12G	38 36	教授	地方独立行政法人 地域医療機能推進機構	大阪病院
13G	34 32	山口功	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション	淀川キリスト教病院
14G	30 28		医療法人 警和会	大阪警察病院
140	61 59		医療法人 言相去	人恢言杂例阮
15G	26 24		公益財団法人 日本生命済生会	日本生命病院
	22 20			
	18	#/L 1==		
16G	16 14	│ 教授 │ 船橋 正夫	地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪急性期・総合医療センター
	12 10			
	8			
17G	4 2		公立大学法人 大阪市立大学	大阪市立大学医学部附属病院
18G	79		学校法人 近畿大学	近畿大学医学部附属病院 ※平成31年4月1日に近畿大学病院へ病院名変更
19G	77 75	教授 奥村 雅彦	地方独立行政法人	りんくう総合医療センター
20G	73 71	JC 11 19E/J	独立行政法人 国立病院機構	大阪南医療センター
21G	69 67		地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪はびきの医療センター
22G	65 63	助教	社会医療法人 生長会	ベルランド総合病院
23G	57 55	武本 渚	地方独立行政法人 堺市立病院機構	堺市立総合医療センター
24G	53 51		社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会吹田病院
25G	49 47	助教	国立大学法人 大阪大学	 大阪大学医学部附属病院
26G	45	山畑 飛鳥	上 学校法人 関西医科大学	 関西医科大学総合医療センター
27G	43 41		パナソニック健康保険組合	松下記念病院
28G	39 37		日本赤十字社	高槻赤十字病院
29G	35 33		独立行政法人 地域医療機能推進機構	星ヶ丘医療センター
30G	31 29	准払 +並	地方独立行政法人	市立東大阪医療センター
31G	27 25	准教授 今井 信也	独立行政法人 国立病院機構	京都医療センター
	23 21			
32G	19 17		国立大学法人 京都大学	京都大学医学部附属病院
	15 13			
33G	11	≘#.A≖	公立大学法人 奈良県立医科大学	奈良県立医科大学附属病院
34G	7	講師 垣本 晃宏	地方独立行政法人 奈良県立病院機構	奈良県総合医療センター
35G	3		社会医療法人 高清会	高井病院
			I	I

臨床実習巡回指導•配置表

1. 臨床実習Ⅲ(4年前期) 4月10日~4月30日 2週間

グループ	学籍番号	担当教員	0日~4月30日 2週间 法人名	施設名
1G	10		上 学校法人 兵庫医科大学	<u></u> 兵庫医科大学病院
2G	20 30	粉 卡亚		西宮市立中央病院
3G	40 50	教授 大西 英雄		 兵庫県立西宮病院
4G	60 70			
5G	80			宝塚市立病院
6G	11 21			┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
7G	31 41	教授	L 独立行政法人 国立病院機構	 大阪医療センター
8G	51 61 71	小縣 裕二	┗ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪国際がんセンター
9G	12			多根総合病院
10G	22		公益財団法人田附興風会 医学研究所	北野病院
11G	32 42		社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会中津病院
12G	52 62	教授 山口 功	地方独立行政法人 地域医療機能推進機構	大阪病院
13G	72 3	шгэ	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション	淀川キリスト教病院
14G	13 23		医療法人 警和会	大阪警察病院
15G	33 43		公益財団法人 日本生命済生会	日本生命病院
16G	53 63		社会医療法人 景岳会	南大阪病院
17G	73 4 14 24	教授 船橋 正夫	地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪急性期・総合医療センター
18G	34 44		医療法人 錦秀会	阪和記念病院
19G	54 64		公立大学法人 大阪市立大学	大阪市立大学医学部附属病院
20G	74 5		学校法人 近畿大学	近畿大学医学部附属病院 ※平成31年4月1日に近畿大学病院へ病院名変更
21G	15 25	教授 奥村 雅彦	地方独立行政法人	りんくう総合医療センター
22G	35 45		独立行政法人国立病院機構	大阪南医療センター
23G	55 65		地方独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪はびきの医療センター
24G	75 6	助教	社会医療法人 生長会	ベルランド総合病院
25G	16 26	武本 渚	医療法人 錦秀会	阪和第二泉北病院
26G	36 46		地方独立行政法人 堺市立病院機構	堺市立総合医療センター
27G	56 66		社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府済生会吹田病院
28G	76 7	助教	国立大学法人 大阪大学	大阪大学医学部附属病院
29G	17 27	山畑 飛鳥	学校法人 関西医科大学	関西医科大学総合医療センター
30G	37 47		パナソニック健康保険組合	松下記念病院
31G	57 67		日本赤十字社	高槻赤十字病院
32G	77 8		独立行政法人 地域医療機能推進機構	星ヶ丘医療センター
33G	18 28	准教授 今井 信也	地方独立行政法人	市立東大阪医療センター
34G	38 48		独立行政法人 国立病院機構	京都医療センター
35G	58 68 78 9		国立大学法人 京都大学	京都大学医学部附属病院
36G	19 29 39	講師	公立大学法人 奈良県立医科大学	奈良県立医科大学附属病院
37G	49 59	垣本 晃宏	地方独立行政法人 奈良県立病院機構	奈良県総合医療センター
38G	69 79		社会医療法人 高清会	高井病院

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科 学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生	Εの確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
	(1)	学生の確保の見通し	1
	1	定員充足の見込み	1
	2	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
	3	学生納付金の設定の考え方	4
	(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	4
	1	オープンキャンパス	4
	2	受験情報雑誌/進学情報サイト	5
	3	進学相談会/高校ガイダンス	5
	4	高校訪問	5
	⑤	教員対象説明会	5
	6	本学公式 WEB サイト	5
2	人村	t需要の動向等社会の要請	7
	(1)	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)	7
	1	精度の高い専門的知識と専門技術	7
	2	チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力	7
	3	豊かな人間力	7
	4	主体的問題解決能力	7
	(2)	上記(1)が社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであること	
(の客観	間的な根拠	7
	1	社会的な需要	7
	2	業界団体からの要請	8
	3	近畿および大阪エリアにおける診療放射線技師の需要状況	8
	4	既設学科の求人状況	8
	⑤	第三者機関による採用意向調査結果【資料 16】	8
	<u>(6)</u>	維論	a

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科 学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

① 定員充足の見込み

ア 入学定員設定の考え方

本学は開学以来安定して志願者数を確保しており、医療系大学として周辺地域の方々に支持されてきた。この度、保健医療学部診療放射線学科を開設するに当たり、次の観点を考慮した。

- 1)教員組織、実習指導体制、学生支援体制、教育施設・設備等の面において現行の水準が確保できること
- 2)「設置の趣旨等を記載した書類」に記載されている診療放射線技師への社会的 ニーズに応えること
- 3) 長期的な学生確保が可能であること

また、上記の要件に加え、「診療放射線技師学校養成所指定規則」にある定員等を考慮し、教育効果や学習効率を十分に達成できる環境を構築する上で支障のない人数として総合的に判断した結果、<u>診療放射線学科の入学定員を80名(収容定員320名)</u>に設定することとした。

イ 定員を充足する見込み

診療放射線学科を開設するにあたり、全国の志願者動向、近畿エリアにおける志願者動向、大学を取り巻く環境・競合大学の動向、本学保健医療学部診療放射線学科への進路希望状況等の調査や分析を行った。その結果、下記に記す内容により、進学ニーズが拡大していること、拡大傾向が継続的であること、直接具体的な志願者数が示されたことから、継続的に学生を確保し定員を充足する見通しであると判断した。

- 1) 全国的に診療放射線学を含む「保健系分野」への進学ニーズが高いこと
- 2) 近畿エリアにおいて診療放射線技師養成校への進学ニーズが見込めること
- 3) 近畿エリアにおいて診療放射線技師養成校である私立大学は3校のみであり、 特に18歳人口の多い大阪市内には1校も開設されていないこと
- 4) 本学は開学以来順調に志願者を確保していること
- 5) 第三者機関による「診療放射線学科(仮称)への高校生の入学意向に関するアンケート」の調査結果より、診療放射線学科への十分な志願者を確保できると見込めること

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

ア 理学療法、看護、診療放射線学を含む「保健系分野」への全国的な進学ニーズ

文部科学省発表の学校基本調査(大学の関係学科別入学者数)より、<u>保健系分野への</u>進学者数は年々増加していることがわかる。過去5年間の増加率を平均すると、大学全体では毎年3.0%、私立大学では毎年3.6%ずつ進学者数が増加している。【資料1】

また、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター集計の「私立大学・短期大学等入学志願動向」より、理学療法、看護、診療放射線学を含む保健系学部に対する「志願者数」「受験者数」「入学者数」はいずれも過去5ヵ年にわたり増加している。また同様に、志願倍率は5.5~6倍程度、入学定員充足率は100%を割ることなく安定的に推移していることからもニーズの高さがわかる。【資料2】

イ 本学の医療系大学としての実績(入試状況)

本学は過去5ヵ年にわたり安定して志願者を確保しており、十分な学生数を継続して 確保し続けている。そうした本学の医療系大学としての実績は、診療放射線学科の定 員充足の見込みを裏付ける一つの根拠といえる。

平成28年4月に本学が開設した作業療法学科・臨床検査学科、および平成30年4月に本学が開設した臨床工学科では定員を満たすに十分な志願者数を確保し、新設学科でも確実に志願者を集めることができた。これは、本学が医療者を育成する大学として社会的に認められていることを示しているといえる。

保健医療学部全体でみると、平成 25 年度に実施した入試の志願者数が 1,808 名 (競争率 6.11 倍)、平成 26 年度実施の入試の志願者数が 1,529 名 (競争率 4.72 倍)、平成 27 年度実施の入試の志願者数が 2,978 名 (競争率 4.88 倍)、平成 28 年度実施の入試の志願者数が 3,298 名 (競争率 5.67 倍)、平成 29 年度実施の入試の志願者数が 3,304 名 (競争率 4.84 倍) となっており、競争率は常に高い水準を維持している。

【資料 3】

この度の診療放射線学科の開設により、本学は医療分野7学科を有する医療の総合的な大学としてさらに認知されることが期待できる。よって、診療放射線学科の定員 充足だけでなく保健医療学部全体の更なる学生獲得についても、十分に期待できると考えている。

ウ 近畿の診療放射線技師養成校(私立大)の入試動向および本学との競合関係

本学診療放射線学科と同分野の学科を有する近隣大学が志願者を十分に確保できていることも、本学が診療放射線学科の定員を充足できると考える一つの根拠となっている。

近畿エリアには診療放射線技師養成校である私立大学が3校あり、いずれの大学も平成29年度および平成30年度入試において入学定員の1.8倍から7.3倍の志願者数を確保している。【資料4】

なお、近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学 3 校の設置場所をみると、大阪府堺市 (1 校:大阪物療大学)、京都府南丹市 (1 校:京都医療科学大学)、三重県鈴鹿市 (1 校:鈴鹿医療科学大学)となっており、本学の位置する大阪府大阪市には診療放射線技師養成校である私立大学が 1 校も設置されておらず、設置されれば私立大学では本学が大阪市で初めてとなる【資料 5】。

また、本学の半径約 20km 圏内は、本学への出願者が多く居住するエリアであることも考慮すると【資料 6】、本学の診療放射線学科は大阪市内や大阪市と近接する市区町村からの学生確保が期待できる。さらに、私立大学の診療放射線技師養成校がないエリア(兵庫県全域・京都府南部・奈良県全域・和歌山県全域など)からの学生確保もある程度見込めると考えられ、これらのことは、本学が診療放射線学科の入学定員を充足できると考える根拠の一つになっている。

エ 「森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)への高校生の入学意向に関するアンケート」調査結果【資料7】

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への進学ニーズを調査する目的で、第三 者機関である一般財団法人日本開発構想研究所による下記のアンケート調査を行った。

- · 実 施 者:一般財団法人日本開発構想研究所
- ・アンケート題目:森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)への 高校生の入学意向に関するアンケート
- ・調 査 対 象 者:平成30年度において高等学校2学年である者
- ・調 査 対 象 校:森ノ宮医療大学近隣に所在する高等学校 199 校
- · 実 施 期 間: 平成 30 年 10 月~平成 30 年 12 月

アンケート調査により、以下の点が示された。

- 1) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について【資料 7-p.9】 診療放射線学科への受験意向について調査した結果、「受験してみたい」193 人 (3.0%)、「受験先として検討したい」415 人 (6.5%) の合計 608 人 (9.5%) が診療 放射線学科への受験意向を示した。
- 2) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向について【資料 7-p.9】 上記1)にて診療放射線学科への受験意向を示した 608 人と、「わからない」と回 答した 2,642 人、合計 3,250 人に、診療放射線学科を受験し、合格した場合の入学意 向について調査した。

その結果は「入学を希望する」が 312 人 (9.6%)、「入学を検討する」が 1,054 人 (32.4%) で、合計 1,366 人 (42.0%) が診療放射線学科への入学意向を示した。

3)上記1)と2)をクロス集計した結果【資料7-p.10】 <u>診療放射線学科を「受験してみたい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校2年生は122人となり、診療放射線学科の入学定員80人に対して約1.52</u> <u>倍の入学意向を実数にて確保した</u>といえる。 また、<u>診療放射線学科を「受験してみたい」または「受験先として検討したい」と</u>回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生は合計 188 人となり、<u>診療</u>放射線学科の入学定員 80 人に対し、約 2.35 倍が入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外の高校生の進学も考えられることから、 診療放射線学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものと考える。

③ 学生納付金の設定の考え方

本学科における初年度学生納付金(授業料+施設設備費)は、近隣競合校の状況や既設学科の学生納付金を考慮し、155万円に設定されている。

近隣競合校の学生納付金は、130~158万円であり、本学科が設定する学生納付金もこの範囲内に納められている。また、本学の既設学科(鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、作業療法学科、臨床検査学科、臨床工学科)の学生納付金と同額に設定されている。【資料8】

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では学生確保に向け、アドミッションセンターが中心となり様々な取り組みを行っている。具体的には、広報室で起案している各種企画の内容的な報告・連絡・相談とその確定および学科内への業務依頼、情報の提供をアドミッションセンター会議において行い、それを各学科及び部署にフィードバックする体制が構築されている。この体制により、「オープンキャンパス」「進学相談会」「高校訪問」「教員対象説明会」等の学生募集活動を教職協働で連携し、長期的な学生確保のビジョンを持って取り組むことが可能となっている。

主な取り組み(予定含む)は以下のとおりである。

① オープンキャンパス

毎年、各高等学校のイベントや競合大学のスケジュールを考慮した上で、本学が求める学生が幅広く参加できるよう日程を調整し、内容においても開催時期ごとにテーマを設け、本学の認知向上とともに各学問領域への興味を喚起するものとなっている。また、高校3年生を対象とするだけでなく、1・2年生を対象としたプログラムや保護者を対象とした「保護者のための進学説明会」を実施することで、長期的な学生の確保に力を入れている。

また、リアルオープンキャンパスと題した「授業見学会(普段の大学の授業を見学できるイベント)」を開催し、より本学への理解を促している。

② 受験情報雑誌/進学情報サイト

受験生等からの本学に対する資料請求件数は、開学以来順調に伸び続けている【資料 9】。資料請求件数全体のうち、受験雑誌や進学サイトを経由した請求が概ね8割程度を 占めていることから、それらを通じた長期的な学生確保の取り組みに力を入れる。 また、これまで受験情報雑誌や進学情報サイトに掲載してきた内容に加え、診療放射線 学科の新設に伴う新増設企画(新学科を特集するための専用の企画)への参加や、掲載 雑誌およびサイトの拡大、広告枠の拡大などについても順次実施していく。

③ 進学相談会/高校ガイダンス

複数の大学がブースを設け、来場した高校生やその保護者から相談を受け付ける「進学相談会」と、大学の広報担当者などが高校に出向いて各学科の特色などを説明する「高校ガイダンス」を、本学の通学圏内となるエリアを中心に年間を通して実施する。参画する相談会/ガイダンスの学問分野を看護・医療系に限定し、看護・医療関連への興味関心の高い生徒との接点を増やすと同時に、高校1・2年生を対象とした相談会/ガイダンスへの参画を増やし、長期的かつ安定的な学生の確保に向けた取り組みを行っている。

進学相談会平成 30 年度 (平成 30 年 4 月~平成 30 年 10 月) 実績: 延べ 35 会場で実施、606 名と接触。

高校ガイダンス平成 30 年度(平成 30 年 4 月~平成 31 年 1 月)実績: 延べ 264 校で 実施、4,838 名と接触。

④ 高校訪問

周辺の高等学校教員へ本学の認知度を向上させる目的で、高等学校を訪問する。訪問目的と必要性を吟味し、訪問対象校や訪問時期・訪問回数・提案内容等を精査する。本学と同じ学科を有する大学が少ない近隣府県の高等学校への訪問を強化し、本学の認知度を高めることで当該分野に興味のある生徒の獲得を狙う。

平成 30 年度(平成 30 年 4 月~平成 31 年 2 月) 実績:延べ 1,059 校訪問。近畿 2 府 4 県では延べ 865 校訪問。

⑤ 教員対象説明会

近隣府県の高等学校の教員を対象とした説明会を実施する。<u>認知度や募集力の短期的な向上ではなく、より長期的な学生募集力の強化を目的</u>としており、そのため本学全体の情報提供のほか、各学科の設置の趣旨やアドミッションポリシー、入学者選抜の方法等の情報を提供する。

⑥ 本学公式 WEB サイト

本学公式 WEB サイトに診療放射線学科特設ページを制作し、診療放射線学科及び診療放射線技師への興味関心を促すとともに、日々更新される最新情報を滞りなく発信す

るツールとして活用する。 <u>受験生だけでなく、高校 1・2 年生を対象とした専用コンテンツも開設しており、長期的な学生の確保を意識した構成となっている。</u>

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、実践できるよう下記にある①~④の能力を身につけた人材を養成する。

① 精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。

② チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、 チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、 医学の 進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。

③ 豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

4 主体的問題解決能力

診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、医療に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、主体的に創造的に問題を解決することができる。

(2)上記(1)が社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客 観的な根拠

① 社会的な需要

日本における診療放射線技師の需要は、少子高齢化とともに増加している。厚生労働省の「医療施設(静態・動態)調査・病院報告」によると、病院で働く診療放射線技師の数はここ 11 年間右肩上がりで増え続けており、平成 19 年と平成 29 年を比較すると約 7,870 人増加している【資料 10】。また、診療放射線技師は病院、クリニック、医療機器メーカー等、多岐にわたる施設で必要とされている。国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」によると、がん患者は平成 26 年時点で約 87 万 6 千人に達し、直近 10 年では約 23 万人増加している【資料 11】。診療放射線技師はがん患者の放射線治療において重要な役割を果たしていることから、診療放射線技師の必要性がますます高まっていると推察される。

② 業界団体からの要請

本学の位置する大阪府の診療放射線技師でつくる「公益社団法人大阪府診療放射線技師会」は、近畿エリアに診療放射線技師を養成する大学はまだまだ少ない状況にあるとして、診療放射線学科設立の要望書が寄せられている。

さらに全国の診療放射線技師でつくる「公益社団法人日本診療放射線技師会」も、最 先端医療に対応できる診療放射線技師を養成するために、専門的な医療技術を実践でき る知識と技術を習得させる教育が求められていることなどから、4年制大学での教育が 適切であるとし、本学の診療放射線学科開設を要望している【資料 12】。

よって、本学の診療放射線技師養成は、業界団体からの要請にも沿ったものである。

③ 近畿および大阪エリアにおける診療放射線技師の需要状況

平成30年度、近畿には大学と専門学校をあわせて7校の診療放射線技師養成校がある。このうち4校は大阪府内にあり、大学が2校、専門学校が2校となっている。大阪市内に限ると、専門学校が1校あるだけで、大学は1校もない【資料13】。その一方で、近畿エリアの養成校には診療放射線技師の求人が多数寄せられている。中には求人数が入学定員を大きく上回り、12倍近い求人倍率となっているところもある【資料14】。

よって、近畿および大阪エリアで養成校より輩出される診療放射線技師の数は需要に 対してまだ十分とはいえないため、本学の診療放射線学科卒業生への需要は十分に見込 めると考えられる。

④ 既設学科の求人状況

本学の既存 3 学科(看護学科、理学療法学科、鍼灸学科)の就職状況は、過去を見ても良好である。平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間、就職希望者全員が就職を果たしている【資料 15】。

ゆえに、<u>本学は医療職を養成する医療系大学として医療機関等から一定の評価を得て</u>いると言え、新設する診療放射線学科の卒業生に対しても採用ニーズが見込める。

⑤ 第三者機関による採用意向調査結果【資料 16】

1)調査の概要

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生に対する医療機関および 企業の採用意向を調査する目的で、第三者機関である一般財団法人日本開発構想研 究所によるアンケート調査を行った。

- · 実 施 者:一般財団法人日本開発構想研究所
- ・アンケート題目:森ノ宮医療大学保健医療大学診療放射線学科(仮称)の卒業生 に対する病院・医療系企業等の採用意向に関するアンケート調
- ・調 査 対 象 者:卒業生の就職が見込まれる病院、医療系企業等の診療放射線技

師採用担当者

· 実 施 期 間: 平成 30 年 11 月~平成 31 年 3 月

・有効回答率等:配布数・・・3.680施設、有効回答数・・・611施設、

有効回答率・・約 16.6%

2)調査の結果

上記のアンケート結果から、以下のことが明らかになった。

・入学定員以上の求人件数の確保が見込める

現在診療放射線技師が配置されている 566 施設等のうち、本学診療放射線学科卒業生を「採用したい」と考える施設等は 50 件であった。【資料 16-p.13】

これらの施設に対し、本学診療放射線学科の卒業生を毎年何人採用したいか尋ね、その結果を基に算出したところ、入学定員 80 名の 1.06 倍にあたる 85 人分の求人が見込めることが明らかになった。【資料 16-p.14】

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、回答を得られた 378 件の施設等の採用意向人数を合計すると 419 人となり、これは、入学定員 80 人に対して、約5.23 倍となる。【資料 15-p.14】

したがって本学の診療放射線学科の就職先は十分に確保できるといえる。

⑥ 結論

- ・診療放射線技師の社会的需要が高水準であると言える。
- ・近隣の診療放射線技師養成校に対する求人依頼数は順調である。
- ・本学既設学科卒業生の就職状況は良好であり、医療専門職を輩出する医療系大学として一定の評価を得ている。
- ・第三者機関によるアンケート結果から、<u>本学診療放射線学科の卒業生に対する採用が毎年見込める。</u>

以上により、本学の診療放射線学科が養成する人材は社会的な要請に対応したものであり、卒業生に対する中長期的な人材需要が十分に確保できるものと考える。

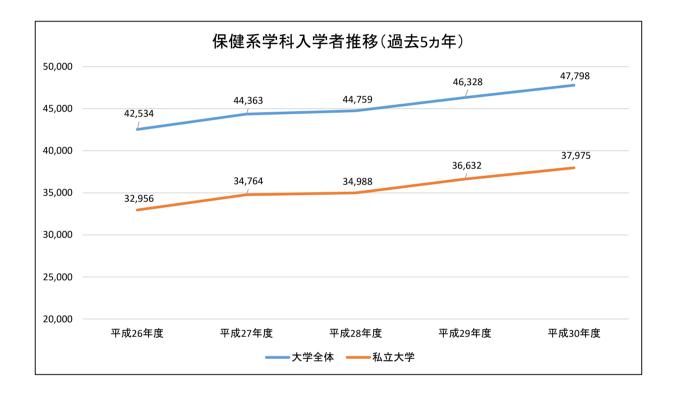
森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科 学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

- 資料1 保健系学科入学者推移表
- 資料2 私立大学入学志願動向【学部系統別の動向(大学/過去5ヵ年)】
- 資料3 過去5ヵ年の本学入学試験状況
- 資料4 近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学の入試動向
- 資料5 近畿エリアにおける診療放射線技師養成校である私立大学位置
- 資料6 本学出願者の居住地ヒートマップ(2018年度入試)
- 資料7 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)への高校生の入学意向に 関するアンケート調査報告
- 資料8 競合大学学納金一覧(診療放射線技師養成校)
- 資料9 年度別資料請求数
- 資料10 職種別に見た病院の従事者数(常勤換算)
- 資料11 がん罹患者数と死亡者数の推移
- 資料12 診療放射線技師会からの要望書(大阪府)
- 資料13 近畿の診療放射線技師養成校一覧
- 資料14 近畿の診療放射線技師養成校における求人状況(平成29年度)
- 資料15 森ノ宮医療大学における既設学科の就職状況
- 資料16 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の卒業生に関する病院・ 医療系企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

保健系学科入学者推移表

区分	大学区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	大学全体	人数	42,534	44,363	44,759	46,328	47,798
保健系(医学・		前年比増加率	_	104.3%	100.9%	103.5%	103.2%
歯学・薬学を除く)	私立大学	人数	32,956	34,764	34,988	36,632	37,975
		前年比増加率	_	105.5%	100.6%	104.7%	103.7%

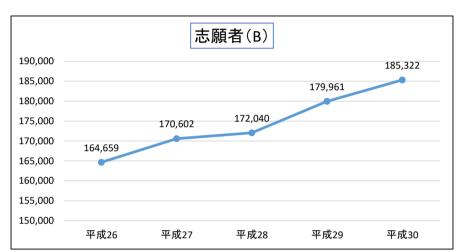
※文部科学省 学校基本調査 (大学の関係学科別入学者数) 保健系分野を年度ごとに抜粋 【単位は人】 ※平成30年度は速報値(2018年8月2日公表)

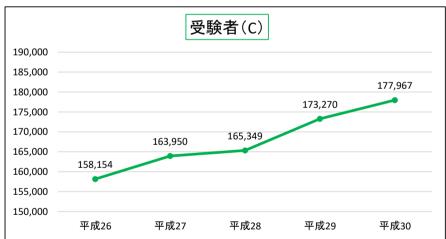


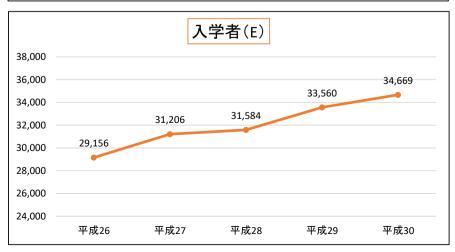
私立大学入学志願動向【学部系統別の動向(大学/過去5ヵ年)】

区分	年度	集計 学部数	入学定員 (A)	志願者 (B)	受験者 (C)	合格者 (D)	入学者 (E)	志願倍率 (B/A)	合格率 (D/C)	歩留率 (E/D)	定員充足 率(E/A)
	平成26	175	27,033	164,659	158,154	56,334	29,156	6.09	35.62	51.76	107.85
	平成27	192	28,998	170,602	163,950	61,599	31,206	5.88	37.57	50.66	107.61
保健系	平成28	198	30,330	172,040	165,349	63,762	31,584	5.67	38.56	49.53	104.13
	平成29	209	32,850	179,961	173,270	67,108	33,560	5.48	38.73	50.01	102.16
	平成30	220	•	185,322	,	69,269	,	5.4	38.92	50.05	

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より抜粋







2019.3.4現在

(志願者数・受験者数・合格者数・競争率・入学者数・定員超過率)

学部	学科	入試実 施年度	募集 人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率(受験者数/合格者数)	入学者数	定員 超過率
		H29	90	1,393	1,344	157	8.56	90	1.00
		H28	80	1,435	1,374	152	9.04	90	1.12
	看護学科	H27	80	1,315	1,278	173	7.39	90	1.12
		H26	80	925	895	132	6.78	90	1.12
		H25	80	1,119	1,073	116	9.25	88	1.10
		H29	70	712	696	100	6.96	70	1.00
		H28	60	722	705	99	7.12	70	1.16
	理学療法学科	H27	60	792	775	103	7.52	70	1.16
		H26	60	452	443	81	5.47	70	1.16
		H25	60	490	473	80	5.91	68	1.13
		H29	60	152	149	108	1.38	70	1.16
		H28	60	183	180	113	1.59	67	1.11
	鍼灸学科	H27	60	206	201	106	1.90	67	1.11
		H26	60	152	149	102	1.46	64	1.06
保健医療学部		H25	60	199	194	89	2.18	68	1.13
体链区尔子印	作業療法学科	H29	40	305	300	71	4.23	53	1.32
		H28	40	381	367	76	4.83	50	1.25
		H27	40	244	232	89	2.61	50	1.25
		H26			⊔ao年∡日I	関訟のため	l)入試データなし		_
		H25			11204471	刑政の方とは、	アスペン グなし		_
		H29	60	490	483	129	3.74	72	1.20
		H28	60	577	560	122	4.59	72	1.20
	臨床検査学科	H27	60	421	407	122	3.34	72	1.20
		H26			⊔20年 <i>4</i> 日	関訟のため	 入試データなし		_
		H25			1120千4万	ガ 政 リン / こ は、	アススプ アなし		_
		H29	60	252	248	100	2.48	70	1.16
		H28							
	臨床工学科	H27			⊔o∩年∉日Ⅰ	関訟のため	入試データなし		_
		H26			1304471	711 DX V/1_0/	// pu / // // // // // // // // // // // //		_
		H25							
		H29	380	3,304	3,220	665	4.84	425	1.11
		H28	300	3,298	3,186	562	5.67	349	1.16
全学和	4合計	H27	300	2,978	2,893	593	4.88	349	1.16
		H26	200	1,529	1,487	315	4.72	224	1.12
		H25	200	1,808	1,740	285	6.11	224	1.12

近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学の入試動向

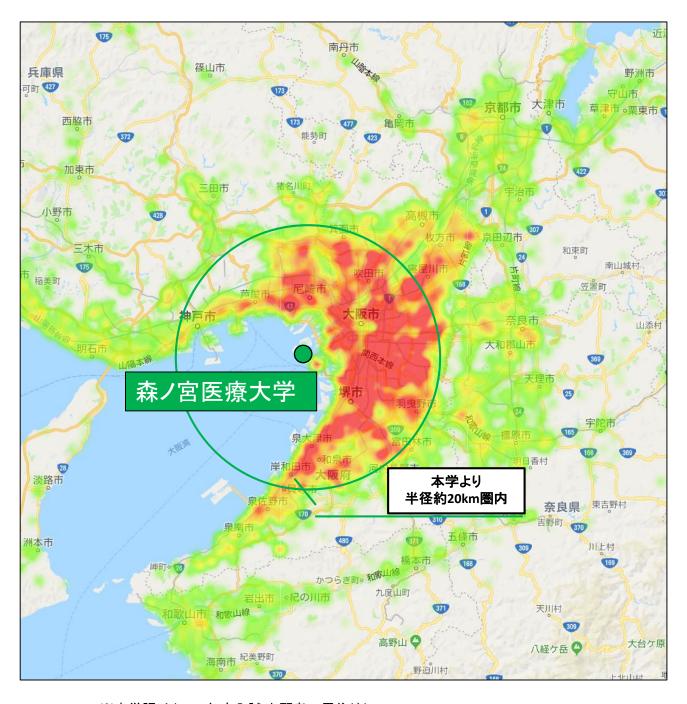
大学名	学部学科名(入学定員数)	年度	入試方法	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
			推薦入試	35	71	68	36	2.0	36
		2017	一般入試	43	75	72	65	1.7	49
		2017	社会人入試	2	0	0	0	0.0	0
大阪物療大学	保健医療学部 診療放射線技術学科		合計	80	146	140	101	1.8	85
人似物族人子	(80名)		推薦入試	40	99	93	46	2.5	46
		2018	一般入試	38	68	61	59	1.8	37
		2010	社会人入試	2	2	1	1	1.0	1
			合計	80	169	155	106	2.1	84
			推薦入試	35	97	96	43	2.8	1
	医療科学部 放射線技術学科 (80名)	2017	一般入試	42	213	205	70	5.1	1
			社会人入試	3	-	-	-	-	-
京都医療科学大学			合計	80	310	301	113	3.9	87
水即应源行于八十		2018	推薦入試	35	94	94	44	2.7	-
			一般入試	42	180	171	81	4.3	-
			社会人入試	3	0	0	0	0.0	0
			合計	80	274	265	125	3.4	96
			推薦入試	30	153	150	75	5.1	1
		2017	一般入試	55	370	366	124	6.7	-
		2017	センター利用方式	15	208	208	72	13.9	-
鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部 放射線技術科学科		合計	100	731	724	271	7.3	-
PP 応ビホ11 アハナ	(100名)		推薦入試	30	185	185	94	6.2	-
		2018	一般入試	55	318	313	106	5.8	-
		2010	センター利用方式	15	158	158	68	10.5	-
			合計	100	661	656	268	6.6	-

[※]大学情報は、各大学公式ウェブサイトより抜粋(「-」はデータなし)。志願倍率は募集人数に対する志願者数の割合です。

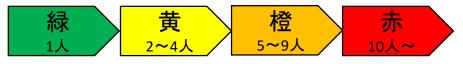
近畿エリアにおける診療放射線技師養成校である私立大学位置



本学出願者の居住地ヒートマップ (2018年度入試)



※本学調べ(2018年度入試出願者の居住地)。 赤い部分ほど出願者数が多く、緑に近づくほど出願者数が少ないことを示す。



森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称) への高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

平成31年1月

一般財団法人 日本開発構想研究所

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)への 高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

2020 年 4 月に予定している森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の開設に向けて、設置年度の進学対象層に対する森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)への入学意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象高校及び対象者

近隣に所在する高等学校、または、森ノ宮医療大学に進学実績のある高等学校を中心に、 2 府 4 県(大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県)に所在する高等学校の在 学者で 2020 年度大学進学対象となる高校 2 年生。

(3) 調查方法

近隣に所在する高等学校、または、森ノ宮医療大学に進学実績のあるものを中心とした高等学校 199 校に 24,030 人分のアンケート用紙及び森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の概要を示したリーフレットを送付し、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法により実施。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ高校から直接郵送。

この結果、高校2年生13,496人から有効回答(有効回収率約56.1%)があった。

集計結果より、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)への入学意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 30 年 10 月~平成 30 年 12 月

(5) 有効回収率等

調査対象者数: 高等学校 199 校 24.030 人

有効回答者数:高等学校 164 校 13,599 人の回答のうち、高校 2 年生 13,496 人

有効回収率 : 約 56.1% (高校 2 年生 13,496 人÷調査対象者 24,030 人)

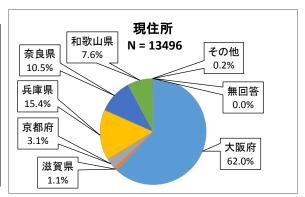
※森ノ宮医療大学にて設置を構想している保健医療学部診療放射線学科は仮称であるが、 その旨の表示を本文中では省略した。

2. 調查結果

(1) 現住所について

現住所について調査した結果、高校2年生13,496人のうち、「大阪府」が8,367人(62.0%) と最も多く、次いで「兵庫県」2,082人(15.4%)、「奈良県」1,418人(10.5%)、「和歌山県」 1,029人(7.6%)、「京都府」425人(3.1%)、「滋賀県」146人(1.1%)、「その他」25人 (0.2%)の順になっている。 ※「無回答」4人(0.0%)

	現住所		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大阪府	8,367	62.0
2	滋賀県	146	1.1
3	京都府	425	3.1
4	兵庫県	2,082	15.4
5	奈良県	1,418	10.5
6	和歌山県	1,029	7.6
7	その他	25	0.2
	無回答	4	0.0
	N (%ベース)	13,496	100

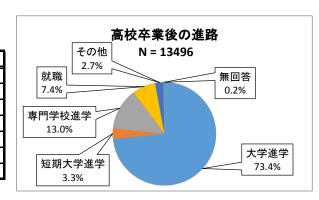


(2) 高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路について調査した結果、高校 2 年生 13,496 人のうち、9,911 人 (73.4%) が「大学進学」を希望しており、「短期大学進学」は 443 人 (3.3%)、合わせて 10,354 人 (76.7%) が国内の高等教育機関への進学を希望している。さらに、「専門学校進学」1,759 人 (13.0%) を合わせると、12,113 人 (89.7%) が高等学校卒業後、進学を希望している。 ※「無回答」33 人 (0.2%)

高校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	9,911	73.4
2	短期大学進学	443	3.3
3	専門学校進学	1,759	13.0
4	就職	992	7.4
5	その他	358	2.7
	無回答	33	0.2
	N (%ベース)	13,496	100



(3) 興味のある分野について

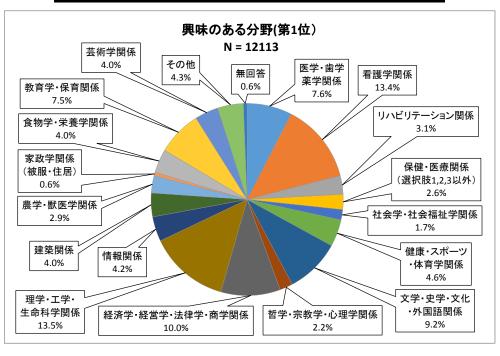
3-1 興味のある分野 (第1位) について

進学を希望する12,113人に、興味のある分野(第1位)について調査した。

その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が1,636 人(13.5%)と最も多く、次いで「看護学関係」1,628 人(13.4%)、「経済学・経営学・法律学・商学関係」1,211 人(10.0%)、「文学・史学・文化・外国語関係」1,120 人(9.2%)、「医学・歯学・薬学関係」917 人(7.6%)、「教育学・保育関係」910 人(7.5%)、の順になっている。 ※「無回答」75 人(0.6%)

興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学·歯学·薬学関係	917	7.6
2	看護学関係	1,628	13.4
3	リハビリテーション関係	379	3.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	309	2.6
5	社会学·社会福祉学関係	209	1.7
6	健康・スポーツ・体育学関係	552	4.6
7	文学・史学・文化・外国語関係	1,120	9.2
8	哲学·宗教学·心理学関係	267	2.2
9	経済学·経営学·法律学·商学関係	1,211	10.0
10	理学·工学·生命科学関係	1,636	13.5
11	情報関係	505	4.2
12	建築関係	484	4.0
13	農学·獣医学関係	352	2.9
14	家政学関係(被服・住居)	71	0.6
15	食物学·栄養学関係	483	4.0
16	教育学•保育関係	910	7.5
17	芸術学関係	479	4.0
18	その他	526	4.3
	無回答	75	0.6
	N (%ベース)	12,113	100



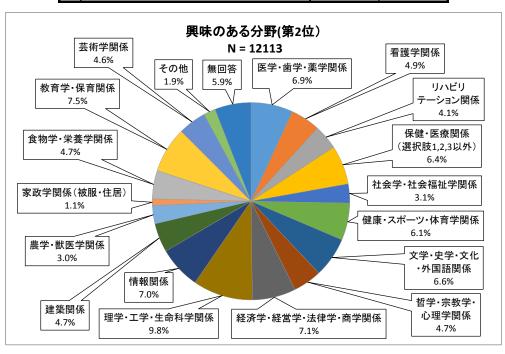
3-2 興味のある分野 (第2位) について

進学を希望する12,113人に、興味のある分野(第2位)について調査した。

その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が1,189 人(9.8%)と最も多く、次いで「教育学・保育関係」907 人(7.5%)、「経済学・経営学・法律学・商学関係」865 人(7.1%)、「情報関係」845 人(7.0%)、「医学・歯学・薬学関係」833 人(6.9%)、「文学・史学・文化・外国語関係」795 人(6.6%)、「保健・医療関係(選択肢1,2,3 以外)」774 人(6.4%)、「健康・スポーツ・体育学関係」737 人(6.1%)の順になっている。 ※「無回答」719 人(5.9%)

興味のある分野(第2位	興味()ある	分野(第2位
-------------	-----	-----	-----	-----

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学·歯学·薬学関係	833	6.9
2	看護学関係	589	4.9
3	リハビリテーション関係	491	4.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	774	6.4
5	社会学·社会福祉学関係	379	3.1
6	健康・スポーツ・体育学関係	737	6.1
7	文学・史学・文化・外国語関係	795	6.6
8	哲学·宗教学·心理学関係	568	4.7
9	経済学·経営学·法律学·商学関係	865	7.1
10	理学·工学·生命科学関係	1,189	9.8
11	情報関係	845	7.0
12	建築関係	573	4.7
13	農学・獣医学関係	362	3.0
14	家政学関係(被服・住居)	131	1.1
15	食物学•栄養学関係	564	4.7
16	教育学•保育関係	907	7.5
17	芸術学関係	558	4.6
18	その他	234	1.9
	無回答	719	5.9
	N (%^-X)	12,113	100

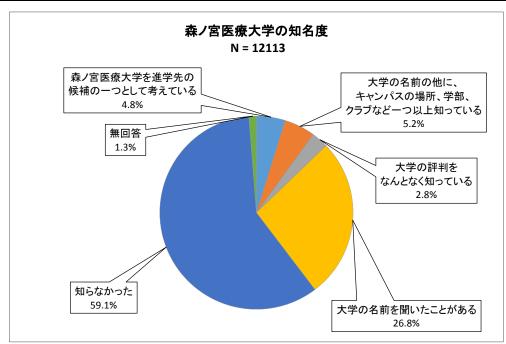


(4) 森ノ宮医療大学の知名度について

進学を希望する 12,113 人に、森ノ宮医療大学の知名度について調査した。その結果は、「知らなかった」が 7,157 人 (59.1%) と最も多く、次いで「大学の名前を聞いたことがある」が 3,252 人 (26.8%)、「大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている」626 人 (5.2%)、「森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている」584 人 (4.8%)、「大学の評判をなんとなく知っている」341 人 (2.8%) の順になっている。 ※「無回答」153 人 (1.3%)

森ノ宮医療大学の知名度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている	584	4.8
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている	626	5.2
3	大学の評判をなんとなく知っている	341	2.8
4	大学の名前を聞いたことがある	3,252	26.8
5	知らなかった	7,157	59.1
	無回答	153	1.3
	N (%^-\(\text{\chi}\))	12,113	100

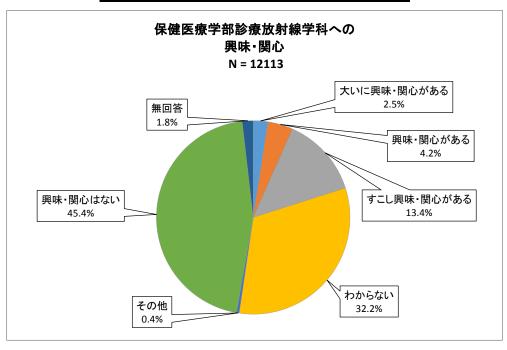


(5) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への興味・関心について

進学を希望する 12,113 人のうち、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 299 人 (2.5%) である。また、「興味・関心がある」507 人 (4.2%)、「すこし興味・関心がある」1,627 人 (13.4%) との回答があり、「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」の合計 2,433 人 (20.1%) が森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科に興味を示している。 ※「無回答」221 人 (1.8%)

保健医療学部診療放射線学科への興味・関心

		47 X ()()X ()		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	
1	大いに興味・関心がある	299	2.5	
2	興味・関心がある	507	4.2	
3	すこし興味・関心がある	1,627	13.4	
4	わからない	3,905	32.2	
5	その他	54	0.4	
6	興味・関心はない	5,500	45.4	
	無回答	221	1.8	
	N (%ベース)	12,113	100	

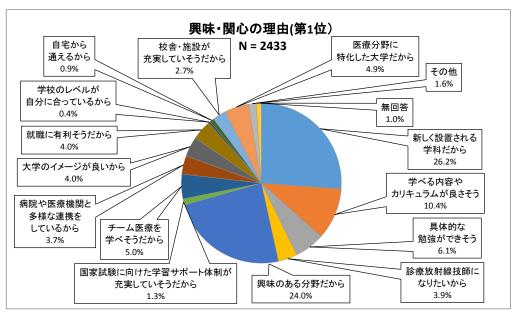


- (6) 興味・関心の理由について
- 6-1 興味・関心の理由(第1位)について
- 「(5) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への興味・関心について」にて森ノ宮 医療大学保健医療学部診療放射線学科に興味・関心を示した 2,433 人に、興味・関心の理由 (第1位)について調査した。

その結果、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「新しく設置される学科だから」が637人(26.2%)と最も多く、次いで「興味のある分野だから」584人(24.0%)、「学べる内容やカリキュラムが良さそう」254人(10.4%)、「具体的な勉強ができそう」148人(6.1%)、「チーム医療を学べそうだから」121 人(5.0%)の順になっている。 ※「無回答」25 人(1.0%)

興味・関心の理由(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	637	26.2
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	254	10.4
3	具体的な勉強ができそう	148	6.1
4	診療放射線技師になりたいから	94	3.9
5	興味のある分野だから	584	24.0
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	31	1.3
7	チーム医療を学べそうだから	121	5.0
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	90	3.7
9	大学のイメージが良いから	98	4.0
10	就職に有利そうだから	98	4.0
11	学校のレベルが自分に合っているから	9	0.4
12	自宅から通えるから	21	0.9
13	校舎・施設が充実していそうだから	66	2.7
14	医療分野に特化した大学だから	119	4.9
15	その他	38	1.6
	無回答	25	1.0
	N (%^*-\(\chi\)	2,433	100



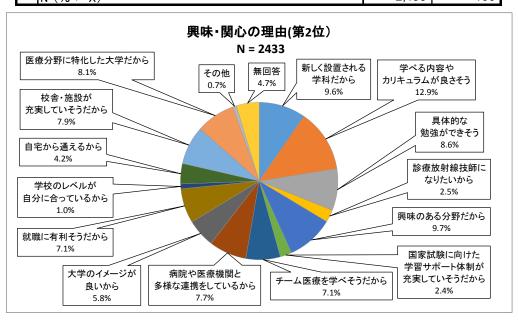
6-2 興味・関心の理由(第2位)について

「(5) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への興味・関心について」にて森ノ宮 医療大学保健医療学部診療放射線学科に興味・関心を示した 2,433 人に、興味・関心の理由 (第2位)について調査した。

その結果、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「学べる内容やカリキュラムが良さそう」が 313 人 (12.9%) と最も多く、次いで「興味のある分野だから」235 人 (9.7%)、「新しく設置される学科だから」234 人 (9.6%)、「具体的な勉強ができそう」209 人 (8.6%)、「医療分野に特化した大学だから」196 人 (8.1%)、「校舎・施設が充実していそうだから」193 人 (7.9%)、「病院や医療機関と多様な連携をしているから」188 人 (7.7%)、「就職に有利そうだから」173 人 (7.1%)、「チーム医療を学べそうだから」172 人 (7.1%)、「大学のイメージが良いから」142 人 (5.8%)の順になっている。 ※「無回答」114 人 (4.7%)

興味・関心の理由(第2位)

	关外 因1002年(第2日)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	234	9.6
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	313	12.9
3	具体的な勉強ができそう	209	8.6
4	診療放射線技師になりたいから	62	2.5
5	興味のある分野だから	235	9.7
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	58	2.4
7	チーム医療を学べそうだから	172	7.1
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	188	7.7
9	大学のイメージが良いから	142	5.8
10	就職に有利そうだから	173	7.1
11	学校のレベルが自分に合っているから	24	1.0
12	自宅から通えるから	102	4.2
13	校舎・施設が充実していそうだから	193	7.9
14	医療分野に特化した大学だから	196	8.1
15	その他	18	0.7
	無回答	114	4.7
	N (%ベース)	2,433	100



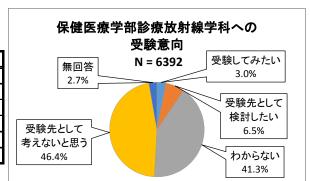
(7) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について

進学を希望する 12,113 人のうち、「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」、「すこし興味・関心がある」、「わからない」、「その他」と回答した 6,392 人に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について調査した。

その結果は、「受験してみたい」193 人 (3.0%)、「受験先として検討したい」415 人 (6.5%) となり、合計 608 人 (9.5%) が森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への 受験意向を示している。 ※「無回答」175 人 (2.7%)

ᄱᄻᇎᇠᄽᇷᇲᇠ	+1- 61-46 24 4시	不可吸去亡
保健医療学部診療	放射線子科へ	・いて缺息回

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験してみたい	193	3.0
2	受験先として検討したい	415	6.5
3	わからない	2,642	41.3
4	受験先として考えないと思う	2,967	46.4
	無回答	175	2.7
	N (%ベース)	6,392	100



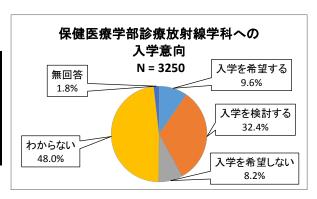
(8) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向について

「(7) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について」にて、森ノ宮 医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向を示した 608 人と、「わからない」と回 答した 2,642 人、合計 3,250 人に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科を受験し、 合格した場合の入学意向について調査した。

その結果は、「入学を希望する」が312人(9.6%)、「入学を検討する」が1,054人(32.4%)となり、合計 1,366 人(42.0%)が森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向を示している。 ※「無回答」59人(1.8%)

保健医療学部診療放射線学科への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	312	9.6
2	入学を検討する	1,054	32.4
3	入学を希望しない	265	8.2
4	わからない	1,560	48.0
	無回答	59	1.8
	N (%ベース)	3,250	100



3. 調査結果のまとめ

「(7) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について」と、「(8) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向について」の調査結果をクロス集計した結果は下表である。

_受験意向 ×入学意向							
		受験意向					
	上段:度数 下段:%	合計	受験してみ たい	受験先として検討したい	わからない		
	 全体	3,250	193	415	2,642		
	土妆	100.0	5.9	12.8	81.3		
	3 尚大 冬 胡十7	312	122	66	124		
	入学を希望する	100.0	39.1	21.2	39.7		
	入学を検討する	1,054	45	276	733		
2 尚辛白		100.0	4.3	26.2	69.5		
入学意向	入学を希望しない	265	7	18	240		
		100.0	2.6	6.8	90.6		
	to to 0 + 1 1 1	1,560	17	50	1,493		
	わからない	100.0	1.1	3.2	95.7		
	無同效	59	2	5	52		
	無回答	100.0	3.4	8.5	88.1		

上記の表から森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科を「受験してみたい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生は 122 人となり、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の入学定員 80 人に対して約 1.52 倍の入学意向を実数にて確保したといえる。

また、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科を「受験してみたい」または「受験先として検討したい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生は合計 188 人となり、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の入学定員 80 人に対し、2.35 倍の入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外からの高校生の進学も考えられることから、 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるも のと考える。 調査票

森ノ宮医療大学 保健医療学部 診療放射線学科(仮称)の設置に係るアンケート調査

して 後(ノ宮医療大学では、2020 年 4 月を目処に、保健医療学部 診療放射線学科(仮称)の新規設置 ております。このアンケート調査は、その計画の基礎資料にするため、 <u>高校 2 年生のみなさん</u> の進路等についてお聞きするものです。ご協力をお願いいたします。 のアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。 答は、該当する番号を回答欄の □ の中へ直接記入してください。	
■部 • E	ノ宮医療大学において設置を計画している保健医療学部 診療放射線学科 (仮称) について	ंड.
	[あなたに関することについてお答えください]	
-	あなたの学年をおたずねします。 高校2年生 2. その他()	【回答欄】
問っ	あなたの性別についておたずねします。	
	男子 2. 女子	
問3	あなたのお住まい(現住所)についておたずねします。	
1.	大阪府 3. 京都府 5. 奈良県 7. その他() 滋賀県 4. 兵庫県 6. 和歌山県	
	[卒業後の進路についてお答えください]	
問 4.	あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から <u>1 つだけ</u> 選んでくださ	(l).
1	大学進学	
2.	短期大学進学 1~3 を選ばれた方は 問 5 へお進みください。	
	専門字校進字 4、5 を選ばれた方は問 11へお進みください。 就職	
	その他(
問 5.	あなたは進学先(大学、短期大学、専門学校)で学ぶ分野として、どの分野に興味を持ずか。次の中からあてはまるものを <u>第2位まで</u> 選んでください。回答後は <u>問6へ</u> お進みく	うっていま (ださい。
	医学・歯学・薬学関係 10. 理学・工学・生命科学関係	
	看護学関係 11. 情報関係 第1 年 11. 情報報報報 第1 年 11. 情報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	立
	リハビリテーション関係 12. 建築関係 保健・医療関係 (選択肢 1,23 以外) 13. 農学・獣医学関係 第 2 / 第 2 / 第 3 / 第	-
	保健・医療関係 (選択肢 1,23 以外) 13. 農学・獣医学関係 第2 f 社会学・社会福祉学関係 14. 家政学関係 (被服・住居)	
	健康・スポーツ・体育学関係 15. 食物学・栄養学関係	
	文学・史学・文化・外国語関係 16. 教育学・保育関係	
	哲学・宗教学・心理学関係 17. 芸術学関係	190
9.	経済学・経営学・法律学・商学関係 18. その他(具体的に)

次のページへお進みください

	ここからは <u>保健医療学部 診療放射線学科(仮称)の概要(リーフレット)</u> と、 類似する大学・学部・学科一覧をご覧いただいた上でお答えください。
問6.	あなたは森ノ宮医療大学を知っていますか。次の中から <u>1 つだけ</u> 選んでください。
	森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている 大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている 大学の評判をなんとなく知っている 大学の名前を聞いたことがある 知らなかった
問7.	あなたは森ノ宮医療大学の保健医療学部 診療放射線学科(仮称)について、どのように考えますか。 次の中から <u>1 つだけ</u> 選んでください。
1. 2. 3. 4. 5. 6.	大いに興味・関心がある 1~3 を選ばれた方は 問 8 へお進みください。 剪こし興味・関心がある 4、5 を選ばれた方は 問 9 へお進みください。 わからない 6 を選ばれた方は問 11へお進みください。 興味・関心はない)
問8.	問 7 で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から <u>第2位まで</u> 選んでください。回答後は <u>問 9 へ</u> お進みください。
1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	学べる内容やカリキュラムが良さそう 10. 就職に有利そうだから 第1位 具体的な勉強ができそう 11. 学校のレベルが自分に合っているから 診療放射線技師になりたいから 12. 自宅から通えるから 第2位 興味のある分野だから 13. 校舎・施設が充実していそうだから 国家試験に向けた学習サポート体制が 14. 医療分野に特化した大学だから 充実していそうだから 15. その他 チーム医療を学べそうだから 具体的に:
問9.	あなたは森ノ宮医療大学の保健医療学部 診療放射線学科 (仮称) を受験したいと思いますか。次の中から <u>1 つだけ</u> 選んでください。
1. 2. 3. 4.	わからない 4 を選ばれた方は問 11へお進みください。
問 10). 森ノ宮医療大学の保健医療学部 診療放射線学科 (仮称) を受験し合格した場合の入学意向について、次の中から <u>1 つだけ</u> 選んでください。
2.	入学を希望しない
問 11	・森ノ宮医療大学の新学科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

◆ご協力ありがとうございました。

類似する大学・学部・学科一覧

《森ノ宮医療大学が設置を予定している学科》 保健医療学部 診療放射線学科(仮称)

所在地	区分	大学名	学部名	学科名	入学 定員	入学金	授業料	施設設備費等	諸会費	合計
大阪	私立	大阪物療大学	保健医療学部	診療放射線技術学科	80	300,000	1,580,000	0	40,000	1,920,000
京都	私立	京都医療科学大学	医療科学部	放射線技術学科	80	250,000	900,000	670,000	102,500	1,922,500
三重	私立	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部	放射線技術科学科	100	200,000	1,300,000	0	103,370	1,603,370
岡山	私立	川崎医療福祉大学	医療技術学部	診療放射線技術学科	60	300,000	1,000,000	400,000	60,000	1,760,000
岐阜	私立	岐阜医療科学大学	保健科学部	放射線技術学科	90	250,000	700,000	750,000	78,000	1,778,000
大阪	私立	森ノ宮医療大学	保健医療学部	診療放射線学科(仮称)	80 (予定)	250,000	900,000	680,000	約129,000	約1,959,000

- 注1) 各大学情報については、公式ウェブサイト等により調査しました。 注2) 各大学の学費については、諸会費などを含んでいない場合があるため、概算として参考にして下さい。 注3) 森ノ宮医療大学の学費等は予定であり、変更する場合があります。

計画概要

2020年4月

(仮称・構想中)

診療放射線学科

Department of Radiological Sciences

誕生予定 入学定員80名(予定)

※構想中であるため、今後、名称・内容・定員などは変更する場合があります。



想いのすべてを、医療の力に。



2020年4月、7番目の学科

「診療放射線学科」を開設(仮称・構想中)。

チーム医療の学びがさらに拡充します。



"関西最大級の医療系総合大学"森ノ宮医療大学だからできる 「医療教育」

「チーム医療 | の学び

7学科が連携する専門職間連携教育 -IPE(Interprofessional Education)-

チーム医療では、多職種が集まる場で他の専門スタッフの話が理解でき、なおかつ自らの専門分野で何ができるかを提案する力が求められます。本学では医療系総合大学ならではの環境を活かし、学科混成のグループを編成し、症例(病気やケガの例)をテーマに「ケースカンファレンス(症例検討会)」を行います。他者の意見を聞き、自らの考えを明確に伝える力を養うとともに、チーム内での自身の役割を理解しながら、患者さんへの最善のアプローチ方法について考えていきます。



豊富な実習機関

大学全体で、570施設の実習先を確保(2018年4月現在)

地域の基幹病院と強固な連携体制を築き、 大阪府をはじめとした関西エリアを中心に数多くの実習先を確保。多様な分野での実習を可能とし、さまざまなフィールドで活躍できる医療人を育成します。診療放射線学科(仮称)では、2018年7月時点で大阪府・兵庫県・京都府・奈良県に計37施設を確保しています。



大阪急性期・総合医療センター(実習先の一例

経験豊かな教員陣

「臨床力」と「研究力」に優れた医療分野のプロフェッショナル

医療現場の第一線で活躍してきた教員や最 先端の研究で医療界をリードする教員が多数 在籍。教科書だけでは決して身につかない実 践重視の精度の高い技術指導に加えて、卒業 研究やゼミでも、教員がこれまで培ってきた技 術・知識を学生へ余すことなく伝えます。





診療放射線技師とは

■ 放射線を扱う専門家

医師の指示の下に、放射線を人体に対して照射するのが診療放射線技師です。X線CT、X線TV、PET、SPECT、MRI、USなどの放射線機器で人体を撮影し、診断に必要な画像情報を医師へ提供することが主な仕事。また放射線を照射してがん治療を行う専門職でもあります。医療機器を扱う技術、放射線の取り扱いに関する法令の理解と遵守など、高度な専門性を持つスペシャリストです。

■ チーム医療に欠かせない存在

診療放射線技師が提供する放射線画像や1次読影レポートが、病気の診断や 治療方針を決定するための重要な情報になるため、チーム医療において大きな 役割を担います。他の医療職を理解していることや医療者間でのコミュニケー ション力が求められます。

■「安全管理」で高度医療を支える

放射線は適切に扱うことによって患者さんの診断や治療に効果を発揮します。 放射線の取り扱いは法律により厳重な管理が義務づけられているため、患者さん だけでなく医療者の被ばく線量や放射線の管理も大切な業務のひとつです。

多彩に広がる活躍のフィールド

一般的に病院等の医療機関への就職が多いですが、そのほかにも独立行政法人や研究機関、 医療機器メーカーなどで幅広く活躍することができます。



女性技師へのニーズが拡大

近年、女性特有の病気である"乳がん"の早期発見に、診療放射線技師による「マンモグラフィー検診」が有効とされ、検診率が増加傾向にあります。女性が安心して検診を受けられるよう、女性の診療放射線技師が必要とされています。しかし、女性の診療放射線技師が少ないという背景もあり、需要が高まっています。

学科の特色

最新の機器を備えた充実した環境で、チーム医療を支える診療放射線技師をめざすことができます。

● 学生全員が「診療放射線技師」をめざすカリキュラム

診療放射線技師国家試験受験資格を取得するために必要なすべての科目を"必修科目"として配置し、全学生が卒業時に国家試験受験資格を得られます。単に技術者を育てるのではなく、医療現場でチーム医療の一員として高度化・複雑化した放射線機器のニーズに対応し、豊かな人間性と創造性に基づいた科学的思考力と適切な判断力を有する医療人を育てます。

●「診断」と「治療」ができる、臨床力の高い人材の育成

診療放射線技師は、放射線を用いて「診断」と「治療」を実践するスペシャリストです。そのため本学科では、徹底した「基礎医学」教育により診療に必要な人体の構造や機能について時間をかけてじっくりと学びます。一方、放射線に関しては「放射線物理学」などの専門基礎分野から「画像検査技術学」「放射線治療技術学」などの専門分野へ段階的に進みます。また、「医療安全」に関する科目も配置しており、放射線診療を実際に行うために必要な知識と技術を身につけます。

□コミュニケーション能力を持ち、チームの一員として協働できる医療人をめざす

診療放射線技師から医師へ提供される画像が治療方針の決定につながるため、チーム医療において重要な役割を担います。本学では、全学科の学生が集い、ひとつの症例に対してそれぞれの分野の立場から治療やケアについて検討するグループワーク(ケースカンファレンス)を行うなど、実践的にチーム医療を身につけられるカリキュラムを導入しています。

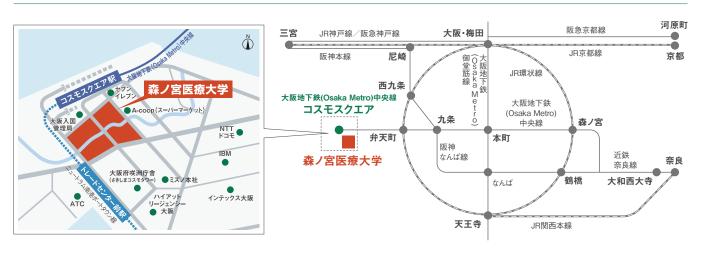


診療放射線学科(仮称)の学舎となる新棟を建設予定!

診療放射線学科(仮称)の設置に合わせて、本学5つ目となる棟を新たに建設予定です。 各実習室や講義室はもちろんのこと、カフェテリアやウッドデッキなど、 キャンパスライフを彩るスペースの数々も設ける予定となっていますので、ぜひご期待ください。 ウエストポート FREE イースト ポート Wi-Fi 新棟建設予定地 メディカフェ グリーンスクエア キャナルポート/メディカル・アイ(図書館)

ACCESS 梅田・なんば・天王寺エリアから約30分の快適アクセス

※イラストはイメージです



大阪地下鉄 (Osaka Metro) 中央線 「コスモスクエア」駅2番出口より

分(南へ約90m)

主要ターミナル駅

「大阪(梅田)」「なんば」「天王寺」から

30分以内

「神戸(三宮)」「京都」「奈良」 各方面から 約 6 0 分

想いのすべてを、医療の力に。



[保健医療学部] ■看護学科 ■作業療法学科 ■臨床工学科

■理学療法学科 ■臨床検査学科 ■鍼灸学科

[大学院] 保健医療学研究科 ■保健医療学車攻 修十課程 ■医療科学専攻 博士後期課程

[専攻科] 助産学専攻科[1年課程]



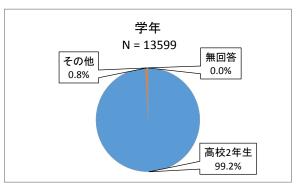
グリーンスクエア (複合型スポーツ施設)

資料請求・お問い合わせは ((0120-68-8908

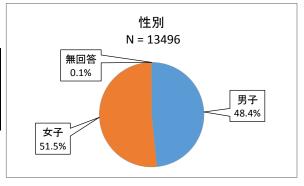
〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16 [TEL] 06-6616-6911 [E-mail] univ@morinomiya-u.ac.jp

単純集計表

学年 No. カテゴリ 件数 (全体)% 13,496 99.2 高校2年生 8.0 103 その他 0.0 無回答 0 100 13,599 N (%ベース)

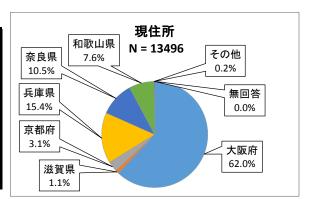


	性別		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男子	6,532	48.4
2	女子	6,955	51.5
	無回答	9	0.1
	N (%ベース)	13,496	100



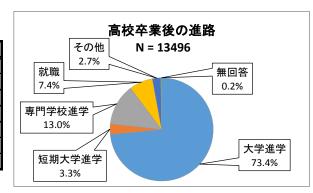
現住所

	况任別		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大阪府	8,367	62.0
2	滋賀県	146	1.1
3	京都府	425	3.1
4	兵庫県	2,082	15.4
5	奈良県	1,418	10.5
6	和歌山県	1,029	7.6
7	その他	25	0.2
	無回答	4	0.0
	N (%ベース)	13,496	100



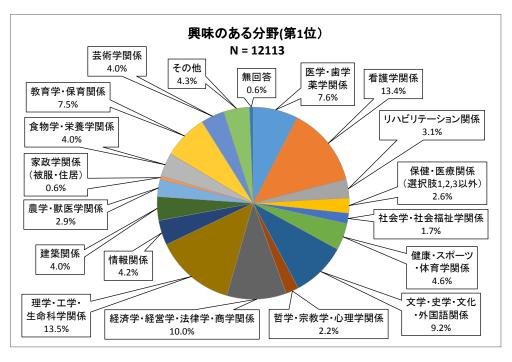
卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	9,911	73.4
2	短期大学進学	443	3.3
3	専門学校進学	1,759	13.0
4	就職	992	7.4
5	その他	358	2.7
	無回答	33	0.2
	N (%ベース)	13,496	100



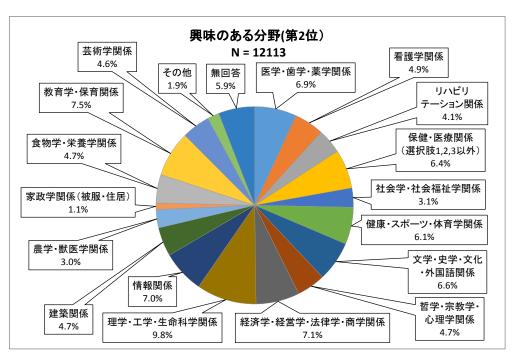
興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学·歯学·薬学関係	917	7.6
2	看護学関係	1,628	13.4
3	リハビリテーション関係	379	3.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	309	2.6
5	社会学•社会福祉学関係	209	1.7
6	健康・スポーツ・体育学関係	552	4.6
7	文学・史学・文化・外国語関係	1,120	9.2
8	哲学·宗教学·心理学関係	267	2.2
9	経済学・経営学・法律学・商学関係	1,211	10.0
10	理学·工学·生命科学関係	1,636	13.5
11	情報関係	505	4.2
12	建築関係	484	4.0
13	農学・獣医学関係	352	2.9
14	家政学関係(被服・住居)	71	0.6
15	食物学•栄養学関係	483	4.0
16	教育学•保育関係	910	7.5
17	芸術学関係	479	4.0
18	その他	526	4.3
	無回答	75	0.6
	N (%ベース)	12,113	100



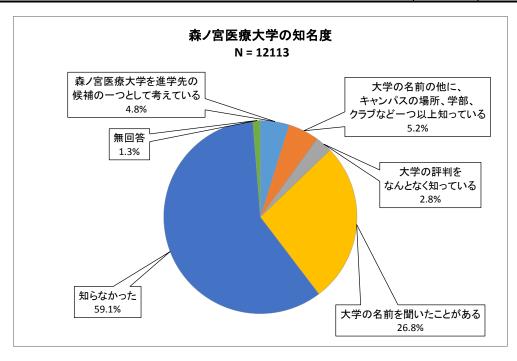
興味のある分野(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学・歯学・薬学関係	833	6.9
2	看護学関係	589	4.9
3	リハビリテーション関係	491	4.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	774	6.4
5	社会学·社会福祉学関係	379	3.1
6	健康・スポーツ・体育学関係	737	6.1
7	文学・史学・文化・外国語関係	795	6.6
8	哲学·宗教学·心理学関係	568	4.7
9	経済学·経営学·法律学·商学関係	865	7.1
10	理学·工学·生命科学関係	1,189	9.8
11	情報関係	845	7.0
12	建築関係	573	4.7
13	農学・獣医学関係	362	3.0
14	家政学関係(被服・住居)	131	1.1
15	食物学•栄養学関係	564	4.7
16	教育学•保育関係	907	7.5
17	芸術学関係	558	4.6
18	その他	234	1.9
	無回答	719	5.9
	N (%ベース)	12,113	100



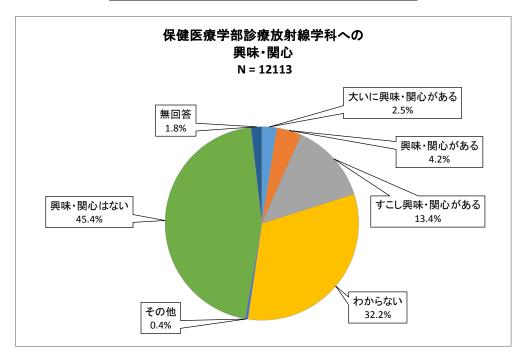
森ノ宮医療大学の知名度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている	584	4.8
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている	626	5.2
3	大学の評判をなんとなく知っている	341	2.8
4	大学の名前を聞いたことがある	3,252	26.8
5	知らなかった	7,157	59.1
	無回答	153	1.3
	N (%ベース)	12,113	100



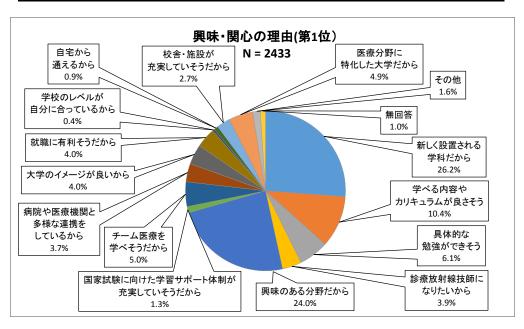
保健医療学部診療放射線学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	299	2.5
2	興味・関心がある	507	4.2
3	すこし興味・関心がある	1,627	13.4
4	わからない	3,905	32.2
5	その他	54	0.4
6	興味・関心はない	5,500	45.4
	無回答	221	1.8
	N (%ベース)	12,113	100



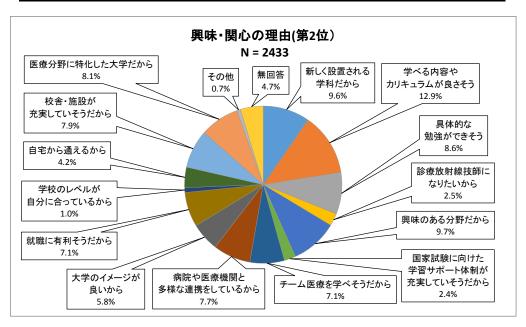
興味・関心の理由(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	637	26.2
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	254	10.4
3	具体的な勉強ができそう	148	6.1
4	診療放射線技師になりたいから	94	3.9
5	興味のある分野だから	584	24.0
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	31	1.3
7	チーム医療を学べそうだから	121	5.0
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	90	3.7
9	大学のイメージが良いから	98	4.0
10	就職に有利そうだから	98	4.0
11	学校のレベルが自分に合っているから	9	0.4
12	自宅から通えるから	21	0.9
13	校舎・施設が充実していそうだから	66	2.7
14	医療分野に特化した大学だから	119	4.9
15	その他	38	1.6
	無回答	25	1.0
	N (%^-X)	2,433	100



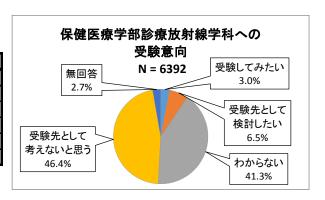
興味・関心の理由(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	234	9.6
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	313	12.9
3	具体的な勉強ができそう	209	8.6
4	診療放射線技師になりたいから	62	2.5
5	興味のある分野だから	235	9.7
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	58	2.4
7	チーム医療を学べそうだから	172	7.1
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	188	7.7
9	大学のイメージが良いから	142	5.8
10	就職に有利そうだから	173	7.1
11	学校のレベルが自分に合っているから	24	1.0
12	自宅から通えるから	102	4.2
13	校舎・施設が充実していそうだから	193	7.9
14	医療分野に特化した大学だから	196	8.1
15	その他	18	0.7
	無回答	114	4.7
	N (%^-\lambda)	2,433	100



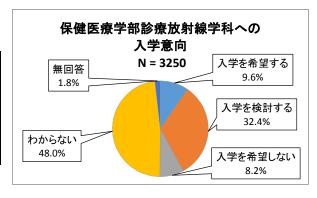
保健医療学部診療放射線学科への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験してみたい	193	3.0
2	受験先として検討したい	415	6.5
3	わからない	2,642	41.3
4	受験先として考えないと思う	2,967	46.4
	無回答	175	2.7
	N (%ベース)	6,392	100



保健医療学部診療放射線学科への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	312	9.6
2	入学を検討する	1,054	32.4
3	入学を希望しない	265	8.2
4	わからない	1,560	48.0
	無回答	59	1.8
	N (%ベース)	3,250	100



競合大学学納金一覧(診療放射線技師養成校)

所在地	区分	大学名	学部名	学科名	入学 定員	入学金	授業料(A)	施設設備 費等(B)	合計(A+B)
大阪府	私立	大阪物療大学	保健医療学部	診療放射線技術学科	射線技術学科 80 ¥300,00		¥1,580,000	¥0	¥1,580,000
京都府	私立	京都医療科学大学	医療科学部	放射線技術学科	80	¥250,000	¥900,000	¥670,000	¥1,570,000
三重県	私立	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部	放射線技術科学科	100	¥200,000	¥1,300,000	¥0	¥1,300,000
		森/宮医療大学	保健医療学部	診療放射線学科 (仮称)	80	¥250,000	¥1,000,000	¥550,000	¥1,550,000
				鍼灸学科	60	¥250,000	¥1,000,000	¥550,000	¥1,550,000
				理学療法学科	70	¥250,000	¥1,000,000	¥550,000	¥1,550,000
大阪府	私立			看護学科	90	¥250,000	¥1,000,000	¥550,000	¥1,550,000
				作業療法学科	40	¥250,000	¥1,000,000	¥550,000	¥1,550,000
				臨床検査学科	60	¥250,000	¥1,000,000	¥550,000	¥1,550,000
▽ タ + 尚				臨床工学科	60	¥250,000	¥1,000,000	¥550,000	¥1,550,000

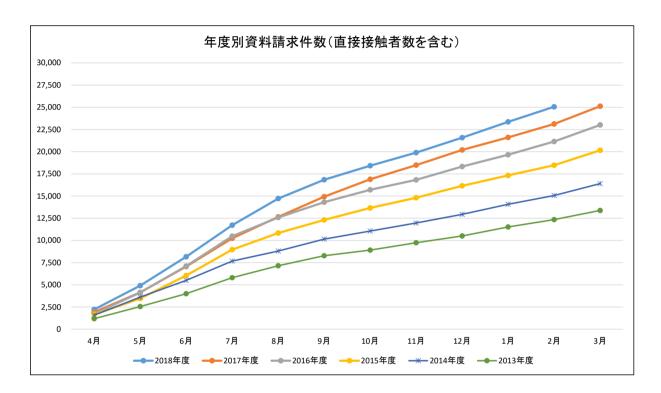
※各大学情報については、各大学公式ウェブサイトより調査

資料9

森ノ宮医療大学 年度別資料請求数(直接接触者数を含む)

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2018年度	2,223	4,902	8,161	11,709	14,715	16,830	18,420	19,891	21,571	23,352	25,056	\setminus	25,056
	2017年度	1,926	4,143	7,048	10,238	12,653	14,920	16,890	18,478	20,191	21,602	23,114	25,119	25,119
月別累積請求数	2016年度	1,741	4,130	7,105	10,478	12,578	14,307	15,704	16,816	18,324	19,659	21,147	23,005	23,005
(件)	2015年度	1,649	3,459	6,044	8,961	10,837	12,311	13,657	14,814	16,149	17,329	18,470	20,153	20,153
	2014年度	1,579	3,619	5,502	7,668	8,808	10,143	11,058	11,960	12,935	14,065	15,057	16,401	16,401
	2013年度	1,186	2,545	3,999	5,802	7,150	8,277	8,911	9,741	10,507	11,517	12,348	13,378	13,378

※2018年度の数字は、2019年2月末日現在のもの

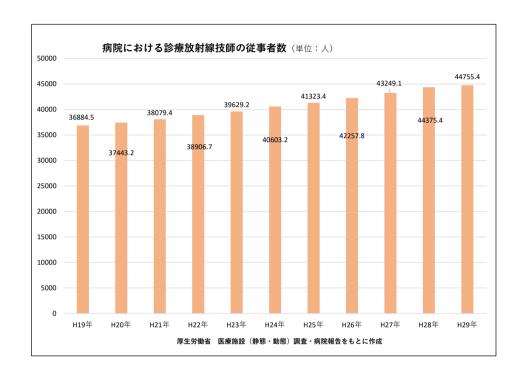


平成31年3月1日現在

(単位:人)

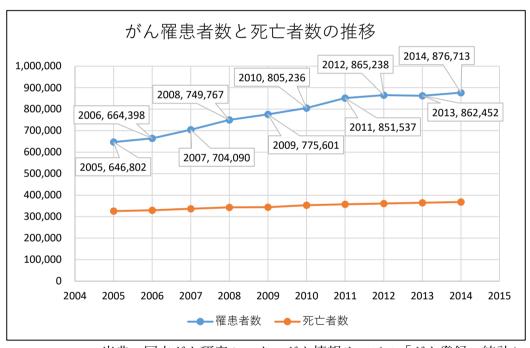
	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
診療放射線技師	36884.5	37443.2	38079.4	38906.7	39629.2	40603.2	41323.4	42257.8	43249.1	44375.4	44755.4

厚生労働省 医療施設(静態・動態)調査・病院報告をもとに作成



がん罹患者数と死亡者数の推移

	罹患者数	死亡者数
2005	646,802	325,941
2006	664,398	329,314
2007	704,090	336,468
2008	749,767	342,963
2009	775,601	344,105
2010	805,236	353,499
2011	851,537	357,305
2012	865,238	360,963
2013	862,452	364,872
2014	876,713	368,103



出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

近畿の診療放射線技師養成校一覧

(平成30年5月29日現在)

全国診療放射線技師教育施設協議会添付資料を基に作成

番号	都道府県	設置者	種別	名称	郵便番号	住所	定員
1	三重県	私立	大学	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 放射線技術学科	510-0293	三重県鈴鹿市岸岡町1001-1	100名
2	京都府	私立	大学	京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科	622-0041	京都府南丹市園部町小山東町今北1-3	80名
3	大阪府	国立	大学	大阪大学医学部保健学科 診療放射線技術科学専攻	565-0871	大阪府吹田市山田丘1-7	40名
4	大阪府	私立	専門	大阪行岡医療専門学校長柄校 放射線科	531-0061	大阪府大阪市北区長柄西1丁目7番53号	50名
5	大阪府	私立	専門	清恵会第二医療専門学院	590-0026	大阪府堺市堺区向陵西町4丁目5番9号	60名
6	大阪府	私立	大学	大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科	593-8328	大阪府堺市西区鳳北町3-33	80名
7	兵庫県	私立	専門	神戸総合医療専門学校 診療放射線科	654-0142	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-1-21	80名

近畿2府4県の養成校 7校 (大学4校、専門学校3校)

うち、大阪府の養成校 4校(大学2校、専門学校2校)

森ノ宮医療大学における既設学科の就職状況

(平成30年5月1日現在)

(その他既存の臨床検査学科および作業療法学科においては平成28年度開設のため、データはございません)

	学科		-	平成27年度	Ē			-	平成28年度			平成29年度				
学部		卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者数	就職率 (%)	求人社数
	鍼灸学科	52	39	39	100	277	54	38	38	100	156	46	28	28	100	246
保健医療 学部	理学療法学科	59	46	46	100	714	52	45	45	100	808	56	47	47	100	705
	看護学科	81	72	72	100	428	89	82	82	100	369	87	83	83	100	450
保健医療学部計		192	157	157	100	1419	195	165	165	100	1533	192	158	158	100	1401
合		192	157	157	100	1419	195	165	165	100	1533	192	158	158	100	1401

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の 卒業生に対する病院・医療系企業等の採用意向に関する アンケート調査報告

2019年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の卒業生に対する 病院・医療系企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調查概要

(1) 調査目的

2020年4月に予定している森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の開設に向け、森ノ宮医療大学卒業生の採用実績のある、または卒業生の就職が見込まれる病院・医療系企業等の採用担当者にアンケートを実施し、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の卒業生に対する病院・医療系企業等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

森ノ宮医療大学卒業生の採用実績のある、または卒業生の就職が見込まれる病院・医療 系企業等 3,680 施設の採用担当者にアンケートを実施し、611 件の有効回答があった。

(3) 調査方法

森ノ宮医療大学卒業生の採用実績のある、または卒業生の就職が見込まれる病院・医療系企業等 3,680 施設の採用担当者にアンケート用紙及び森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答については、日本開発構想研究所へ病院・医療系企業等から直接郵送ならびに一部、直接訪問により回収。

集計結果より、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の卒業生に対する 採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 30 年 11 月~平成 31 年 3 月

(5) 有効回収率等

配布数 : 3,680 施設

有効回答数:611件

有効回収率:約16.6%

※森ノ宮医療大学にて設置を構想している保健医療学部診療放射線学科は仮称であるが、 その旨の表示を本文中では省略した。

2. 調査結果

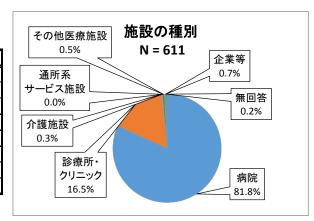
(1) 施設の種別について

施設の種別について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、「病院」が 500 件 (81.8%) と最も多く、次いで「診療所・クリニック」101 件 (16.5%)、「企業等」 4 件 (0.7%)、「その他医療施設」 3 件 (0.5%)、「介護施設」 2 件 (0.3%) の順になっている。

※「無回答」1件(0.2%)

施設の種別	
-------	--

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	500	81.8
2	診療所・クリニック	101	16.5
3	介護施設	2	0.3
4	通所系サービス施設	0	0.0
5	その他医療施設	3	0.5
6	企業等	4	0.7
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100



(2) 施設の所在地について

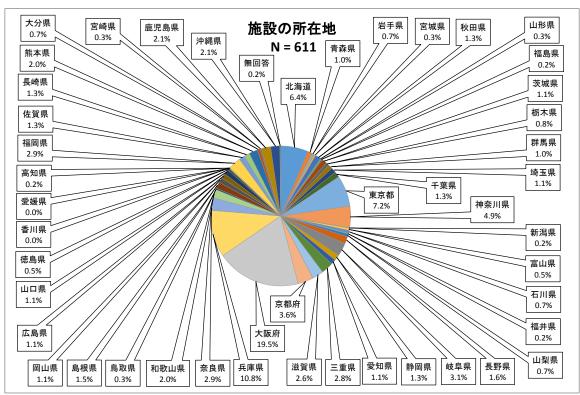
施設の所在地について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、10 件以上の回答を得たものを挙げると、「大阪府」が 119 件 (19.5%) と最も多く、次いで「兵庫県」66 件 (10.8%)、「東京都」44 件 (7.2%)、「北海道」39 件 (6.4%)、「神奈川県」30 件 (4.9%)、「京都府」22 件 (3.6%)、「岐阜県」19 件 (3.1%)、「奈良県」18 件 (2.9%)、「福岡県」18 件 (2.9%)、「三重県」17 件 (2.8%)、「滋賀県」16 件 (2.6%)、「鹿児島県」13 件 (2.1%)、「沖縄県」13 件 (2.1%)、「和歌山県」12 件 (2.0%)、「熊本県」12 件 (2.0%)、「長野県」10 件 (1.6%)の順になっている。 ※「無回答」1 件 (0.2%)

+/-	設の	==	/-	ᅫь
him	=₩ ()) нп.	4+	тпл

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	
1	北海道	39	6.4	
2	青森県	6	1.0	
3	岩手県	4	0.7	
4	宮城県	2	0.3	
5	秋田県	8	1.3	
6	山形県	2	0.3	
7	福島県	1	0.2	
8	茨城県	7	1.1	
9	栃木県	5	0.8	
10	群馬県	6	1.0	
11	埼玉県	7	1.1	
12	千葉県	8	1.3	
13	東京都	44	7.2	
14	神奈川県	30	4.9	
15	新潟県	1	0.2	
16	富山県	3	0.5	
17	石川県	4	0.7	
	·			

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
18	福井県	1	0.2
19	山梨県	4	0.7
20	長野県	10	1.6
21	岐阜県	19	3.1
22	静岡県	8	1.3
23	愛知県	7	1.1
24	三重県	17	2.8
25	滋賀県	16	2.6
26	京都府	22	3.6
27	大阪府	119	19.5
28	兵庫県	66	10.8
29	奈良県	18	2.9
30	和歌山県	12	2.0
31	鳥取県	2	0.3
32	島根県	9	1.5
33	岡山県	7	1.1

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
34	広島県	7	1.1
35	山口県	7	1.1
36	徳島県	3	0.5
37	香川県	0	0.0
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	1	0.2
40	福岡県	18	2.9
41	佐賀県	8	1.3
42	長崎県	8	1.3
43	熊本県	12	2.0
44	大分県	4	0.7
45	宮崎県	2	0.3
46	鹿児島県	13	2.1
47	沖縄県	13	2.1
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100.0
	N (70 ' N)	-	.00.0

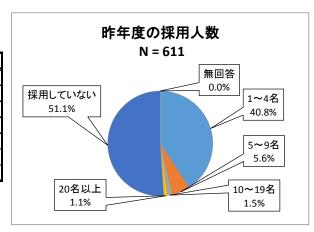


(3) 昨年度の採用人数 (診療放射線技師) について

昨年度の採用人数(診療放射線技師)について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、「採用していない」が 312 件 (51.1%) と最も多く、次いで「 $1\sim4$ 名」 249 件 (40.8%)、「 $5\sim9$ 名」 34 件 (5.6%)、「 $10\sim19$ 名」 9 件 (1.5%)、「20 名以上」 7 件 (1.1%) の順になっている。

昨年度の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1~4名	249	40.8
2	5~9名	34	5.6
3	10~19名	9	1.5
4	20名以上	7	1.1
5	採用していない	312	51.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	611	100



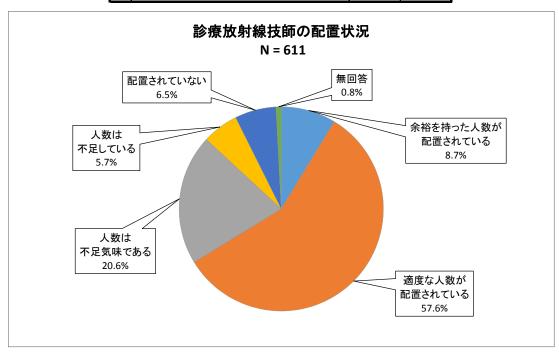
(4) 診療放射線技師の配置状況について

現在の診療放射線技師の配置状況について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、「適度な人数が配置されている」が 352 件 (57.6%) と最も多く、次いで「人数は不足気味である」126 件 (20.6%)、「余裕をもった人数が配置されている」53 件 (8.7%)、「配置されていない」40 件 (6.5%)、「人数は不足している」35 件 (5.7%) の順になっている。※「無回答」5 件 (0.8%)

「余裕をもった人数が配置されている」、「適度な人数が配置されている」、「人数は不足 気味である」、「人数は不足している」と回答した施設数を合算すると 566 施設となり、この 566 施設には診療放射線技師が配置されていることがわかる。

診療放射線技師の配置状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	余裕を持った人数が配置されている	53	8.7
2	適度な人数が配置されている	352	57.6
3	人数は不足気味である	126	20.6
4	人数は不足している	35	5.7
5	配置されていない	40	6.5
	無回答	5	0.8
	N (%ベース)	611	100



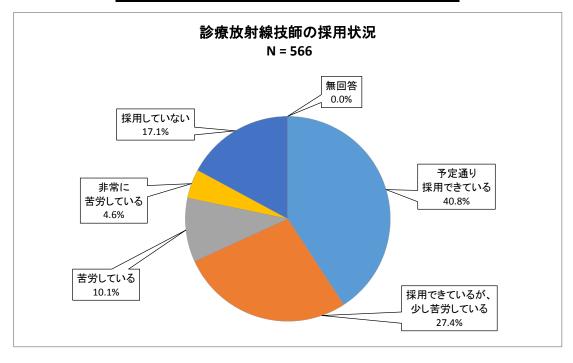
(5) 診療放射線技師の採用状況について

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、現在の採用状況(診療放射線技師)について調査した。

その結果、「予定通り採用できている」が 231 件 (40.8%) と最も多く、次いで「採用できているが、少し苦労している」 155 件 (27.4%)、「採用していない」 97 件 (17.1%)、「苦労している」 57 件 (10.1%)、「非常に苦労している」 26 件 (4.6%) の順になっている。

診療放射線技師の採用状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	予定通り採用できている	231	40.8
2	採用できているが、少し苦労している	155	27.4
3	苦労している	57	10.1
4	非常に苦労している	26	4.6
5	採用していない	97	17.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	566	100



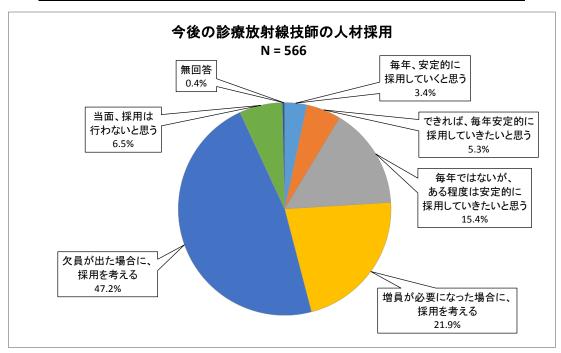
(6) 今後の診療放射線技師の人材採用について

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、今後の採用方針について調査した。

その結果、「欠員が出た場合に、採用を考える」が 267 件 (47.2%) と最も多く、次いで「増員が必要になった場合に、採用を考える」 124 件 (21.9%)、「毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う」 87 件 (15.4%)、「当面、採用は行わないと思う」 37 件 (6.5%)、「できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う」 30 件 (5.3%)、「毎年、安定的に採用していくと思う」 19 件 (3.4%) の順になっている。 ※「無回答」 2 件 (0.4%)

今後の診療放射線技師の人材採用

	/ (X = 1) / (X = 1) X (X = 1 + 1) X / (1		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	19	3.4
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	30	5.3
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	87	15.4
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	124	21.9
5	欠員が出た場合に、採用を考える	267	47.2
6	当面、採用は行わないと思う	37	6.5
	無回答	2	0.4
	N (%ベース)	566	100



(7) 人材を採用する際に重視する点について

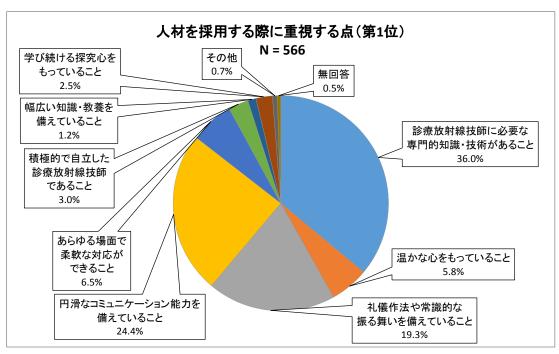
7-1 人材を採用する際に重視する点(第1位)

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、人材を採用する際に重視する点(第1位)について調査した。

その結果は、「診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること」が 204 件 (36.0%) と最も多く、次いで「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」 138 件 (24.4%)、「礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること」 109 件 (19.3%)、「あらゆる場面で柔軟な対応ができること」 37 件 (6.5%)、「温かな心をもっていること」 33 件 (5.8%)、「積極的で自立した診療放射線技師であること」 17 件 (3.0%)、「学び続ける探究心をもっていること」 14 件 (2.5%)、「幅広い知識・教養を備えていること」 7 件 (1.2%)、「その他」 4 件 (0.7%) の順になっている。 ※「無回答」 3 件 (0.5%)

人材を採用する際に重視する点(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	204	36.0
2	温かな心をもっていること	33	5.8
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	109	19.3
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	138	24.4
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	37	6.5
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	17	3.0
7	幅広い知識・教養を備えていること	7	1.2
8	学び続ける探究心をもっていること	14	2.5
9	その他	4	0.7
	無回答	3	0.5
	N (%^-\lambda)	566	100



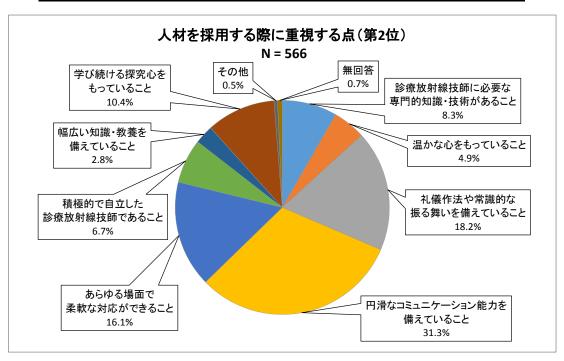
7-2 人材を採用する際に重視する点(第2位)

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、人材を採用する際に重視する点(第2位)について調査した。

その結果は、「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」が 177 件 (31.3%) と最も多く、次いで「礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること」103 件 (18.2%)、「あらゆる場面で柔軟な対応ができること」91 件 (16.1%)、「学び続ける探究心をもっていること」59 件 (10.4%)、「診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること」47 件 (8.3%)、「積極的で自立した診療放射線技師であること」38 件 (6.7%)、「温かな心をもっていること」28 件 (4.9%)、「幅広い知識・教養を備えていること」16 件 (2.8%)、「その他」3 件 (0.5%) の順になっている。 ※「無回答」4 件 (0.7%)

人材を採用する際に重視する点(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	47	8.3
2	温かな心をもっていること	28	4.9
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	103	18.2
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	177	31.3
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	91	16.1
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	38	6.7
7	幅広い知識・教養を備えていること	16	2.8
8	学び続ける探究心をもっていること	59	10.4
9	その他	3	0.5
	無回答	4	0.7
	N (%^-\(\sigma\)	566	100



(8) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の社会的必要性について

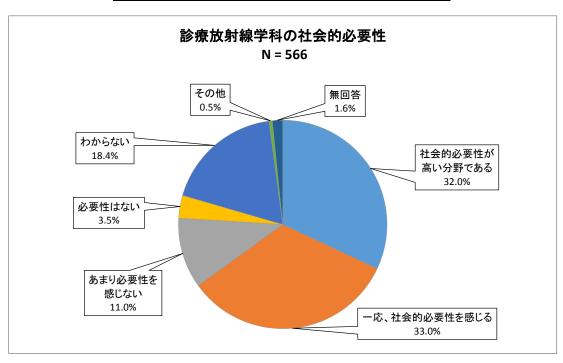
「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の社会的必要性について調査した。

その結果は、「一応、社会的必要性を感じる」が 187 件 (33.0%) と最も多く、次いで「社会的必要性が高い分野である」 181 件 (32.0%)、「わからない」 104 件 (18.4%)、「あまり必要性を感じない」 62 件 (11.0%)、「必要性はない」 20 件 (3.5%)、「その他」 3 件 (0.5%) の順になっている。 ※「無回答」 9 件 (1.6%)

なお、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、368件(65.0%)となっている。

診療放射線学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	181	32.0
2	一応、社会的必要性を感じる	187	33.0
3	あまり必要性を感じない	62	11.0
4	必要性はない	20	3.5
5	わからない	104	18.4
6	その他	3	0.5
	無回答	9	1.6
	N (%^-X)	566	100



(9) 興味のある特徴について

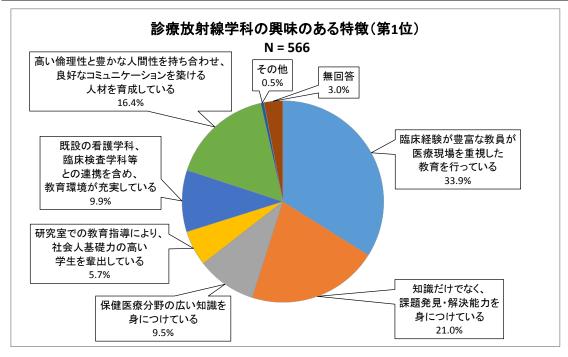
9-1 診療放射線学科の興味のある特徴(第1位)

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の興味のある特徴(第1位)について調査した。

その結果、「臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている」が 192 件 (33.9%) と最も多く、次いで「知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている」 119 件 (21.0%)、「高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している」 93 件 (16.4%)、「既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している」 56件 (9.9%)、「保健医療分野の広い知識を身につけている」 54件 (9.5%)、「研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している」 32 件 (5.7%)、「その他」 3 件 (0.5%)の順になっている。 ※「無回答」 17 件 (3.0%)

診療放射線学科の興味のある特徴(第1位)

_	的从从外外上下50天外5000万以(另下至)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	192	33.9
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	119	21.0
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	54	9.5
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	32	5.7
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	56	9.9
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	93	16.4
7	その他	3	0.5
	無回答	17	3.0
	N (%^-λ)	566	100



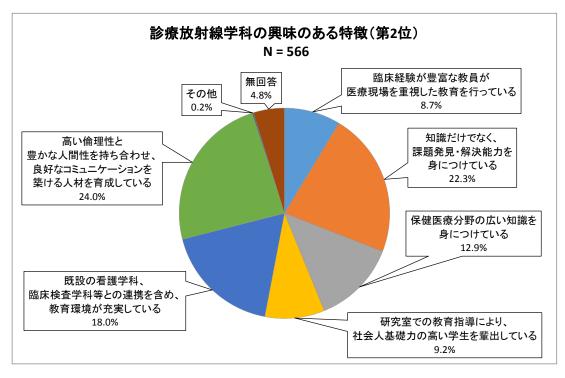
9-2 診療放射線学科の興味のある特徴(第2位)

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の興味のある特徴(第2位)について調査した。

その結果、「高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している」が 136 件 (24.0%) と最も多く、次いで「知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている」126 件 (22.3%)、「既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している。」102 件 (18.0%)、「保健医療分野の広い知識を身につけている」73 件 (12.9%)、「研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している」52 件 (9.2%)、「臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている」49件 (8.7%)、「その他」1件 (0.2%)の順になっている。 ※「無回答」27 件 (4.8%)

診療放射線学科の興味のある特徴(第2位)

_	的从从外外上下50天外5000万人,10人为10人		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	49	8.7
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	126	22.3
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	73	12.9
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	52	9.2
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	102	18.0
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	136	24.0
7	その他	1	0.2
	無回答	27	4.8
	N (%^-λ)	566	100



(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について

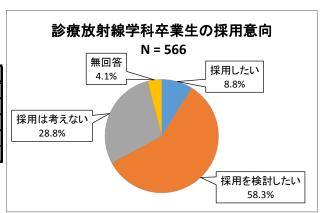
「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生の採用意向について調査した。

その結果は、「採用を検討したい」が 330 件 (58.3%) と最も多く、次いで「採用は考えない」 163 件 (28.8%)、「採用したい」 50 件 (8.8%) の順になっている。 ※「無回答」 23 件 (4.1%)

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、380 件 (67.1%) となっている。

診療放射線学科卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	50	8.8
2	採用を検討したい	330	58.3
3	採用は考えない	163	28.8
	無回答	23	4.1
	N (%ベース)	566	100

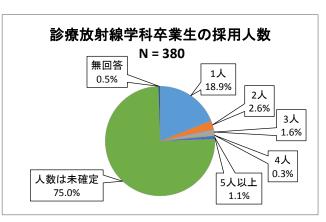


(11) 診療放射線学科卒業生の採用人数について

「(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について」において肯定的な採用意向を示した 380 施設に対して、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 285 件 (75.0%) と最も多く、次いで「1 人」72 件 (18.9%)、「2 人」10 件 (2.6%)、「3 人」6 件 (1.6%)、「5 人以上」4 件 (1.1%)、「4 人」1 件 (0.3%) の順になっている。 「無回答」2 件 (0.5%)

診療放射線学科卒業生の採用人数

		137 120	
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	72	18.9
2	2人	10	2.6
3	3人	6	1.6
4	4人	1	0.3
5	5人以上	4	1.1
6	人数は未確定	285	75.0
	無回答	2	0.5
	N (%ベース)	380	100



3. 調査結果のまとめ

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生に対する将来的な採用意向人数の 集計にあたっては、「(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について」の肯定的な回答数 と、「(11) 診療放射線学科卒業生の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢 (「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定(※)」)を乗じ、これを合 計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について」にて、「採用したい」「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

下記の表より、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、85人となる。入学定員は80人であるため、約1.06倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は 419 人となり、これは、入学定員 80 人に対して、約 5.23 倍となる。

回答数(件)	「採用したい」 のみ		合計	
1人(A)	21	(a)	(A) × (a)	21
2人(B)	4	(b)	$(B) \times (b)$	8
3人(C)	6	(c)	$(C) \times (C)$	18
4人(D)	1	(d)	$(D) \times (d)$	4
5人以上(E)	4	(e)	(E) × (e)	20
人数は未確定(F)	14	(f)	$(F) \times (f)$	14
無回答	_			

合計採用意向 85 人

回答数(件)	「採用したし 「採用を検討 い」の合詞	合計	t	
1人(A)	72	(a)	$(A) \times (a)$	72
2人(B)	10	(b)	$(B) \times (b)$	20
3人(C)	6	(c)	$(C) \times (C)$	18
4人(D)	1	(d)	$(D) \times (d)$	4
5人以上(E)	4	(e)	(E) × (e)	20
人数は未確定(F)	285	(f)	$(F) \times (f)$	285
無回答	2			

合計採用意向 419 人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、森ノ宮医療大学 保健医療学部診療放射線学科の卒業生の進路は十分に確保できるものと考える。 調査票

森ノ宮医療大学 保健医療学部 診療放射線学科(仮称)の設置に係るアンケート調査

- このアンケート調査は、2020年4月に予定している森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科(仮称)の設置計画の基礎資料とするため、貴医療関係機関の採用状況・意向についてお聞きするものです。
- このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。回答は、該当する番号を回答欄の口の中へ直接記入してください。

★調査回答締め切りのお願い★

平成30年12月21日(金)までに、同封の返信用封筒にてご投函いただけますようお願いいたします。

_		_
_	貴医療関係機関についてお聞きします	•
	童仔像的数据说: 117(20周之一主9	- 1
	夏内原内が成成していてい用にしなっ	4

Q1.	. 貴医療関係機関の種類についてお聞きします。 次の中から最も近しい番号を <u>1つ</u> お選びください。				
	病院 3. 介護施設 5. その他医療施設 診療所・クリニック 4. 通所系サービス施設 6. 企業等				
Q2.	所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。				
2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	北海道 11. 埼玉県 21. 岐阜県 31. 鳥取県 41. 佐賀県 青森県 12. 千葉県 22. 静岡県 32. 島根県 42. 長崎県 岩手県 13. 東京都 23. 愛知県 33. 岡山県 43. 熊本県 宮城県 14. 神奈川県 24. 三重県 34. 広島県 44. 大分県 秋田県 15. 新潟県 25. 滋賀県 35. 山口県 45. 宮崎県 山形県 16. 富山県 26. 京都府 36. 徳島県 46. 鹿児島県 福島県 17. 石川県 27. 大阪府 37. 香川県 47. 沖縄県 茨城県 18. 福井県 28. 兵庫県 38. 愛媛県 栃木県 19. 山梨県 29. 奈良県 39. 高知県 群馬県 20. 長野県 30. 和歌山県 40. 福岡県				
Q3.	昨年度に採用された「診療放射線技師」の人数は、何名程度ですか。 該当する番号を 1 つお選びください。	※番号で ご回答ください。			
	1~4名 3. 10~19名 5. 採用していない 5~9名 4. 20名以上				
2. 3.	現在の「診療放射線技師」の配置状況について、該当する番号を 1 つお選びください。 余裕をもった人数が配置されている 適度な人数が配置されている 人数は不足気味である 人数は不足している 配置されていない				
Q5.	現在の「診療放射線技師」の採用状況について、該当する番号を 1 つお選びください。				
2. 3. 4.	予定通り採用できている 採用できているが、少し苦労している 苦労している 非常に苦労している 採用していない				
Q6.	今後の「診療放射線技師」の人材採用について、お考えに近い番号を 1 つお選びください	0			
2. 3. 4. 5.	毎年、安定的に採用していくと思うできれば、毎年安定的に採用していきたいと思う毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う増員が必要になった場合に、採用を考える欠員が出た場合に、採用を考える当面、採用は行わないと思う				

Q1.	人材を採用する際に、貢医療関係機関 該当する番号を <u>第2位まで</u> お選びくだ			ノくいますか。		
2. 3.	診療放射線技師に必要な専門的知識・温かな心をもっていること 礼儀作法や常識的な振る舞いを備えて 円滑なコミュニケーション能力を備え	いる	らこと	Ą	第1位	
5. 6.	あらゆる場面で柔軟な対応ができるこ 積極的で自立した診療放射線技師であ 幅広い知識・教養を備えていること 学び続ける探究心をもっていること	۲			第2位	
9.	その他(具体的に:)	_
(=	こからは、同封の「保健医療学部 をご覧に	診りなり	療放射線学科(仮称))ながらお答えくださ	の概要(リー) い	フレット)) ([(
Q8,	森ノ宮医療大学が設置を計画している お考えになりますか。次の中から該当				て、どの	ように
2.	社会的必要性が高い分野である 一応、社会的必要性を感じる あまり必要性を感じない	5.	必要性はない わからない その他(具体的に:		,	
3. Q9.	あまり必要性を感じない 森ノ宮医療大学が設置を計画している 興味のあるものはどれですか。次の中	5診療	療放射線学科(仮称)の			中で、
1. 2.	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重知識だけでなく、課題発見・解決能力	視し	た教育を行っている	<u>0, 1</u> 00,20 1,20	第1位	
3. 4.	保健医療分野の広い知識を身につけて 研究室での教育指導により、社会人基	いる 礎力	ら pの高い学生を輩出してい		第2位	
	既設の看護学科、臨床検査学科等との 高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わ その他 (具体的に:				を育成して こ	こいる
	SON DELL'AND					
Q10.	森ノ宮医療大学が設置を計画している ねします。次の中から該当する番号を			卒業生の採用意向]について	おたす
2.	122 hd = (1 / 1 / 1 / 1) > 1		こ方は Q11 へお進み下さい は Q12 へお進みください。			
Q11.	将来的に、本学設置予定の診療放射総か。次の中から該当する番号を 1 つま			年何人程度採用し	たいと考	えます
	1 人 3. 3 人 2 人 4. 4 人		5. 5人以上 6. 人数は未確定			
Q12.	森ノ宮医療大学が構想している、診察 ありましたら、ご自由にお書きくださ その他、大学の教育内容・活動等につ	٤61.				
			C C/E/JUJUCEVIO	72 37 33 72 22		
_						

◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

計画概要

2020年4月

(仮称・構想中)

※構想中であるため、今後、名称・内容・定員などは変更する場合があります。



想いのすべてを、医療の力に。



😃 森ノ宮医療大学

2020年4月、7番目の学科

「診療放射線学科」を開設(仮称・構想中)。

チーム医療の学びがさらに拡充します。



"関西最大級の医療系総合大学"森ノ宮医療大学だからできる 「医療教育」

「チーム医療 | の学び

7学科が連携する専門職間連携教育 -IPE(Interprofessional Education)-

チーム医療では、多職種が集まる場で他の専門スタッフの話が理解でき、なおかつ自らの専門分野で何ができるかを提案する力が求められます。本学では医療系総合大学ならではの環境を活かし、学科混成のグループを編成し、症例(病気やケガの例)をテーマに「ケースカンファレンス(症例検討会)」を行います。他者の意見を聞き、自らの考えを明確に伝える力を養うとともに、チーム内での自身の役割を理解しながら、患者さんへの最善のアプローチ方法について考えていきます。



豊富な実習機関

大学全体で、570施設の実習先を確保(2018年4月現在)

地域の基幹病院と強固な連携体制を築き、 大阪府をはじめとした関西エリアを中心に数多くの実習先を確保。多様な分野での実習を可能とし、さまざまなフィールドで活躍できる医療人を育成します。診療放射線学科(仮称)では、2018年7月時点で大阪府・兵庫県・京都府・奈良県に計37施設を確保しています。



大阪急性期・総合医療センター(実習先の一份

経験豊かな教員陣

「臨床力」と「研究力」に優れた医療分野のプロフェッショナル

医療現場の第一線で活躍してきた教員や最 先端の研究で医療界をリードする教員が多数 在籍。教科書だけでは決して身につかない実 践重視の精度の高い技術指導に加えて、卒業 研究やゼミでも、教員がこれまで培ってきた技 術・知識を学生へ余すことなく伝えます。





診療放射線技師とは

■ 放射線を扱う専門家

医師の指示の下に、放射線を人体に対して照射するのが診療放射線技師です。X線CT、X線TV、PET、SPECT、MRI、USなどの放射線機器で人体を撮影し、診断に必要な画像情報を医師へ提供することが主な仕事。また放射線を照射してがん治療を行う専門職でもあります。医療機器を扱う技術、放射線の取り扱いに関する法令の理解と遵守など、高度な専門性を持つスペシャリストです。

■ チーム医療に欠かせない存在

診療放射線技師が提供する放射線画像や1次読影レポートが、病気の診断や 治療方針を決定するための重要な情報になるため、チーム医療において大きな 役割を担います。他の医療職を理解していることや医療者間でのコミュニケー ション力が求められます。

■「安全管理」で高度医療を支える

放射線は適切に扱うことによって患者さんの診断や治療に効果を発揮します。 放射線の取り扱いは法律により厳重な管理が義務づけられているため、患者さん だけでなく医療者の被ばく線量や放射線の管理も大切な業務のひとつです。

多彩に広がる活躍のフィールド

一般的に病院等の医療機関への就職が多いですが、そのほかにも独立行政法人や研究機関、 医療機器メーカーなどで幅広く活躍することができます。



女性技師へのニーズが拡大

近年、女性特有の病気である"乳がん"の早期発見に、診療放射線技師による「マンモグラフィー検診」が有効とされ、検診率が増加傾向にあります。女性が安心して検診を受けられるよう、女性の診療放射線技師が必要とされています。しかし、女性の診療放射線技師が少ないという背景もあり、需要が高まっています。

学科の特色

最新の機器を備えた充実した環境で、チーム医療を支える診療放射線技師をめざすことができます。

● 学生全員が「診療放射線技師」をめざすカリキュラム

診療放射線技師国家試験受験資格を取得するために必要なすべての科目を"必修科目"として配置し、全学生が卒業時に国家試験受験資格を得られます。単に技術者を育てるのではなく、医療現場でチーム医療の一員として高度化・複雑化した放射線機器のニーズに対応し、豊かな人間性と創造性に基づいた科学的思考力と適切な判断力を有する医療人を育てます。

●「診断」と「治療」ができる、臨床力の高い人材の育成

診療放射線技師は、放射線を用いて「診断」と「治療」を実践するスペシャリストです。そのため本学科では、徹底した「基礎医学」教育により診療に必要な人体の構造や機能について時間をかけてじっくりと学びます。一方、放射線に関しては「放射線物理学」などの専門基礎分野から「画像検査技術学」「放射線治療技術学」などの専門分野へ段階的に進みます。また、「医療安全」に関する科目も配置しており、放射線診療を実際に行うために必要な知識と技術を身につけます。

□コミュニケーション能力を持ち、チームの一員として協働できる医療人をめざす

診療放射線技師から医師へ提供される画像が治療方針の決定につながるため、チーム医療において重要な役割を担います。本学では、全学科の学生が集い、ひとつの症例に対してそれぞれの分野の立場から治療やケアについて検討するグループワーク(ケースカンファレンス)を行うなど、実践的にチーム医療を身につけられるカリキュラムを導入しています。

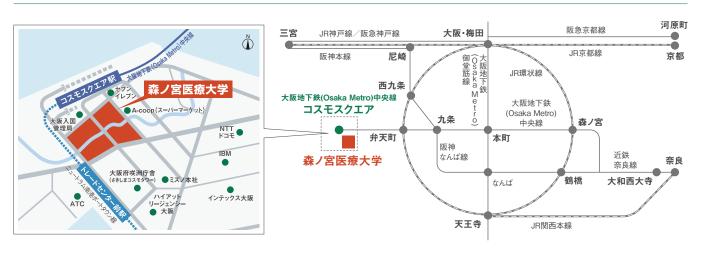


診療放射線学科(仮称)の学舎となる新棟を建設予定!

診療放射線学科(仮称)の設置に合わせて、本学5つ目となる棟を新たに建設予定です。 各実習室や講義室はもちろんのこと、カフェテリアやウッドデッキなど、 キャンパスライフを彩るスペースの数々も設ける予定となっていますので、ぜひご期待ください。 ウエストポート FREE イースト ポート Wi-Fi 新棟建設予定地 メディカフェ グリーンスクエア キャナルポート/メディカル・アイ(図書館)

ACCESS 梅田・なんば・天王寺エリアから約30分の快適アクセス

※イラストはイメージです



大阪地下鉄 (Osaka Metro) 中央線 「コスモスクエア」駅2番出口より

分(南へ約90m)

主要ターミナル駅 「大阪(梅田)」「なんば」「天王寺」から

30分以内

「神戸(三宮)」「京都」「奈良」 各方面から 約 6 0 分

想いのすべてを、医療の力に。



[保健医療学部] ■看護学科 ■作業療法学科 ■臨床工学科

■理学療法学科 ■臨床検査学科 ■鍼灸学科

[大学院] 保健医療学研究科 ■保健医療学専攻 修士課程 ■医療科学専攻 博士後期課程

[専攻科] 助産学専攻科[1年課程]

グリーンスクエア (複合型スポーツ施設)

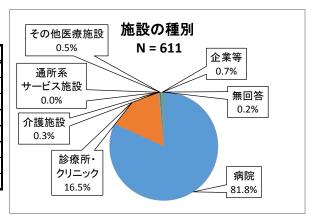
資料請求・お問い合わせは ((0120-68-8908

〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16 [TEL] 06-6616-6911 [E-mail] univ@morinomiya-u.ac.jp

単純集計表

施設の種別

	10 HX ** IZ/11		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	500	81.8
2	診療所・クリニック	101	16.5
3	介護施設	2	0.3
4	通所系サービス施設	0	0.0
5	その他医療施設	3	0.5
6	企業等	4	0.7
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100

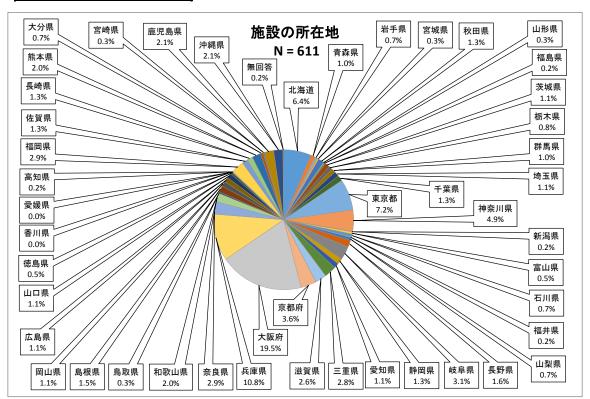


施設の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	39	6.4
2	青森県	6	1.0
3	岩手県	4	0.7
4	宮城県	2	0.3
5	秋田県	8	1.3
6	山形県	2	0.3
7	福島県	1	0.2
8	茨城県	7	1.1
9	栃木県	5	0.8
10	群馬県	6	1.0
11	埼玉県	7	1.1
12	千葉県	8	1.3
13	東京都	44	7.2
14	神奈川県	30	4.9
15	新潟県	1	0.2
16	富山県	3	0.5
17	石川県	4	0.7

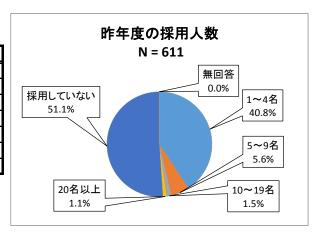
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
18	福井県	1	0.2
19	山梨県	4	0.7
20	長野県	10	1.6
21	岐阜県	19	3.1
22	静岡県	8	1.3
23	愛知県	7	1.1
24	三重県	17	2.8
25	滋賀県	16	2.6
26	京都府	22	3.6
27	大阪府	119	19.5
28	兵庫県	66	10.8
29	奈良県	18	2.9
30	和歌山県	12	2.0
31	鳥取県	2	0.3
32	島根県	9	1.5
33	岡山県	7	1.1

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
34	広島県	7	1.1
35	山口県	7	1.1
36	徳島県	3	0.5
37	香川県	0	0.0
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	1	0.2
40	福岡県	18	2.9
41	佐賀県	8	1.3
42	長崎県	8	1.3
43	熊本県	12	2.0
44	大分県	4	0.7
45	宮崎県	2	0.3
46	鹿児島県	13	2.1
47	沖縄県	13	2.1
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100.0



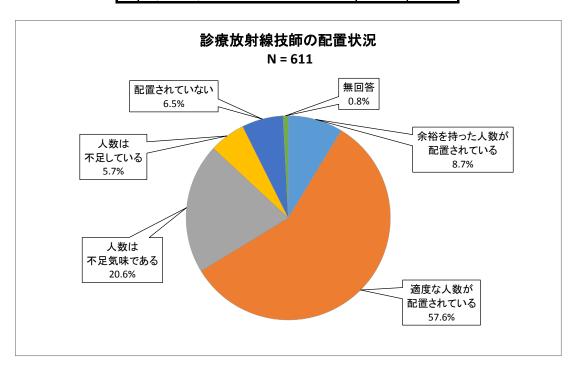
昨年度の採用人数

	#[T/X V/]/\//////////////////////////////////		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1~4名	249	40.8
2	5~9名	34	5.6
3	10~19名	9	1.5
4	20名以上	7	1.1
5	採用していない	312	51.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	611	100



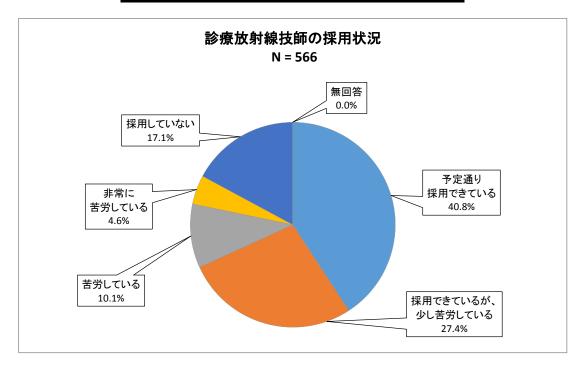
診療放射線技師の配置状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	余裕を持った人数が配置されている	53	8.7
2	適度な人数が配置されている	352	57.6
3	人数は不足気味である	126	20.6
4	人数は不足している	35	5.7
5	配置されていない	40	6.5
	無回答	5	8.0
	N (%ベース)	611	100



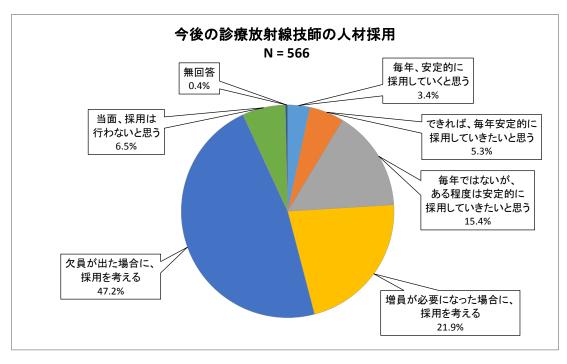
診療放射線技師の採用状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	予定通り採用できている	231	40.8
2	採用できているが、少し苦労している	155	27.4
3	苦労している	57	10.1
4	非常に苦労している	26	4.6
5	採用していない	97	17.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	566	100



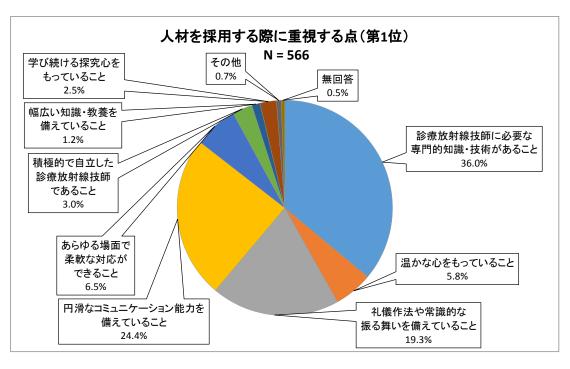
今後の診療放射線技師の人材採用

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	19	3.4
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	30	5.3
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	87	15.4
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	124	21.9
5	欠員が出た場合に、採用を考える	267	47.2
6	当面、採用は行わないと思う	37	6.5
	無回答	2	0.4
	N (%^-X)	566	100



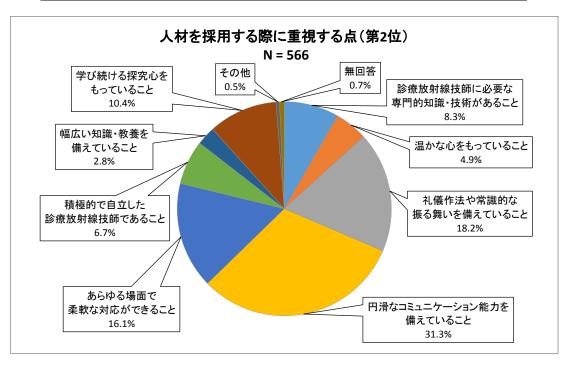
人材を採用する際に重視する点(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	204	36.0
2	温かな心をもっていること	33	5.8
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	109	19.3
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	138	24.4
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	37	6.5
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	17	3.0
7	幅広い知識・教養を備えていること	7	1.2
8	学び続ける探究心をもっていること	14	2.5
9	その他	4	0.7
	無回答	3	0.5
	N (%^*-\(\chi\))	566	100



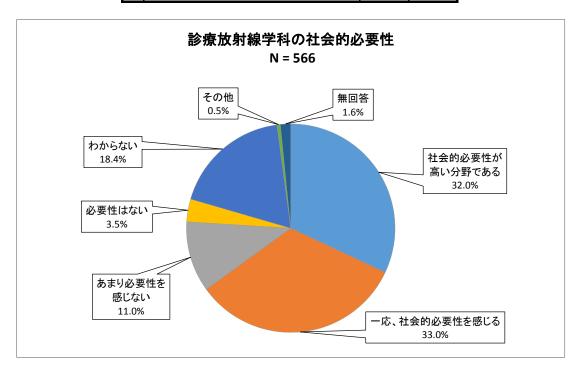
人材を採用する際に重視する点(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	47	8.3
2	温かな心をもっていること	28	4.9
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	103	18.2
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	177	31.3
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	91	16.1
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	38	6.7
7	幅広い知識・教養を備えていること	16	2.8
8	学び続ける探究心をもっていること	59	10.4
9	その他	3	0.5
	無回答	4	0.7
	N (%ペース)	566	100



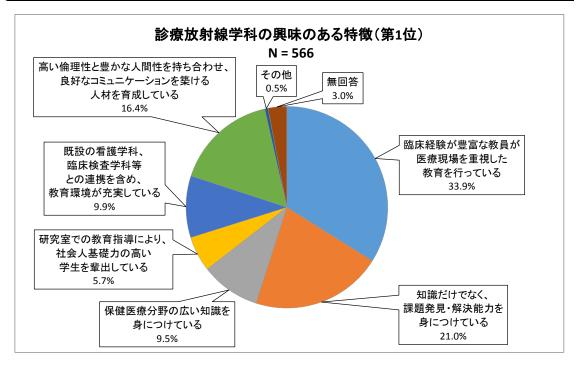
診療放射線学科の社会的必要性

	的原放对脉子行动压五时纪女压		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	181	32.0
2	一応、社会的必要性を感じる	187	33.0
3	あまり必要性を感じない	62	11.0
4	必要性はない	20	3.5
5	わからない	104	18.4
6	その他	3	0.5
	無回答	9	1.6
	N (%ベース)	566	100



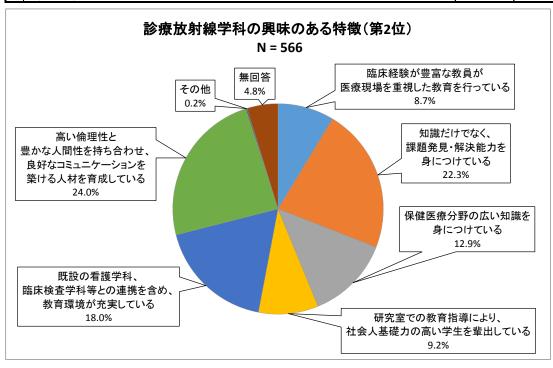
診療放射線学科の興味のある特徴(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	192	33.9
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	119	21.0
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	54	9.5
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	32	5.7
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	56	9.9
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	93	16.4
7	その他	3	0.5
	無回答	17	3.0
	N (%^°−X)	566	100



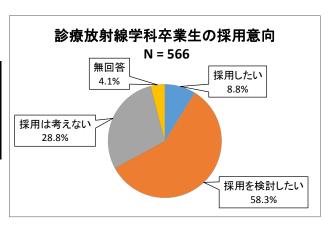
診療放射線学科の興味のある特徴(第2位)

	が原放列帳・中の発送ののの内域へ名とは		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	49	8.7
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	126	22.3
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	73	12.9
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	52	9.2
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	102	18.0
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	136	24.0
7	その他	1	0.2
	無回答	27	4.8
	N (%^-\(\times\)	566	100



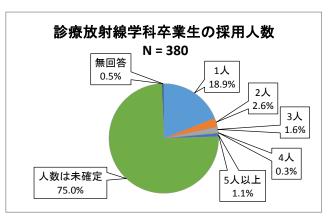
診療放射線学科卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	50	8.8
2	採用を検討したい	330	58.3
3	採用は考えない	163	28.8
	無回答	23	4.1
	N (%ベース)	566	100



診療放射線学科卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	72	18.9
2	2人	10	2.6
3	3人	6	1.6
4	4人	1	0.3
5	5人以上	4	1.1
6	人数は未確定	285	75.0
	無回答	2	0.5
	N (%ベース)	380	100



別記様式第3号(その1)

教 員 名 簿

		学	長	の	氏	名	等
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>		年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
_	学長		ハラ トシオ 亰 俊男 ニ23年4月>		医学博士		森ノ宮医療大学学長 (平成23.4~令和3.3)

			教		員	(の 氏		名		等	
(保調書番号	健医療 専任 等 区分	学部診療放射:	線学科) フリガナ 氏名 <就任 (予定) 年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当位数	年 間開 講数	現職(就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週当たり平均 日
1	事;	教授 (学科長)	が。9 ユウン・ 小縣 裕二 <令和2年4月>		博士 (保健学)		基礎ゼミナール※ IPW論 専門基礎科学 専門基礎器工学 画像工学演 画像工学演習 画体工学質習 画床実習別 臨床末習習びミナール 放射線技術 先進医学 卒業研究 I	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1. 1 1 1 2 2 1 2 1 6 2 2 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	森/宮医療大学 特任教授 (平30.5)	5日
2	専	教授	***/* / f* 山口 功 《令和2年4月>		博士 (保健学)		MBS (Morinomiya Basic Seminar) た動門な対象撮影技術学 CT・MIL撮影技術学 CT・MIL撮影技術学 CT・展IL撮影技術学・機器工学実験 II 医療安全管理学 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II で 臨床実習 II 下 臨床実習 II 下 電子 で 表示 II 下 本業研究 I	1前 前前後前前後後前通後通通	1 2 2 2 1 2 6 2 2 2 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科教授 (平23.4)	5日
3	串	教授	材=シ ヒデオ 大西 英雄 <令和2年4月>		博士 (医学)		チーム医療見学実習 核医学検査技術学Ⅱ 核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学및 藤康末署Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ た選別 核医学・放射線治療学特講 先選核医学 卒業研究Ⅱ	1 1 1 2 3 1 3 3 4 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1 2 2 1 2 6 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	県立広島大学 保健福祉学部コミュニケー ション障害学科 非常勤講師 (平30.4)	5日
4	専	教授	プ ナバシ マサオ 船橋 正夫 <令和2年4月>		学士 (保健衛生学)		医療コミュニケーション X線撮影技術学 I X線撮影技術学 II 撮影技術学 II 撮影技術学 ii 撮影技術学 ii 撮影技術学 ii 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 診療画像軽析学 特別学等講 先進研究 I 卒業研究 I	2 2 2 2 3 3 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4 4 4 3 4	1 2 2 1 2 6 2 2 2 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療セン ター 医療技術部 部長 (昭56.10)	5日
5	専	教授	わぶ でい 奥村 雅彦 <令和2年4月>		博士 (医療技術学)		チーム医療論 放射線物理学・計測学演習 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療技術学実験 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ を破字・放射線治療学特講 先進放射線治療学 字業研究Ⅱ	2 1 2 2 3 3 3 4 3 4 4 3 4 4 3 4 4 4 4 3 4	1 1 2 2 1 6 2 2 2 1 1 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	近畿大学医学部附属病院 技術部 部長 (昭57.4)	5日
6	専	教授	、注 ヒロフミ 三木 宏文 <令和2年4月>		博士 (医学)		内科学 I 内科学 I 基礎医学演習 外科学 卒業研究 I 卒業研究 I	2前 2後 4前 3前 3通 4通	1 1 1 2 2	1 1 1 1 1	森/宮医療大学大学院 保健医療学研究科教授 (平30.4)	5日
7	曲守	准教授	474 ジヤ 今井 信也 <令和2年4月>		博士 (医学)		基礎ゼミナール※ 放射線計測学 専門基礎科目実験 撮影技術学・機器工学実験Ⅱ 画像解像情報学実験 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅲ 臨床実習単等 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	1 1 1 1 2 3 4 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	1. 1 2 2 1 1 1 6 2 2 2 2 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科講師 (平28.4)	5日

1

	別記様式第3号 (その2の1) 数											
_(保	健医療学	学部診療放射	教 線学科)		員		の氏		名		等	
調書番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任 (予定) 年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	単数	数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務 従 事 す 週当たり平均 日 数
8	専	講師	がモト アキヒロ 垣本 晃宏 <令和2年4月>		博士 (医学)		テーム医療見学実習 放射化学 再門基礎学員主験 核医学検査技術学実験 核医学検査技術学実験 な対性薬品学 安全管理習 I 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II にな対線技術学特講 卒業研究 I	1前後前前後後後後前通後通通	1 2 2 1 1 1 6 2 2 2 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 (平17.4)	5日
9	争	助教	ククモト ナギサ 武本 渚 <令和2年4月>		修士 (保健学)		医療コミュニケーション 放射線化学・生物学演習 専門基礎科目実験 撮影技術学・機器工学実験 II 放射線治療技術学実験 空企管理学実験 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 等 標画像技術学特講 卒業研究 II	2 1 2 1 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	1 1 2 1 1 1 6 2 2 2 2 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兵庫県立こども病院 (平30.4)	5日
10	専	助教	ヤマック 7733 山畑 飛鳥 <令和2年4月>		修士 (保健学)		IPW論 飲射線化学・生物学演習 専門基礎科目実験 撮影技術学・機器工学実験 I 核医学検査技術学実験 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 II 臨床実習 ビミナール 放射線技術学特講 卒業研究 I 卒業研究 I	3前後前後前後後後前通後通通	1 1 2 1 1 1 6 2 2 2 1 2 2		株式会社ドクターネット 品質保証室 兼 サービス部 サービス課 (平26,2~平30,6)	5日
11	兼担	教授	アベ ヒデタカ 阿部 秀高 <令和2年4月>		修士 (学校教育学)		基礎ゼミナール※	1前	0.9	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科教授 (平30.4)	
12	兼担	教授	7^ 97/1 安部 辰夫 <令和2年4月>		博士 (医学)		生物学 化学 生物学演習 化学演習 病理学	1前 1前 1前 1前 2後	2 2 1 1	1 1 1 1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科教授 (平24.4)	
13	兼担	教授	イデグチ /リォ 井手口 範男 <令和2年4月>		修士 (人間科学)		情報処理 統計学 心理学 医療統計学	1前 1前 1前 1後	2 2 2 1	1 1 1	森/宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科教授 (平27.4)	
14	兼担	教授	フジシゲ(ナカジマ)ヒトコ 藤重(中嶋)仁子 <令和2年4月>		博士 (言語文化学)		英語 I (初級) 英語 II (中級) 英会話 基礎英語演習 応用英語演習	1前 1後 2前 2前 2後	2 2 2 2 2	1 1 1 1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科教授 (平19.4)	
15	兼担	教授	†カハラ ヒデヒロ 中原 英博 <令和2年4月>		博士□(医学)		健康管理学 I 健康管理学 II	2前 2後	2	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科教授 (平23.4)	
16	兼担	教授	刊 注注 (tru) 森 美侑紀 (広子) <令和2年4月>		博士 (医学)		栄養学 統合医療概論※ 生化学	2後 3前 2前	2 0.2 1	1 1 1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科教授 (平23.4)	
17	兼担	教授	ヤマシタ ヒトシ 山下 仁 <令和2年4月>		博士 (保健学)		統合医療概論※	3前	1. 4	1	森/宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科教授 (平19.4)	
18	兼担	教授	カタヤマ トシロウ 片山 俊郎 <令和2年4月>		博士 (工学)		数学 数学演習 医用工学	1後 1後 1後	2 1 2	1 1 1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科教授 (平30.4)	
19	兼担	教授	付が ジン 稲田 慎 <令和2年4月>		博士 (工学)		物理学演習 工学演習	1前	1	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科教授 (平30.4)	
20	兼担	教授	3シオカ トシハル 吉岡 敏治 <令和2年4月>		医学博士		医学概論 救急災害医学	1前 2後	1	1	森/宮医療大学大学院 保健医療学研究科教授 (平28.4)	
21	兼担	教授	刊炉 7世1年 森谷 正之 <令和2年4月>		博士 (歯学)		人体の構造 I 人体の構造 II	1前	1	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科教授 (平20.4)	

(保	- 健医癖	学部診療放射	教		員	(の 氏		名		等	
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任 (予定) 年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次		年 間開 講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職す 従 事すす 過当たり 平数 日
22	兼担	教授	(ガラシ ジュンスウ 五十嵐 淳介 <令和2年4月>		博士 (医学)		人体の機能 I 人体の機能 II		1	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科教授 (平30.4)	
23	兼担	教授	イヴ゙ミ タカコ 伊津美 孝子 <令和2年4月>		修士 (看護学)		看護学概論	2後	1	1	森 / 宮医療大学 保健医療学部 看護学科教授 (平23.4)	
24	兼担	教授	fカザワ カズオ 中沢 一雄 <令和2年4月>		博士 (工学)		情報処理工学	1後	1	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科教授 (平30.4)	
25	兼担	准教授	マスヤマ ショウコ 増山 祥子 <令和2年4月>		修士 (心身健康科学)		統合医療概論※	3前	0.4	1	森/宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科准教授 (平21.4)	
26	兼担	准教授	52 ヤマ		学士 (鍼灸学)		東洋医療概論	3前	2	1	森ノ宮医療大学 鍼灸情報センター 准教授 (平26.4)	
27	兼担	准教授	ハラ ヨシアキ 原 良昭 <令和2年4月>		博士 (工学)		電気・電子工学	1後	2	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科准教授 (平30.4)	
28	兼担	講師	サ/ カナエ 佐野 加奈絵 <令和2年4月>		博士 (スポーツ科学)		健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前	2	1	森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科講師 (平30.4)	
29	兼担	助教	力*オ クニヒロ 長尾 晋宏 <令和2年4月>		修士 (文学)		英語 I (初級) 英語 II (中級) 医学英語	1前 1後 2後	2 2 2	1 1 1	森/宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科助教 (平29.4)	
30	兼担	助教	け シンタロウ 伊奈 新太郎 <令和2年4月>		修士 (体育学)		基礎体育	1後	1	1	保健医療学部 鍼灸学科助教 (平30.4)	
31	兼任	講師	ピザクニ マザアキ 久国 正章 <令和2年4月>		高等学校卒		物理学	1前	2	1	森ノ宮医療大学兼任講師 (平20.4)	
32	兼任	講師	ゲカ ヨシコ 田中 美子 <令和2年4月>		修士 (文学)		生命倫理学	1前	2	1	森ノ宮医療大学兼任講師 (平29.4)	
33	兼任	講師	マヴェ ケイシ 松枝 啓至 <令和2年4月>		博士 (人間・環境学)		哲学 西洋史概説	2前 3前	2	1	森ノ宮医療大学兼任講師 (平29.4)	
34	兼任	講師	カケカ゚ワ ナオユキ 掛川 直之 <令和2年4月>		博士 (創造都市)		社会福祉学	1後	2	1	日本学術振興会 特別研究員 (平29.4)	
35	兼任	講師	ウエダ シゲユキ 植田 重幸 <令和2年4月>		修士 (法学)		日本国憲法	1後	2	1	東洋医療専門学校 救急救命士学科専任講師 (平20.4)	
36	兼任	講師	シゲノプ アユミ 重信 あゆみ <令和2年4月>		修士 (中国文学)		東洋史概説	2後	2	1	森ノ宮医療大学兼任講師 (平21.4)	
37	兼任	講師	ソトバヤシ ダイスケ 外林 大輔 <令和2年4月>		修士 (医科学)		身体運動科学	2前	2	1	森ノ宮医療学園専門学校 専任講師 (平21.11)	
38	兼任	講師	カンダ セイジ 神田 靖士 <令和2年4月>		博士 (化学)		公衆衛生学	1後	1	1	関西医科大学 公衆衛生学講座准教授 (平16.4)	
39	兼任	講師	ヤモト コウ <i>仟</i> 山本 浩一 <令和2年4月>		博士 (保健学)		薬理学 放射線生物学	3前1後	1 2	1	大阪大学大学院 医学系研究科 講師 (平19.4)	
40	兼任	講師	イワモト シンイチロウ 岩元 新一郎 <令和2年4月>		博士 (工学)		放射線物理学	1後	2	1	学校法人常翔学園 広島国際大学保健医療学部 診療放射線学科教授 (平28.4)	
41	兼任	講師	コミス゛ ミツル 小水 満 <令和2年4月>		博士 (工学)		放射線医学概論	1後	1	1	一般社団法人 水口病院 (平28.4)	
42	兼任	講師	ショウズ マコト 小豆 誠 <令和2年4月>		学士 (教養)		画像解剖学臨床画像解剖学	2前 3前	1 2	1	医療法人育和会 育和会記念病院 副技師長 (平14.4)	
43	兼任	講師	マツモト ミツヒロ 松本 光弘 <令和2年4月>		博士 (保健学)		放射線治療学	3前	1	1	大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻准教授 (平15.4)	
44	兼任	講師	カワマタ ミノル 川眞田 実 <令和2年4月>		博士 (医学)		医療情報学	2後	1	1	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター (平19.4)	

別記様式第3号(その2の1)

			教		員	0) 氏		名		等	
(保	(保健医療学部診療放射線学科)											
調書番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任 (予定) 年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当位数	年 間開 講	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す で 週当たり平 数
45	兼任	講師	ヤマゲチ カズ [*] ヤ 山口 和也 <令和2年4月>		修士 (学術)		放射線関係法規	3後	1	1	大阪大学放射線科学基盤機構 兼任教官 (平30.4)	
46	兼任	講師	†カニシ カツユキ 中西 克之 <令和2年4月>		博士 (医学)		臨床画像解析学	3後	2	1	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター (平20.10)	

			専任	教員の年齢	構成・学位	工保有状況			1 平 工 未 脱 僧 /	
職位	学 位	29 歳以下	30 ~ 39 歳	40~49歳	50 ~ 59 歳	60 ~ 64 歳	65 ~ 69 歳	70 歳以上	合 計	備考
	博士	人	人	人	3人	人	1人	1人	5人	
	修士	人	人	人	人	人	人	人	人	
教 授	学 士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短 期 大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
	博士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修士	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
	博士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	修士	人	人	人	人	人	人	人	人	
講師	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
	博士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修士	人	1人	1人	人	人	人	人	2人	
助教	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
	博士	人	人	1人	4人	人	1人	1人	7人	
	修士	人	1人	1人	人	人	人	人	2人	
合 計	学 士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	